

平成 24 年度 学 習 状 況 調 査 結 果  
報 告 書

平成 25 年 3 月

香 川 県 教 育 セ ン タ ー

# 目 次

|                               |         |
|-------------------------------|---------|
| はじめに                          | 1       |
| I 調査の概要                       | 2       |
| II 教科に関する調査結果                 |         |
| 1 調査結果の概要                     | 3       |
| 2 改善の視点                       | 3       |
| 3 調査結果の詳細（結果1～結果6）            | 4～10    |
| III 平均正答率の分布                  |         |
| グラフの説明                        | 11      |
| 小学校                           | 12～17   |
| 中学校                           | 18～21   |
| IV 各教科の調査結果                   |         |
| 国語                            | 22・23   |
| 社会                            | 24・25   |
| 算数・数学                         | 26・27   |
| 理科                            | 28・29   |
| 英語                            | 30・31   |
| V 質問紙調査結果                     |         |
| 1 質問内容一覧                      | 34・35   |
| 2 総論                          | 36～63   |
| 3 児童生徒質問紙結果                   | 64～85   |
| 4 学校質問紙結果                     | 86～102  |
| VI 各学校の具体的な取組                 |         |
| 1 思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導〔Action1〕 | 103     |
| 2 学習意欲向上のための指導〔Action2〕       | 104     |
| 3 学習方法を身に付けるための指導〔Action3〕    | 104・105 |
| 4 学習習慣形成のための指導〔Action4〕       | 105     |
| 5 授業力向上に向けた研修等                | 105・106 |
| 6 小中連携                        | 106     |
| 7 具体例                         | 107     |
| 8 聞き取り調査から                    | 108～110 |

## は じ め に

平成 14 年度から実施の県学習状況調査は、これまで、義務教育課において調査結果の分析を行ってまいりましたが、11 年目を迎えた本年度から、県教育センターで行うことになりました。

ご案内の通り、県学習状況調査は実施時期を昨年度から 4 月から 11 月とし、出題範囲を主として、4 月以降の当該年度の学習内容にすることで、各学校で行われている評価テストと同様に、教員が自らの指導を振り返り、指導の改善を図ることができ、検証改善のサイクルが機能しやすくなりました。

こうした実施時期の変更も契機として、本報告書にお示しした分析結果を、各学校の指導の充実改善につなげていただけるよう、本報告書の特徴的な内容について御紹介いたします。

まず、教科に関する調査については、これまでは、主として各教科や観点、主な問題の県の平均正答率を示してまいりましたが、各学校が自校の状況をより多面的に捉えることができるよう、これらに加えて、調査実施学年の児童生徒数が 20 名以上の学校の平均正答率を 5 区分に分けて、その割合を示しました。

これにより、自校と県平均のみとの比較で判断するだけでなく、5 区分ではありますが、県内の各学校の平均正答率の散らばり具合の中で、自校の県内での位置もある程度判断することができるため、目標や課題をより具体的に設定できるものと思っています。

次に、質問紙調査の結果についてですが、平成 14 年度以降続けて行っている質問項目や、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を設定し、小学校 3 年生から中学校 2 年生までの学年を追った比較や、経年による比較、また全国との比較ができるという利点を生かし、報告書では、これらを分かりやすく整理して示しております。

なお、調査結果について、例えば「宿題をしていますか」など、学習への意欲や関心を問う質問では、小学生から中学生へと学年が進むにつれ、肯定的な回答が右肩下がりで減少していますが、平成 22 年度までの 4 月調査と平成 23・24 年度の 11 月調査では、調査時期の半年違いで、「している」と回答している児童生徒の割合が減少していることも分かりました。

特に、中学校 1 年生では、顕著に減少するのですが、むしろ、注目すべきは、平成 22 年度までの 4 月調査では、「している」と回答している生徒の割合が同時期の小学校の 5・6 年生よりも高いということであります。中学校に入学してきた 4 月当初は、多くの生徒たちが“やる気”に満ちていることを、本報告書で是非御確認いただけたらと思います。

最後に、県学習状況調査は、これまでも設定正答率を設けたり、同一・類似問題を設定したりして、経年比較を行ってききましたが、調査問題の難易度の客観的な把握の困難さから、全国比較により本県の状況を把握できる全国学力・学習状況調査とは異なり、正答率による経年比較の信頼性が高いとは言えません。

もとより、県学習状況調査は、各学校が自校の学力や学習状況について県との比較において把握し、指導方法の工夫・改善等を行うことを調査の目的としているところであります。

巻末には、協議会における各学校からの報告や、成果の見られた学校からの聞き取り調査による「各学校の具体的な取組」を掲載しておりますので、これらも参考としていただき、授業改善に向けた学校全体の取組の充実が図られますようお願いいたします。

平成 25 年 3 月

香川県教育センター  
所長 佐々木 啓祐

# I 調査の概要

## 調査の目的

児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、児童生徒の理解の程度に基づく個に応じた指導などを実施する契機とする。

## 調査の時期

平成 24 年 11 月 1 日（木）～11 月 14 日（水）

## 調査の対象

県内公立学校の小学校第 3 学年から中学校第 2 学年までの全ての児童生徒  
・学 校 数 小学校 181 校、中学校 76 校  
(附属学校及び県立学校を含む)

・児童生徒数

(単位：人)

| 校種・学年<br>教科 | 小学校    |        |        |        | 中学校    |        |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|             | 第 3 学年 | 第 4 学年 | 第 5 学年 | 第 6 学年 | 第 1 学年 | 第 2 学年 |
| 国語          | 8,895  | 9,174  | 9,127  | 9,394  | 8,952  | 8,980  |
| 社会          |        |        | 9,122  | 9,411  | 8,977  | 8,988  |
| 算数・数学       | 8,896  | 9,175  | 9,121  | 9,403  | 8,964  | 8,985  |
| 理科          |        |        | 9,129  | 9,415  | 8,983  | 8,992  |
| 英語          |        |        |        |        | 8,963  | 8,980  |

## 調査の内容

- (1) 実施教科 小学校 第 3、4 学年 : 国語、算数 (2 教科)  
第 5、6 学年 : 国語、社会、算数、理科 (4 教科)  
中学校 第 1、2 学年 : 国語、社会、数学、理科、英語 (5 教科)
- (2) 出題範囲 主として、当該年度前期（4 月～9 月末）に学習した内容。ただし、前学年までに学習した内容を含む。
- (3) 問題の質と量 ア 「基礎的・基本的な知識及び技能」や「知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」に関する学習指導要領に即した問題  
イ 各教科全学年で平均正答率が 65%～70%程度になるように作成  
ウ 1 教科あたり 1 単位時間（小学校 45 分、中学校 50 分）で解答できる量

## 調査結果の活用

- 各学校は、自校で編成・実施している教育課程を評価する資料の一つとして調査結果を活用し、学習指導に係る検証改善サイクルを確立するように努める。
- 香川県教育委員会及び各市町（学校組合）教育委員会は、教育施策の成果と課題を把握・検証し、教育施策の改善に努めるとともに、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援を行う。

## Ⅱ 教科に関する調査結果

### 1 調査結果の概要

- 結果1** 小・中学校を通じて、漢字の読みや四則計算、英語のリスニングなど、国語、算数・数学、英語の「基礎的・基本的な知識・技能」については、昨年度と同様に概ね定着している。
- 結果2** 小学校では、全体として概ね学習内容は定着しているが、昨年度課題であった国語の「書く能力」については、今年度も課題である。
- 結果3** 中学校では、「基礎的・基本的な知識・技能」については、昨年度と同様に国語、数学、英語で概ね定着しているが、社会、理科では課題が見られる。  
また、「思考・判断・表現」については、数学、英語を除いて、今年度も課題である。
- 結果4** 各教科において、学年が上がるにつれて正答数の上位層の割合が少なくなり、中位層から下位層の割合が多くなっている。
- 結果5** 昨年度は、中学校2年生で全問不正解の生徒の割合が多く、課題となっていたが、今年度は小学校に比べ中学校において全問不正解の割合は高いものの、昨年度に比べて、全問不正解の生徒の割合が減少している。
- 結果6** 同一問題の平均正答率を比較すると、昨年度に比べて、「3%以上上回る」「ほぼ同等」の問題数の割合は、小学校で約89%、中学校で約75%となっており、定着状況が向上していると考えられる。



### 2 改善の視点

- 視点1** 学習状況の結果を分析し、一人一人の子どもの学習内容の定着状況を把握するとともに、個に応じた指導の充実を図る。
- 視点2** 「思考・判断・表現」について課題が見られることから、普段の授業を通して、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。  
例えば、小学校においては、目的に応じて多様な文を書いたり、自分の考えが明確になるように文を構成したりする書く活動を取り入れること、中学校においては、子どもが考える時間を確保し、自分の考えを発表できる機会を設けることなどに取り組むことが大切である。
- 視点3** 全問不正解の生徒の割合が減少していることは成果であり、生徒の良い点をほめる声かけや分かる喜びを実感させる授業を通して、学習意欲の向上を図る取組を継続することが必要である。

### 3 調査結果の詳細

概要で示した結果 1 ～ 結果 6 について、根拠となる資料を示す。

#### 結果 1

小・中学校を通じて、漢字の読みや四則計算、英語のリスニングなど、国語、算数・数学、英語の「基礎的・基本的な知識・技能」については、昨年度と同様に概ね定着している。

#### ① 漢字の読み

##### 《小学校》

| 学年                                 | 問題番号 |     |   | 問題        | 正答      | 正答率(%) |
|------------------------------------|------|-----|---|-----------|---------|--------|
| 小3                                 | 五    | (一) | ① | 筆者の考えを書く  | ひっしゃ    | 52.7   |
| 小3                                 | 五    | (一) | ② | 理由をつたえる   | りゅう     | 94.3   |
| 小3                                 | 五    | (一) | ③ | しあいに負ける   | まける     | 95.3   |
| 小4                                 | 五    | (一) | ① | 例えて言う     | たとえて    | 65.7   |
| 小4                                 | 五    | (一) | ② | 印象に残ることば  | いんしょう   | 86.9   |
| 小4                                 | 五    | (一) | ③ | 安全地帯を走る   | 安全ちたい   | 62.3   |
| 小5                                 | 五    | (一) | ① | 大きな船が寄港する | きこうする   | 70.4   |
| 小5                                 | 五    | (一) | ② | 意見を述べる    | のべる     | 91.8   |
| 小5                                 | 五    | (一) | ③ | 新聞を編集する   | へんしゅうする | 92.0   |
| 小6                                 | 五    | (一) | ② | 野菜を皿に盛る   | もる      | 97.5   |
| 正答率全体の平均は 80.9% [平成 23 年度平均 91.7%] |      |     |   |           |         | 80.9   |

##### 《中学校》

| 学年                                 | 問題番号 |     |   | 問題             | 正答      | 正答率(%) |
|------------------------------------|------|-----|---|----------------|---------|--------|
| 中1                                 | 二    | (一) | ① | 樹木の花粉を調べる。     | じゅもく    | 79.6   |
| 中1                                 | 二    | (一) | ② | めずらしい植物を採集する。  | さいしゅうする | 65.1   |
| 中1                                 | 二    | (一) | ③ | 鮮やかな緑が目に入る。    | あざやかな緑  | 91.3   |
| 中2                                 | 二    | (一) | ① | 歴史に汚点を残す。      | おてん     | 77.6   |
| 中2                                 | 二    | (一) | ② | 改行したほうが分かりやすい。 | かいぎょう   | 68.6   |
| 中2                                 | 二    | (一) | ③ | お年寄りを敬う。       | うやまう    | 84.7   |
| 正答率全体の平均は 77.8% [平成 23 年度平均 82.9%] |      |     |   |                |         | 77.8   |

#### ② 四則計算

| 学年       | 小3   | 小4   | 小5   | 小6   | 中1   | 中2   |
|----------|------|------|------|------|------|------|
| 平均正答率(%) | 88.3 | 78.2 | 75.8 | 79.7 | 77.9 | 78.1 |

##### 《小学校》

| 学年 | 問題番号 |     | 問題                    | 正答       | 正答率(%) |
|----|------|-----|-----------------------|----------|--------|
| 小3 | 2    | (1) | (筆算) $765 + 313$      | 1078     | 95.5   |
| 小3 | 2    | (2) | $72 \div 8$           | 9        | 95.6   |
| 小3 | 2    | (3) | $46 \div 6$           | 7 あまり 4  | 89.9   |
| 小3 | 2    | (4) | (筆算) $705 - 348$      | 357      | 84.0   |
| 小3 | 2    | (5) | $31 \times 100$       | 3100     | 76.5   |
| 小4 | 1    | (1) | $2.3 + 5$             | 7.3      | 77.3   |
| 小4 | 1    | (2) | $50 + 150 \times 2$   | 350      | 64.3   |
| 小4 | 1    | (3) | $360 \div 4$          | 90       | 88.3   |
| 小4 | 1    | (4) | $210 \div 30$         | 7        | 74.3   |
| 小4 | 1    | (5) | (筆算) $216 \times 408$ | 88128    | 73.4   |
| 小4 | 1    | (6) | (筆算) $500 \div 6$     | 83 あまり 2 | 88.3   |
| 小4 | 1    | (7) | (筆算) $782 \div 23$    | 34       | 81.7   |

|     |   |     |                                    |                 |      |
|-----|---|-----|------------------------------------|-----------------|------|
| 小 5 | 1 | (1) | $60 \times 2.3$                    | 138             | 88.0 |
| 小 5 | 1 | (2) | $0.58 \times 2.4$                  | 1392            | 79.1 |
| 小 5 | 1 | (3) | $77 \div 0.9$                      | 85.6            | 50.8 |
| 小 5 | 1 | (4) | $\frac{3}{4} + \frac{1}{3}$        | $\frac{13}{12}$ | 86.9 |
| 小 5 | 1 | (5) | $\frac{4}{7} \times 5$             | $\frac{20}{7}$  | 87.7 |
| 小 5 | 1 | (6) | $\frac{5}{6} \div 3$               | $\frac{5}{18}$  | 82.7 |
| 小 5 | 1 | (7) | $50 + 150 \times 2$                | 350             | 55.5 |
| 小 6 | 1 | (1) | $\frac{3}{4} + \frac{1}{3}$        | $\frac{13}{12}$ | 75.6 |
| 小 6 | 1 | (2) | $\frac{5}{6} \times \frac{3}{2}$   | $\frac{5}{4}$   | 88.9 |
| 小 6 | 1 | (3) | $\frac{10}{7} \div 2$              | $\frac{5}{7}$   | 91.1 |
| 小 6 | 1 | (4) | $2 \frac{1}{4} \times \frac{2}{3}$ | $\frac{3}{2}$   | 88.0 |
| 小 6 | 1 | (5) | $50 + 150 \times 2$                | 350             | 54.8 |
|     |   |     |                                    |                 | 79.9 |

《中学校》

| 学年  | 問題番号 |      | 問題                                                  | 正答                                           | 正答率(%) |
|-----|------|------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------|--------|
| 中 1 | 1    | (1)  | $\frac{3}{4} + \frac{1}{3}$                         | $\frac{13}{12}$                              | 86.4   |
| 中 1 | 1    | (2)  | $\frac{5}{6} \times \frac{3}{4}$                    | $\frac{5}{8}$                                | 88.6   |
| 中 1 | 10   | (1)  | $(+2) + (-7)$                                       | -5                                           | 92.3   |
| 中 1 | 10   | (2)  | $-6 - 1$                                            | -7                                           | 87.9   |
| 中 1 | 10   | (3)  | $8 + (-3) \times 2$                                 | 2                                            | 78.4   |
| 中 1 | 13   | (1)① | $6a - a$                                            | $5a$                                         | 76.1   |
| 中 1 | 13   | ②    | $(4a+5) - (2a-3)$                                   | $2a + 8$                                     | 53.0   |
| 中 1 | 13   | ③    | $(12x-8) \div 4$                                    | $3x - 2$                                     | 60.4   |
| 中 2 | 1    | (1)  | $\frac{3}{4} + \frac{1}{3}$                         | $\frac{13}{12}$                              | 84.3   |
| 中 2 | 1    | (2)  | $12ab \div 3a \times 4b$                            | $16b^2$                                      | 73.3   |
| 中 2 | 1    | (3)  | $(4x+5y) - (2x-3y)$                                 | $2x+8y$                                      | 79.5   |
| 中 2 | 4    | (1)  | $\begin{cases} 3x + y = 7 \\ x - y = 1 \end{cases}$ | $\begin{matrix} x = 2 \\ y = 1 \end{matrix}$ | 78.6   |
| 中 2 | 4    | (2)  | $\begin{matrix} y = 3x \\ 2x + y = 5 \end{matrix}$  | $\begin{matrix} x = 1 \\ y = 3 \end{matrix}$ | 74.7   |
|     |      |      |                                                     |                                              | 78.0   |

③ 英語のリスニングの正答率(%)

〔平成 23 年度〕

|     | リスニング | 全体   | 差     |
|-----|-------|------|-------|
| 中 1 | 89.4  | 76.2 | +13.2 |
| 中 2 | 76.1  | 67.8 | +8.3  |
| 平均  | 82.8  | 72.0 | +10.8 |

〔平成 24 年度〕

|     | リスニング | 全体   | 差     |
|-----|-------|------|-------|
| 中 1 | 88.4  | 84.0 | +4.4  |
| 中 2 | 74.6  | 63.8 | +10.8 |
| 平均  | 81.5  | 73.9 | +7.6  |

## 結果 2 (小学校)

小学校では、全体として概ね学習内容は定着しているが、昨年度課題であった国語の「書く能力」については、今年度も課題である。

### ① 平均正答率

(単位 %)

|    | 3年   | 4年   | 5年   | 6年   | 全学年  |
|----|------|------|------|------|------|
| 国語 | 55.4 | 64.4 | 65.2 | 65.8 | 62.8 |
| 社会 |      |      | 71.8 | 77.8 | 74.8 |
| 算数 | 76.3 | 72.6 | 74.1 | 80.0 | 75.8 |
| 理科 |      |      | 63.6 | 67.9 | 65.8 |
| 平均 | 65.9 | 68.5 | 68.7 | 72.9 | 69.6 |

### ② 調査内容別平均正答率

〔基礎的・基本的な知識・技能〕

(単位 %)

|    | 3年   | 4年   | 5年   | 6年   | 全学年  |
|----|------|------|------|------|------|
| 国語 | 56.4 | 66.1 | 65.4 | 68.2 | 64.1 |
| 社会 |      |      | 71.4 | 79.4 | 75.5 |
| 算数 | 81.4 | 72.7 | 74.7 | 80.2 | 77.2 |
| 理科 |      |      | 63.4 | 72.0 | 67.8 |

〔思考・判断・表現〕

(単位 %)

|    | 3年   | 4年   | 5年   | 6年   | 全学年  |
|----|------|------|------|------|------|
| 国語 | 51.2 | 56.8 | 64.9 | 59.3 | 58.1 |
| 社会 |      |      | 73.8 | 71.1 | 72.4 |
| 算数 | 62.7 | 72.3 | 72.8 | 79.8 | 72.0 |
| 理科 |      |      | 64.1 | 62.3 | 63.2 |

### ③ 観点別平均正答率

〔国語〕

(単位 %)

| 観点                | 3年   | 4年   | 5年   | 6年   | 全学年  |
|-------------------|------|------|------|------|------|
| Ⅱ 話す・聞く能力         | 48.1 | 77.5 | 80.5 | 85.0 | 73.0 |
| Ⅲ 書く能力            | 54.3 | 66.0 | 58.2 | 56.1 | 58.6 |
| Ⅳ 読む能力            | 55.6 | 62.1 | 62.1 | 60.6 | 60.1 |
| Ⅴ 言語についての知識・理解・技能 | 58.5 | 61.1 | 64.4 | 64.6 | 62.2 |

〔社会〕

(単位 %)

| 観点                | 3年 | 4年 | 5年   | 6年   | 全学年  |
|-------------------|----|----|------|------|------|
| Ⅱ 社会的な思考・判断・表現    |    |    | 73.8 | 71.1 | 72.4 |
| Ⅲ 観察・資料活用 of 技能   |    |    | 71.1 | 85.6 | 78.5 |
| Ⅳ 社会的事象についての知識・理解 |    |    | 71.5 | 75.6 | 73.6 |

〔算数〕

(単位 %)

| 観点                | 3年   | 4年   | 5年   | 6年   | 全学年  |
|-------------------|------|------|------|------|------|
| Ⅱ 数学的な考え方         | 62.7 | 72.3 | 70.6 | 79.8 | 71.5 |
| Ⅲ 数量や図形についての技能    | 82.9 | 77.4 | 74.3 | 78.4 | 78.2 |
| Ⅳ 数量や図形についての知識・理解 | 80.2 | 67.1 | 77.1 | 83.4 | 77.0 |

〔理科〕

(単位 %)

| 観点               | 3年 | 4年 | 5年   | 6年   | 全学年  |
|------------------|----|----|------|------|------|
| Ⅱ 科学的な思考・表現      |    |    | 64.1 | 62.3 | 63.2 |
| Ⅲ 観察・実験の技能       |    |    | 71.5 | 72.9 | 72.2 |
| Ⅳ 自然事象についての知識・理解 |    |    | 61.0 | 71.7 | 66.4 |

### 結果3 (中学校)

中学校では、「基礎的・基本的な知識・技能」については、昨年度と同様に国語、数学、英語で概ね定着しているが、社会、理科では課題が見られる。  
また、「思考・判断・表現」については、数学、英語を除いて、今年度も課題である。

#### ① 平均正答率

(単位 %)

|     | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|-----|------|------|------|
| 国 語 | 63.8 | 65.0 | 64.4 |
| 社 会 | 68.2 | 59.4 | 63.8 |
| 数 学 | 70.6 | 64.8 | 67.7 |
| 理 科 | 58.3 | 62.3 | 60.3 |
| 英 語 | 84.0 | 63.3 | 73.6 |
| 平 均 | 69.0 | 63.0 | 66.0 |

#### ② 調査内容別平均正答率

〔基礎的・基本的な知識・技能〕

〔思考・判断・表現〕

(単位 %)

|     | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|-----|------|------|------|
| 国 語 | 63.8 | 69.8 | 66.8 |
| 社 会 | 69.6 | 59.8 | 64.7 |
| 数 学 | 71.9 | 63.7 | 67.8 |
| 理 科 | 63.3 | 64.3 | 63.8 |
| 英 語 | 84.5 | 69.3 | 76.9 |

|     | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|-----|------|------|------|
| 国 語 | 64.2 | 46.7 | 55.4 |
| 社 会 | 63.6 | 58.4 | 61.0 |
| 数 学 | 65.7 | 68.6 | 67.2 |
| 理 科 | 47.2 | 57.9 | 52.5 |
| 英 語 | 82.0 | 45.8 | 63.9 |

#### ③ 観点別平均正答率

〔国語〕

(単位 %)

|   | 観点              | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|---|-----------------|------|------|------|
| Ⅱ | 話す・聞く能力         | 85.3 | 70.5 | 77.9 |
| Ⅲ | 書く能力            | 57.5 | 58.0 | 57.8 |
| Ⅳ | 読む能力            | 63.7 | 57.4 | 60.5 |
| Ⅴ | 言語についての知識・理解・技能 | 59.0 | 73.0 | 66.0 |

〔社会〕

(単位 %)

|   | 観点              | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|---|-----------------|------|------|------|
| Ⅱ | 社会的な思考・判断・表現    | 63.6 | 58.1 | 61.0 |
| Ⅲ | 資料活用 of 技能      | 65.5 | 61.1 | 63.3 |
| Ⅳ | 社会的事象についての知識・理解 | 71.3 | 59.1 | 65.2 |

〔数学〕

(単位 %)

|   | 観点                | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|---|-------------------|------|------|------|
| Ⅱ | 数学的な見方や考え方        | 65.7 | 68.6 | 67.2 |
| Ⅲ | 数学的な技能            | 76.3 | 65.8 | 71.0 |
| Ⅳ | 数量や図形などについての知識・理解 | 62.1 | 61.0 | 61.6 |

〔理科〕

(単位 %)

|   | 観点             | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|---|----------------|------|------|------|
| Ⅱ | 科学的な思考・表現      | 47.2 | 57.9 | 52.5 |
| Ⅲ | 観察・実験の技能       | 60.8 | 67.2 | 64.0 |
| Ⅳ | 自然事象についての知識・理解 | 65.0 | 61.9 | 63.4 |

〔英語〕

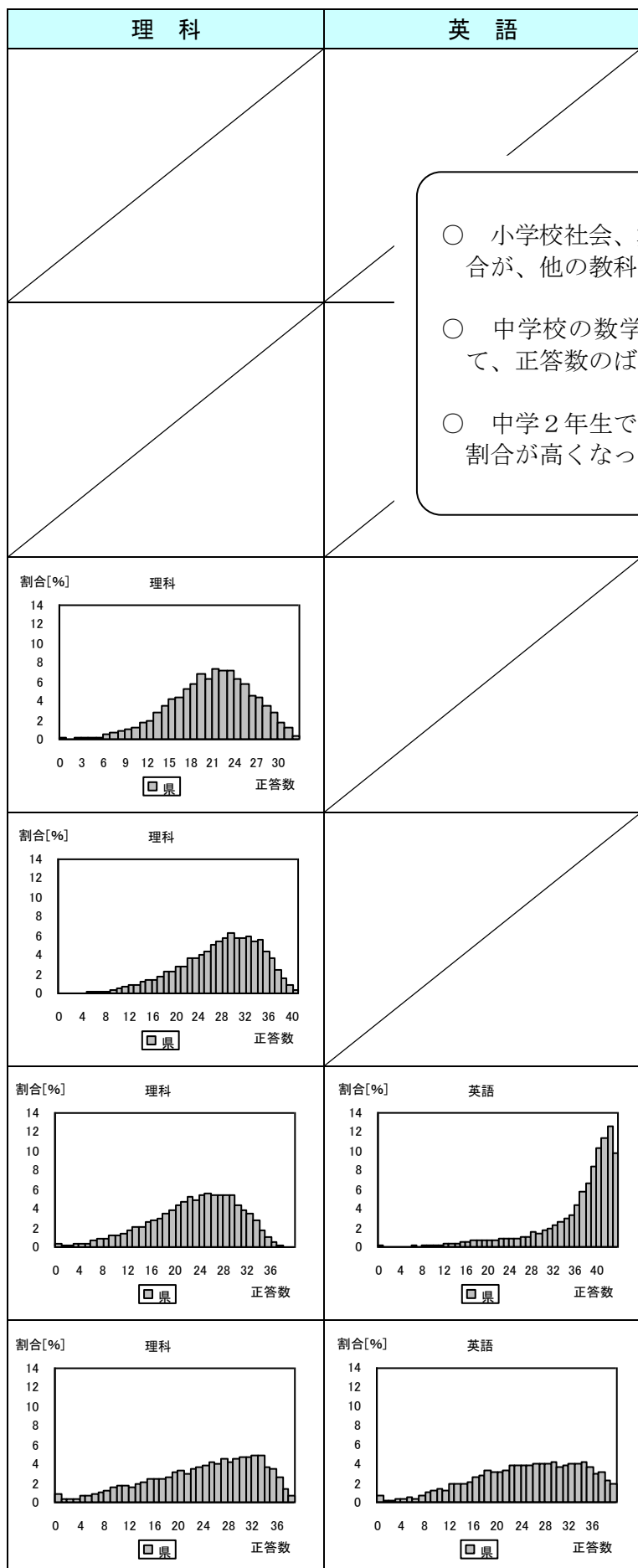
(単位 %)

|   | 観点              | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|---|-----------------|------|------|------|
| Ⅱ | 外国語表現の能力        | 80.4 | 54.8 | 67.6 |
| Ⅲ | 外国語理解の能力        | 85.8 | 66.3 | 76.1 |
| Ⅳ | 言語や文化についての知識・理解 | 84.0 | 72.2 | 78.1 |

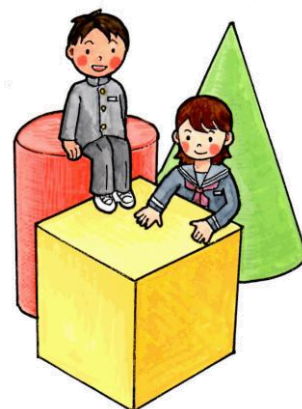
# 結果 4

各教科において、学年が上がるにつれて正答数の上位層の割合が少なくなり、中位層から下位層の割合が多くなっている。

| 学年      | 国 語                               | 社 会                               | 算数・数学                             |
|---------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 小学校第3学年 | <p>割合[%]</p> <p>国語</p> <p>正答数</p> |                                   | <p>割合[%]</p> <p>算数</p> <p>正答数</p> |
| 小学校第4学年 | <p>割合[%]</p> <p>国語</p> <p>正答数</p> |                                   | <p>割合[%]</p> <p>算数</p> <p>正答数</p> |
| 小学校第5学年 | <p>割合[%]</p> <p>国語</p> <p>正答数</p> | <p>割合[%]</p> <p>社会</p> <p>正答数</p> | <p>割合[%]</p> <p>算数</p> <p>正答数</p> |
| 小学校第6学年 | <p>割合[%]</p> <p>国語</p> <p>正答数</p> | <p>割合[%]</p> <p>社会</p> <p>正答数</p> | <p>割合[%]</p> <p>算数</p> <p>正答数</p> |
| 中学校第1学年 | <p>割合[%]</p> <p>国語</p> <p>正答数</p> | <p>割合[%]</p> <p>社会</p> <p>正答数</p> | <p>割合[%]</p> <p>数学</p> <p>正答数</p> |
| 中学校第2学年 | <p>割合[%]</p> <p>国語</p> <p>正答数</p> | <p>割合[%]</p> <p>社会</p> <p>正答数</p> | <p>割合[%]</p> <p>数学</p> <p>正答数</p> |

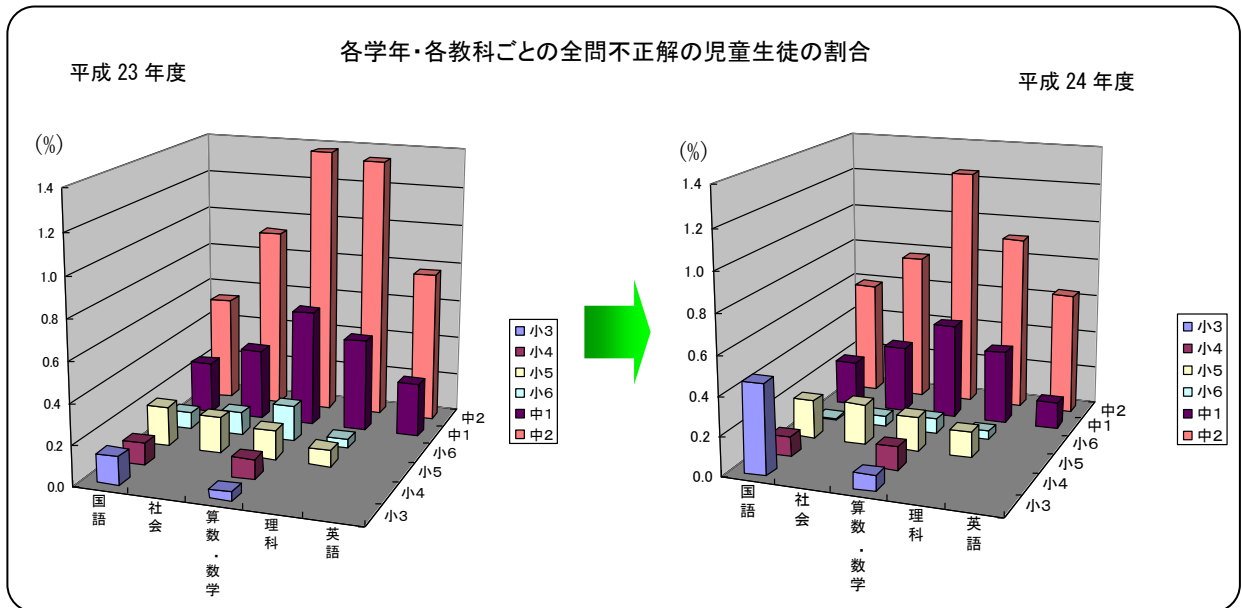


- 小学校社会、算数、英語では、全問正解の児童の割合が、他の教科と比較して多くなっている。
- 中学校の数学や理科では、小学校との比較において、正答数のばらつきが大きくなる傾向が見られる。
- 中学2年生で、各教科において全問不正解の生徒の割合が高くなっている。



## 結果 5

昨年度は、中学校 2 年生で全問不正解の生徒の割合が多く、課題となっていたが、今年度は小学校に比べ中学校において全問不正解の割合は高いものの、昨年度に比べて、全問不正解の生徒の割合が減少している。



## 結果 6

同一問題の平均正答率を比較すると、昨年度に比べて、「3%以上上回る」「ほぼ同等」の問題数の割合は、小学校で約 89%、中学校で約 75%となっており、定着状況が向上していると考えられる。

### ① 問題数

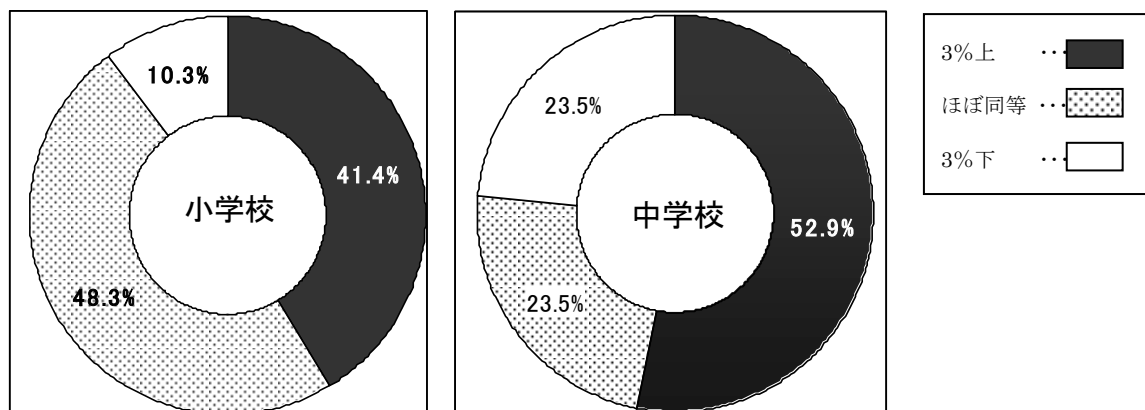
《小学校》

|    | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計  |
|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 国語 | 1   | 1   | 1   | 1   | 4  |
| 社会 |     |     | 3   | 1   | 4  |
| 算数 | 4   | 2   | 2   | 0   | 8  |
| 理科 |     |     | 7   | 6   | 13 |
| 計  | 5   | 3   | 13  | 8   | 29 |

《中学校》

|    | 1 年 | 2 年 | 計  |
|----|-----|-----|----|
| 国語 | 0   | 2   | 2  |
| 社会 | 1   | 0   | 1  |
| 数学 | 2   | 5   | 7  |
| 理科 | 2   | 3   | 5  |
| 英語 | 2   | 2   | 4  |
| 計  | 7   | 12  | 19 |

### ② 同一問題（類似問題を含む）の正答率比較（H24－H23）

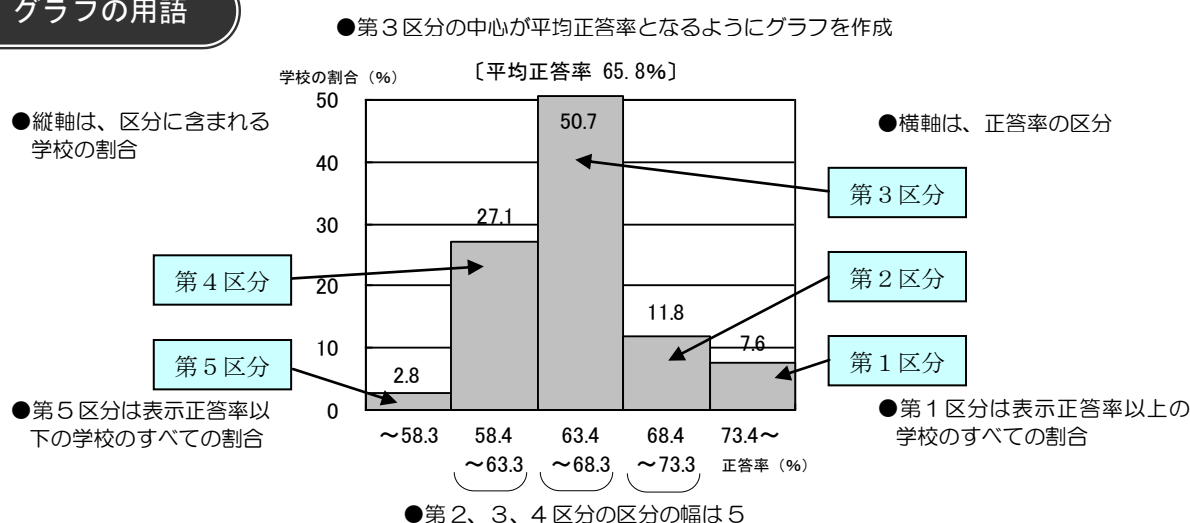


### Ⅲ 平均正答率の分布

#### 作成の目的

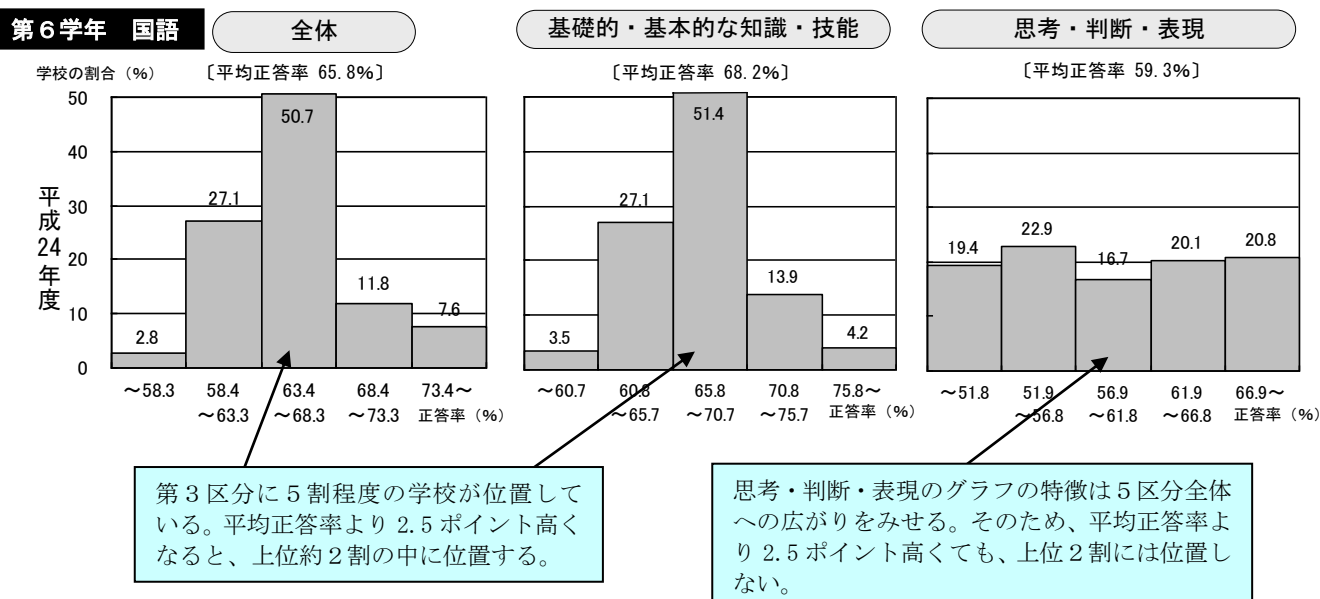
今までは県データについて、児童生徒の平均正答率を提示してきたが、各学校が自校の状況をより多面的に捉えることができるよう、県の平均正答率に加えて、調査実施学年の児童生徒数が20名以上の学校の平均正答率を5段階（区分）に分けて、その割合も示すこととした。これにより、県平均と比べてどの程度高いか・低いかで判断するだけでなく、5段階（区分）ではあるが、県内の各学年における教科・内容別の平均正答率の散らばり具合の中で、自校の県内での位置もある程度判断することができ、目標や課題もより明確にできるものとする。

#### グラフの用語



○グラフの作成に際し、調査実施学年の児童生徒数が20名以上の学校を対象とした。

#### グラフの見方（例）



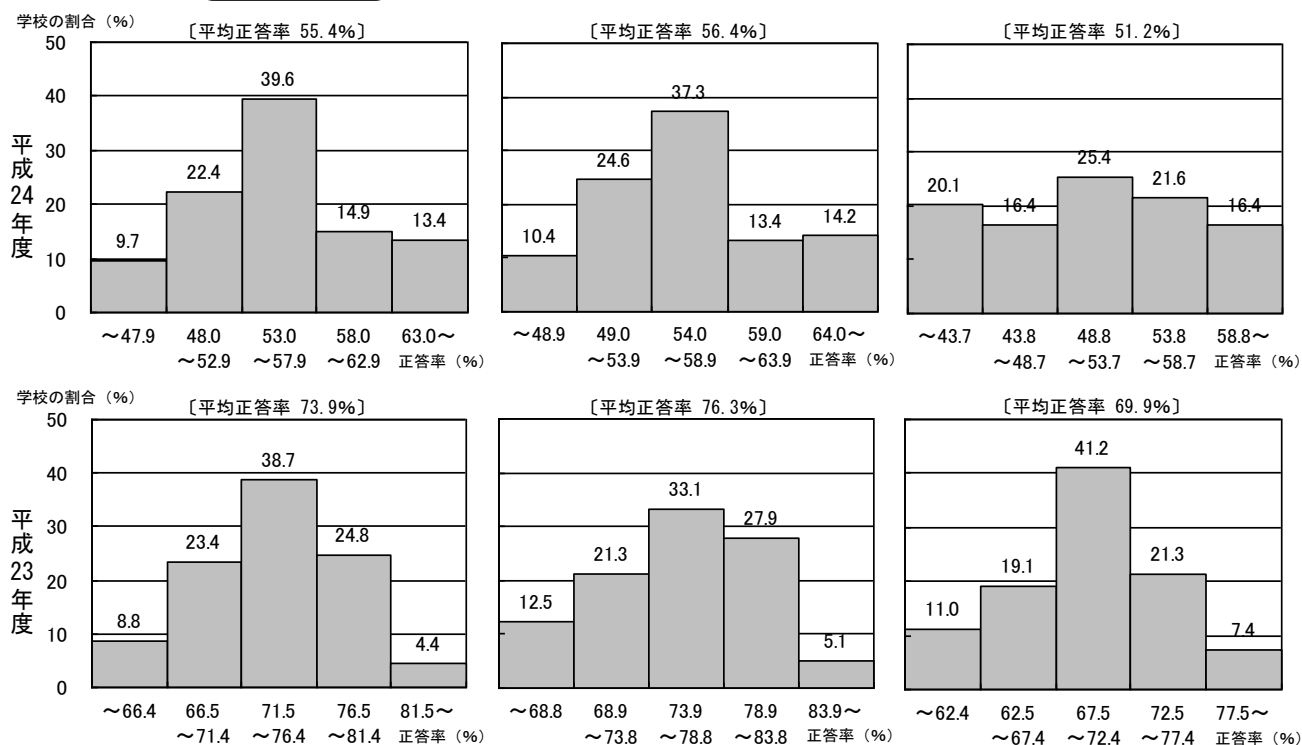
## 平均正答率の分布（小学校）

### 第3学年 国語

#### 全体

#### 基礎的・基本的な知識・技能

#### 思考・判断・表現

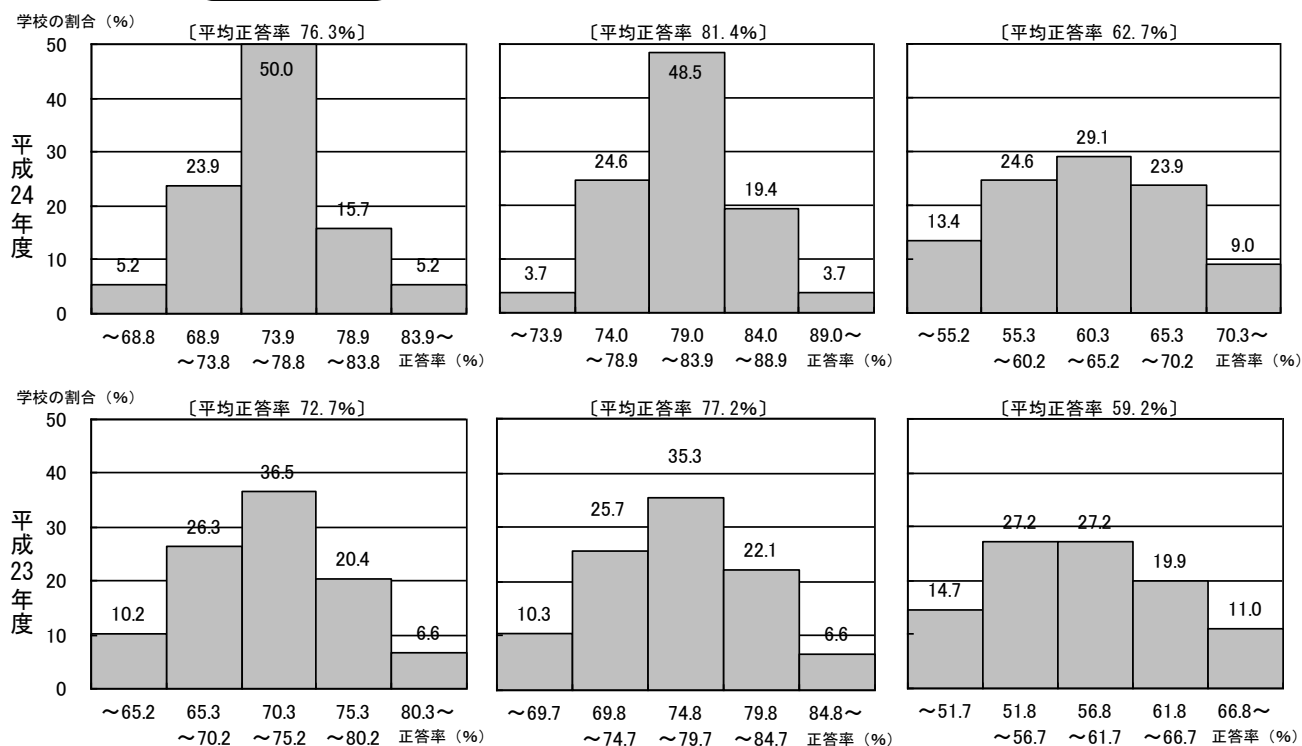


### 第3学年 算数

#### 全体

#### 基礎的・基本的な知識・技能

#### 思考・判断・表現



- 平成24年度第3学年国語の「思考・判断・表現」においては、各区分に位置する学校の割合が2割前後となっており、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。
- 平成24年度第3学年算数の「思考・判断・表現」においては、「基礎的・基本的な知識・技能」と比べて、第1区分と第5区分に位置する学校の割合が、約5～10%高く、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。

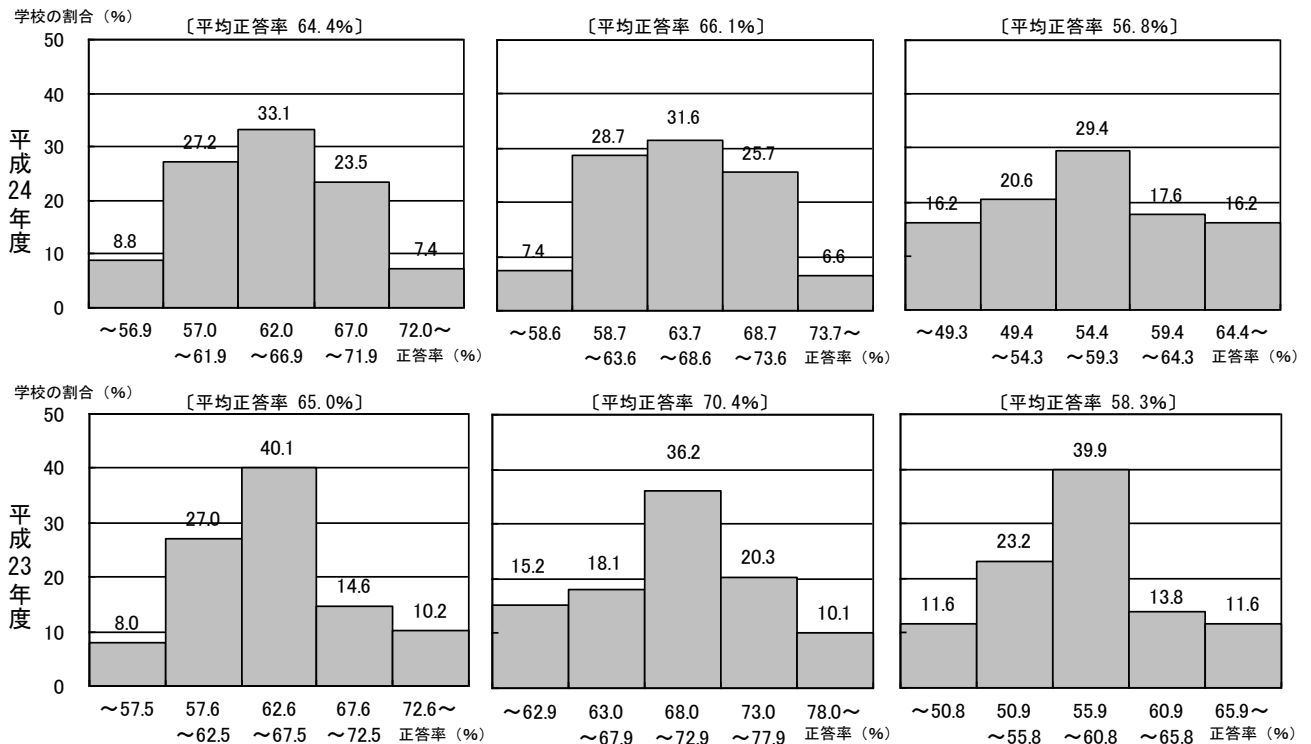
平均正答率の分布（小学校）

第4学年 国語

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現

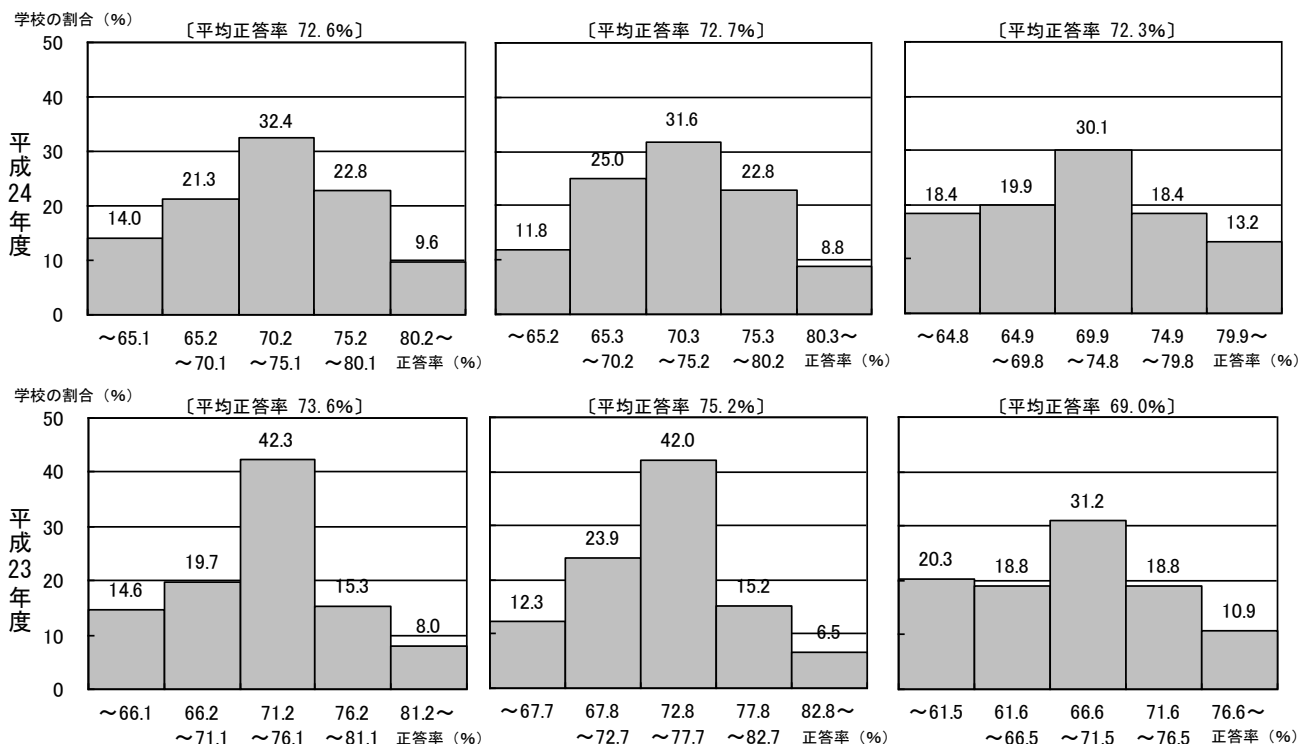


第4学年 算数

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現



- 平成24年度第4学年国語の「思考・判断・表現」においては、「基礎的・基本的な知識・技能」と比べて、第1区分と第5区分に位置する学校の割合が、それぞれ約10%高く、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。
- 平成24年度第4学年算数の「思考・判断・表現」においても、「基礎的・基本的な知識・技能」と比べて、第1区分と第5区分に位置する学校の割合が、約4~7%高く、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。

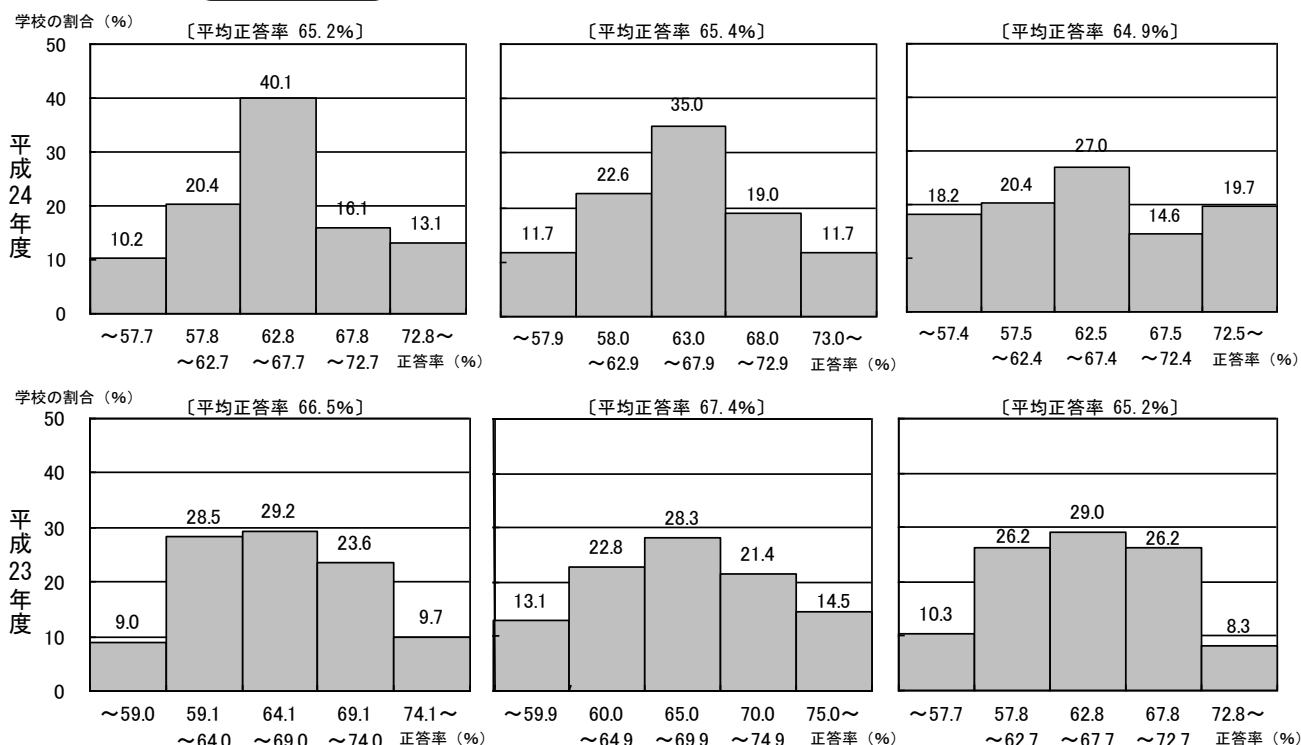
# 平均正答率の分布（小学校）

## 第5学年 国語

### 全体

### 基礎的・基本的な知識・技能

### 思考・判断・表現

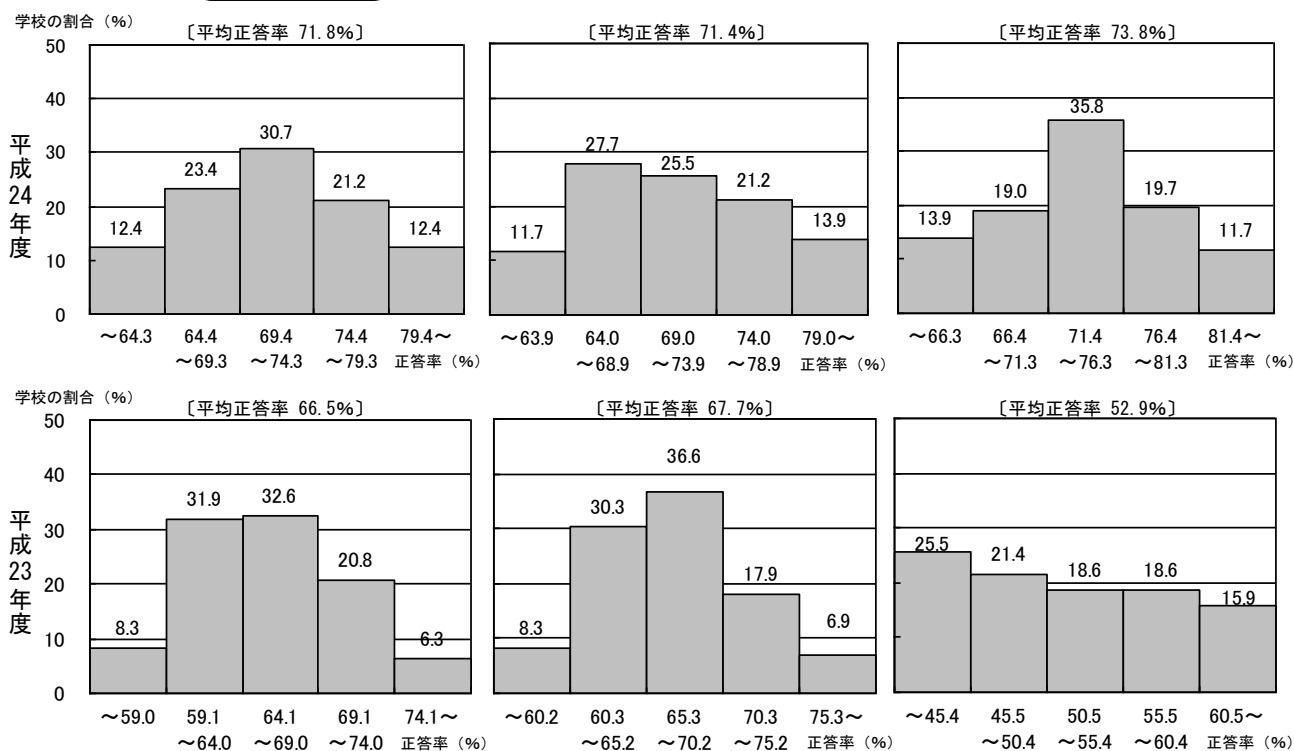


## 第5学年 社会

### 全体

### 基礎的・基本的な知識・技能

### 思考・判断・表現



- 平成24年度第5学年国語の「思考・判断・表現」においては、「基礎的・基本的な知識・技能」と比べて、第1区分と第5区分に位置する学校の割合が、約7～8%高く、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。
- 平成24年度第5学年社会の「基礎的・基本的な知識・技能」と「思考・判断・表現」における第1区分と第5区分に位置する学校の割合には、大きな差は見られない。

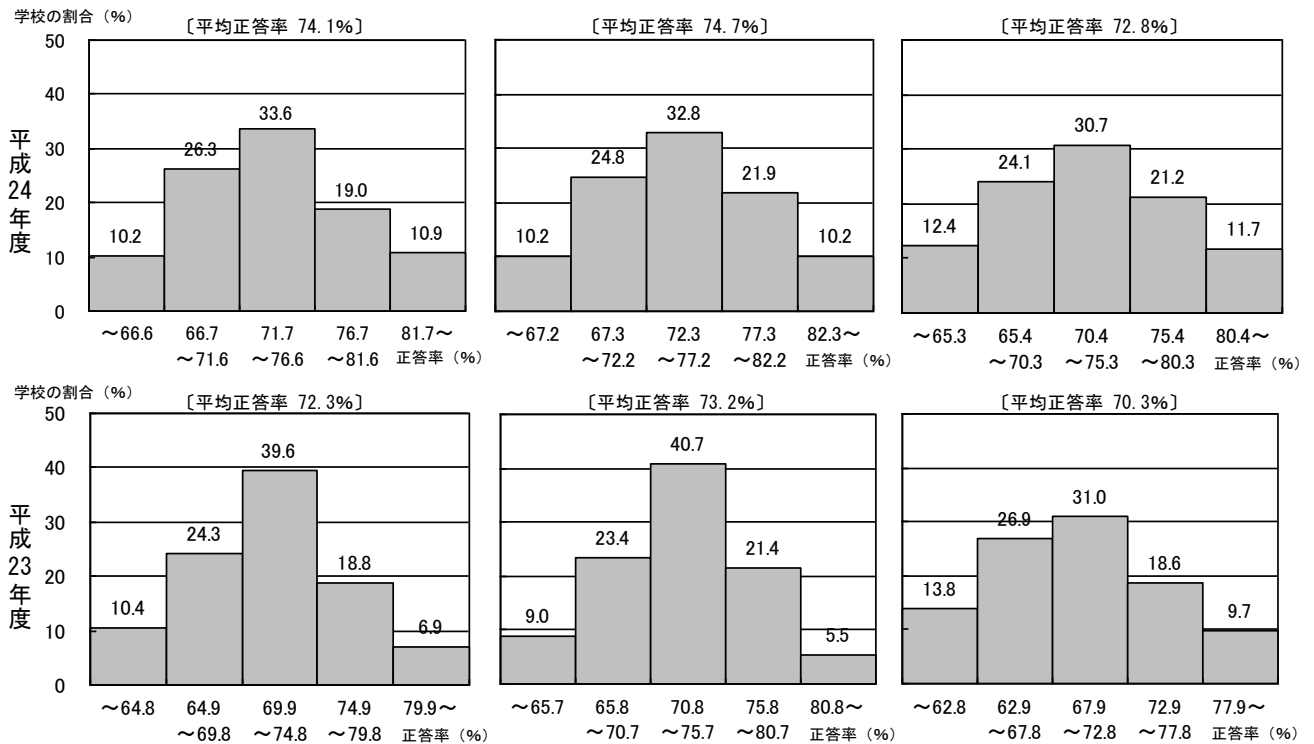
平均正答率の分布（小学校）

第5学年 算数

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現

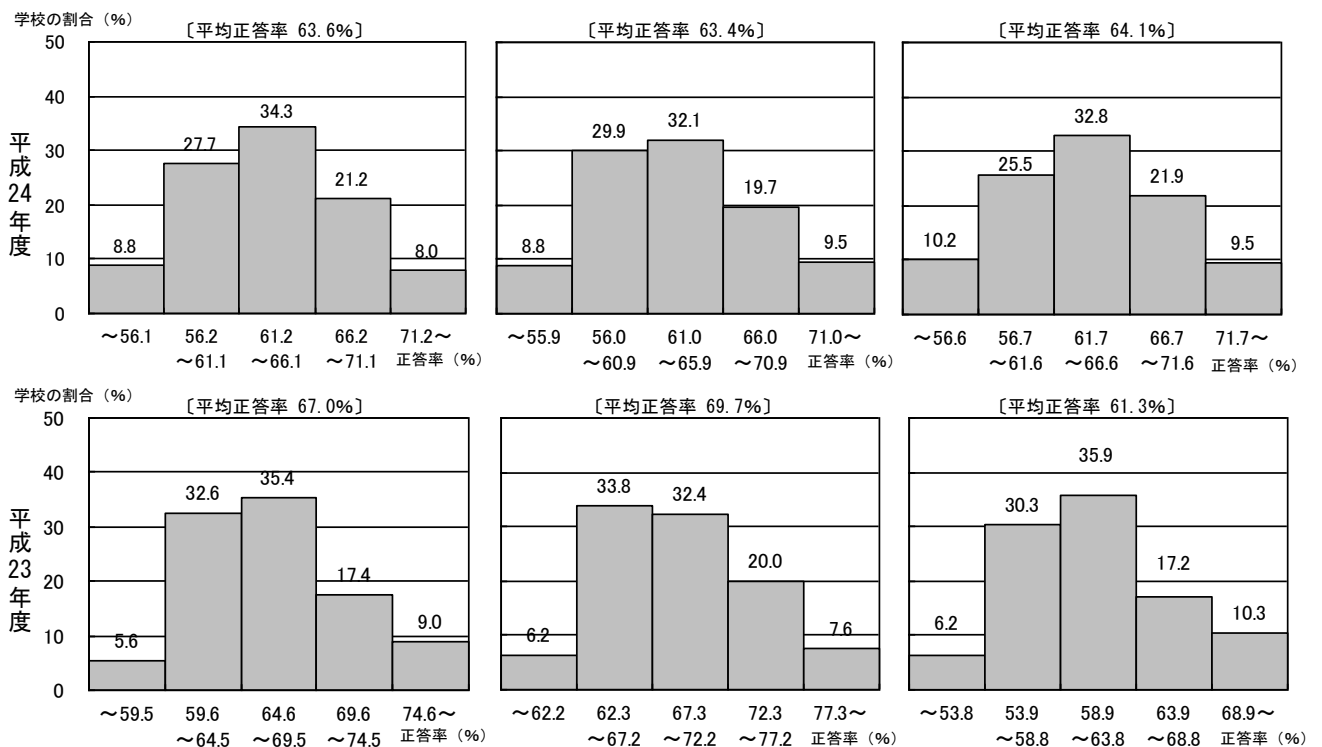


第5学年 理科

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現



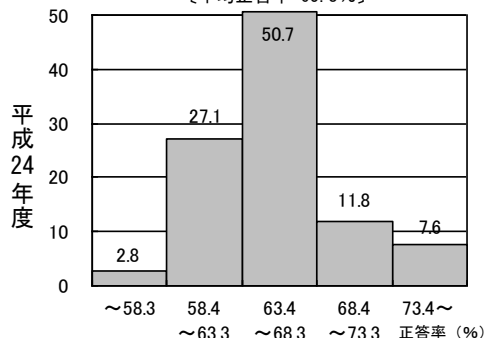
○ 平成24年度第5学年算数及び理科の「基礎的・基本的な知識・技能」と「思考・判断・表現」における各区分に位置する学校の割合には、大きな差は見られない。

# 平均正答率の分布（小学校）

## 第6学年 国語

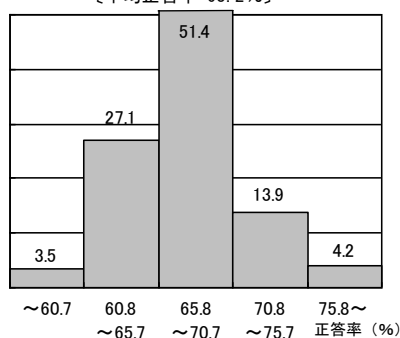
### 全体

学校の割合（％）〔平均正答率 65.8％〕



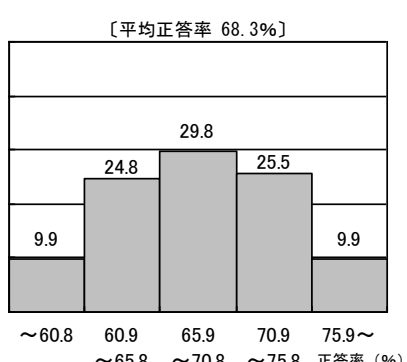
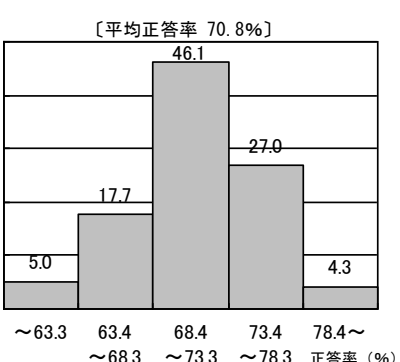
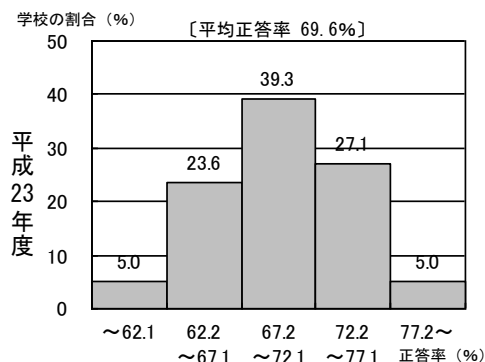
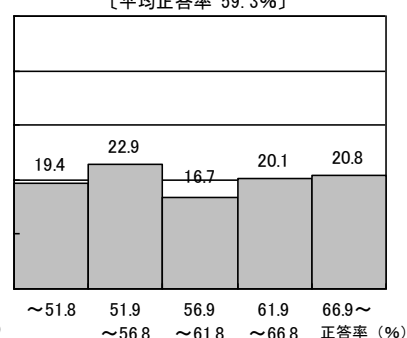
### 基礎的・基本的な知識・技能

〔平均正答率 68.2％〕



### 思考・判断・表現

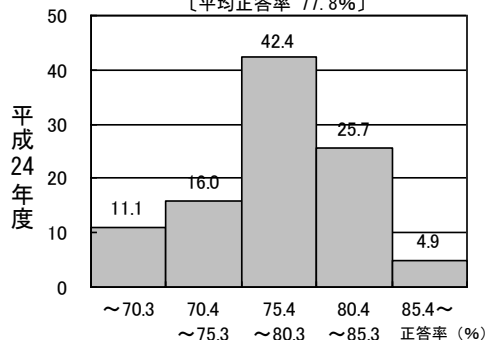
〔平均正答率 59.3％〕



## 第6学年 社会

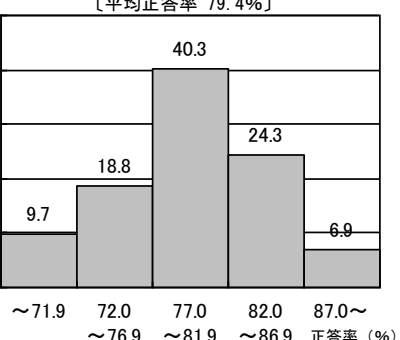
### 全体

学校の割合（％）〔平均正答率 77.8％〕



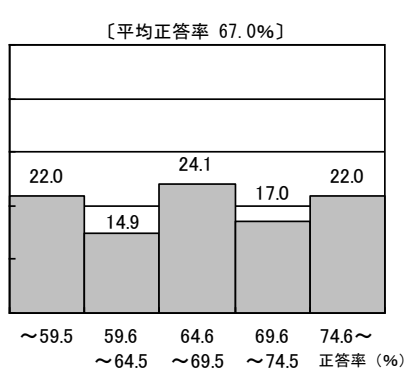
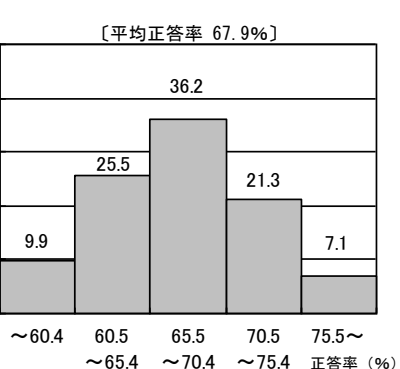
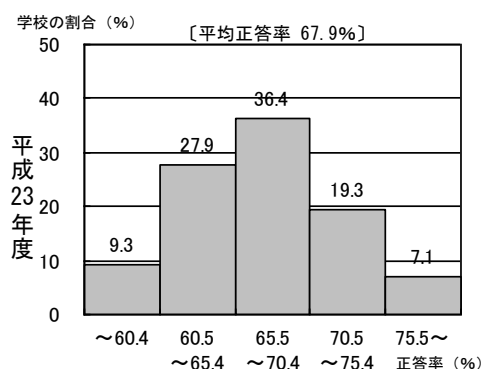
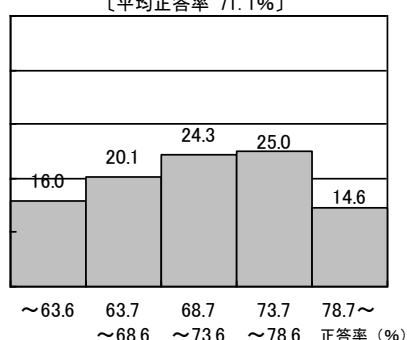
### 基礎的・基本的な知識・技能

〔平均正答率 79.4％〕



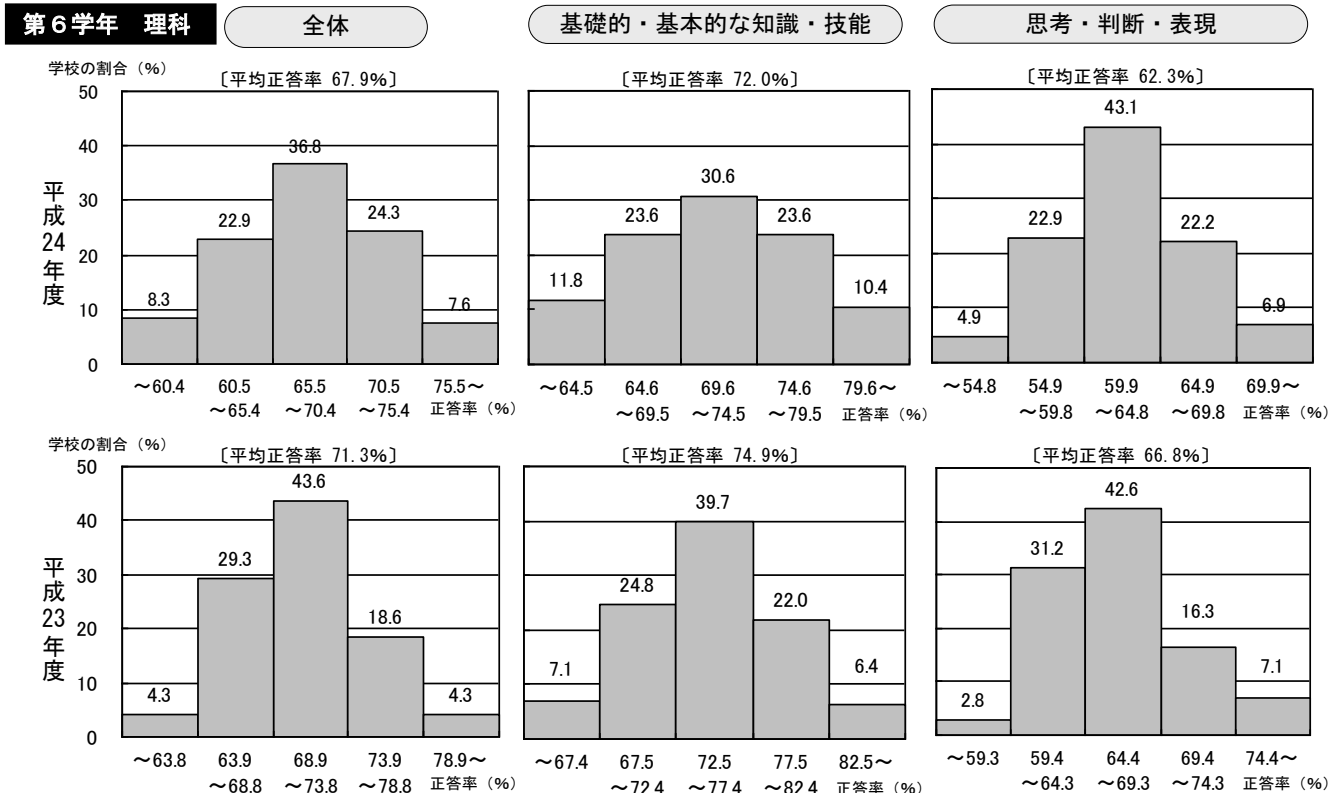
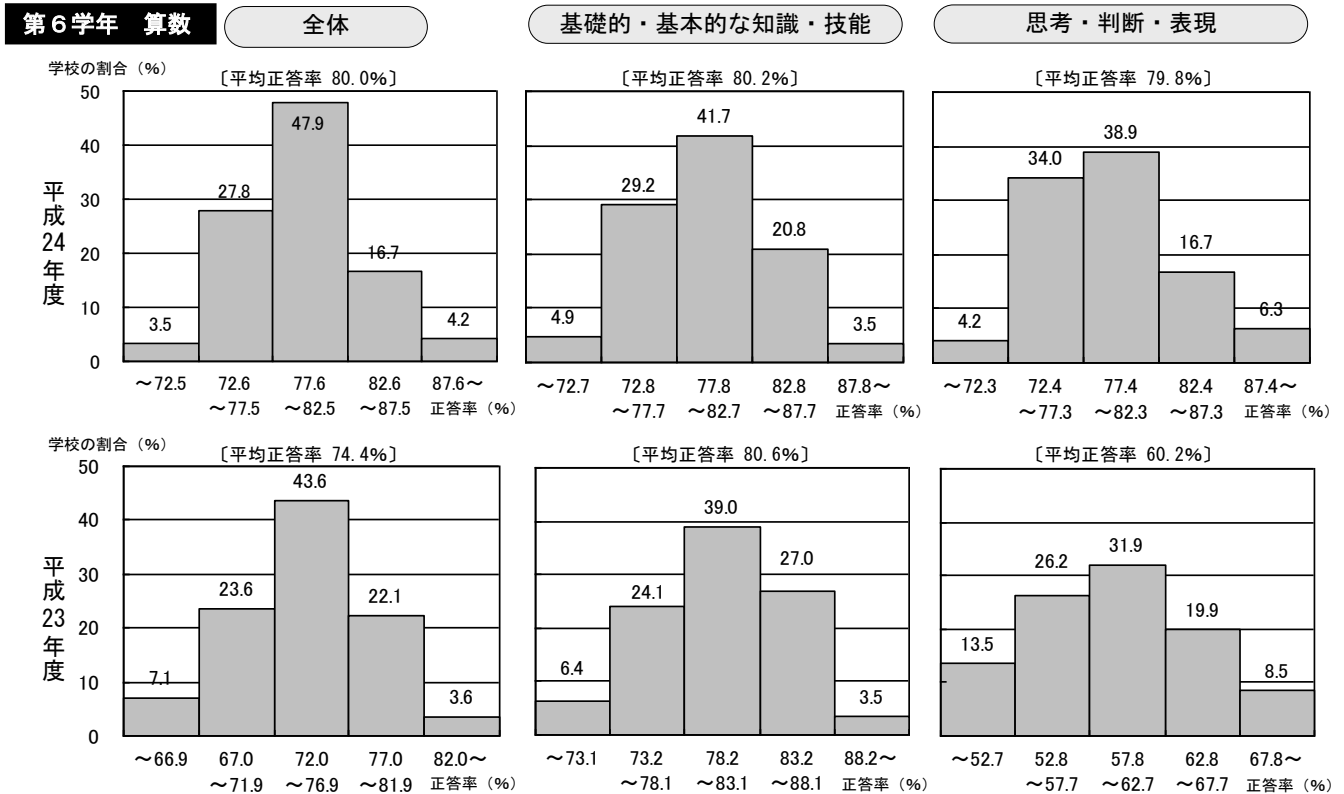
### 思考・判断・表現

〔平均正答率 71.1％〕



- 平成24年度第6学年国語の「思考・判断・表現」においては、各区分に位置する学校の割合が2割前後となっており、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。
- 平成24年度第6学年社会の「思考・判断・表現」においては、「基礎的・基本的な知識・技能」と比べて、第1区分と第5区分に位置する学校の割合が、約6～8%高く、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。

平均正答率の分布（小学校）



- 平成24年度第6学年算数の「基礎的・基本的な知識・技能」と「思考・判断・表現」における各区分に位置する学校の割合には、大きな差は見られない。
- 平成24年度第6学年理科の「基礎的・基本的な知識・技能」においては、「思考・判断・表現」と比べて、第1区分が約4%、第5区分が約7%高く、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。

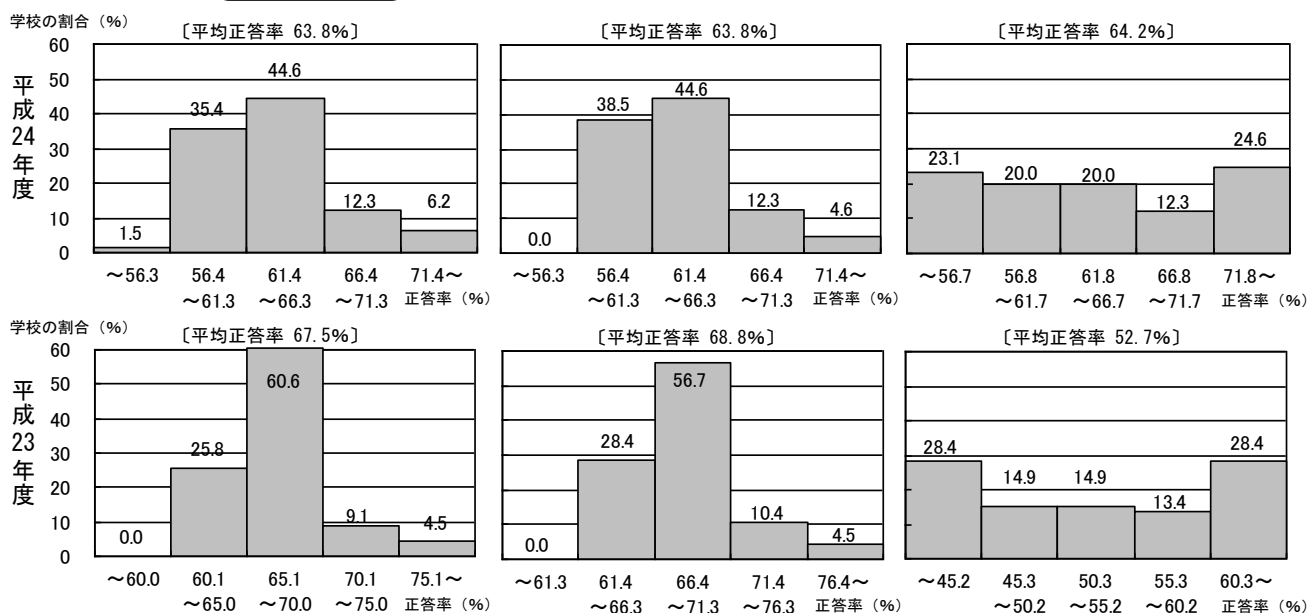
# 平均正答率の分布（中学校）

## 第1学年 国語

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現

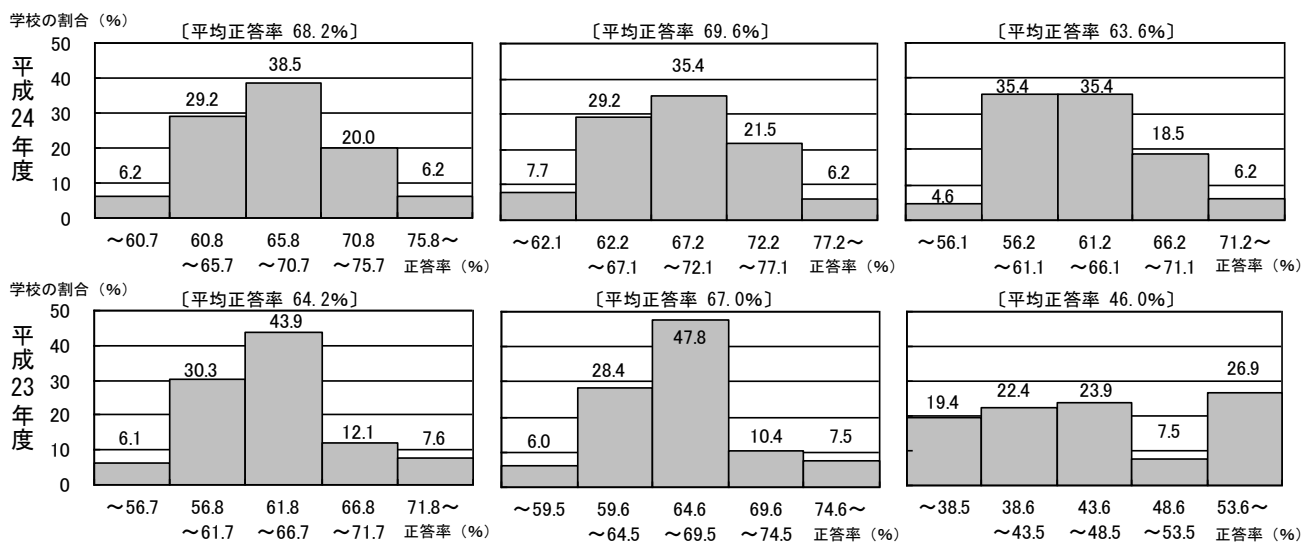


## 第1学年 社会

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現

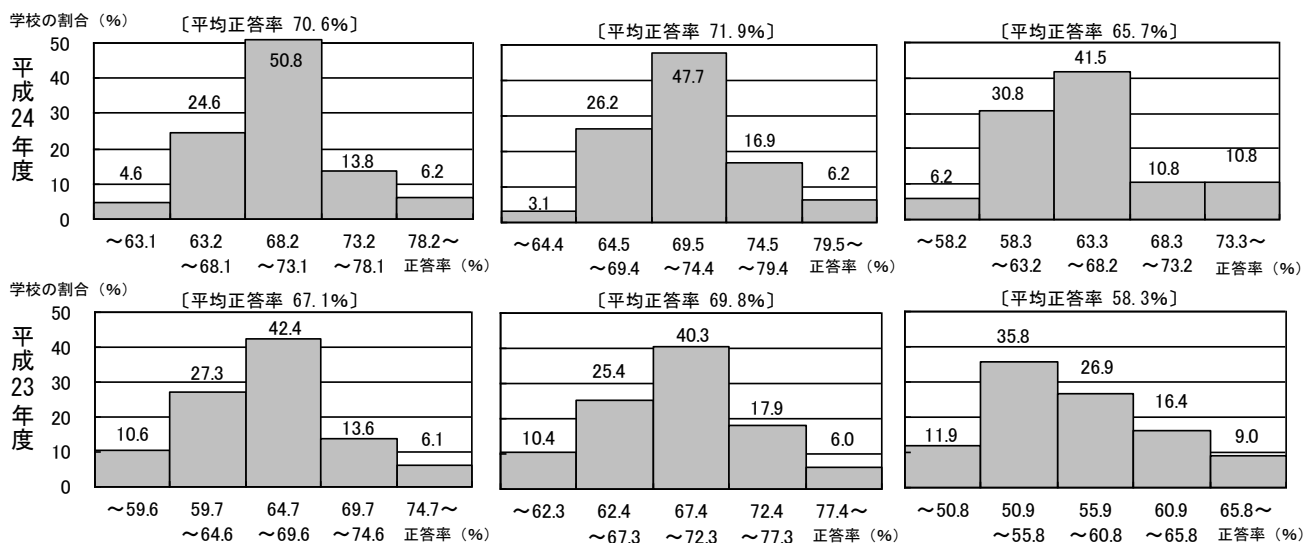


## 第1学年 数学

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現



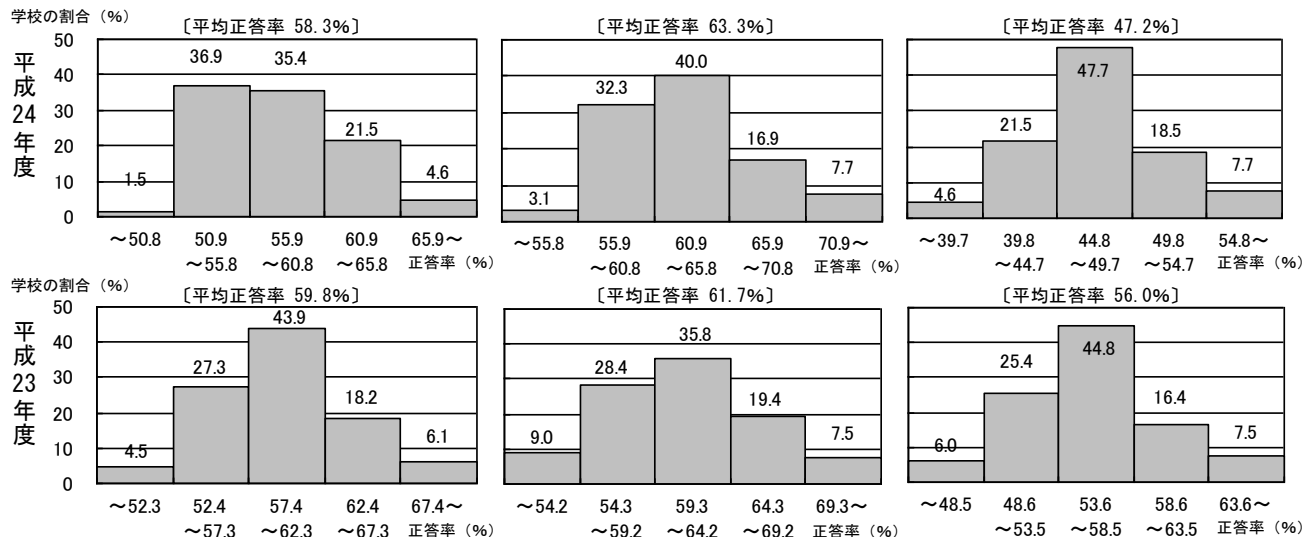
平均正答率の分布（中学校）

第1学年 理科

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現

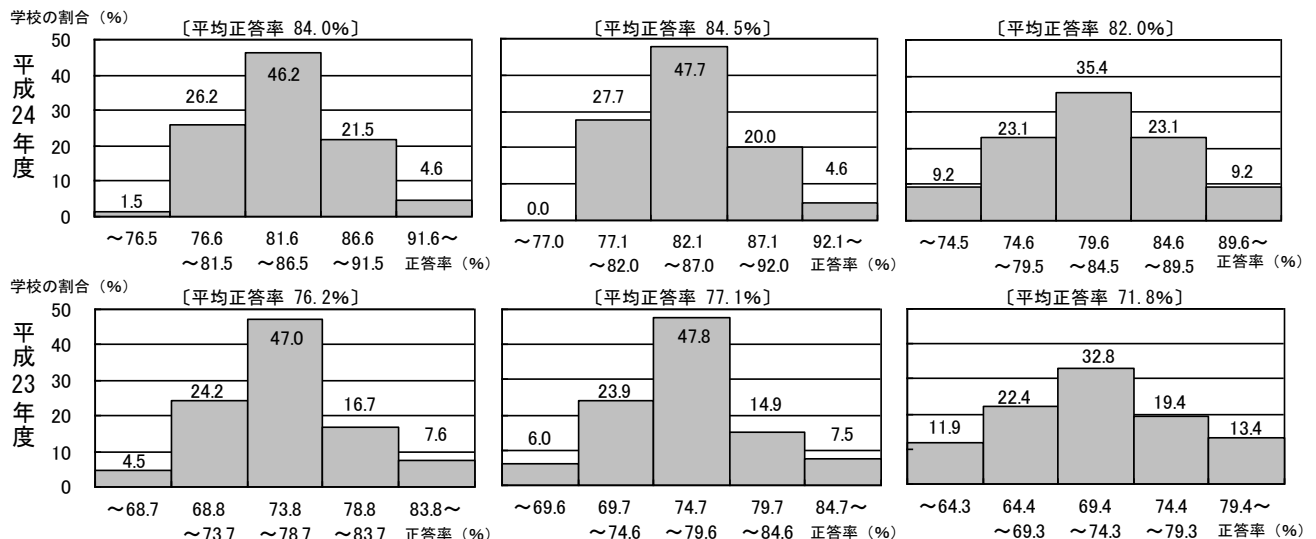


第1学年 英語

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現



- 平成24年度第1学年国語の「思考・判断・表現」においては、各区分に位置する学校の割合が2割前後となっており、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。
- 平成24年度第1学年社会の「基礎的・基本的な知識・技能」と「思考・判断・表現」における第1区分と第5区分に位置する学校の割合には、大きな差は見られない。
- 平成24年度第1学年数学の「思考・判断・表現」においては、「基礎的・基本的な知識・技能」と比べて、第1区分と第5区分に位置する学校の割合が、約3～5％高く、各学校の平均正答率のばらつきがやや大きい。
- 平成24年度第1学年理科の「基礎的・基本的な知識・技能」と「思考・判断・表現」における第1区分と第5区分に位置する学校の割合には、大きな差は見られない。
- 平成24年度第1学年英語の「思考・判断・表現」においては、「基礎的・基本的な知識・技能」と比べて、第1区分と第5区分に位置する学校の割合が、約5～9％高く、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。



# 平均正答率の分布（中学校）

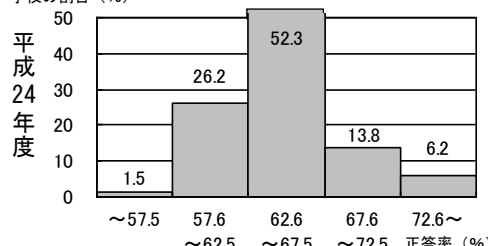
## 第2学年 国語

全体

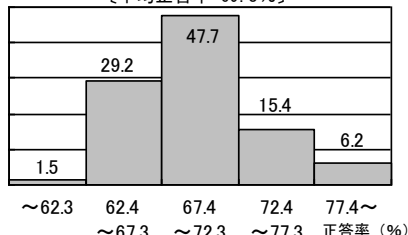
基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現

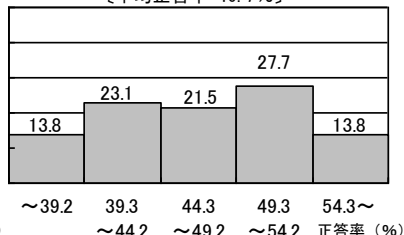
学校の割合（％）〔平均正答率 65.0％〕



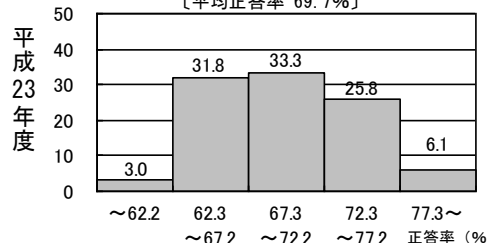
〔平均正答率 69.8％〕



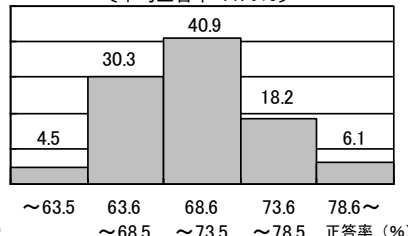
〔平均正答率 46.7％〕



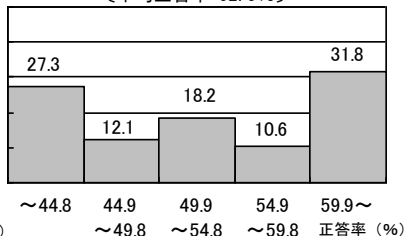
学校の割合（％）〔平均正答率 69.7％〕



〔平均正答率 71.0％〕



〔平均正答率 52.3％〕



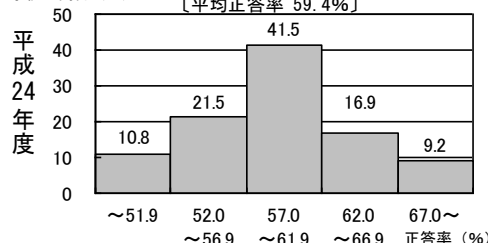
## 第2学年 社会

全体

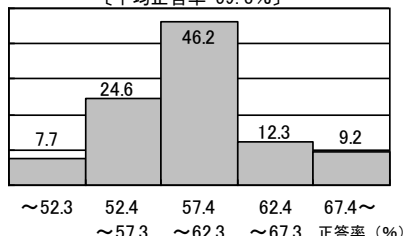
基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現

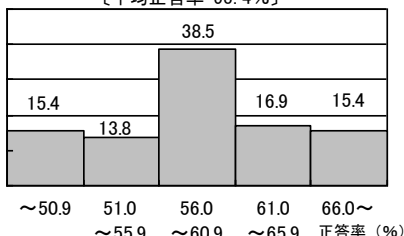
学校の割合（％）〔平均正答率 59.4％〕



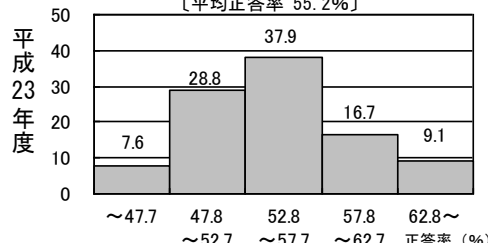
〔平均正答率 59.8％〕



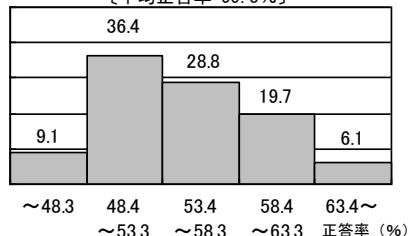
〔平均正答率 58.4％〕



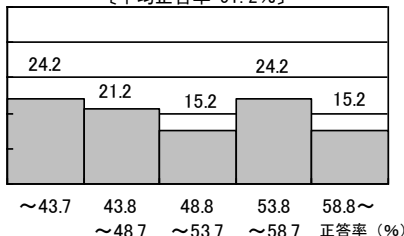
学校の割合（％）〔平均正答率 55.2％〕



〔平均正答率 55.8％〕



〔平均正答率 51.2％〕



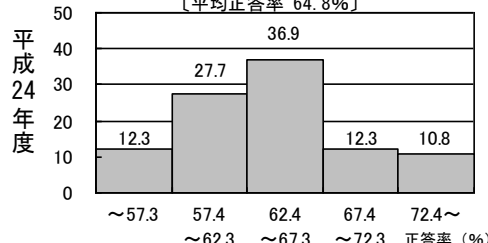
## 第2学年 数学

全体

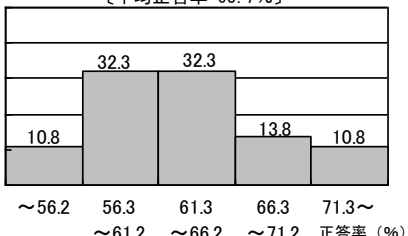
基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現

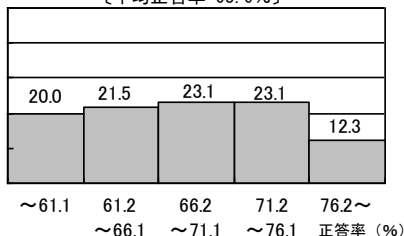
学校の割合（％）〔平均正答率 64.8％〕



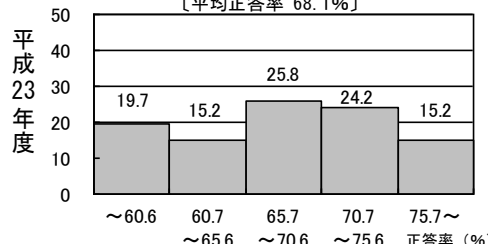
〔平均正答率 63.7％〕



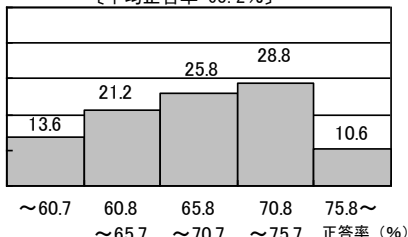
〔平均正答率 68.6％〕



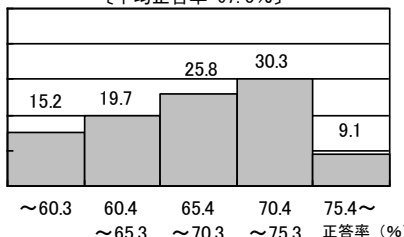
学校の割合（％）〔平均正答率 68.1％〕



〔平均正答率 68.2％〕



〔平均正答率 67.8％〕



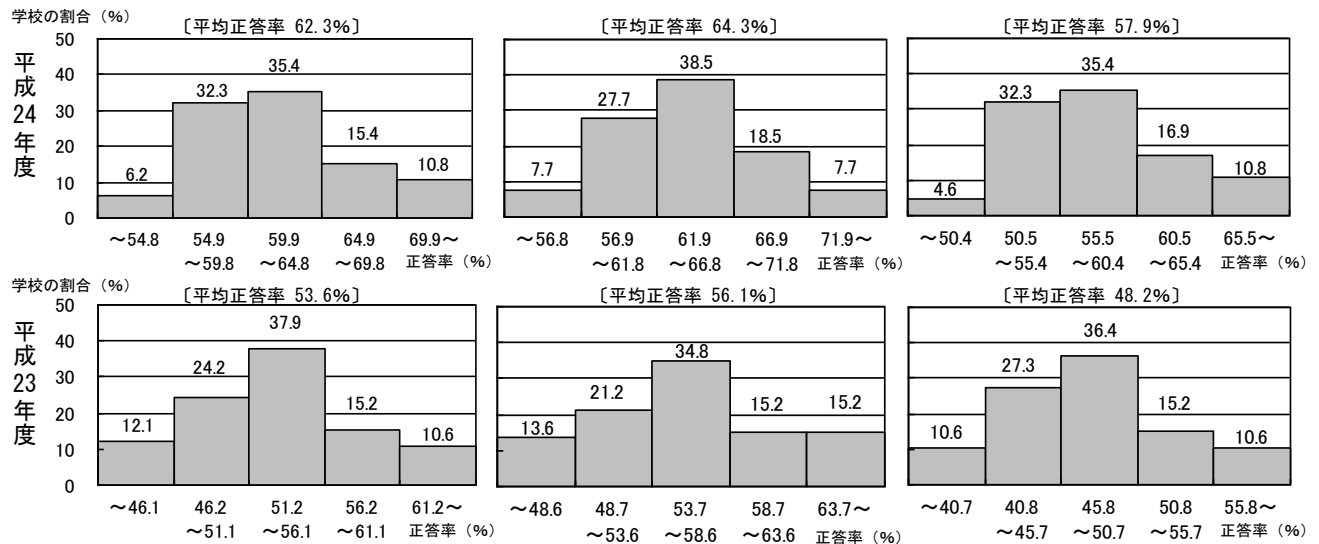
平均正答率の分布（中学校）

第2学年 理科

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現

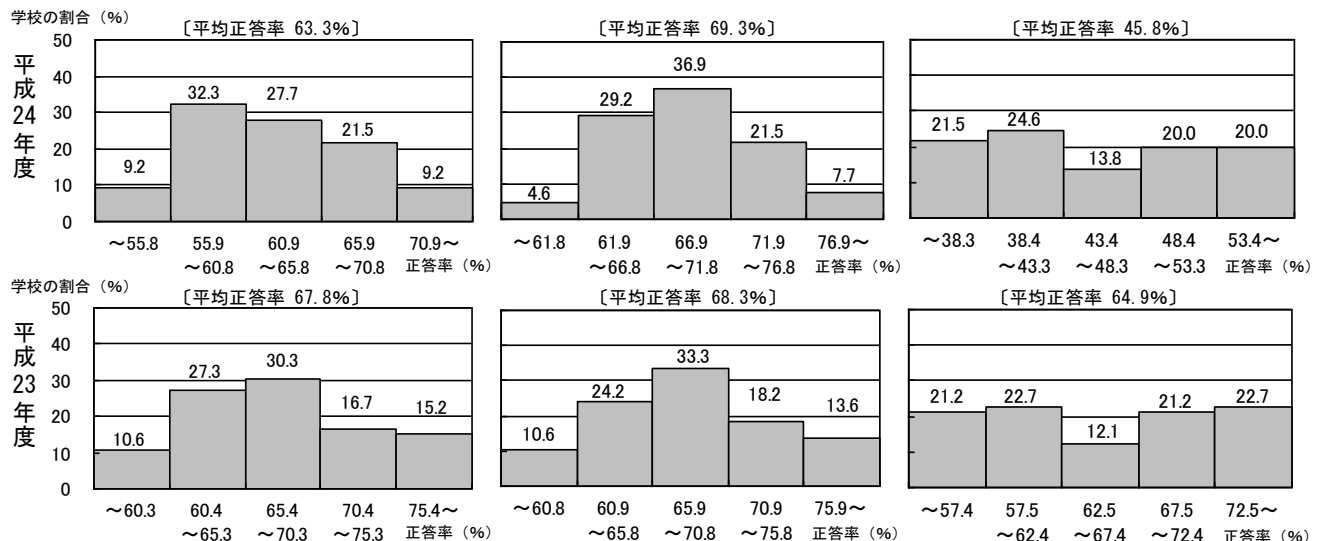


第2学年 英語

全体

基礎的・基本的な知識・技能

思考・判断・表現



- 平成24年度第2学年国語及び英語の「思考・判断・表現」においては、「基礎的・基本的な知識・技能」と比べて、第1区分と第5区分に位置する学校の割合が、それぞれ高く、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。
- 平成24年度第2学年社会の「思考・判断・表現」においては、「基礎的・基本的な知識・技能」と比べて、第1区分と第5区分に位置する学校の割合が、約6～8%高く、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。
- 平成24年度第2学年数学の「思考・判断・表現」においては、第2～5区分に位置する学校の割合が2割前後となっており、各学校の平均正答率のばらつきが大きい。
- 平成24年度第2学年理科の「基礎的・基本的な知識・技能」と「思考・判断・表現」における各区分に位置する学校の割合には、大きな差は見られない。



## Ⅳ 各教科の調査結果

### 国語

#### 1 調査結果

##### (1) 小学校

[単位 %]

| 項 目 |                 | 3 年  | 4 年  | 5 年  | 6 年  | 全学年  |
|-----|-----------------|------|------|------|------|------|
| 全 体 |                 | 55.4 | 64.4 | 65.3 | 65.8 | 62.8 |
| 観 点 | 国語への関心・意欲・態度    | —    | —    | —    | —    | —    |
|     | 話す・聞く能力         | 48.1 | 77.5 | 80.5 | 85.0 | 73.0 |
|     | 書く能力            | 54.3 | 66.0 | 58.2 | 56.1 | 58.6 |
|     | 読む能力            | 55.6 | 62.1 | 62.1 | 60.6 | 60.1 |
|     | 言語についての知識・理解・技能 | 58.5 | 61.1 | 64.4 | 64.6 | 62.2 |
| 内 容 | 基礎的・基本的な知識・技能   | 56.4 | 66.1 | 65.4 | 68.2 | 64.1 |
|     | 思考・判断・表現        | 51.2 | 56.8 | 64.9 | 59.3 | 58.1 |

##### (2) 中学校

[単位 %]

| 項 目 |                 | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|-----|-----------------|------|------|------|
| 全 体 |                 | 63.8 | 65.0 | 64.4 |
| 観 点 | 国語への関心・意欲・態度    | —    | —    | —    |
|     | 話す・聞く能力         | 85.3 | 70.5 | 77.9 |
|     | 書く能力            | 57.5 | 58.0 | 57.8 |
|     | 読む能力            | 63.7 | 57.4 | 60.5 |
|     | 言語についての知識・理解・技能 | 59.0 | 73.0 | 66.0 |
| 内 容 | 基礎的・基本的な知識・技能   | 63.8 | 69.8 | 66.8 |
|     | 思考・判断・表現        | 64.2 | 46.7 | 55.4 |

#### 2 調査結果についての考察

##### (1) 学年を貫いてうかがえる全体的な傾向

- 全学年の平均正答率を見ると、小・中学校とも約 60%前半となっている。各学年の平均正答率で見ると、小学3年生が約 55%と低くなっているが、小学5・6年生、中学2年生は学習内容は概ね定着している。
- 内容別平均正答率は、小・中学校とも「基礎的・基本的な知識・技能」において約 65%と、概ね定着しているが、「思考・判断・表現」において小学5年生と中学1年生を除き 60%を下回っており課題が見られる。
- 観点別平均正答率は、「話す・聞く能力」では小学3年生が、「書く能力」では小学3、5、6年生、中学1、2年生が、「読む能力」では小学3年生、中学2年生が、「言語についての知識・理解・技能」では小学3年生、中学1年生が 60%を下回っており、課題が見られる。
- 「書く能力」については、各学年とも適切な表現を用いて書くことについては、概ね定着しているが、内容に応じてまとまりを考え、段落構成などを工夫して書くことについて課題が見られる。

##### (2) 今後、各学校に求められる取組

- 「思考・判断・表現」の力を育成するためには、「書く」活動を授業に効果的に位置付けることが大切である。「自分の考えが明確になるように、段落構成を考えてまとまりよく書く」「まとまりを意識して段落を構成する」「目的に応じて書く事柄を整理する」「根拠を明確にして書く」等の設問で正答率が低くなっていることから、相手や目的、意図、多様な状況に応じて書く場面を積極的に取り入れ、次のような学習を推進することが求められる。
  - ・目的に合わせて手紙、紹介文、推薦文、礼状など、実生活に見られる文章を書く学習
  - ・自分の考えをもったり、振り返ったりする過程で書く学習
  - ・自分の考えを明確に表現するために効果的な構成を考える学習
  - ・書いたものを交流して、相互の考え方を理解し合い、自分の考えを広げ、深める学習
  - ・自己評価や相互評価によって、「分かった・できた」という実感がもてる学習

### (3) 具体的な解説

段落を意識して書くことの定着状況の把握のため、類似の問題を小3～小6に出題した。

#### 小学校第3学年 ㉓(二)イ

山田さんは、スーパーマーケットを見学して一番心に残ったことをクラス友達につたえる文章を書くことになりました。そこで文章を書くために次のようなメモを作りました。

「中」の部分を書き出した部分につなげて、三つの段落に分けて書きましょう。

メモの書き方

① ( )

② ( )

③ ( )

④ ( )

⑤ ( )

⑥ ( )

⑦ ( )

⑧ ( )

⑨ ( )

⑩ ( )

⑪ ( )

⑫ ( )

⑬ ( )

⑭ ( )

⑮ ( )

⑯ ( )

⑰ ( )

⑱ ( )

⑲ ( )

⑳ ( )

㉑ ( )

㉒ ( )

㉓ ( )

㉔ ( )

㉕ ( )

㉖ ( )

㉗ ( )

㉘ ( )

㉙ ( )

㉚ ( )

㉛ ( )

㉜ ( )

㉝ ( )

㉞ ( )

㉟ ( )

㊱ ( )

㊲ ( )

㊳ ( )

㊴ ( )

㊵ ( )

㊶ ( )

㊷ ( )

㊸ ( )

㊹ ( )

㊺ ( )

㊻ ( )

㊼ ( )

㊽ ( )

㊾ ( )

㊿ ( )

| 県反応率 (%) | 正答   | 誤答   | 無答   |
|----------|------|------|------|
|          | 51.9 | 36.9 | 11.1 |

#### 小学校第5学年 ㉓(二)イ

高松さんは、学校の暑さを防ぐために、「緑のカーテン」を提案する文章を書きます。文章の本論の【資料②】を使った部分を二段落の構成で書きましょう。

「緑のカーテン」

【資料①】

「緑のカーテン」を活用している施設の方へのインタビュー

ゴーヤを植えて「緑のカーテン」をつくっています。これのおかげで、部屋の温度が5度くらい下がります。すずしく感じる日が多くなります。ゴーヤの実は、食べられます。

【資料②】

「緑のカーテン」がある場合とない場合の教室の温度

| 温度(度)         | 3月   | 5月   |
|---------------|------|------|
| 「緑のカーテン」がある場合 | 28.5 | 28.5 |
| 「緑のカーテン」がない場合 | 33.5 | 33.5 |

(H23.7.30測定)

| 県反応率 (%) | 正答   | 誤答   | 無答   |
|----------|------|------|------|
|          | 46.6 | 42.0 | 11.5 |

#### 分析と具体的な指導

段落を意識して書くことについては、小学3年生、小学5年生とも約5割の正答率である。他の学年においても同様の課題が見られた。伝えたいことの中心と各まとまりとの関係をはっきりさせて構成メモを作ったり、構成メモを基に段落を意識して文章を書いたりする指導が大切である。また、「読むこと」や「話すこと・聞くこと」においても、まとまりを意識する指導を大切にしたい。

根拠を明確にして書くことの定着状況の把握のため、中1と中2に類似問題を出題した。また、中1の同問題では、目的に応じて書く事柄を整理して書くことの定着状況も把握しようとした。

#### 中学校第1学年 ㉓(三)

山田さんは、「●作り方」の部分を読み返して、書き方をもっと工夫したいと感じました。レシピを使う人にもっと分かりやすくするために、あなたならどのように修正しますか。後の条件1と条件2にしたがって、具体的な修正のし方とその理由を書きなさい。

条件1 どのような書き方に修正するのかを具体的に一文で書き、次にその理由を一文で書くこと。

条件2 六十文字以上八十文字以内で書くこと。

レシピ

コロッケのレシピ

●材料

ひき肉 200g  
じゃがいも 4個  
玉ねぎ 1個  
バター 大さじ1

●作り方

最初にじゃがいもは洗って皮をむき、まな板にのせて、電子レンジで加熱。柔らかくする。それからじゃがいもが熱いうちに皮をむき、よく潰す。玉ねぎはみじん切りにして、油を熱したフライパンで炒める。ひき肉を加えていためる。塩・こしょうで味をつける。焼つけたひき肉・玉ねぎを潰したじゃがいもに加えてよく混ぜ、塩・こしょうで味を整え、成形する。

| 県反応率 (%) | 正答   | 誤答   | 無答   |
|----------|------|------|------|
|          | 49.5 | 37.4 | 13.0 |

#### 中学校第2学年 ㉓(三)

木村さんの鑑賞文を読んだ田中さんは、感想を次のようにまとめています。直したらよいと思うところとしては、最後の「すこい」という言葉について書くように考えています。田中さんになったつもりで、「直したらよいと思うところ」の部分、後の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 最初にどのようなようにしたらよいかを一文で書き、次にそう考える理由を一文で書くこと。

条件2 五十文字以上、七十文字以内で書くこと。

木村さんの鑑賞文

モリナゲの音楽

| 県反応率 (%) | 正答   | 誤答   | 無答   |
|----------|------|------|------|
|          | 42.8 | 40.1 | 17.1 |

#### 分析と具体的な指導

根拠を明確にして書くことについては、中学1年生と中学2年生の両学年とも正答率が5割以下である。中1の問題では、自分の考えの根拠を明確にして書くことと同時に、目的に応じて書く事柄を整理して書くこともねらいとしているが、正答率は約5割である。無答率もともに1割を大きく超えており、課題がある。「書くこと」の学習を行う際には、課題を与えて書かせるだけでなく、分かりやすく説得力のある書き方についての知識と技能に関する指導事項を明確にして書かせるとともに、評価活動を工夫することが大切である。

# 社会

## 1 調査結果

### (1) 小学校

[単位 %]

| 項 目 |                 | 5 年  | 6 年  | 全学年  |
|-----|-----------------|------|------|------|
| 全 体 |                 | 71.8 | 77.8 | 74.9 |
| 観 点 | 社会的事象への関心・意欲・態度 | —    | —    | —    |
|     | 社会的な思考・判断・表現    | 73.8 | 71.1 | 72.4 |
|     | 資料活用 of 技能      | 71.1 | 85.6 | 78.5 |
|     | 社会的事象についての知識・理解 | 71.5 | 75.6 | 73.6 |
| 内 容 | 基礎的・基本的な知識・技能   | 71.4 | 79.4 | 75.5 |
|     | 思考・判断・表現        | 73.8 | 71.1 | 72.4 |

### (2) 中学校

[単位 %]

| 項 目 |                 | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|-----|-----------------|------|------|------|
| 全 体 |                 | 68.2 | 59.4 | 63.8 |
| 観 点 | 社会的事象への関心・意欲・態度 | —    | —    | —    |
|     | 社会的な思考・判断・表現    | 63.6 | 58.4 | 61.0 |
|     | 資料活用 of 技能      | 65.5 | 61.1 | 63.3 |
|     | 社会的事象についての知識・理解 | 71.3 | 59.1 | 65.2 |
| 内 容 | 基礎的・基本的な知識・技能   | 69.6 | 59.8 | 64.7 |
|     | 思考・判断・表現        | 63.6 | 58.4 | 61.0 |

## 2 調査結果についての考察

### (1) 学年を貫いてうかがえる全体的な傾向

- 全学年の正答率を見ると、中学2年生が60%をやや下回り、一部に課題が見られる。中学1年生では68%、小学5、6年生では70%を上回っており、学習内容は概ね定着している。
- 内容別平均正答率では、小学5、6年生では「基礎的・基本的な知識・技能」「思考・判断・表現」とともに70%を上回っており、概ね定着している。一方、中学2年生ではいずれも60%をやや下回り、一部に課題が見られる。
- 観点別正答率は、小学6年生の「資料活用 of 技能」において85%を超え、十分定着している状況である。
- 歴史的事象のもつ意味・意義を問う問題において、小学校、中学校ともに正答率が60%を下回っているものがあり、課題が見られる。
- 複数の資料から読み取ったことを関連付けたり、総合して考えたりする問題で正答率の低い問題が見られる。

### (2) 今後、各学校に求められる取組

- 資料から必要な情報を的確に読み取り、資料を基に考えたことを表現する学習の充実
  - ・資料の特徴に応じて正確に読み取ることができるように資料の見方を指導する。
  - ・資料と既習の知識を結びつけたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして、分かることや考えられたりすることを表現する活動を行う。
- 単なる用語としての知識・理解でなく、社会的事象のもつ意味・意義が理解できる学習の充実
  - ・学習した内容を自分の言葉や図等を用いて分かりやすく説明したり、社会的事象を端的に表現したりする活動を行う。
  - ・学習した内容について、既習内容と関連付けて共通点や相違点に着目してまとめたり（地理的分野）、因果関係に着目してまとめたり（歴史的分野）する活動を行う。

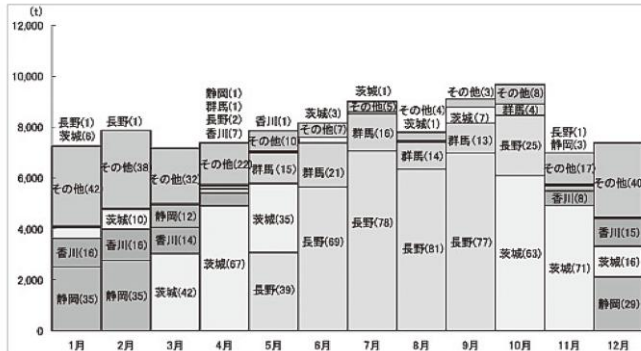
(3) 具体的な解説

資料から必要な情報を的確に読み取り、資料を基に考える力をみるため、小5に次のような問題を出題した。

小学校第5学年 ⑤ (2) ①

(2) 資料1は、東京市場へのレタスの出荷量についてまとめたグラフです。この資料を見て、あとの①、②の問いに答えましょう。

資料1 東京市場におけるレタスの月別産地別出荷量



東京都「平成21年東京都中央卸売市場統計年報」より

① 資料1から分かることを説明した□の文の( A ), ( B )にあてはまることばの組み合わせとして正しいものはどれですか。あとのア～エから1つ選び、その記号を書きましょう。

東京市場には、香川県や静岡県が( A )に、長野県や群馬県が( B )にレタスを多く出荷している。

ア A 冬 B 春 イ A 夏 B 秋  
ウ A 冬 B 夏 エ A 春 B 秋

| 問題番号 |          | 県反応率(%) |      |
|------|----------|---------|------|
| ⑤    | (2)<br>① | 正 答     | 60.6 |
|      |          | 誤 答     | 37.9 |
|      |          | 無 答     | 1.5  |

分析と具体的な指導

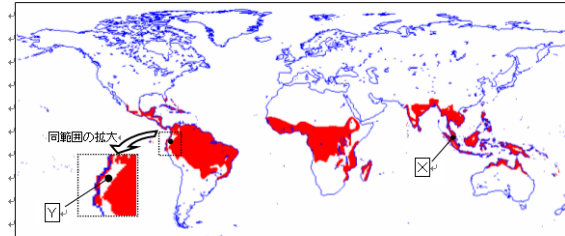
資料に表された内容が正確に読み取れた児童は6割であった。資料を基に考えるためには、必要な情報を的確に読み取れることが前提である。授業においては、資料の表題や縦軸・横軸が示す項目の確認、注目すべき箇所の色塗り、気付いたことの発表などを通して、資料の見方について、児童生徒の実態に応じて丁寧かつ継続的に指導することが大切である。

さらに、季節によって出荷量の多い県が異なる理由を問うなど、資料から読み取ったことを基に社会的事象の意味について考える学習を充実していく必要がある。

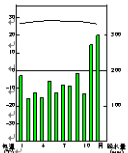
社会的事象のもつ意味や意義について考える力をみるため、中1に次のような問題を出題した。

中学校第1学年 ② (4)

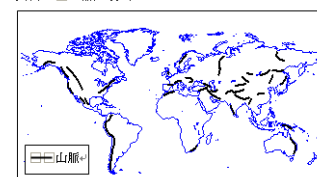
資料1 □ある気候帯の分布



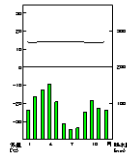
資料2 □都市X  
年平均気温 □27.4℃  
年降水量 □2087mm



資料3 □山脈の分布



資料4 □都市Y  
年平均気温 □13.7℃  
年降水量 □1044mm



(4) 資料1の都市Yの気候について、資料3・4と関連させて下の文のように説明します。文中の( )にあてはまる語句を書きなさい。

都市Yは都市Xとほぼ同緯度にあるが、気温は大きく異なっている。その理由は、都市Yは、( )からと考えられる。

| 問題番号 |     | 県反応率(%) |      |
|------|-----|---------|------|
| ②    | (4) | 正 答     | 39.6 |
|      |     | 誤 答     | 44.4 |
|      |     | 無 答     | 16.0 |

分析と具体的な指導

ほぼ同緯度の2つの都市の気温が異なる要因を山脈の分布と関連付けて考え、正しい語句を記述できた生徒は約4割である。同資料から気候帯名を問う問題で正答率が65%を超えたことと比較すると、知識としては定着しているが、社会的事象同士の関連性を考える力に課題があることがうかがわれる。まず、「なぜ」「どのように」など社会的事象のもつ意味や意義を問うような学習課題の設定を行い、それらの課題を追究していく過程で複数の資料を比較したり総合したりしながら、関連性を考えさせる学習が大切である。また、作図や年表作成など、より作業的・体験的な学習を取り入れる一方で、授業者も掛け地図や年表を使用し、位置や年代を指し示しながらその都度確認させるなどの継続的な指導が望まれる。

# 算数・数学

## 1 調査結果

### (1) 小学校

[単位 %]

| 項 目 |                 | 3 年  | 4 年  | 5 年  | 6 年  | 全学年  |
|-----|-----------------|------|------|------|------|------|
| 全 体 |                 | 76.3 | 72.6 | 74.1 | 80.1 | 75.8 |
| 観 点 | 算数への関心・意欲・態度    | —    | —    | —    | —    | —    |
|     | 数学的な考え方         | 62.7 | 72.3 | 70.6 | 79.8 | 71.5 |
|     | 数量や図形についての技能    | 82.9 | 77.4 | 74.3 | 78.4 | 78.2 |
|     | 数量や図形についての知識・理解 | 80.2 | 67.1 | 77.1 | 83.4 | 77.0 |
| 内 容 | 基礎的・基本的な知識・技能   | 81.4 | 72.7 | 74.7 | 80.2 | 77.2 |
|     | 思考・判断・表現        | 62.7 | 72.3 | 72.8 | 79.8 | 72.0 |

### (2) 中学校

[単位 %]

| 項 目 |                   | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|-----|-------------------|------|------|------|
| 全 体 |                   | 70.6 | 64.8 | 67.7 |
| 観 点 | 数学への関心・意欲・態度      | —    | —    | —    |
|     | 数学的な見方や考え方        | 65.7 | 68.6 | 67.2 |
|     | 数学的な技能            | 76.3 | 65.8 | 71.0 |
|     | 数量や図形などについての知識・理解 | 62.1 | 61.0 | 61.6 |
| 内 容 | 基礎的・基本的な知識・技能     | 71.9 | 63.7 | 67.8 |
|     | 思考・判断・表現          | 65.7 | 68.6 | 67.2 |

## 2 調査結果についての考察

### (1) 学年を貫いてうかがえる全体的な傾向

- 全学年の正答率を見ると、小・中学校とも 65%以上であり概ね定着している。各学年で見ると、小学 6 年生では 80.1%と十分定着しており、小学 3・4・5 年生、中学 1 年生は 65%以上であり概ね定着している。
- 内容別平均正答率は、小・中学校とも「基礎的・基本的な知識・技能」及び「思考・判断・表現」において 65%以上であり概ね定着している。
- 観点別平均正答率は、中学校の「数量や図形などについての知識・理解」以外の観点については概ね定着している。
- 小学校の「数学的な考え方」については、問題場面に合った式を選択することにおいて一部に課題がみられ、中学校の「数量や図形などについての知識・理解」については、2つの図形の間に成り立つ関係等の理解において課題がみられる。

### (2) 今後、各学校に求められる取組

- 「数学的な考え方」を育成するためには、次のような学習活動を展開することが有効である。
  - ・いくつかの問題場面を表す図や文章を読み取り、式に表す学習。
- 「数量や図形などについての知識・理解」を深めるには、次のような学習活動を展開することが有効である。
  - ・数量や図形についての関係等を予想し、操作活動や実験等によって確かめたり、今学習している内容について既習事項と関連付けて扱ったりして、実感を伴って理解できる学習。
  - ・学習した用語等を使って発表や授業のまとめをしたり、学習したことと現実の事象を結び付けて振り返ったりする等、学んだことを活用する学習。

(3) 具体的な解説

計算技能の定着状況を把握するため、同一の計算問題を小5～中2に出題した。

$$\frac{3}{4} + \frac{1}{3}$$

分析と具体的な指導

|    | 小5(%) | 小6(%) | 中1(%) | 中2(%) |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 正答 | 86.9  | 75.6  | 86.4  | 84.3  |
| 誤答 | 11.4  | 23.5  | 12.4  | 12.6  |
| 無答 | 1.7   | 0.9   | 1.2   | 3.2   |

小5で最も高く、小6より 11.3 ポイント高い結果となった。小6において低い要因は、異分母分数の加法の学習は、小5の学習内容のため、調査時に計算方法を忘れていた児童がいることがうかがわれる。一方、中1において高い要因は、「文字式の計算」の単元で分数を扱うため、正答率が小6に比べ高くなっていると考えられる。計算技能の定着のためには、学習後もドリル学習や宿題等で、継続的な復習が必要である。

問題文と図と式を関連させて考えられるかを把握するため、次のような問題を出題した。

平成 23 年度  
小学校第 3 学年 ④(3)

白いテープの長さは 30 cm です。白いテープは、赤いテープより 5 cm 短いそうです。  
赤いテープは何 cm ですか。

※平成 23 年度は、問題文→式で出題

この問題の答えをもとめる式はどれですか。つぎのア～オの中から 1 つえらびましょう。  
ア  $30 \times 5$     イ  $30 \div 5$     ウ  $30 + 5$     エ  $30 - 5$     オ  $5 \div 30$

|         |       |      |
|---------|-------|------|
| H23     | 正答(ウ) | 28.4 |
| 県反応率(%) | 誤答(エ) | 50.8 |

平成 24 年度  
小学校第 3 学年 ⑤(1)

この問題に合う図を、次のア～ウの中からえらびましょう。

ア

イ

ウ

※平成 24 年度は、問題文→図→式で出題

|         |       |      |
|---------|-------|------|
| H24     | 正答(ウ) | 48.2 |
| 県反応率(%) | 誤答(エ) | 23.3 |

分析と具体的な指導

平成 24 年度の正答率は、平成 23 年度と比較すると 2 割程度上昇した。これは、問題に合う図を考える段階を入れたことが主な要因であると考えられる。このことから、図は問題を解くための手がかりとして有効であると考えられる。

誤答のエを選択した児童は問題文の中に「短い」という表現が含まれることから、減法と判断したものと思われる。このような児童に対しては、演算の決定が正しいことを図を基に確かめる指導が求められる。問題→式→答えと自分の考えをもたせた後で、図を使って自分の考えを説明させたり、違う考えの児童と図を使って交流させたりする指導も大切である。

図形の移動についての知識・理解の定着状況を把握するため、中2に次のような問題を出題した。

10 右の図は、正方形を 8 つの合同な直角二等辺三角形に分けた A ものです。このことについて、次の (1)、(2) の問いに答えなさい。

(1) ①の三角形を、対角線の交点 O を中心として時計まわりに  $90^\circ$  回転移動させると、どの三角形と重なりますか。②～⑧の中から 1 つ選び、番号で答えなさい。

(2) ①の三角形を、1 回の対称移動で⑥の三角形に重ねるには、B どの直線を対称の軸とすればよいですか。次のア～エの中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア 直線 AC    イ 直線 EG    ウ 直線 BD    エ 直線 FH

| 問題番号   | 県反応率(%) |      |
|--------|---------|------|
| 10     | (1) 正答  | 59.2 |
|        | (1) 誤答  | 37.4 |
|        | (1) 無答  | 3.4  |
|        | (2) 正答  | 53.7 |
|        | (2) 誤答  | 43.2 |
| (2) 無答 | 3.1     |      |

分析と具体的な指導

4～5 割の生徒が、回転移動や対称移動によって図形を構成している各点が、どのようなきまりに従って移動するのかを理解できていないことがうかがえる。

指導に当たっては、図形を紙で作って実際に移動させたりコンピュータを利用して移動させたりするなどして、図形の移動を視覚的に理解できるようにすることが考えられる。また、移動前と移動後の 2 つの図形の関係を考察することで、それぞれの移動の性質を見いだすことができるようにすることも大切である。

# 理科

## 1 調査結果

### (1) 小学校

[単位 %]

| 項 目 |                | 5 年  | 6 年  | 全学年  |
|-----|----------------|------|------|------|
| 全 体 |                | 63.6 | 67.9 | 65.8 |
| 観 点 | 自然事象への関心・意欲・態度 | —    | —    | —    |
|     | 科学的な思考・表現      | 64.1 | 62.3 | 63.2 |
|     | 観察・実験の技能       | 71.5 | 72.9 | 72.2 |
|     | 自然事象についての知識・理解 | 61.0 | 71.7 | 66.4 |
| 内 容 | 基礎的・基本的な知識・技能  | 63.4 | 72.0 | 67.8 |
|     | 思考・判断・表現       | 64.1 | 62.3 | 63.2 |

### (2) 中学校

[単位 %]

| 項 目 |                | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|-----|----------------|------|------|------|
| 全 体 |                | 58.3 | 62.3 | 60.3 |
| 観 点 | 自然事象への関心・意欲・態度 | —    | —    | —    |
|     | 科学的な思考・表現      | 47.2 | 57.9 | 52.5 |
|     | 観察・実験の技能       | 60.8 | 67.2 | 64.0 |
|     | 自然事象についての知識・理解 | 65.0 | 61.9 | 63.4 |
| 内 容 | 基礎的・基本的な知識・技能  | 63.3 | 64.3 | 63.8 |
|     | 思考・判断・表現       | 47.2 | 57.9 | 52.5 |

## 2 調査結果についての考察

### (1) 学年を貫いてうかがえる全体的な傾向

- 全学年の正答率を見ると、小学校では 65%を越えており、学習内容は概ね定着している。
- 内容別平均正答率は、「基礎的・基本的な知識・技能」では、小・中学校ともに大きな課題は見られないが、「思考・判断・表現」において、中学校は小学校に比べて低くなっており、特に中学 1 年生は 50%を下回り課題が見られる。
- 観点別正答率は、「自然事象についての知識・理解」及び「観察・実験の技能」の観点において、小・中学校ともに大きな課題は見られない。しかし、「科学的な思考・表現」では、中学 1、2 年生で 60%を下回っており課題が見られる。
- 観察、実験器具の操作に関する問題（顕微鏡、双眼実体顕微鏡など）や身のまわりの事象との関連を考えさせる問題の正答率が低い。
- 前学年までの既習内容、エネルギーに関する学習内容の定着に課題が見られる。

### (2) 今後、各学校に求められる取組

- 探究の過程（予想・仮説→計画→観察・実験→結果→考察）を大切にした学習活動の充実を図る。
  - ・既習内容や演示実験をもとに予想を立て、それらを確認する観察、実験などの計画や方法を工夫する活動を取り入れる。
  - ・観察、実験の方法や機器の操作手順の意味を説明し、理解させた上で観察、実験を行う。
  - ・観察、実験のデータを表やグラフに整理し、自分の予想などに関連付けながら考察し、それを言語化して表現する。
  - ・学習した内容を基にしながら身のまわりの事象を説明させるなど、日常生活との関連を図る活動を取り入れる。

### (3) 具体的な解説

実験器具の正しい操作の定着状況を把握するため、小5に顕微鏡、中1に双眼実体顕微鏡に関する問題を出題した。

#### 小学校第5学年 5(4)

5

(4) 花粉をけんび鏡で観察することになりました。けんび鏡の使い方を示した次のア～エを正しい順にならべ、その記号を書きましょう。

ア 調節ねじを少しずつ回して、対物レンズからプレパラートを遠ざけていき、はっきりと見えるところで止める

イ のせ台にプレパラートを置き、とめ金でとめる

ウ 対物レンズの倍率をいちばん低い倍率にし、接眼レンズをのぞきながら鏡を動かして、明るくする

エ 真横から見ながら調節ねじを回して、対物レンズにプレパラートをできるだけ近づける

| 問題番号 |     | 県反応率(%) |      |
|------|-----|---------|------|
| 5    | (4) | 正答      | 22.4 |
|      |     | 誤答      | 77.2 |
|      |     | 無答      | 0.5  |



#### 中学校第1学年 1(1)

1

(1) 次の文は、双眼実体顕微鏡の使い方を述べたものです。次のア～エを正しい操作の順番に並べて、その記号を書きなさい。

ア 左目でのぞきながら、視度調節リングを回して、ピントを合わせる

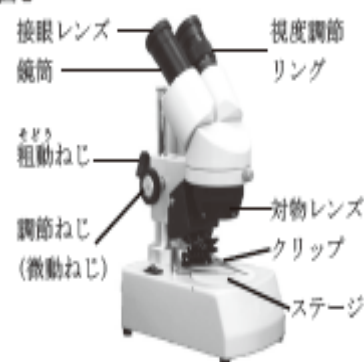
イ 粗動ねじをゆるめ、鏡筒を上下させて、両目でおおよそのピントを合わせる

ウ 右目でのぞきながら、調節ねじ(微動ねじ)を回して、ピントを合わせる

エ 鏡筒を動かし、自分の目の幅に合うように、調節し、左右の視野が重なって1つに見えるようにする

| 問題番号 |     | 県反応率(%) |      |
|------|-----|---------|------|
| 1    | (1) | 正答      | 22.0 |
|      |     | 誤答      | 76.8 |
|      |     | 無答      | 1.1  |

図2



#### 分析と具体的な指導

- 小学校第5学年、中学校第1学年の顕微鏡(双眼実体顕微鏡)の操作に関する問題では、それぞれ22.4%、22.0%と他の設問に比べて低い正答率となっている。
- 顕微鏡(双眼実体顕微鏡)は理科実験において基本的な観察・実験器具である。しかも、小・中学校を通して何度も使用するとともに、正しい器具の操作は、観察・実験結果を正しく導き出す重要な要素であるため、その操作方法を理解し、適切に取り扱う技能を身に付けることは、とても大切である。しかし、児童生徒にとって少し複雑な操作を伴ったり、使用する度に操作手順の振り返りをする時間が確保しにくいなどの課題もあるようである。
- 顕微鏡(双眼実体顕微鏡)を使用する場合、操作表やチェックシートを利用し、常に操作手順を確認しながら実験に取り組ませたり、手順だけでなく操作の意味を捉えさせたりするなどの工夫が必要である。

# 英語

## 1 調査結果

### (1) 中学校

[単位 %]

| 項 目 |                     | 1 年  | 2 年  | 全学年  |
|-----|---------------------|------|------|------|
| 全 体 |                     | 84.0 | 63.3 | 73.6 |
| 観 点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | —    | —    | —    |
|     | 外国語表現の能力            | 80.4 | 54.8 | 67.6 |
|     | 外国語理解の能力            | 85.8 | 66.3 | 76.1 |
|     | 言語や文化についての知識・理解     | 84.0 | 72.2 | 78.1 |
| 内 容 | 基礎的・基本的な知識・技能       | 84.5 | 69.3 | 76.9 |
|     | 思考・判断・表現            | 82.0 | 45.8 | 63.9 |

## 2 調査結果についての考察

### (1) 学年を貫いてうかがえる全体的な傾向

- 全学年の正答率は、中学1年生は84.0%、2年生は63.3%である。
- 内容別平均正答率は、中学1年生は「基礎的・基本的な知識・技能」「思考・判断・表現」とともに80%を超えており、十分定着している。2年生については「基礎的・基本的な知識・技能」は69.3%と概ね定着しているが、「思考・判断・表現」についての正答率は45.8%と課題が見られる。
- 観点別正答率からは、以下の傾向が見られる。
  - ・「言語や文化についての知識・理解」については、中学1年生は84.0%、2年生は72.2%と中学1・2年生ともに概ね定着している。
  - ・「理解の能力」については、中学1年生は85.8%、2年生は66.3%と中学1・2年生ともに概ね定着している。特に、中学1・2年生ともに、放送を聞いて答える問題における正答率が高い。反面、2年生の英語の長文を読み取る力を問う問題においては一部課題が見られる。
  - ・「表現の能力」については、2年生の正答率は54.8%であり、特に、空所補充や英作文等、英語を「書くこと」の問題において正答率が低く無回答率も高い。また、1・2年生ともに、整序問題において、時や場所を表す語句の語順の理解が十分でないなど、基本的な文構造の定着に一部課題が見られる。

### (2) 今後、各学校に求められる取組

- 「書くこと」については、「言語の使用場面を理解し、場面に合った表現を使う」「自分の意向が正しく伝わるように文章を書く」等の問題で、正答率が低くなっている。  
そのため、指導に当たっては、言語の使用場面や言語の働きを明確にした指導が望まれる。例えば、「特有の表現がよく使われる場面」や「生徒の身近な暮らしにかかわる場面」を例に、具体的な場面設定を行う。そして、生徒の思考の活性化を図りながら、与えられた資料や状況を基に自分の考えや気持ちを書かせるといった工夫が望まれる。
- 「読むこと」については、「手紙を読んで、情報を正確に読み取る」「対話文を読んで内容を理解し、適切な絵を選ぶ」等の問題で、正答率が低くなっている。  
そのため、指導に当たっては、手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えたり、事前に内容を尋ねる質問をしたりするなど、正確な読み取りができるよう配慮が必要である。

(3) 具体的な解説

発音と綴りの関係に気付いているかをみるため、次のような問題を出題した。

中学校第1学年 3(3)

今から発音する単語のつづりを完成させなさい。□の中にはアルファベット1文字が入ります。英語は2回言います。

□ e d

県反応率(%)

|    |      |
|----|------|
| 正答 | 91.9 |
| 誤答 | 6.2  |
| 無答 | 1.9  |

分析と具体的な指導

正答率が91.9%と十分定着していることがうかがえる。中1の前半では、アルファベット小文字の「b」と「d」の区別がつきにくく、スペルミスをおこす原因となっているが、調査が行われた11月には、相当数の生徒がこの区別ができているとうかがえる。今後も指導に当たっては、間違いやすい単語についてはリストを作成し、何度も発音をさせるなど、発音と綴りとを関連付けて指導することで、その関係に気付かせることが大切である。

言語の働きを理解し、場面や状況に応じて英語で適切に表現できるかをみるため、次のような問題を出題した。

中学校第2学年 8(2)

次のようなとき、英語でどのように言えばよいですか。意味の通る英文になるように( )内の語を並べかえて、英語で書きなさい。

「何のスポーツが好きなのかを聞きたいとき」

What ( like, do, you, sport ) ?

県反応率(%)

|    |      |
|----|------|
| 正答 | 24.4 |
| 誤答 | 72.9 |
| 無答 | 2.7  |

分析と具体的な指導

正答率が24.4%、誤答率が72.9%と、今回出題した問題の中で最も正答率が低かった問題である。“What”を「どの・何の」と訳す「疑問形容詞」の働きと、「どんなことを・何を」と訳す「疑問代名詞」の働きの区別ができているかを問う問題であった。“What do you like sport?”と誤って解答した生徒が68.0%もいることから、繰り返し指導したり、運用度の高いものを用い、活用したりすることを通して定着を図ることが大切である。

中1の問題で“What ( it, is, today, day ) ?”の並べかえ問題があるが、正答率は55.6%であった。「疑問形容詞」の働きの“What”を用いた英文で、上記の問題と同じである。生徒になじみのある英文を例に挙げながら、同じ働きとしてまとめて教えることにより、定着を図ることが大切である。

これらの“What”を用いた英文は、小学校外国語活動のテキスト“Hi, friends! 1”のLesson 5で扱われている。生徒は小学生の時に文構造は分からなくても、口に何度も出し、慣れ親しんだ経験をもっている。「小中連携」の観点から、授業でそれを思い出させ、上手く生かしながら教えることが大切である。

自分の意向が正しく相手に伝わるように文章が書けるかをみるため、次のような問題を出題した。

中学校第2学年 10(1)(2)

友だちのジョンからクリスマスパーティーの招待状が届きました。しかし、その日は理由があって行けません。「あなたからの返事の手紙」を(1)、(2)の□内の条件に合うように、それぞれ3語以上の英語で書きなさい。なお、行けない理由は自分で考えて書きなさい。

(あなたからの返事の手紙)

December 16, 2012

Dear John,

Thank you for your card. (1) 行けないことを伝える

On that day, (2) 行けない理由を伝える Please enjoy your party.

Your friend, (あなたの名前)

| 問題番号 |     | 県反応率(%) |      |
|------|-----|---------|------|
| 10   | (1) | 正答      | 44.0 |
|      |     | 誤答      | 33.3 |
|      |     | 無答      | 22.7 |
|      | (2) | 正答      | 48.7 |
|      |     | 誤答      | 28.1 |
|      |     | 無答      | 23.2 |

分析と具体的な指導

正答率が(1)44.0%、(2)48.7%と、両問とも50%を下回り、英作文に課題があることがうかがえる。また、7(1)(2)の空所補充問題も正答率が30%台と低い結果となった。無解答率も20%を超え、「書くこと」については、計画的、かつ継続的な指導が望まれる。指導に当たっては、言語の使用場面や言語の働きを明確にした指導を心掛ける必要がある。具体的な場面設定を行ったり、与えられた資料・状況を基に自分の考えや気持ちを書かせたりする活動を取り入れるなど、教師が意図的に仕組み、工夫することが求められる。



## 発刊に寄せて

本冊子は、各教科等の指導に共通する授業の基礎的・基本的な指導技術について解説しています。

しかし、改めて言うまでもなく、学校の日々の授業は、教師の創意と工夫による非常に創造的な営みです。また、授業は教師と子どもたちがともに創り上げるものであることから、教師は同じ授業を人生で二度と行い得ないものです。

そのような観点からは、授業について、こうでなければならないという固定した考え方や必ず正しいという方法があるとは限りません。言い換えれば、授業のあり方は日々進歩発展すべきものであると同時に、本県の教師一人一人が自己の授業の改善を通じて本県教育向上の担い手となってほしいと考えます。

一人でも多くの教師が、本冊子を一つのきっかけとして、専門的な研究と研鑽を深め、よりよい授業を求め続けていくことを期待しています。

おわりに、本冊子は昭和五十一年に初めて作成された「小・中学校新規採用教職員研修の手引き（現・新しく教員になったみなさんへ）」の内容を踏まえて作成しました。約四十年前に、子どもたちのためによりよい授業を求めて「研修の手引き」を作成された本県の諸先輩方の真摯な実践と日々の努力に心より敬意を表します。

平成 25 年 3 月  
香川県教育委員会事務局  
義務教育課長 鈴木 文孝

## 目次

### 教師の心構え

- ◆ 教師の最も重要な仕事は授業です

### I

- 1 教師の表情、話し方
  - ◆ 先生、いつも明るく楽しそう！
- 2 発問・助言
  - ◆ 先生、その一言で「ハッ」と気付いた！
- 3 指名の仕方
  - ◆ 先生、みんなの前で発言すると楽しい！
- 4 発言（考え）の取り上げ方
  - ◆ 先生、つなげて考えていくことが大事なんだ！
- 5 机間指導
  - ◆ 先生、〇を付けてくれたので、自信をもって発表できた！
- 6 板書
  - ◆ 先生、黒板を見ると、今日の授業が振り返れる！
- 7 ノート指導
  - ◆ 先生、励ましのコメントがうれしい！
- 8 グループ学習
  - ◆ 先生、これはグループだからできるんだ！

### II

- 1 「考える力」を育てる指導
  - ◆ 先生、そう考えるといいんだ！
- 2 「話し合う力」を育てる指導
  - ◆ 先生、話し合うと考えが深まった！
- 3 個に応じた指導
  - ◆ 先生、その方法、私にぴったり！

### 授業づくりを支える学級経営チェックリスト

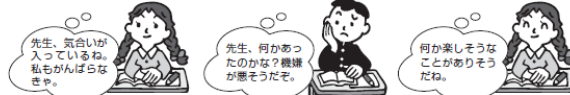
### 発刊に寄せて

## I-1 教師の表情、話し方

### 先生、いつも明るく楽しそう！

☆ 教師の表情は指導力の一部です。

授業が始まれば、まず、子どもは教師の表情に注目します。



教師の表情は、子どもの学習意欲に影響を与えます。

授業中の教師の豊かな表情は学習意欲を引き出します。

## I-6 板書

### 先生、黒板を見ると、今日の授業が振り返れる！

☆ 「板書の基本」これだけは大切にしよう。

- 正確で丁寧な文字を書きましょう。
- 子どもの実態に合わせた文字の大きさで書きましょう。
- チョークの色、線の太さに気を付けましょう。
- 学習のめあてと、めあてに対応したまとめを書きましょう。
- 板書の計画を立て、授業の流れや子どもたちの考えの変化が分かるように工夫しましょう。
- 子どものノートを意識して書きましょう。

1 単位の学習内容が、すっきり収まるように、書くことを整理しましょう。

（「色覚に関する指導の資料」文部科学省 参照）



## V 質問紙調査結果

### 目 次

|     |                        |    |
|-----|------------------------|----|
| 1   | 質問内容一覧                 | 34 |
| (1) | 児童生徒質問紙                | 34 |
| (2) | 学校質問紙                  | 35 |
| 2   | 総論                     | 36 |
| Q 1 | 思考力・判断力・表現力等に関連する質問紙結果 | 38 |
| Q 2 | 学習態度や意欲に関連する質問紙結果      | 44 |
| Q 3 | 学習方法に関連する質問紙結果         | 52 |
| Q 4 | 学習習慣に関連する質問紙結果         | 56 |
| ■   | 質問紙と教科における正答率の相関について   | 63 |
| 3   | 児童生徒質問紙結果              | 64 |
| (1) | 平成 24 年度調査結果一覧         | 64 |
| (2) | 調査結果経年比較               | 70 |
| 4   | 学校質問紙結果                | 86 |
| (1) | 小学校調査結果一覧              | 86 |
| (2) | 中学校調査結果一覧              | 88 |
| (3) | 調査結果経年比較               | 90 |

# 1 質問内容一覧

## (1) 児童生徒質問紙

児童生徒質問紙調査は、児童生徒の考えや思いを把握し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とし、質問項目は県教育基本計画との関連や児童生徒の発達の段階を考慮して設定している。

| 質 問 項 目                             |                                                     |      | 小3、4含む | 基本計画指標 | 4つのアクション関連 | 掲載P<br>H24結果 | 経年比較 |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------|------|--------|--------|------------|--------------|------|
| ■1 生活について                           |                                                     |      |        |        |            |              |      |
| 1                                   | 朝食を毎日食べていますか。                                       | ●    | ●      |        | 64         |              | 70   |
| 2                                   | 学校にもっていくものを、前の日か、その日の朝に確かめていますか。                    | ●    |        |        |            |              |      |
| 3                                   | 家の人と学校のできごとについて話をしていますか。                            | ●    | ●      |        |            |              | 71   |
| 4                                   | 家の手伝いをしていますか。                                       | ●    | ●      |        |            |              | 72   |
| ■2 自分自身について                         |                                                     |      |        |        |            |              |      |
| 5                                   | ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。                      |      |        |        | 64         |              | 72   |
| 6                                   | むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。                        |      |        |        |            |              |      |
| 7                                   | 自分には、よいところがあると思いますか。                                | ●    | ●      |        |            |              | 74   |
| 8                                   | 将来の夢や目標をもっていますか。                                    | ●    |        |        |            |              | 75   |
| ■3 社会性・道徳性について                      |                                                     |      |        |        |            |              |      |
| 9                                   | 学校のきまりを守っていますか。                                     | ●    | ●      |        | 65         |              | 75   |
| 10                                  | 係や委員の仕事など、自分の役割はきちんとできていますか。                        | ●    |        |        |            |              | 76   |
| 11                                  | 人が困っているときは、進んで助けていますか。                              | ●    | ●      |        |            |              | 77   |
| 12                                  | 近所の人にあつたときは、あいさつをしていますか。                            | ●    | ●      |        |            |              |      |
| 13                                  | 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。                             | ●    |        |        |            |              |      |
| 14                                  | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。                       | ●    |        |        |            |              |      |
| 15                                  | 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。                                | ●    |        |        |            | 79           |      |
| ■4 社会への関心について                       |                                                     |      |        |        |            |              |      |
| 16                                  | 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。                             |      |        |        | 66         |              | 79   |
| 17                                  | 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか。                         | ●    | ●      |        |            |              | 80   |
| ■5 メディア(テレビ、ゲーム、パソコン、携帯電話など)の利用について |                                                     |      |        |        |            |              |      |
| 18                                  | あなたは1日にどれくらいの時間、メディア(テレビ、ゲーム、パソコン、携帯電話など)を利用していますか。 | ●    |        |        | 66         |              | 80   |
| 19                                  | メディアの利用のしかたについて、家の人と約束したことを守っていますか。                 | ●    |        |        |            |              | 81   |
| ■6 勉強・授業について                        |                                                     |      |        |        |            |              |      |
| 20                                  | 私語なく先生や友だちの話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。               | ●    |        | 44     | 67         |              | 44   |
| 21                                  | 授業では、ノートを丁寧に書いていますか。                                | ●    |        | 54     |            |              | 54   |
| 22                                  | 勉強は好きですか。                                           | ●    |        | 46     |            |              | 46   |
| 23                                  | 授業の内容がどの程度分かりますか。                                   | ●    | ●      | 50     |            |              | 50   |
| 24                                  | 分からないところは先生や友だちに質問して解決していますか。                       | ●    |        |        |            |              | 81   |
| 25                                  | ふだんの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか。    |      |        | 38     |            |              | 38   |
| 26                                  | ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。                |      |        | 40     |            |              | 40   |
| 27                                  | ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。             |      |        | 42     |            |              | 42   |
| 28                                  | 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのはむずかしいと思いますか。    | ●    |        |        |            |              | 82   |
| ■7 家庭学習について                         |                                                     |      |        |        |            |              |      |
| 29                                  | 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。                               | ●    | ●      | 58     | 68         |              | 58   |
| 30                                  | 家で学校の宿題をしていますか。                                     | ●    | ●      | 56     |            |              | 56   |
| 31                                  | 家で学校の授業の予習をしていますか。                                  |      |        | 52     |            |              | 52   |
| 32                                  | 家で学校の授業の復習をしていますか。                                  |      |        | 53     |            |              | 53   |
| 33                                  | 家で苦手な教科の勉強をしていますか。                                  |      |        |        |            |              | 82   |
| 34                                  | テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。                  |      |        | 55     |            |              | 55   |
| 35                                  | 学校の授業以外に、ふだん(月～金)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。            | ●    |        | 60     |            |              | 60   |
| 36                                  | 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。            | ●    |        | 61     |            |              | 61   |
| ■8 読書について                           |                                                     |      |        |        |            |              |      |
| 37                                  | 読書は好きですか。                                           | ●    |        |        | 69         |              | 83   |
| 38                                  | 家や図書館で、ふだん(月～金)、1日にどれくらいの時間、読書をしますか。                | ●    |        |        |            |              |      |
| ■9 学校生活について                         |                                                     |      |        |        |            |              |      |
| 39                                  | 学校が好きですか                                            | ●    |        |        | 69         |              | 84   |
| 40                                  | あなたの学級では、学級の友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか。         | ●    |        |        |            |              | 85   |
| 41                                  | 中学校に進学することについて、どのように感じていますか。                        | 小6のみ |        |        |            |              |      |

## (2) 学校質問紙

学校質問紙調査は、各学校の各種教育活動の取組状況を把握し、児童生徒に対する教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とし、質問項目は県教育基本計画や児童生徒質問紙との関連を考慮して設定している。

\*H24結果一覧はP86～P89に掲載

| 質 問 項 目         |                                                          | 基本<br>計画<br>指標 | 掲載P<br>経年<br>比較 |
|-----------------|----------------------------------------------------------|----------------|-----------------|
| ■1 家庭・地域との連携    |                                                          |                |                 |
| 1               | 地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。                         | ●              | 90              |
| 2               | ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。                      |                |                 |
| 3               | PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。                      | ●              |                 |
| ■2 社会性・道徳性の育成   |                                                          |                |                 |
| 4               | 児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。            |                | 91              |
| 5               | 学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組が推進されるよう指導、支援を行っていますか   |                |                 |
| 6               | 児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。                                | ●              |                 |
| 7               | 保護者や地域の人々の参加や協力を得るなど、地域の人材を生かした道徳教育を実施していますか。            |                |                 |
| 8               | 保護者などに道徳の授業を公開しましたか(予定を含む)。                              |                | 92              |
| 9               | 学校や社会のきまりを守ることの大切さについて指導していますか。                          |                |                 |
| 10              | 学校や地域であいさつをするよう指導していますか。                                 |                |                 |
| ■3 基礎的・基本的内容の定着 |                                                          |                |                 |
| 11              | 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか。               |                | 93              |
| 12              | 算数(数学)の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか。                    |                |                 |
| 13              | 昼休みや放課後の時間等を利用した補充的な学習サポートを実施していますか。                     |                |                 |
| ■4 指導方法等について    |                                                          |                |                 |
| 14              | 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底していますか。 |                | 94              |
| 15              | 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか。        |                |                 |
| 16              | 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。              |                | 95              |
| 17              | 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。                            |                |                 |
| 18              | 児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか。              |                |                 |
| 19              | 新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。                                |                | 96              |
| 20              | ICT機器を活用した授業を行っていますか。                                    |                |                 |
| 21              | 「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。               |                |                 |
| ■5 外国語活動        |                                                          |                |                 |
| 22              | (小) 外国語活動の授業において、ネイティブ・スピーカーの活用や外国語に堪能な地域の人々の協力を得ていますか。  | ●              | 97              |
|                 | (中) 小学校外国語活動の実施状況を把握(授業参観、情報交換等)して外国語教育における小中連携を実施しましたか。 | ●              |                 |
| ■6 小中連携         |                                                          |                |                 |
| 23              | 小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。      |                | 97              |
| ■7 家庭学習         |                                                          |                |                 |
| 24              | 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか。                      |                | 98              |
| 25              | 児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか。                       |                |                 |
| 26              | 家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。    |                | 99              |
| ■8 教育計画等        |                                                          |                |                 |
| 27              | 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。           |                | 99              |
| ■9 教員研修         |                                                          |                |                 |
| 28              | 模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。                         |                | 100             |
| ■10 調査結果の活用     |                                                          |                |                 |
| 29              | 前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。 |                | 101             |
| ■11 校務の改善       |                                                          |                |                 |
| 30              | 児童生徒に向き合う時間の確保のため、校務の改善に取り組んでいますか。                       | ●              | 102             |
| 31              | (1) どのようなことに取り組みましたか。「学校運営(学校評価)の焦点化」                    |                |                 |
|                 | (2) どのようなことに取り組みましたか。「校務分掌の簡素化・均等化」                      |                |                 |
|                 | (3) どのようなことに取り組みましたか。「会議の精選・時間短縮」                        |                |                 |
|                 | (4) どのようなことに取り組みましたか。「ICTの活用による業務の効率化」                   |                |                 |
|                 | (5) どのようなことに取り組みましたか。「その他」                               |                |                 |

## 2 総論

■本章では、「4つのアクション」で示された次の授業改善の視点に関連する香川県学習状況調査質問紙調査の項目を取り上げ、Q&A形式で調査結果について解説しています。また、関連する全国学力・学習状況調査結果についても掲載しています。

- 「Action1 思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導」
- 「Action2 学習意欲向上のための指導」
- 「Action3 学習方法を身に付けるための指導」
- 「Action4 学習習慣形成のための指導」

■本年度の香川県学習状況調査質問紙調査については、各学年の結果とともに、同一児童生徒の経年比較や同学年の経年比較による分析を行っています。また、同様の質問紙調査を実施している秋田県学習状況調査の結果とも比較しています。グラフ等の見方については、以下を参照してください。

### 【グラフ等の見方】

○今年度（H24）の小中学校における  
学年別調査結果

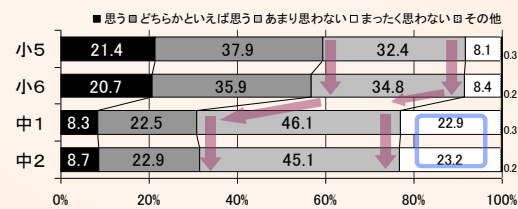
○質問項目内容

○調査結果についてのコメント

■25 ふだんの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか

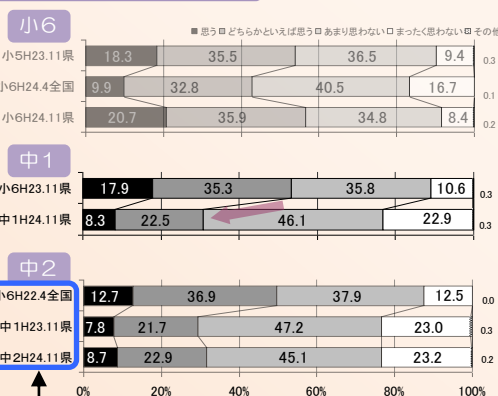
【児童生徒質問紙】

#### ●平成 24 年度調査結果

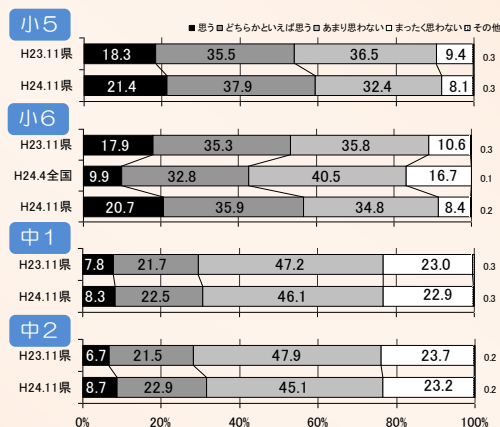


- 平成 24 年度の結果では、肯定的回答は、小5が 59.3%、小6が 56.6%、中1が 30.8%、中2が 31.6%。小学校が約6割に対して、中学校は約3割と大きく減少。
- 「全く思わない」と回答している生徒の割合は、中学校1・2年ともに2割を超えており、課題がうかがえる。
- 中学校1年における同一児童生徒経年比較を見ても、肯定的回答は 22.4%減少し、小中差が大きい。

#### ◆ 同一児童生徒経年比較



#### ◆ 同学年経年比較



○同一児童生徒経年比較  
今年度の各調査対象学年の児童生徒における過去の結果を経年で示しています。

○同学年経年比較  
各調査対象学年の過去の結果を経年で示しています。

- 小6H22.4 全国←小6の時の結果、H22.4 に実施した全国学力・学習状況調査結果（同一質問がある場合掲載）
- 中1H23.11 県←中1の時の結果、H23.11 に実施した県学習状況調査結果
- 中2H24.11 県←中2の時の結果、H24.11 に実施した県学習状況調査結果

責任感と危機感を持って取り組む4つのAction

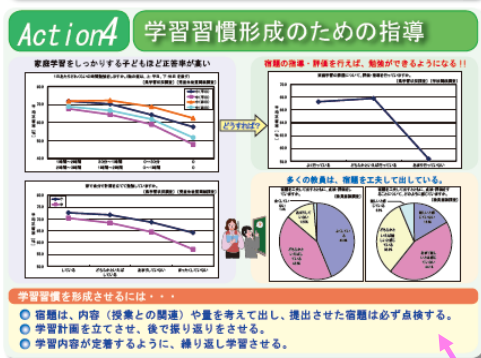
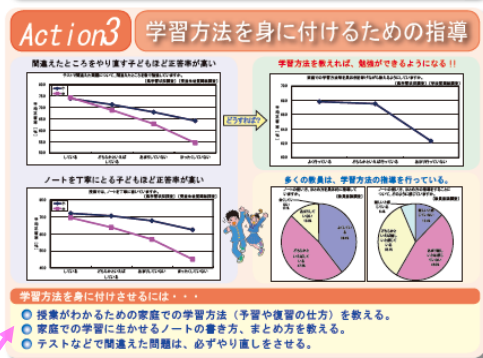
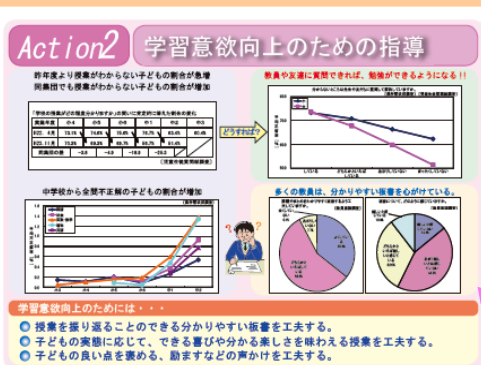
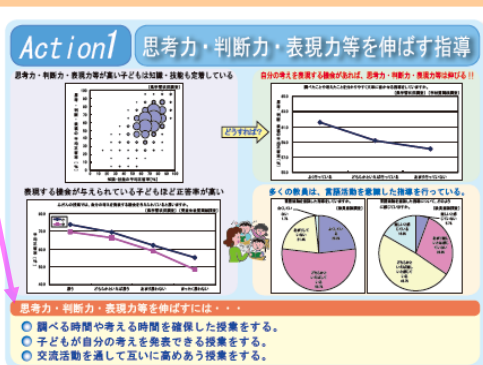
# 「子どもに確かな学力を！」

## Action1 思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導

- 調べる時間や考える時間を確保した授業をする。
- 子どもが自分の考えを発表できる授業をする。
- 交流活動を通して互いに高めあう授業をする。

## Action2 学習意欲向上のための指導

- 授業を振り返ることのできる分かりやすい板書を工夫する。
- 子どもの実態に応じて、できる喜びや分かる楽しさを味わえる授業を工夫する。
- 子どもの良い点を褒める、励ますなどの声かけを工夫する。

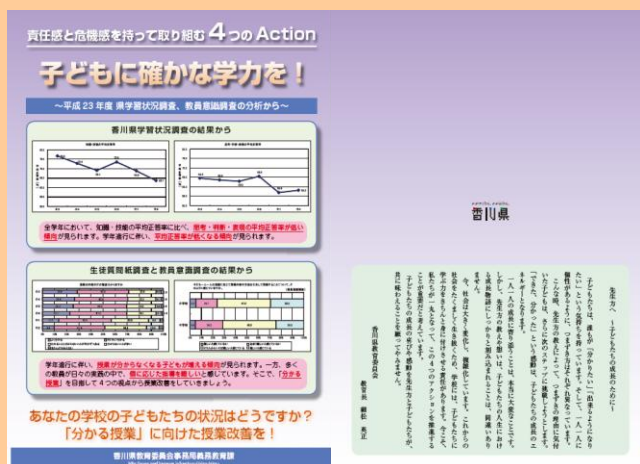


## Action3 学習方法を身に付けるための指導

- 授業がわかるための家庭での学習方法(予習や復習の仕方)を教える。
- 家庭での学習に生かせるノートの書き方、まとめ方を教える。
- テストなどで間違えた問題は、必ずやり直しをさせる。

## Action4 学習習慣形成のための指導

- 宿題は、内容(授業との関連)や量を考えて出し、提出させた宿題は必ず点検する。
- 学習計画を立てさせ、後で振り返りをさせる。
- 学習内容が定着するように、繰り返し学習させる。



\*H24.3 に、県内全ての小中学校教員に配付されています。



# Question 1

児童生徒の思考力・判断力・表現力等に関連する質問紙結果はどのような状況ですか？（「Action 1 思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導」関連項目）

## Answer

- 1 本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますかという質問に肯定的に回答している児童生徒の割合が、中学校で大きく減少している。
- 2 自分の考えを発表する機会が与えられていると思うと回答している児童生徒の割合が、小中学校ともに増加傾向にある。
- 3 授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思うと回答している児童生徒の割合が、小中学校ともに増加傾向にある。

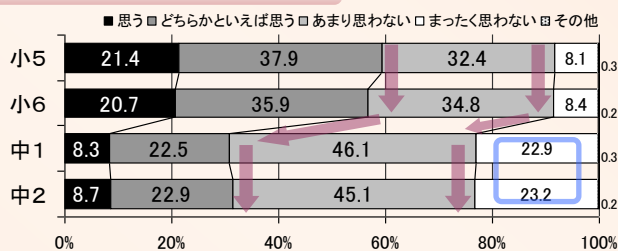
1 ふだんの授業で、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますかという質問に肯定的に回答している児童生徒の割合が、中学校で大きく減少しています。

平成 24 年度の結果において、肯定的に回答している児童生徒の割合は、中学校で大きく減少し、2 割を超える生徒が「全く思わない」と回答しています。中学校 1 年における同一児童生徒経年比較を見ても、肯定的に回答している生徒の割合は、前年度の結果と比較して、今年度の中学校 1 年では大きく減少しています。

### ■ 25 ふだんの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか

【児童生徒質問紙】

#### ● 平成 24 年度調査結果



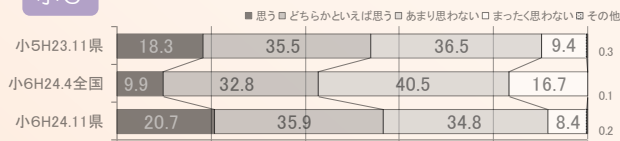
○平成 24 年度の結果では、肯定的回答は、小5が 59.3%、小6が 56.6%、中1が 30.8%、中2が 31.6%。小学校が約 6 割に対して、中学校は約 3 割と大きく減少。

○「全く思わない」と回答している生徒の割合は、中学校 1・2 年ともに 2 割を超えており、課題がうかがえる。

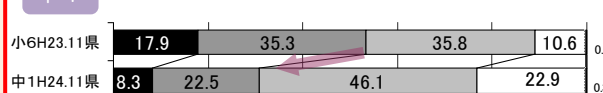
○中学校 1 年における同一児童生徒経年比較を見ても、肯定的回答は 22.4%減少し、小中差が大きい。

#### ◆ 同一児童生徒経年比較

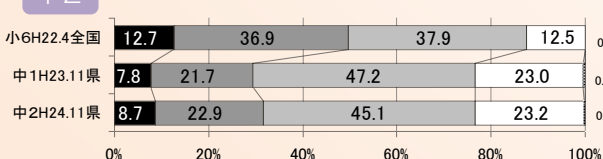
##### 小6



##### 中1

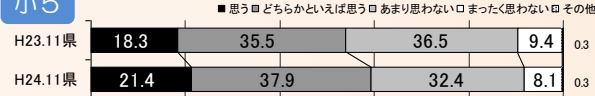


##### 中2

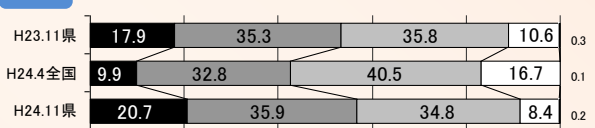


#### ◆ 同学年経年比較

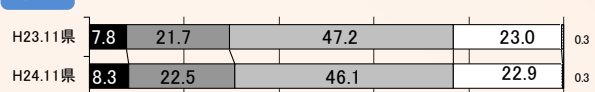
##### 小5



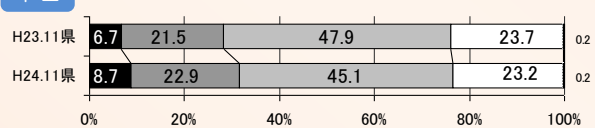
##### 小6



##### 中1



##### 中2



※全国学力・学習状況調査における同一質問の結果も示している。

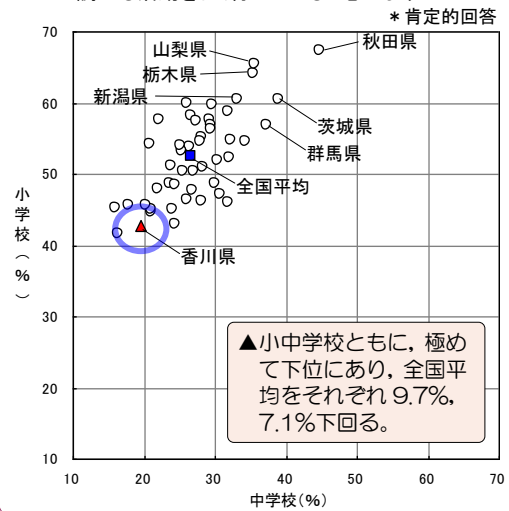
また、平成24年度全国学力・学習状況調査にある同一質問に対して、肯定的に回答している本県の児童生徒の割合は、小中学校ともに全国的に見て極めて下位にあり、最上位の秋田県との差は、小学校が24.6%、中学校25.1%もあります。

さらに、同調査の学校質問紙「調査対象児童生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどの資料の調べ方を身に付けるように指導しましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答している本県の小中学校の割合も全国的に見て極めて下位にあり、経年変化を見ても小中学校とも低下傾向にあります。児童生徒質問紙の結果と同様、最上位県との差は、小学校が28.8%、中学校が29.8%と大きく、課題がうかがえます。

### グループで調べる活動

全国学力・学習状況調査結果（H24）【児童生徒質問紙】

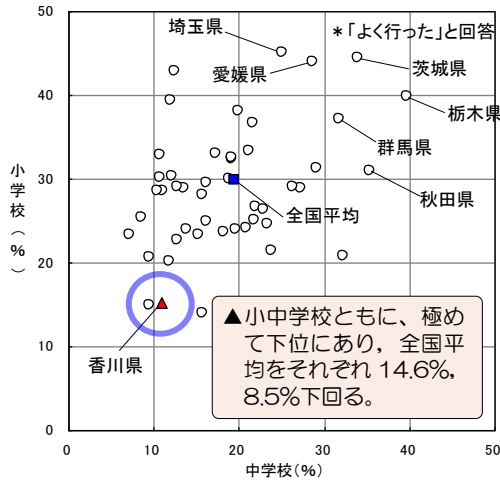
□40 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか



全国学力・学習状況調査結果（H24）

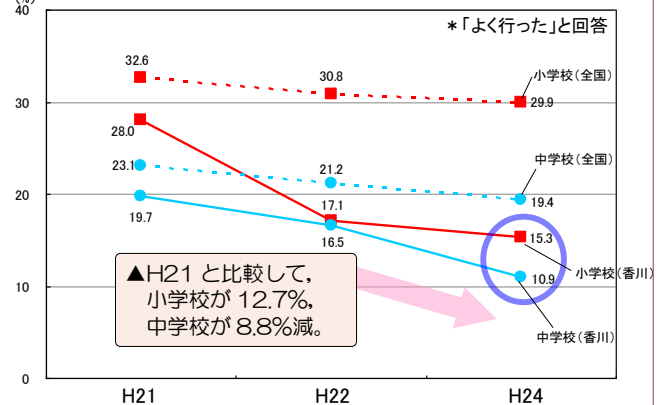
【学校質問紙】

■28 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒に対して、本やインターネットなどの資料の調べ方を身に付けるよう指導しましたか



### 資料の調べ方を身に付ける指導

<経年変化>



### Column

#### 「平成23年度 秋田県学習状況調査結果」から見える「あきたのそちから」

本県同様、秋田県においても県独自の学習状況調査を実施しています。児童生徒へのアンケート調査の中に、本県と同一の質問項目があり、実施時期もほぼ同時期であることから、本報告書には、秋田県の結果も掲載しました。

秋田県の調査結果の中に興味深いデータを見付けました。勉強が好きかどうかの質問に「つよくそう思う」または「そう思う」と回答した生徒の割合の経年変化です。まさに学力上位県である秋田県については、「もともと学力が高い」「もともと勉強が好きなお子が多い」といった思いをもつ人が多いかもしれません。

グラフにあるように、年々、勉強が好きと回答している生徒が増加しています。秋田県の多くの先生方が、子どもにとって分かる授業の実現のために、日々授業改善に向けて努力されている成果の一つだと思います。

秋田県総合教育センターが、平成23年2月に「あきたのそちから」という冊子を発刊しました。秋田の教師が年齢や校種の壁を乗り越え、大切に守り育ててきた「授業の基礎・基本」を秋田スタンダードとしてまとめたものです。

この子どもの育ちは、まさに、先輩から脈々と続く「あきたのそちから」によるものではないでしょうか。

●「平成23年度 秋田県学習状況調査 I 調査結果概要」から

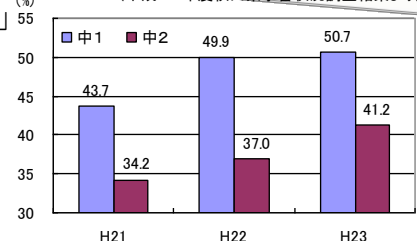
○調査対象学年、実施教科等

・小4（国、算、理）、小5・6（国、社、算、理）、中1・2（国、社、数、理）

・小4～中2（学習の意欲等に関するアンケート）

○調査実施日 小学校 平成23年12月7日、中学校 平成23年12月8日

「勉強が好きだ」に対する肯定的回答の経年変化  
(平成23年度秋田県学習状況調査結果より)



## 2 ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思うと回答している児童生徒の割合が、小中学校ともに増加傾向にあります。

平成 24 年度の結果において、ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思うと回答している児童生徒の割合は、小学校 6 年が最も高くなり、学年が進むにつれて減少しています。

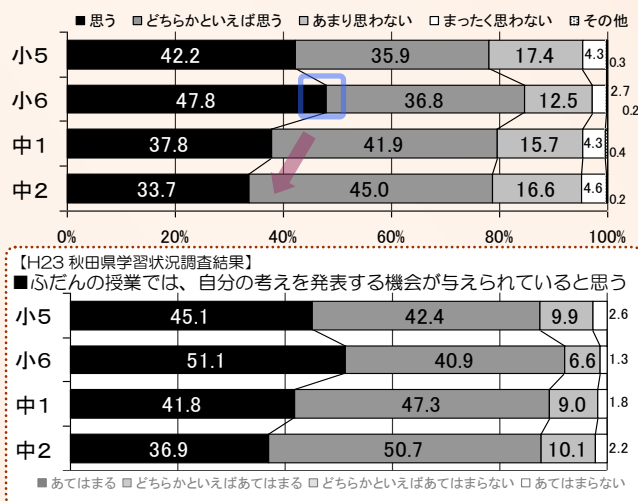
同学年経年比較を見ると、どの学年も平成 23 年度と比較して増加しており、調査の実施時期は異なりますが、平成 21 年度と比較すると、どの学年も約 6～12%増加しています。

なお、同一の質問内容で調査を実施している秋田県の結果を見ると、各学年の肯定的な回答の割合は、約 10%近く本県を上回っています。

### ■26 ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか

【児童生徒質問紙】

#### ●平成 24 年度調査結果



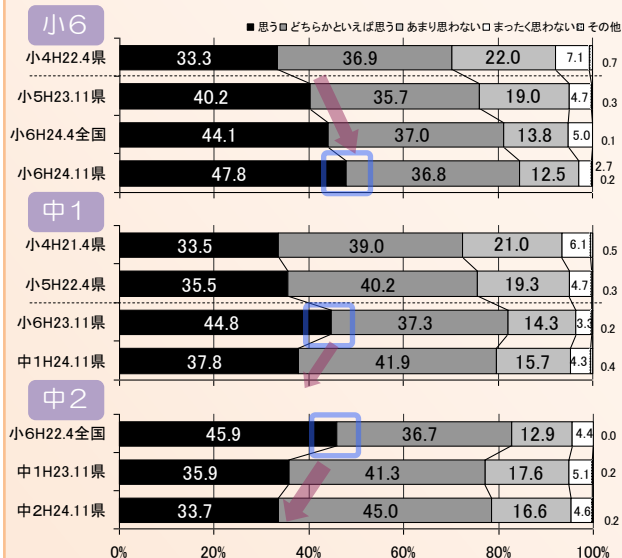
○平成 24 年度の結果では、「思う」と回答している児童生徒の割合は、小6で最も高くなり、学年が進むにつれ減少。肯定的回答は、どの学年も約8割程度。

○同学年経年比較を見ると、「思う」と回答している児童生徒の割合は、平成 23 年度と比較して、どの学年も約2～5%増加。調査時期は異なるが、平成 21 年度と比較すると以下のようになり、小中学校ともに、自分の考えを発表する機会が増えていることがうかがえる。

- ・小5 +9.8%
- ・小6 +12.1%
- ・中1 +9.6%
- ・中2 +6.1%



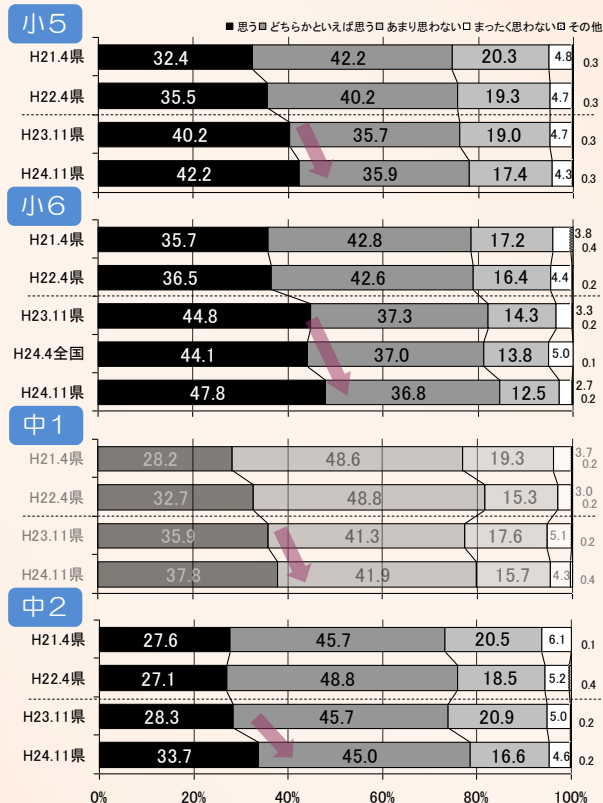
#### ◆ 同一児童生徒経年比較



○肯定的回答を秋田県と本県とで比較すると、以下のようになる。秋田県は、全ての学年でほぼ9割と高く、発表する機会が確保されていることがうかがえる。

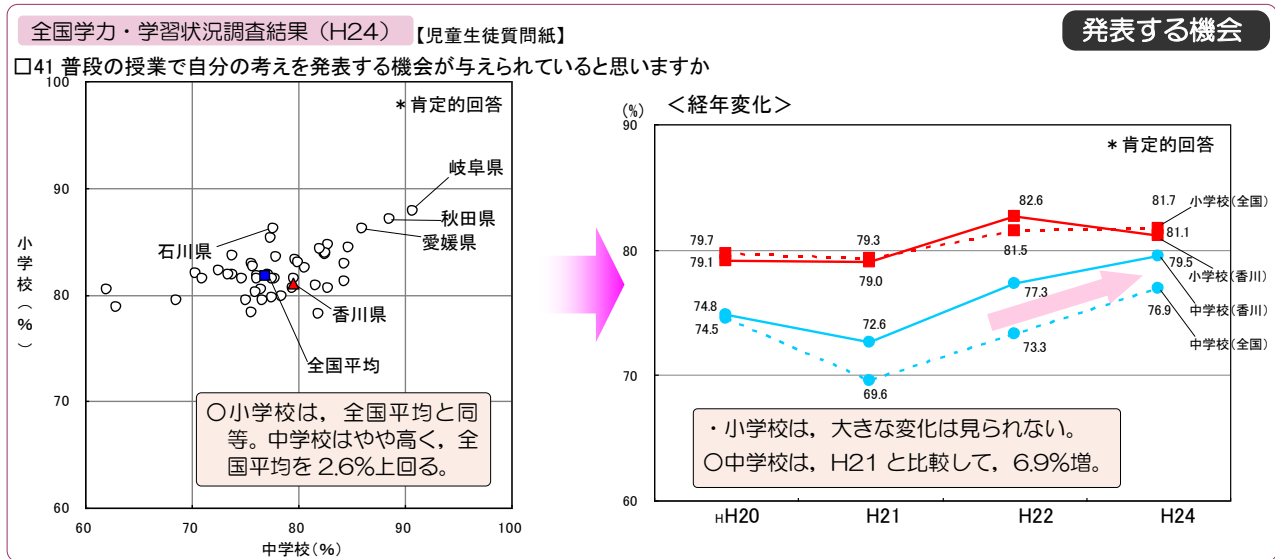
|    | 香川   | 秋田   | 香川ー秋田県 |
|----|------|------|--------|
| 小5 | 78.1 | 87.5 | ▲9.4   |
| 小6 | 84.6 | 92.0 | ▲7.4   |
| 中1 | 79.7 | 89.1 | ▲9.4   |
| 中2 | 78.7 | 87.6 | ▲8.9   |

#### ◆ 同学年経年比較



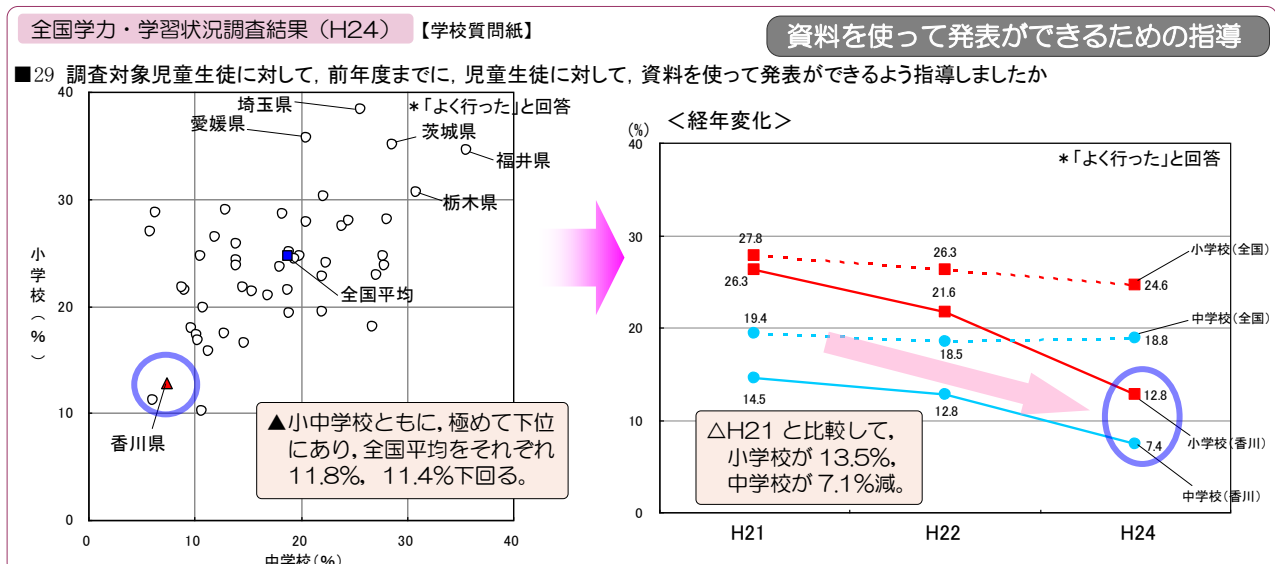
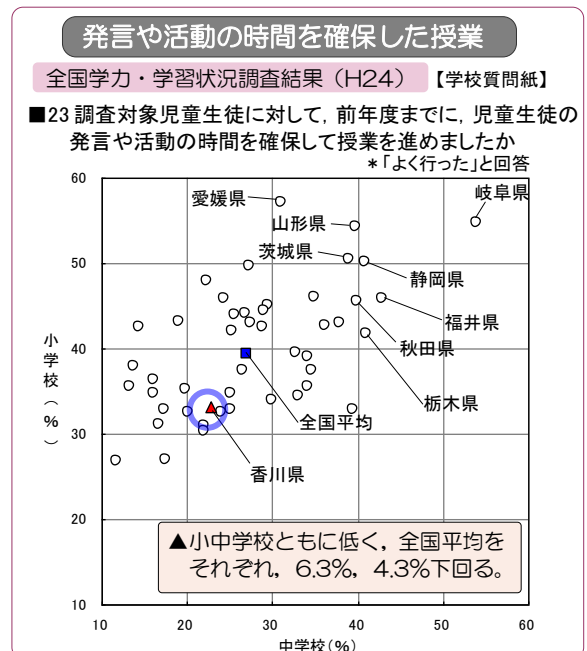
※調査時期が平成 22 年度以前と平成 23 年以降では異なるため、グラフ中の破線で区別した。

また、平成24年度全国学力・学習状況調査にある同一質問に対して、肯定的に回答している本県の中学校の割合は、全国平均と比較してやや高く、経年変化を見ても増加傾向にあります。



しかし、同調査の学校質問紙「調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答している本県の小中学校の割合は全国的に見て低くなっています。

さらに、同質問紙「調査児童生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答している本県の小中学校の割合は全国的に見て極めて下位にあり、経年変化を見ても、小中学校ともに低下傾向にあり、課題がうかがえます。



### 3 ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思うと回答している児童生徒の割合が、小中学校ともに増加傾向にあります。

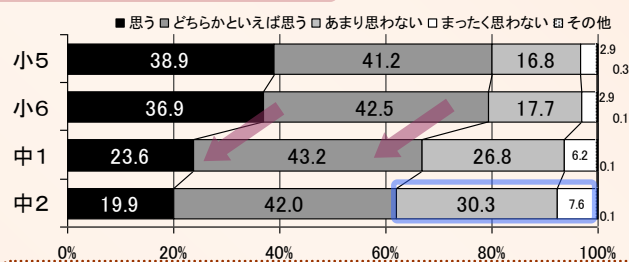
平成 24 年度の結果において、ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思うと回答している児童生徒の割合は、学年が進むにつれて減少し、中学校 2 年では、約 4 割の生徒が「あまり思わない」または「全く思わない」と回答しています。同学年経年比較を見ると、「思う」と回答している児童生徒の割合が、小中学校ともに増加傾向にあります。

なお、同一の質問内容で調査を実施している秋田県の結果を見ると、肯定的な回答の割合は、小学校で約 10%、中学校では約 20%も本県を上回っています。秋田県においても小学校 6 年から中学校 1 年にかけて肯定的な回答の割合が減少していますが、その割合は、本県より小さくなっています。

#### ■27 ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか

【児童生徒質問紙】

##### ●平成 24 年度調査結果

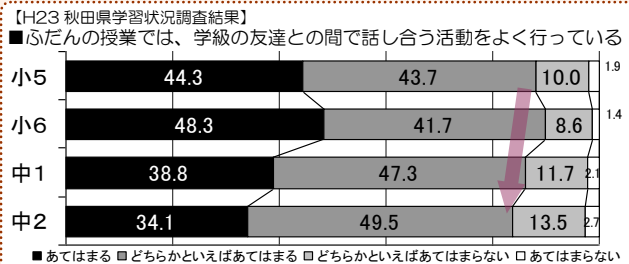


○平成 24 年度の結果では、「思う」と回答している児童生徒の割合は、学年が進むにつれて減少。特に小6から中1にかけて、その割合が大きく、その差は 13.3%。否定的な回答をしている児童生徒の割合も、小6から中1にかけて特に増加し、中学校 1 年では、33.0%、中学校 2 年では、37.9%と高い。

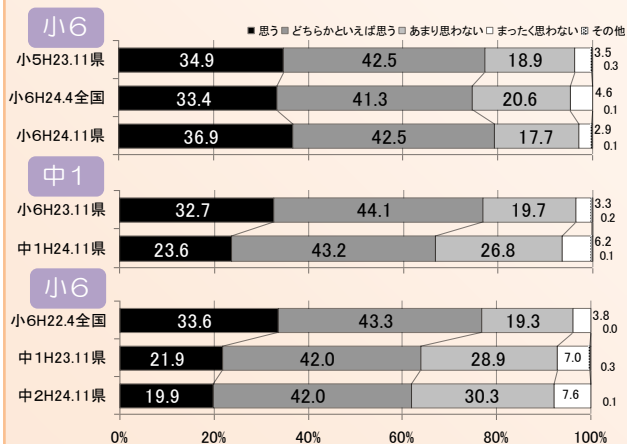
○同学年経年比較を見ると、「思う」と回答している児童生徒の割合は、平成 23 年度と比較して、どの学年も約 2～4%増加。

○肯定的な回答の結果を秋田県と本県とで比較すると秋田県は高く、中学校でも大きく減少しない。

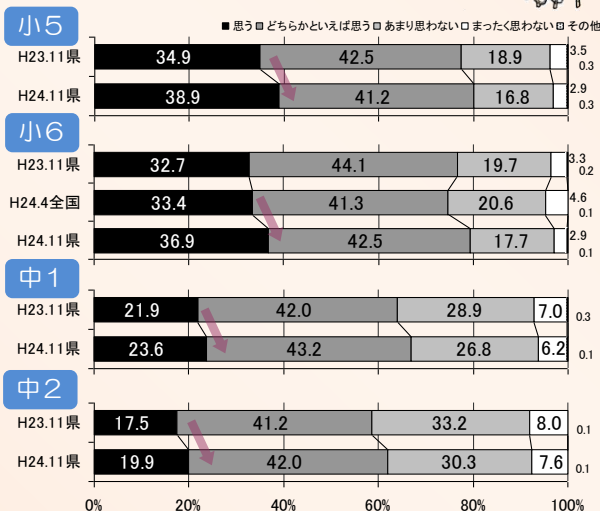
|    | 香川   | 秋田   | 香川ー秋田県 |
|----|------|------|--------|
| 小5 | 80.1 | 88.0 | ▲7.9   |
| 小6 | 79.4 | 90.0 | ▲10.6  |
| 中1 | 66.8 | 86.1 | ▲19.3  |
| 中2 | 61.9 | 83.6 | ▲21.7  |



##### ◆ 同一児童生徒経年比較



##### ◆ 同学年経年比較

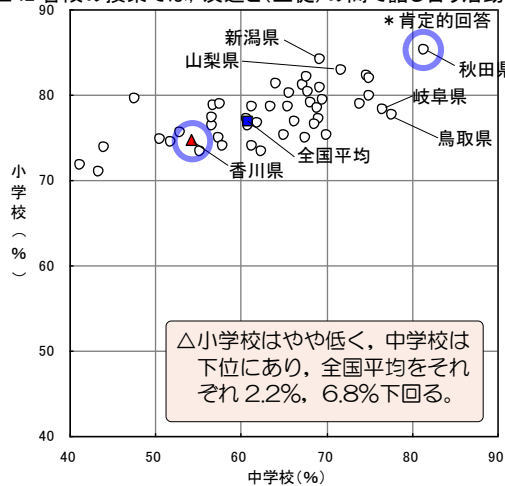


また、平成 24 年度全国学力・学習状況調査にある同一質問に対して、肯定的に回答している本県の児童生徒の割合は、全国平均と比較して小学校はやや低く、中学校は下位にあり、秋田県との差は、小学校が 10.6%、中学校においては 27.3%もあります。経年変化を見ると、平成 22 年度の結果と比較して、小学校はやや減少していますが、中学校は増加傾向にあります。

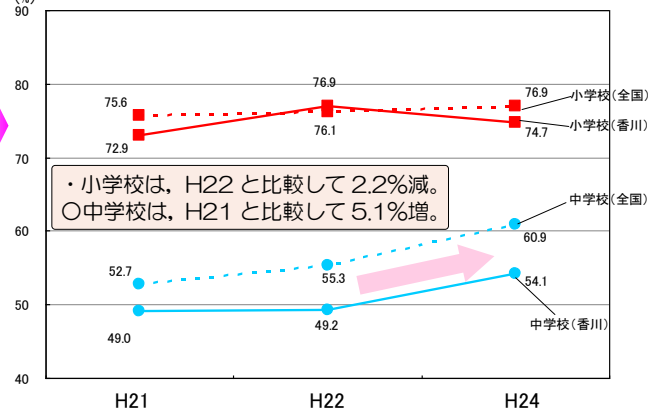
## 全国学力・学習状況調査結果（H24） [児童生徒質問紙]

## 話し合う活動

□42 普段の授業では、友達と(生徒)の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか



## &lt;経年変化&gt;

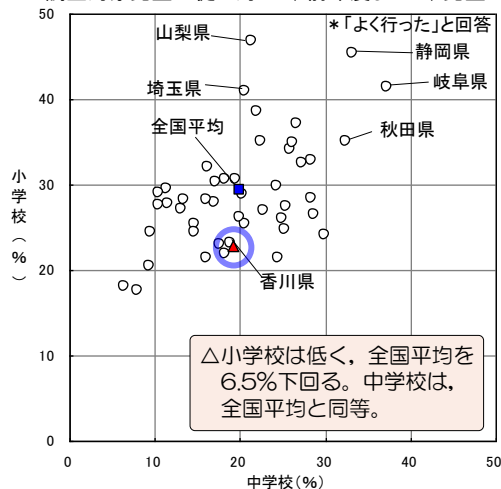


さらに、同調査にある学校質問紙「調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答している本県の小中学校の割合は、全国平均と比較して小学校は低く、中学校は同等となっています。経年変化を見ると、平成22年度の結果と比較して、小学校は増加していますが、中学校は大きく減少しています。

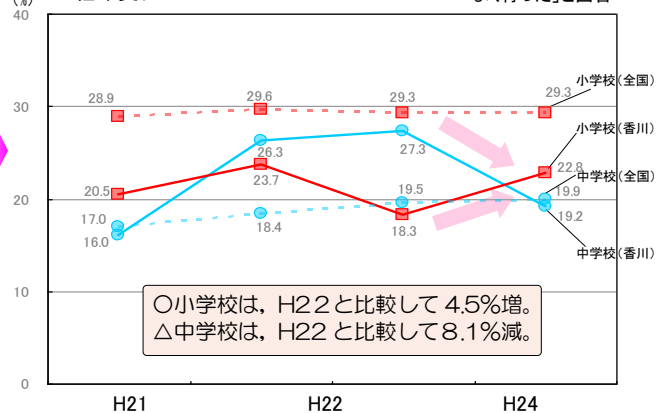
## 全国学力・学習状況調査結果（H24） [学校質問紙]

## 思考を深める発問・指導

■22 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



## &lt;経年変化&gt;



## Column

## 話し合いをすれば言語活動の充実？

言語活動の充実のために「本時において話し合いの場を設定します」「グループでの話し合いのために司会進行のためのマニュアルを用意しました」「話し合いの仕方がわかるよう話形をつくりました」……。このような手立てを用意することが「言語活動の充実」ではありません。

授業研究は、まず教師の学習内容に対する深い理解が必要です。その上で、目標を達成するために効果的な指導方法を検討するのです。学習内容への十分な理解に先んじて、指導方法が先行すると、表面的な学習に止まります。

話し合う活動についても、学習目標を達成するための手立てとして有効かどうか、まずは十分に吟味しなければなりません。また、話し合う活動を行う前提として、児童生徒の話し合う活動のテーマについて、基本的な理解や考えがどの程度形成されているかも確認する必要があります。

話し合う活動を含めた「言語活動の充実」は、思考力・判断力・表現力等を伸ばすための有効な手立てですが、そのためには、まず教師が学習内容を深く理解し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、その上で、話し合う活動の導入について検討する必要があります。



Question  
2

児童生徒の学習態度や意欲に関連する質問紙結果はどのような状況ですか？（「Action 2 学習意欲向上のための指導」関連項目）

Answer

- 1 私語なく集中して授業を受けていると回答している児童生徒の割合が、小中学校ともに増加傾向にある。
- 2 勉強がきらいと回答している生徒の割合が、中学校1年前期に大きく増加している。
- 3 授業の内容がよく分かると回答している生徒の割合が、中学校1年前期に大きく減少している。

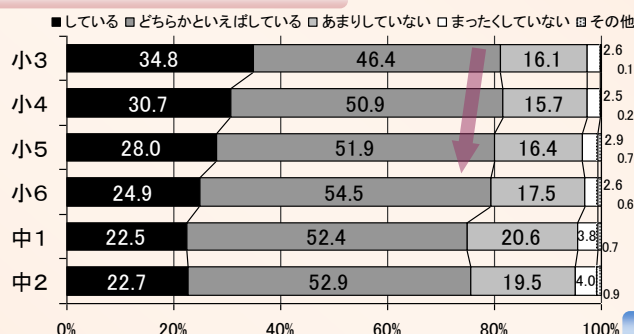
1 私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていると回答している児童生徒の割合が、小中学校ともに増加傾向にあります。

平成24年度の結果において、肯定的に回答している児童生徒の割合は、学年が進むにつれてやや減少していますが、その割合は、他の学習意欲に関連する質問と比べると小さくなっています。同学年経年比較を見ると、「している」と回答している児童生徒の割合が、小中学校ともに増加傾向にあります。

■20 私語なく先生や友だちの話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか

【児童生徒質問紙】

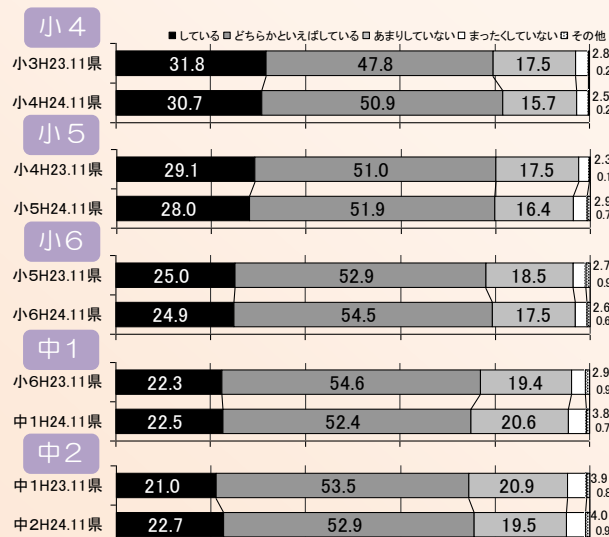
●平成24年度調査結果



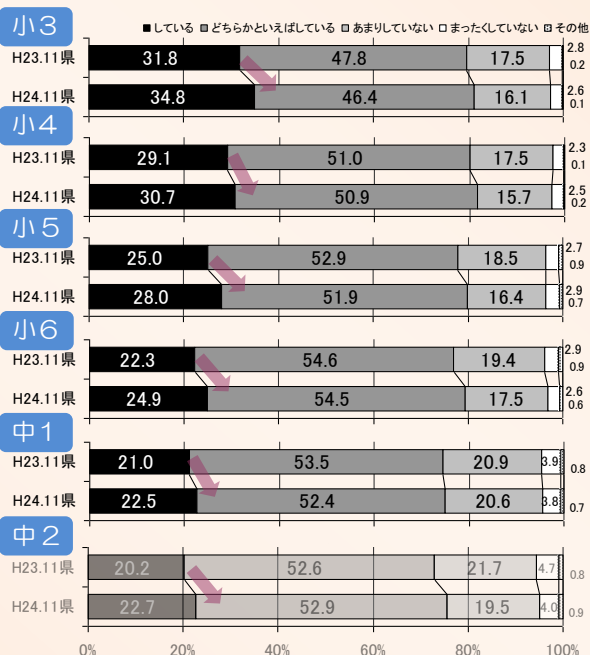
○平成24年度の結果では、肯定的回答は小学校が80%、中学校が75%程度。小中の差は他の学習意欲に関連する質問と比較して小さい。「している」と回答している児童生徒の割合は、小3から中2にかけて12.1%減少。

○同学年経年比較を見ると、「している」と回答している児童生徒の割合は、平成23年度と比較して、どの学年も約2～3%増加。

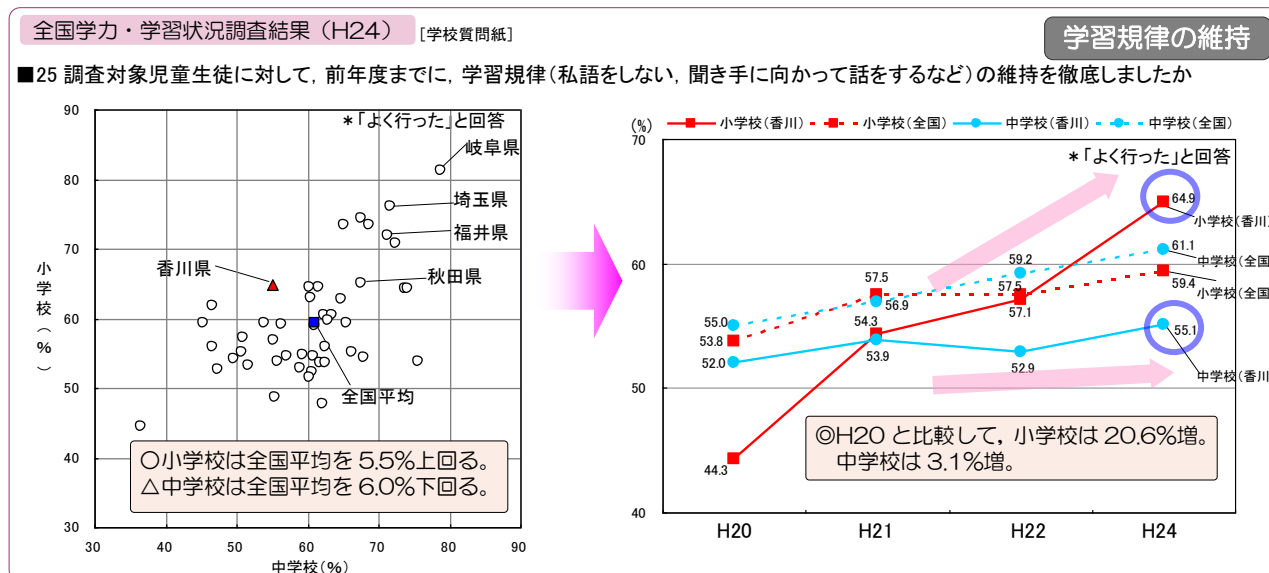
◆同一児童生徒経年比較



◆同学年経年比較

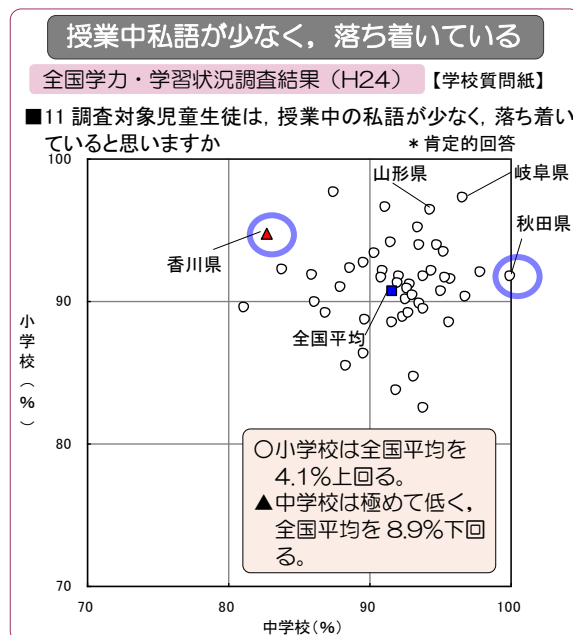


また、平成 24 年度全国学力・学習状況調査の学校質問紙「調査対象児童生徒に対して、前年度までに学習規律（私語をしない、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底しましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答している本県の小中学校の割合は、全国平均と比較して小学校は高く、中学校は低くなっています。経年変化を見ると、小学校は平成 20 年度と比較して約 20%も増加しており、各小学校において、学習規律の維持に向けた取組が進められていることがうかがえます。



一方、同調査の学校質問紙「調査対象児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をしている小中学校の割合は、全国的に見て小学校は高くなっていますが、中学校は極めて低くなっており、課題がうかがえます。

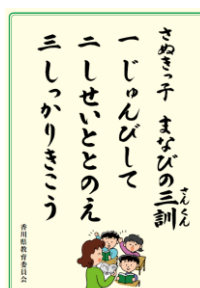
なお、同質問に対して、秋田県における中学校の肯定的な回答の割合は 100%（秋田県の中学校の抽出率は約 80%）となっています。秋田県の多くの中学校では、生徒が落ち着いて授業を受けているといえます。



#### 【参考】

##### 「さぬきっ子 学びの三訓について」

- H22年度から、県内小中学校の全ての学級に配布しています。
- 教師自身が、教材研究を十分に行い、しっかり準備しましょう。  
子どもたちに「静かにしなさい」と言う前に、自然と子どもたちが聞き入るような話をしましょう。  
そして子どもたちの話もしっかりと聞きましょう。



小学校低学年用



小学校高学年用



中学校用

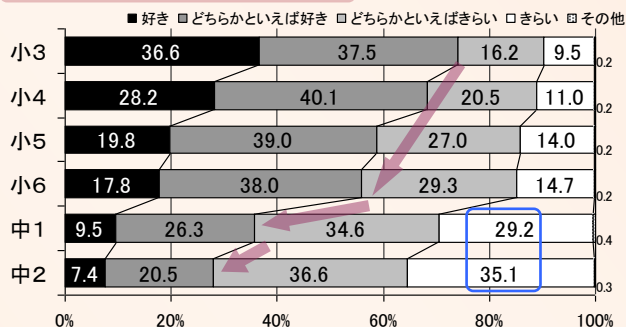
## 2 勉強がきらいと回答している児童生徒の割合が、特に中学校1年前期に大きく増加しています。

平成24年度の結果において、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小学校3年の74.1%から中学校2年の27.9%へと、学年が進むにつれて大きく減少しています。特に、小学校6年から中学校1年にかけては、約2割減少しています。「勉強がきらい」と回答している児童生徒の割合は、学年が進むにつれて増加し、中学校1年では約30%、中学校2年では約35%になっています。

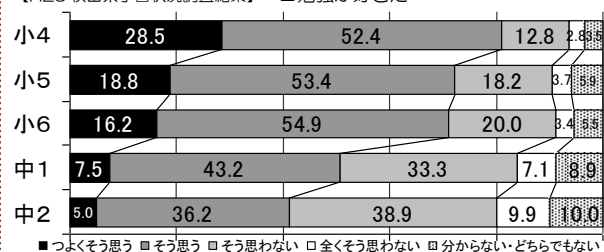
### ■22 勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】

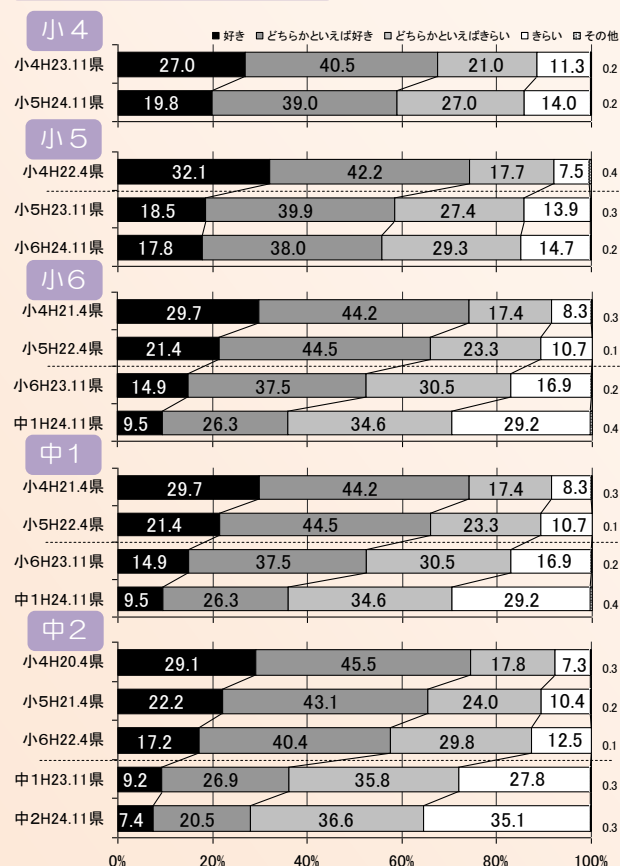
#### ●平成24年度調査結果



【H23 秋田県学習状況調査結果】



#### ◆ 同一児童生徒経年比較



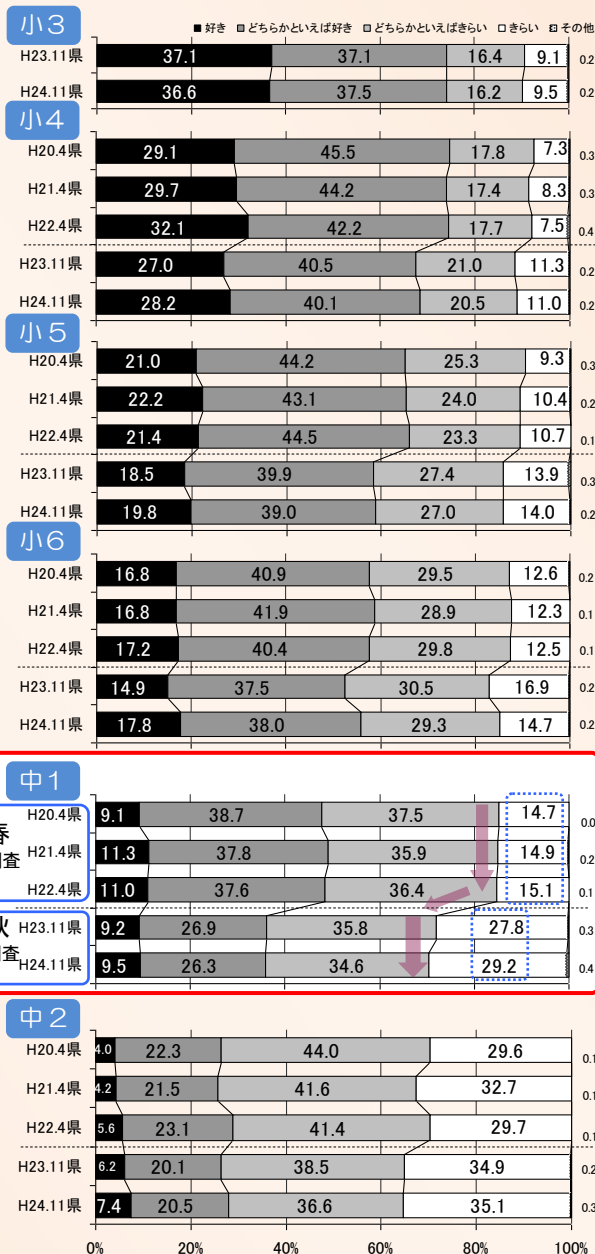
○平成24年度の結果では、肯定的回答は小3の74.1%から、中2の27.9%へと46.2%も減少。特に小6から中1にかけては20.0%減少。

○「きらい」と回答している生徒の割合は、中1が約30%、中2が約35%と高くなっている。

○同学年経年比較を見ると、11月実施となったことで、「きらい」と回答している生徒の割合が特に中1で増加。

※秋田県調査は、本県の「好き」に相当する選択肢が、関心度合いの高い「つよくそう思う」であることや本県にない「分からない・どちらでもない」という選択肢があることに留意する必要がある。

#### ◆ 同学年経年比較



同学年経年比較における中学校 1 年の結果を見ると、「きらい」と回答している生徒の割合が、11 月実施の平成 23、24 年度は、28～29%程度、4 月実施の平成 20～22 年度は、15%程度となっています。調査対象児童生徒は異なりますが、同じ実施時期のそれぞれの結果は、ほぼ似た値になっており、他学年の結果と比較しても、中学校 1 年では実施時期の違いによる結果に大きな差が見られます。このことから、中学校 1 年の 4 月から 11 月にかけて、勉強がきらいだと思ふ生徒の割合が特に増加することがわかります。

なお、ほぼ同じ質問内容で調査を実施している秋田県の結果を見ると、各学年の肯定的な回答の割合は、約 13～15%本県を上回っています。

## Column

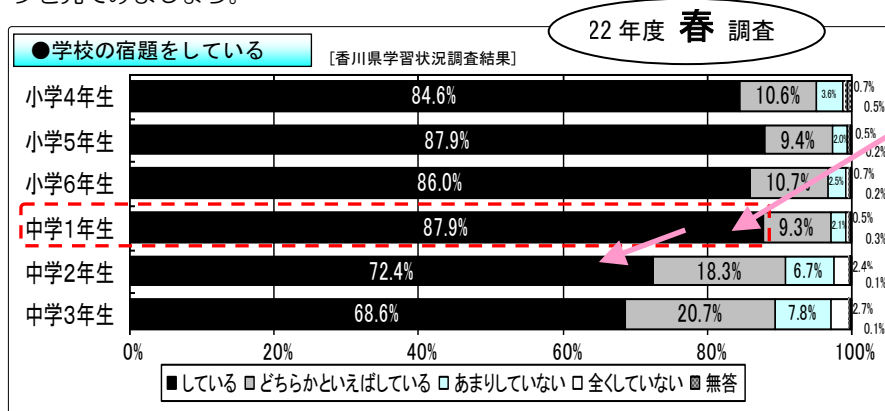
## やる気あふれる入学当初の中学 1 年生

香川県学習状況調査は、平成 22 年度までは、多くの小中学校において 4 月の早い時期に実施されていたのではないのでしょうか。同じ学年の結果を経年で比較すると、平成 23 年度以降の 11 月実施と平成 22 年度以前の 4 月実施の結果に大きな差が見られる質問項目が見つかりました。11 月実施になると肯定的な回答をしている生徒の割合が大きく減少する質問項目です。

例えば、前項で示している「勉強は好きですか」という質問に対しての中学校 1 年の回答状況です。4 月実施の頃は、中学 1 年生は入学当初であり、「さあ中学校でがんばろう」とやる気をもった生徒が多いと思われます。また、前学年（小 6）の状況について回答しているかもしれません。いずれにせよ、前項のデータが示すように、中学校入学時から約半年が経過するまでに、生徒の勉強に対する意識が大きく変わっていることが分かります。

この質問以外にも「授業の内容がどの程度分かりますか」や「学校の宿題をしていますか」といった質問でも同様な傾向が見られます。

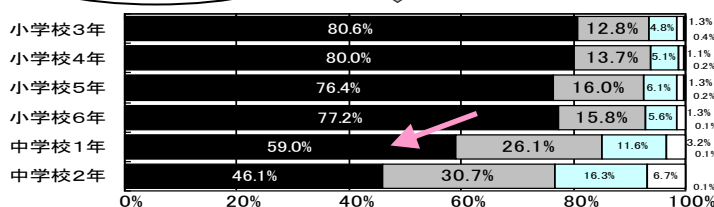
やる気のある中学 1 年生の姿は、過去の香川県学習状況調査結果からも見るができます。平成 22 年度のデータを見てみましょう。



「宿題をしている」と回答している中学校 1 年生の割合は、小学校 5 年生と並んで最も高くなっています。



## 23 年度 秋 調査



ところが、平成 23 年度以降は、調査時期が 11 月実施となり、「宿題をしている」と回答した児童生徒の割合は、中学校 1 年生で、前学年を大きく下回る結果となっています。

同調査にある「予習をしている」や「復習をしている」といった質問項目についても、平成 22 年度の春調査では、肯定的に回答している中学 1 年生の割合は、いず

れも小学校 4 年生に次いで 2 番目に高い割合となっており、「学校の宿題をしている」と同様の結果となっています。

やる気をもって入学してきた中学 1 年生の入学後数ヶ月の指導の大切さを改めて認識いただくとともに、学習指導だけでなく、不登校や問題行動等、生徒指導面においても、小中学校が連携して取り組む必要があります。

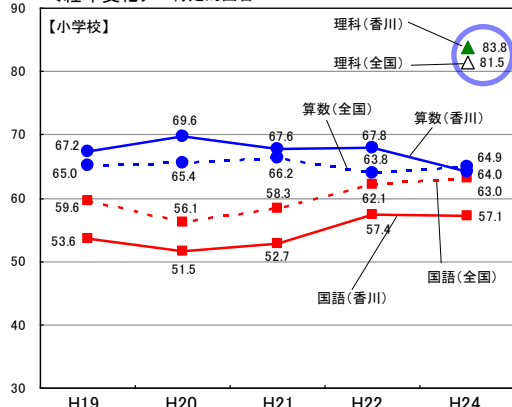
【参考】 「中一不登校の未然防止に取り組むために」平成 17 年 7 月 国立教育政策研究所生徒指導研究センター

また、平成 24 年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「□□の勉強は好きですか」という質問に対して、肯定的に回答している本県の児童生徒の割合は、理科が国語や算数・数学と比較して高くなっています。このことは小学校、中学校の両校種でいえることですが、特に小学校の理科は、国語、算数と比較して高くなっています。

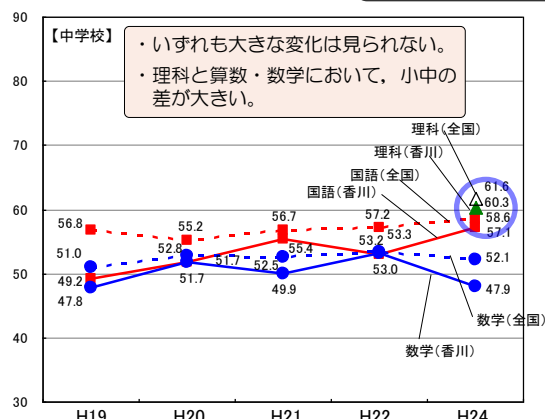
教科別に見ると、国語において肯定的に回答している本県の児童生徒の割合は、中学校では全国平均と比較してやや低く、小学校においては全国的に見て極めて低くなっています。同じく、算数・数学では、小学校は全国平均とほぼ同等ですが、中学校は、全国的に見て極めて低くなっており、理科は、小中学校ともに全国平均とほぼ同等となっています。

全国学力・学習状況調査結果（H24） [児童生徒質問紙]

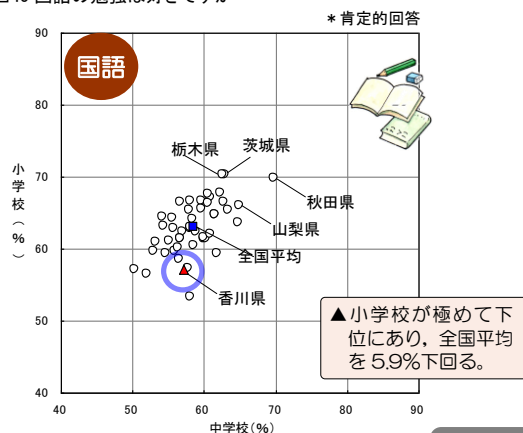
&lt;経年変化&gt;\* 肯定的回答



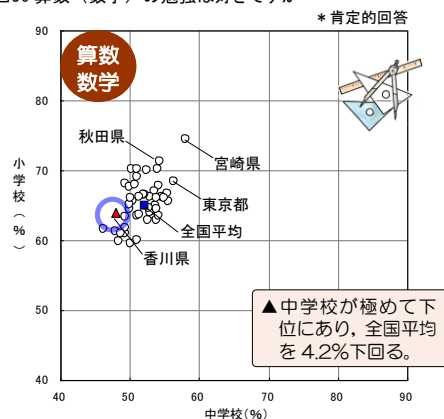
□□の勉強は好き



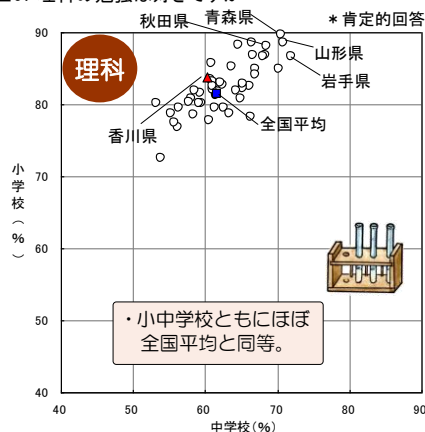
□45 国語の勉強は好きですか



□56 算数（数学）の勉強は好きですか



□67 理科の勉強は好きですか



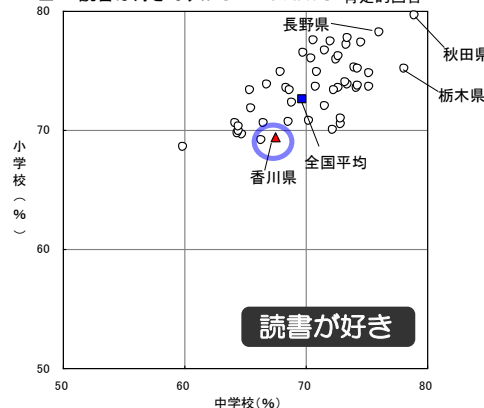
## Column

## □□の勉強も読書も好きな子どもに

平成 24 年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「読書は好きですか」という質問に対して、肯定的に回答している本県の児童生徒の割合は、下の図のようになりました。「国語の勉強が好きですか」という質問と似たような結果となっています。

学校で学ぶ子どもたちから、「□□の勉強が好き」「読書が好き」という声を聞くとうれしくなります。そんな声をたくさん聞くことができる学校に、ぜひしていきたいものです。

□48 読書は好きですか [児童生徒質問紙] 肯定的回答



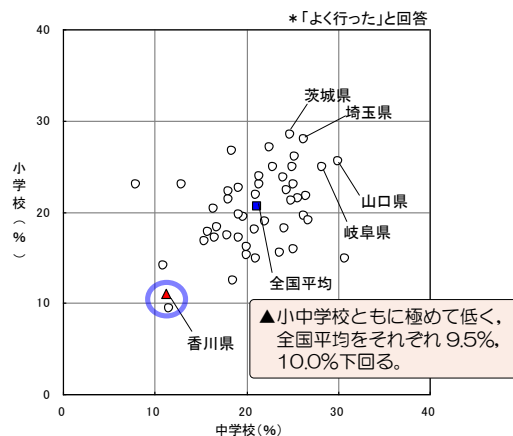
平成 24 全国学力・学習状況調査の児童生徒及び学校質問紙には、教科ごとに児童生徒の関心・意欲・態度や教員の指導方法等に関する質問項目があります。その中から、課題がうかがえる結果を教科ごとに参考として以下に示しました。

[参考] 全国学力・学習状況調査結果 (H24)

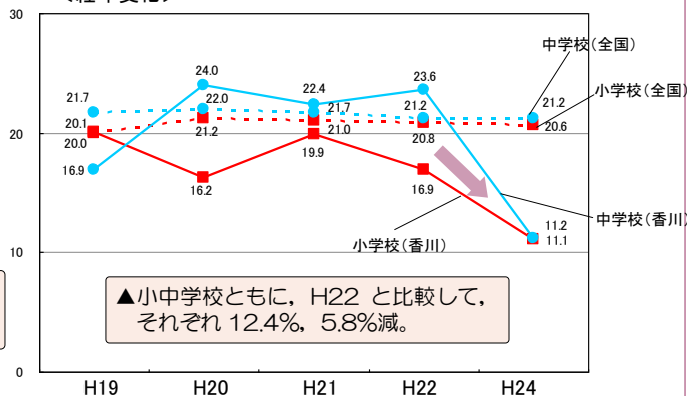
様々な文章を読む習慣を付ける授業

[学校質問紙]

■51 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか

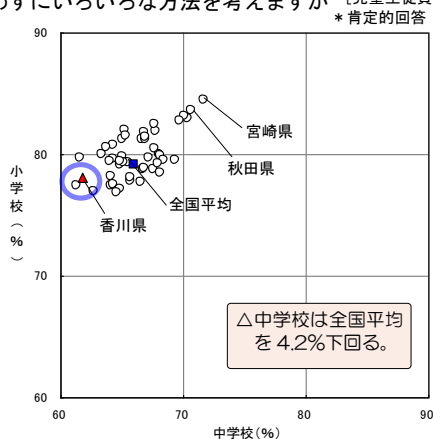


<経年変化>



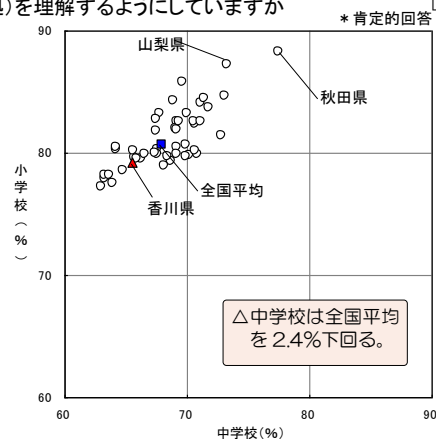
解き方が分からないときは、あきらめずいろいろな方法を考える

□60 算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あきらめずいろいろな方法を考えますか [児童生徒質問紙]



公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしている

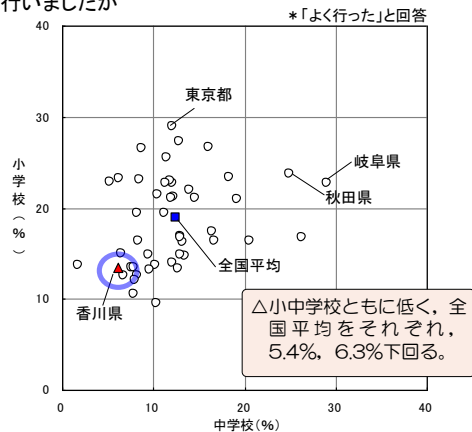
□64 算数(数学)の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしていますか [児童生徒質問紙]



観察、実験の計画を立てる指導

[学校質問紙]

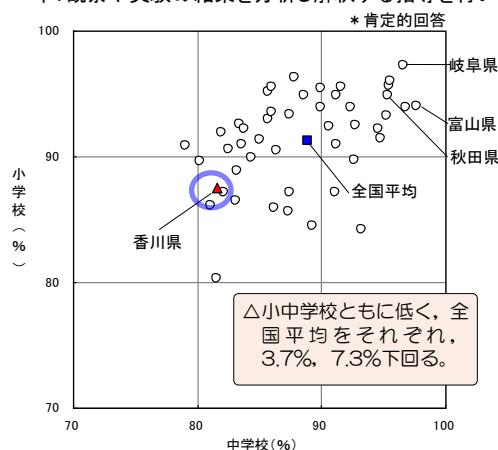
■61 自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てる指導を行いましたか



観察や実験の結果を整理し考察(分析し解釈)する指導

[学校質問紙]

■62 小:観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか  
中:観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行いましたか



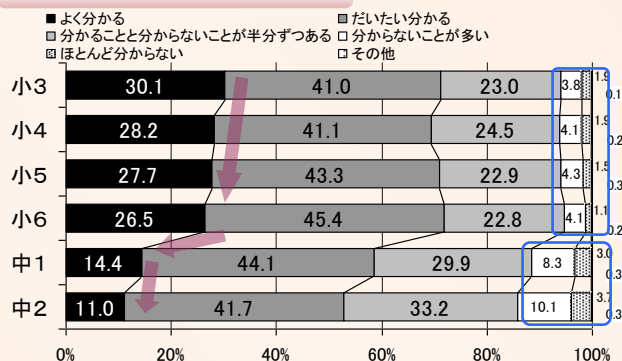
### 3 授業の内容がよく分かると回答している児童生徒の割合は、特に中学校1年前期に大きく減少しています。

平成24年度の結果において、授業の内容がよく分かると回答している児童生徒の割合は、学年が進むにつれて減少し、特に小学校6年から中学校1年にかけて減少の度合いが大きくなっています。また、「分からないことが多い」または「ほとんど分からない」と回答している児童生徒の割合は、小学校はどの学年も5～6%程度ですが、中学校1年では約11%、中学校2年では約14%と増加しています。

#### ■23 授業の内容がどの程度分かりますか

【児童生徒質問紙】

##### ●平成24年度調査結果



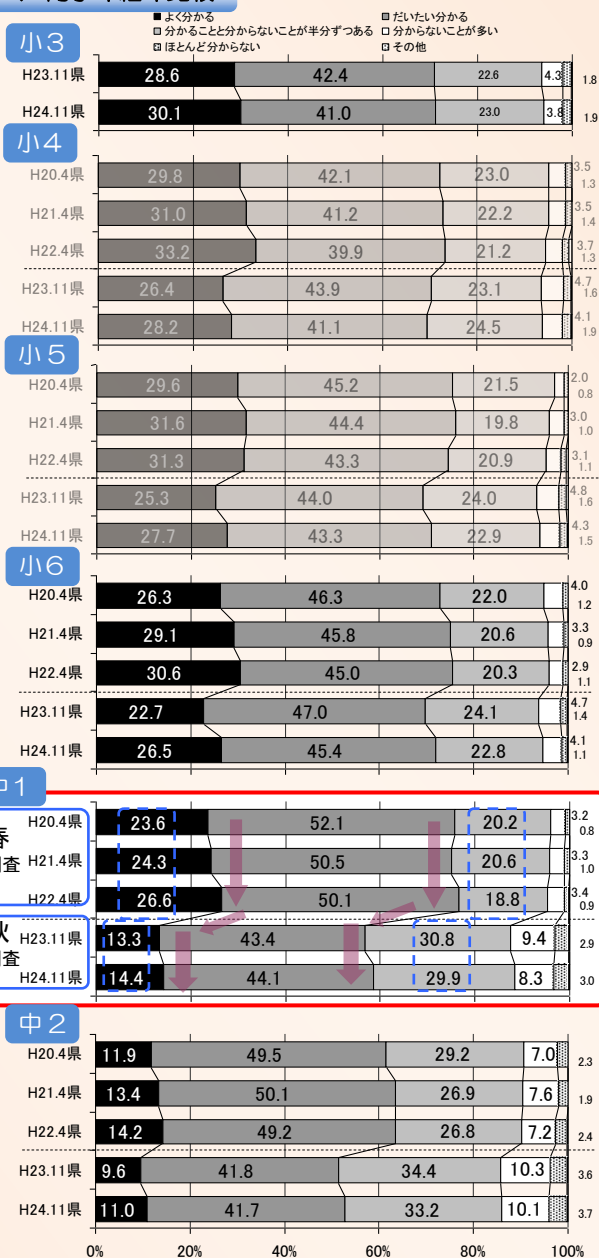
○平成24年度の結果では、「よく分かる」と回答している児童生徒の割合は、小6から中1にかけて12.1%減少。

○肯定的回答は、秋田県は極めて高く本県との差も大きい。

|    | 香川   | 秋田   | 香川-秋田県 |
|----|------|------|--------|
| 小4 | 69.3 | 89.4 | ▲20.1  |
| 小5 | 71.0 | 87.5 | ▲16.5  |
| 小6 | 71.9 | 89.2 | ▲17.3  |
| 中1 | 58.5 | 76.9 | ▲18.4  |
| 中2 | 52.7 | 70.3 | ▲17.6  |

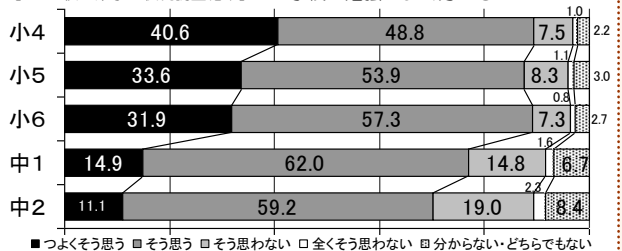
※秋田県調査は、本県の「好き」に相当する選択肢が、関心度合いの高い「つよくそう思う」であることや本県にない「分からない・どちらでもない」という選択肢があることに留意する必要がある。

#### ◆ 同学年経年比較

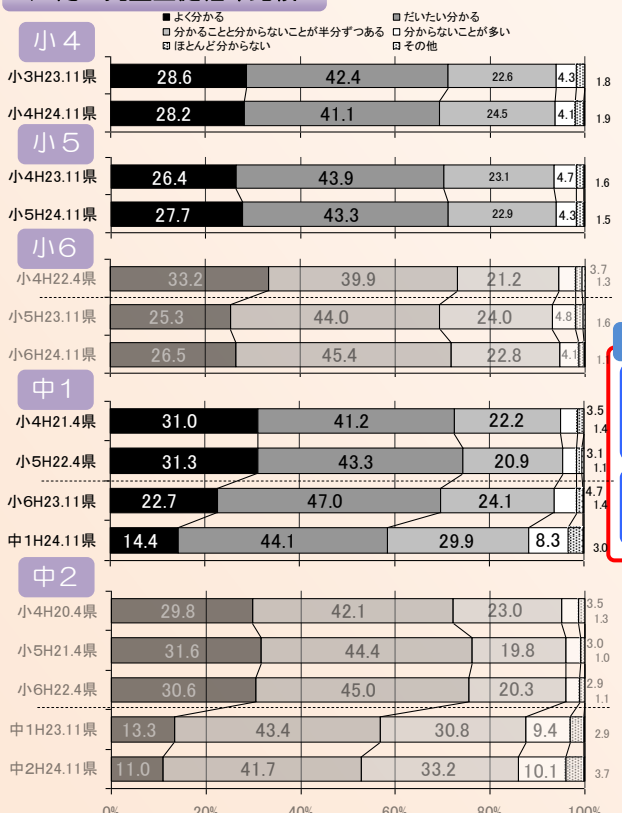


#### 【H23 秋田県学習状況調査結果】

##### ■学校の勉強がよく分かる



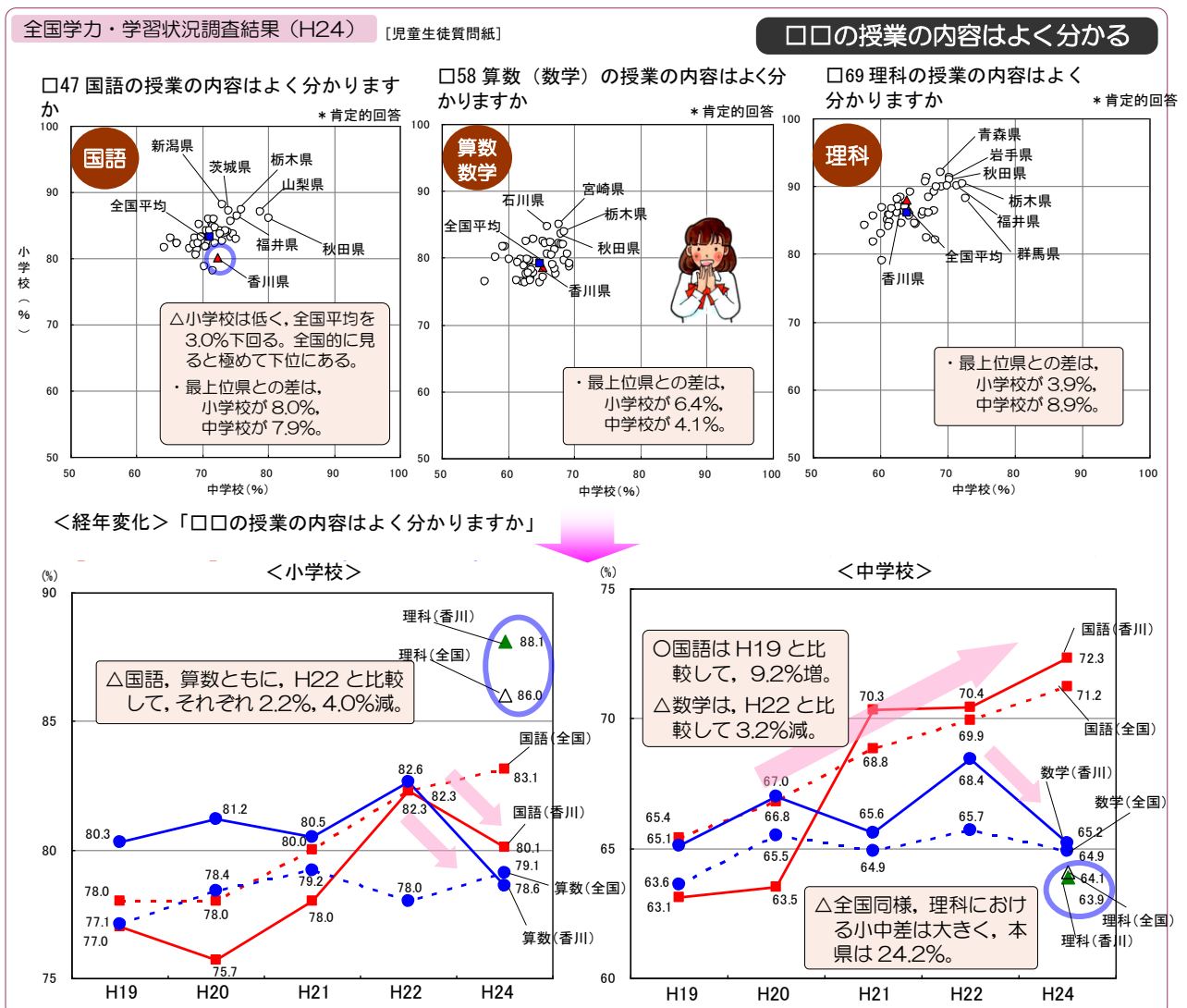
#### ◆ 同一児童生徒経年比較



同学年経年比較における中学校1年の結果を見ると、「よく分かる」と回答している生徒の割合が、11月実施の平成23、24年度は13～14%程度、4月実施の平成20～22年度は、24～27%程度となっています。同様に、「だいたい分かる」も含めた肯定的な回答をしている生徒の割合も、11月実施の平成23、24年度は57～59%程度、4月実施の平成20～22年度は、75～77%程度となっています。前出の「勉強は好きですか」と同様、調査対象児童生徒は異なりますが、同じ実施時期のそれぞれの結果は、ほぼ似た値になっており、他学年の結果と比較しても、中学校1年において実施時期の違いによる結果に大きな差が見られます。このことから、中学校1年の4月から11月にかけて、授業の内容がよく分かる」と回答している生徒の割合が特に減少することがわかります。

なお、ほぼ同じ質問内容で調査を実施している秋田県の結果を見ると、各学年の肯定的な回答の割合は、本県の結果を17～20%程度上回っており、特に小学校4年ではその差が最も大きく20.1%となっています。秋田県の小学校4年の肯定的な回答の割合は89.4%と極めて高く、小学校中学年の段階から児童にとって分かる授業が展開されていることがうかがえます。

また、平成24年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「□□の授業の内容はよく分かる」という質問に対して、肯定的に回答している本県の児童生徒の割合は、小学校では全国的に見て国語が極めて低く、理科は高くなっており、中学校では全ての教科で全国平均とほぼ同等となっています。経年変化を見ると中学校国語のみ平成22年度と比較して増加しています。



## Answer

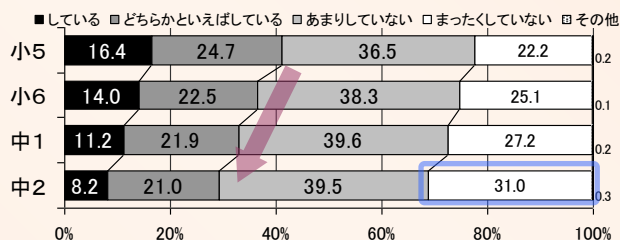
- 家で学校の授業の予習、復習をしていますかという質問に肯定的に回答している児童生徒の割合は、他の学年と比較して中学校1年の4月が最も高い。
- 授業では、ノートを丁寧に書いていると回答している児童生徒の割合が、小中学校ともに増加傾向にある。
- テストで間違えたところを後で勉強していると肯定的に回答している生徒の割合が、中学校2年前期で大きく減少している。

- 家で学校の授業の予習、復習をしていますかという質問に肯定的に回答している児童生徒の割合は、他の学年と比較して中学校1年の4月が最も高くなっています。

平成24年度の結果において、予習、復習をしていると肯定的に回答している児童生徒の割合は、いずれも小学校6年から中学校2年にかけて減少しています。予習をしていると肯定的に回答している生

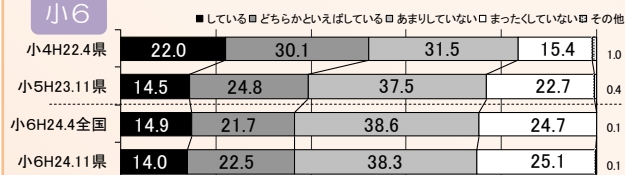
## ■31 家で学校の授業の予習をしていますか 【児童生徒質問紙】

## ●平成24年度調査結果

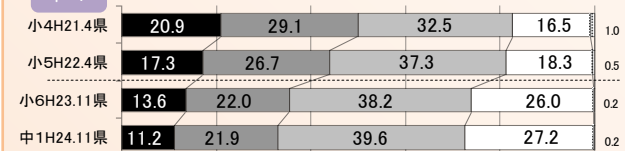


## ◆同一児童生徒経年比較

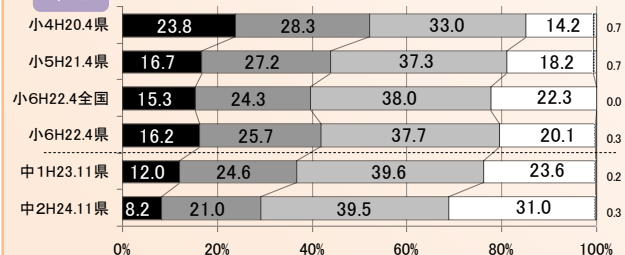
## 小6



## 中1



## 中2



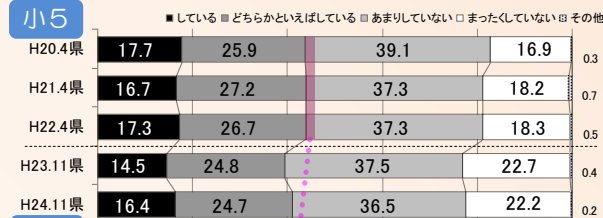
○平成24年度の結果では、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小5から中2にかけて11.9%減少。

○「全くしていない」と回答している生徒の割合が中2で3割を超える。

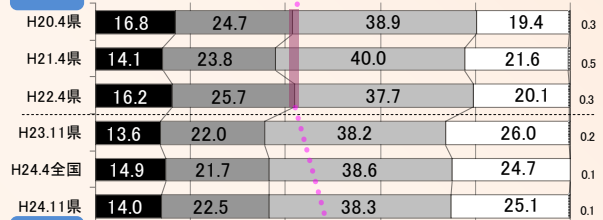
○春調査における肯定的回答の割合は、中1が他学年より高い。

## ◆同学年経年比較

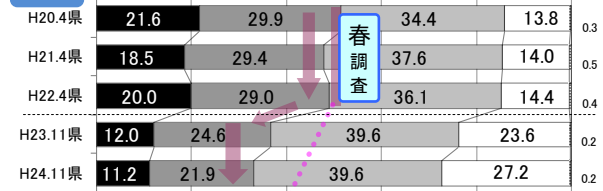
## 小5



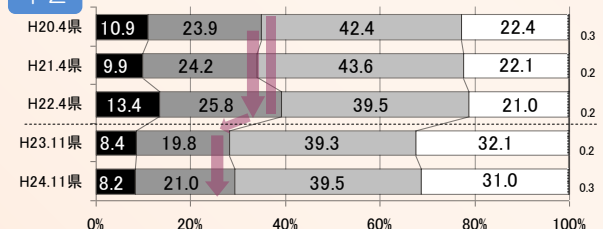
## 小6



## 中1



## 中2



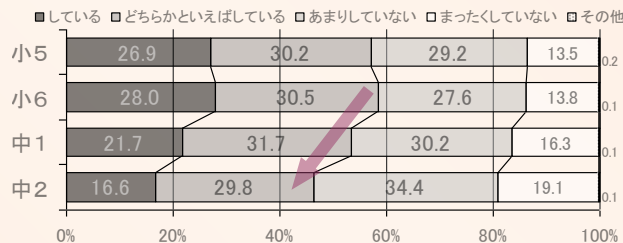
徒の割合は中学校2年では、3割以上の生徒が、全くしていないと回答しています。

同学年経年比較における中学校1年の結果を見ると、予習、復習ともに肯定的に回答している生徒の割合は、4月実施の結果が他の学年と比較して最も高くなっています。

### ■32 家で学校の授業の復習をしていますか

〔児童生徒質問紙〕

#### ●平成24年度調査結果

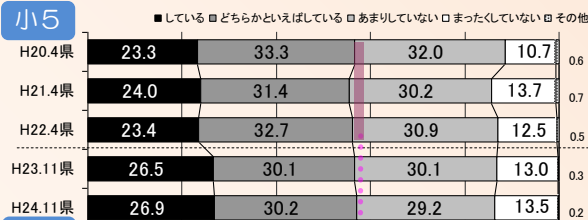


○平成24年度の結果では、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小6から中2にかけて12.1%減少。

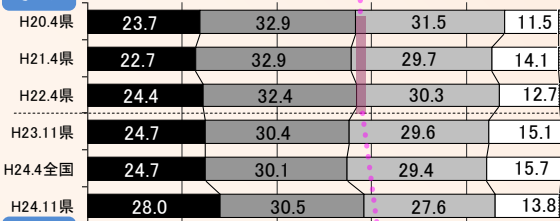
○春調査における肯定的回答の割合は、中1が他学年より高い。しかし、秋調査になると減少し、その割合は、他学年のより大きい。

#### ◆同学年経年比較

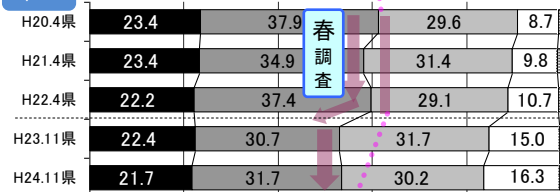
##### 小5



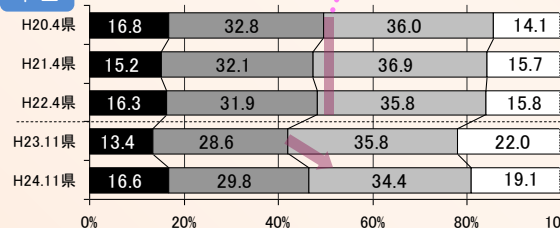
##### 小6



##### 中1

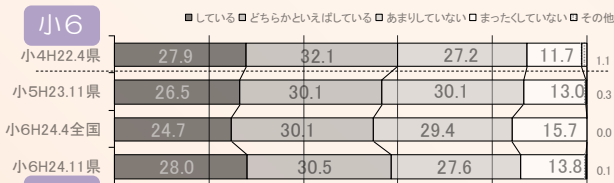


##### 中2

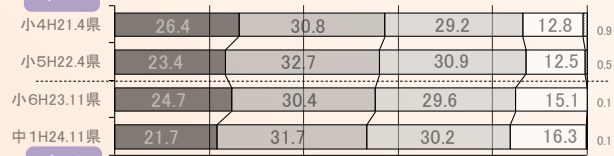


#### ◆同一児童生徒経年比較

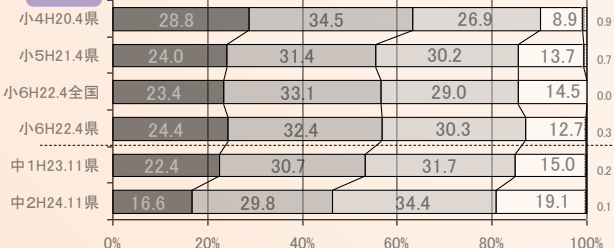
##### 小6



##### 中1



##### 中2



また、平成24年度全国学力・学習状況調査にある同一質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、予習、復習ともに、ほぼ全国と同様の結果となっていますが、秋田県は、復習をしていると回答している児童生徒の割合が全国的に見て極めて高くなっています。

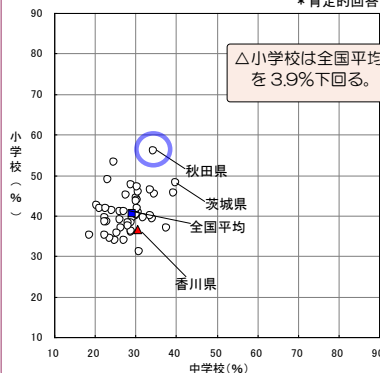
#### 全国学力・学習状況調査結果（H24）

##### 予習

〔児童生徒質問紙〕

□25 家で学校の授業の予習をしていますか

\*肯定的回答

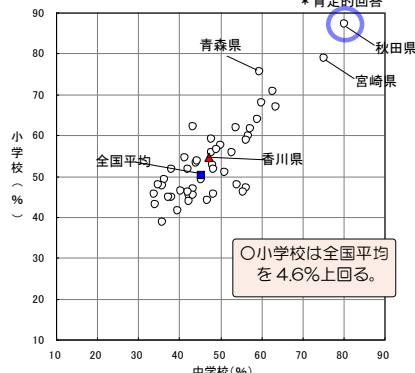


##### 復習

〔児童生徒質問紙〕

□26 家で学校の授業の復習をしていますか

\*肯定的回答



## 2 授業では、ノートを丁寧に書いていると回答している児童生徒の割合が、小中学校ともに増加傾向にあります。

平成24年度の結果において、授業では、ノートを丁寧に書いていると回答している児童生徒の割合は、学年が進むにつれて増加し、特に小学校6年から中学校1年にかけて増加の割合が大きくなっています。

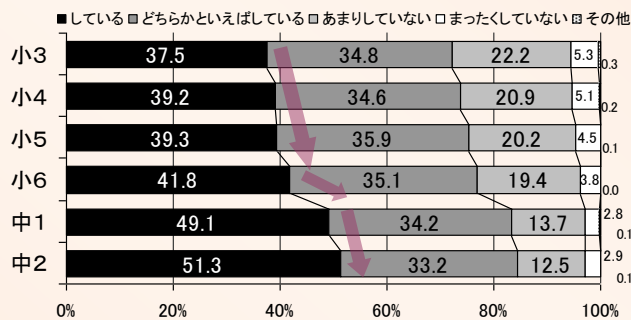
また、「あまりしていない」または「全くしていない」と回答している児童生徒の割合は、小学校はどの学年も23～28%程度ですが、中学校では、15～17%程度と減少しています。

同学年経年比較を見ると、「している」と回答している児童生徒の割合が、微増の学年もありますが、小中学校ともに増加傾向にあるといえます。

同一児童生徒経年比較における中学校1年の結果を見ると、「している」と回答している生徒の割合が、平成23年度調査である小学校6年の時と比較して1割以上も増加しており、中学校における取組の充実がうかがえます。

### ■21 授業では、ノートを丁寧に書いていますか【児童生徒質問紙】

#### ●平成24年度調査結果



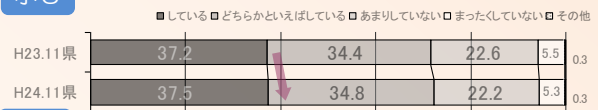
○平成24年度の結果では、「している」と回答している児童生徒の割合は、小3から中2へと13.8%増加。特に小6から中1にかけて7.3%と大きく増加。

○同学年経年比較を見ると、「している」と回答している児童生徒の割合は、平成23年度と比較して、増加傾向。

○同一児童生徒経年比較を見ると、中1では平成23年度と比較して、10.5%も増加。中1になって向上していることがうかがえる。

#### ◆同学年経年比較

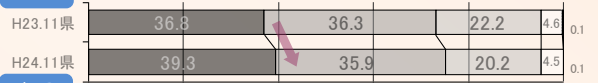
##### 小3



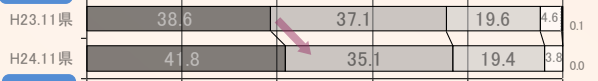
##### 小4



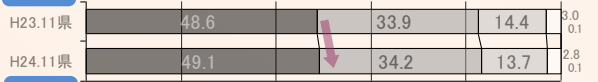
##### 小5



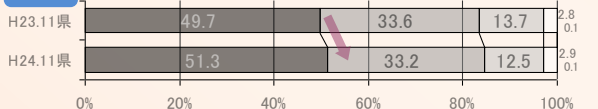
##### 小6



##### 中1

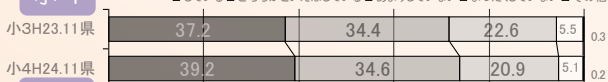


##### 中2



#### ◆同一児童生徒経年比較

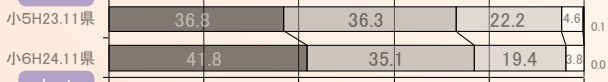
##### 小4



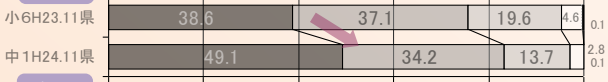
##### 小5



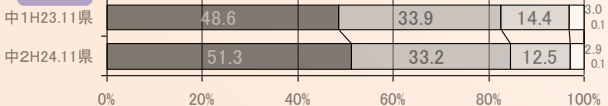
##### 小6



##### 中1



##### 中2



### 3 テストで間違えたところを後で勉強していると肯定的に回答している生徒の割合が、中学校2年前期で大きく減少している。

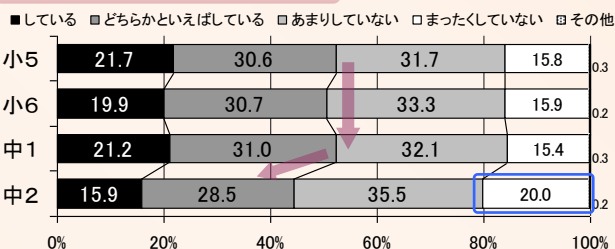
平成24年度の結果において、テストで間違えたところを後で勉強していると肯定的に回答している児童生徒の割合は、小学校5年から中学校1年までは、ほぼ同様な結果となっていますが、中学校1年から中学校2年にかけて大きく減少しています。また、中学校2年では、2割の生徒が「全くしていない」と回答しています。

同学年経年比較における中学校1年と2年の肯定的回答の割合を比べると、11月実施となっても中学校1年は大きな変化は見られませんが、中学校2年の割合は減少しています。このことから、中学校2年前期にテストで間違えたところを後で勉強する生徒の割合が特に減少することがうかがえます。

#### ■34 テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか

【児童生徒質問紙】

##### ●平成24年度調査結果

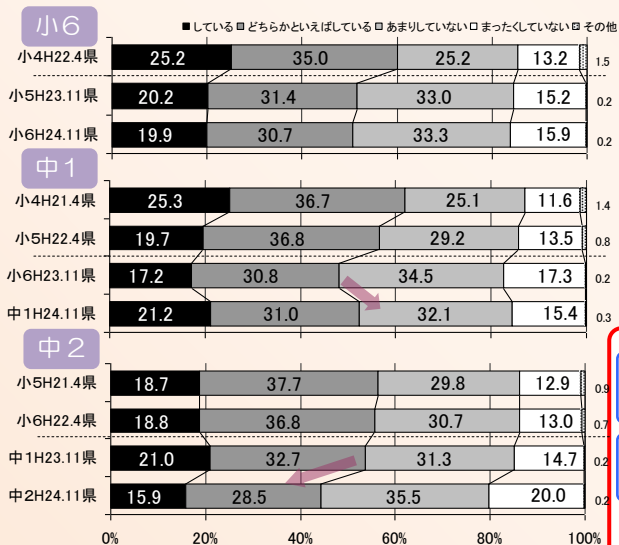


○平成24年度の結果では、肯定的回答は小5～中1まで、ほぼ同等で約50%であるが、中2で44.4%と約6%減少。

○「全くしていない」と回答している生徒の割合は、中2が20%と高くなっている。

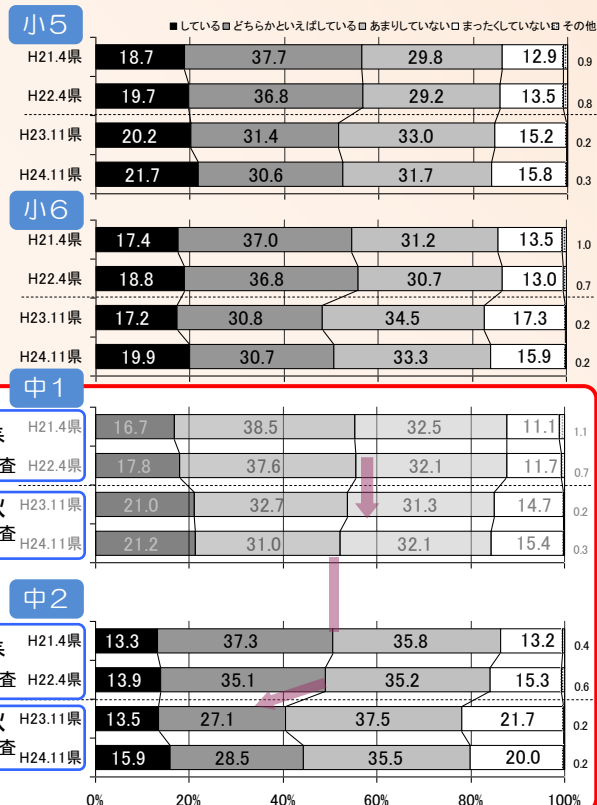
##### ◆同学年経年比較

##### ◆同一児童生徒経年比較



○同学年経年比較の肯定的回答の割合を見ると、中1では、11月実施となったことによる大きな変化は見られないが、中2では、大きく減少。

○中2の4月実施の結果と中1の11月実施の結果が、ほぼ同等であることから、中2前期にテストで間違えたところを後で勉強する生徒の割合が特に減少することがうかがえる。



## 児童生徒の学習習慣に関連する質問紙結果はどのような状況ですか？

(「Action 4 学習習慣形成のための指導」関連項目)

## Answer

- 家で学校の宿題をしていると回答している生徒の割合が、中学校1年前期、2年前期に大きく減少している。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますかという質問に肯定的に回答している児童生徒の割合は、特に中学校1、2年で減少している。一方、同学年経年比較では、中学校2年は増加傾向にある。
- 平日や土日の1日あたりの勉強時間が、2時間以上と回答している児童生徒の割合は、中学校1年が最も高く、平日においては、中学校2年前期でその割合が大きく減少する。

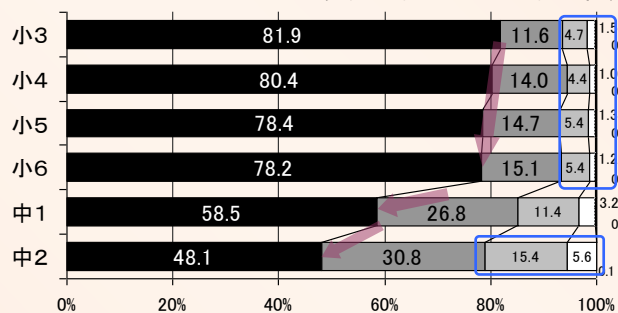
- 家で学校の宿題をしていると回答している生徒の割合が、中学校1年前期、2年前期に大きく減少している。

## ■ 30 家で学校の宿題をしていますか

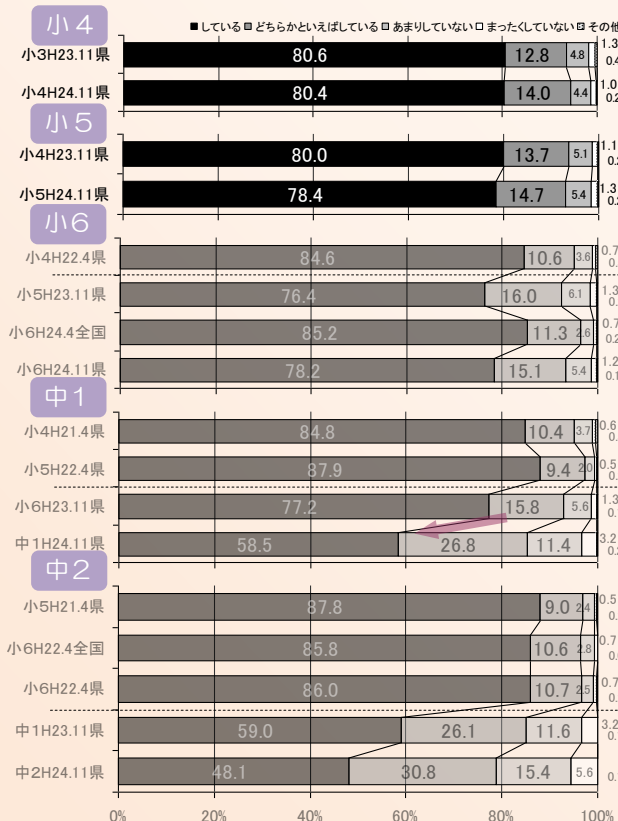
【児童生徒質問紙】

## ● 平成 24 年度調査結果

■ している □ どちらかといえばしている □ あまりしていない □ まったくしていない □ その他



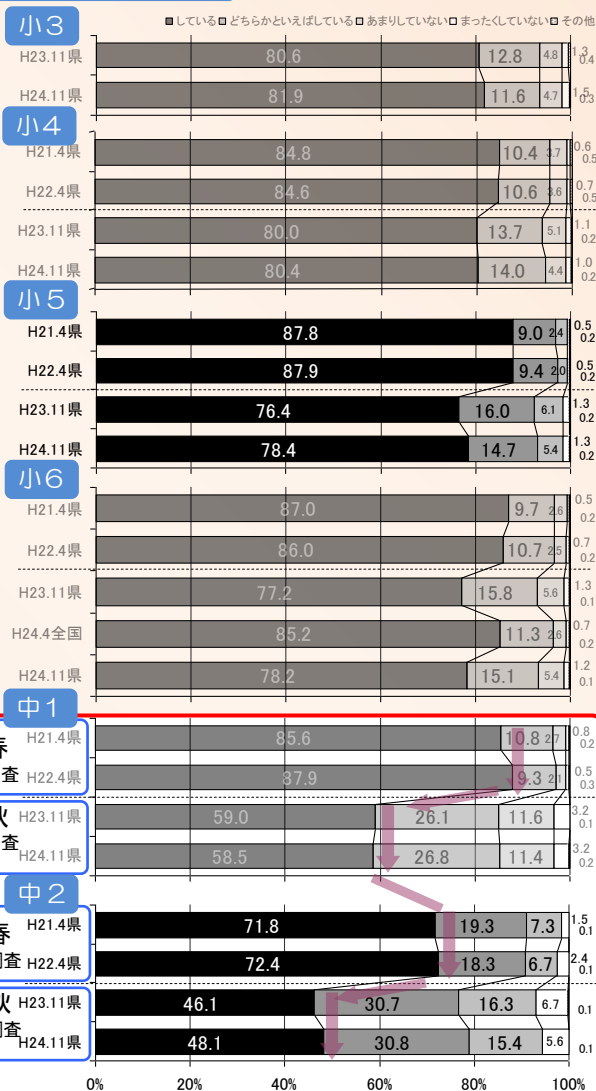
## ◆ 同一児童生徒経年比較



○平成 24 年度の結果では、「している」と回答している児童生徒の割合は、小3～中6まで、ほぼ同等で約 80%であるが、中1で約2割、中2で約1割減少。

○同学年経年比較を見ると、「している」と回答している中1、2において、4月実施と11月実施の差が、それぞれ25%程度と大きい。

## ◆ 同学年経年比較



平成24年度の結果において、家で学校の宿題をしていると回答している児童生徒の割合は、小学校3年から小学校6年までは、ほぼ同様な結果となっていますが、中学校1年、中学校2年と学年が進むにつれて大きく減少しています。また、中学校2年では、2割の生徒が「あまりしていない」または「全くしていない」と回答しています。

同学年経年比較における中学校1年、2年を見ると、「している」と回答している生徒の割合が、11月実施の平成23、24年度は、中学校1年が約59%、中学校2年が約46～48%程度となっていますが、4月実施の平成20～22年度は、中学校1年が約86～88%、中学校2年が約72%となっています。調査対象児童生徒は異なりますが、同じ実施時期のそれぞれの結果は、ほぼ似た値になっており、他学年の結果と比較しても、中学校1、2年では実施時期の違いによる結果に大きな差が見られます。このことから、中学校1、2年の4月から11月にかけて、家で宿題をしていると回答している生徒の割合が特に減少することがわかります。

なお、同学年経年比較における中学校1年の4月当初（平成21、22年度）の結果は、他の学年と比較しても大変高い結果となっており、前向きに取り組む姿勢がうかがえます。同じく中学校1年の11月調査結果と比較して、中学校2年の4月調査の結果が増加していることから、中学校2年においても、4月当初は前向きに取り組む姿勢がうかがえます。

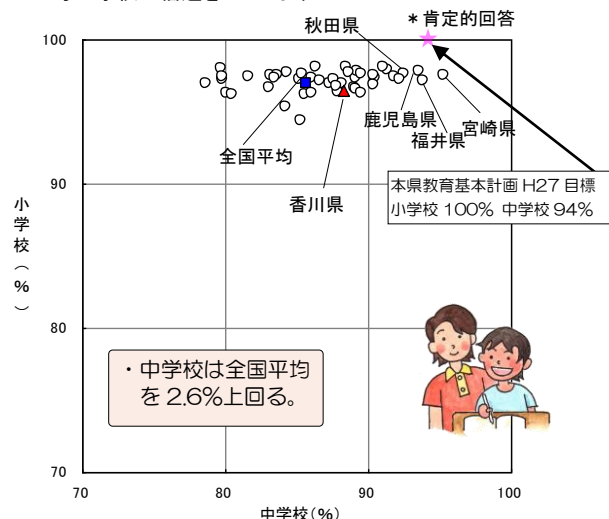
平成24年度全国学力・学習状況調査にある同一質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国と比較して小学校は同等、中学校は、全国平均をやや上回っています。また、家庭学習の課題を与えましたかという学校質問紙（国語、算数・数学）において、小学校における秋田県の結果は、全国的に見て、極めて低くなっています。

#### 全国学力・学習状況調査結果（H24）

##### 宿題

〔児童生徒質問紙〕

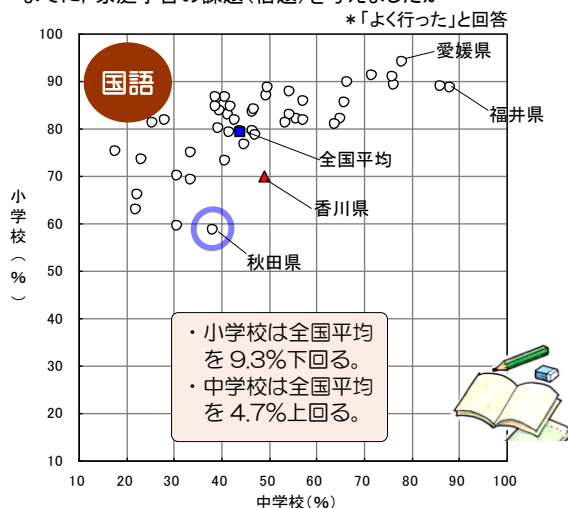
##### □24 家で学校の宿題をしていますか



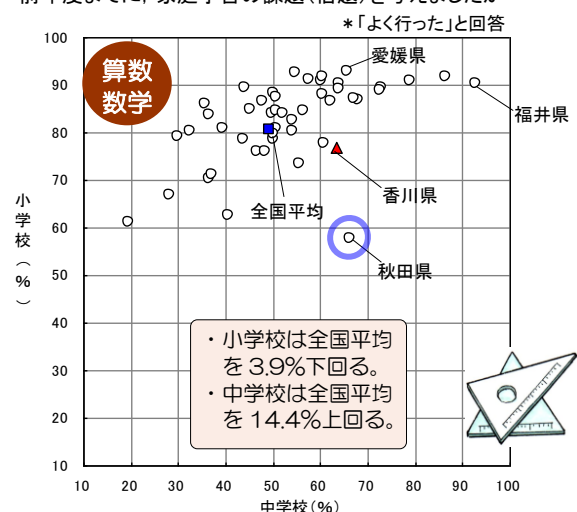
##### 家庭学習の課題（宿題）

〔学校質問紙〕

■76/73 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか



■80/77 調査対象児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか



2 家で自分で計画を立てて勉強をしていますかという質問に肯定的に回答している児童生徒の割合は、特に中学校1、2年で減少しています。一方、同学年経年比較では、中学校2年は増加傾向にあります。

平成24年度の結果において、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小学校3年の65.1%から中学校2年の41.0%へと、学年が進むにつれて減少しており、特に、中学校1、2年で大きく減少しています。また、中学校2年では、約2割の生徒が「全くしていない」と回答しています。

同一児童生徒経年比較を見ると、中学校1、2年における肯定的な回答の割合が、平成23年度の調査と比較して大きく減少しており、他の学年と比較してもその割合は大きいことから、特に中学校1、2年において、自分で計画を立てて勉強していると肯定的に回答している生徒の割合が、減少しているといえます。

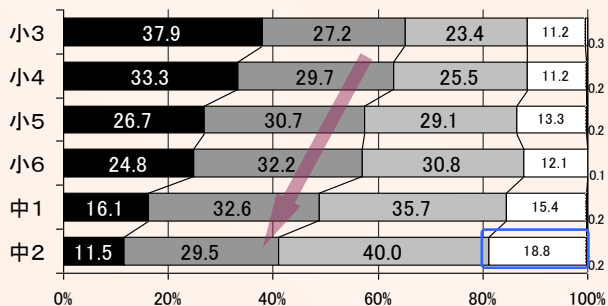
一方、同学年経年比較を見ると、中学校2年において、肯定的な回答の割合が、他の学年と比較して増加傾向にあることがうかがえます。

### ■29 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

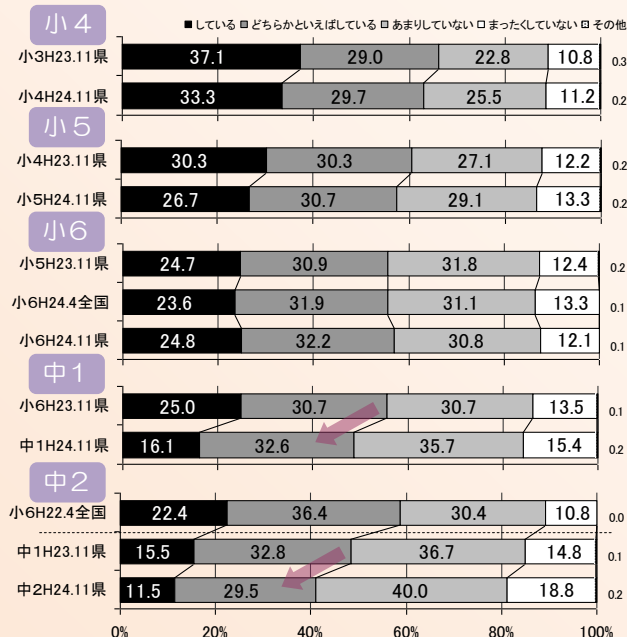
【児童生徒質問紙】

#### ●平成24年度調査結果

■している □どちらかといえばしている □あまりしていない □まったくしていない □その他



#### ◆同一児童生徒経年比較

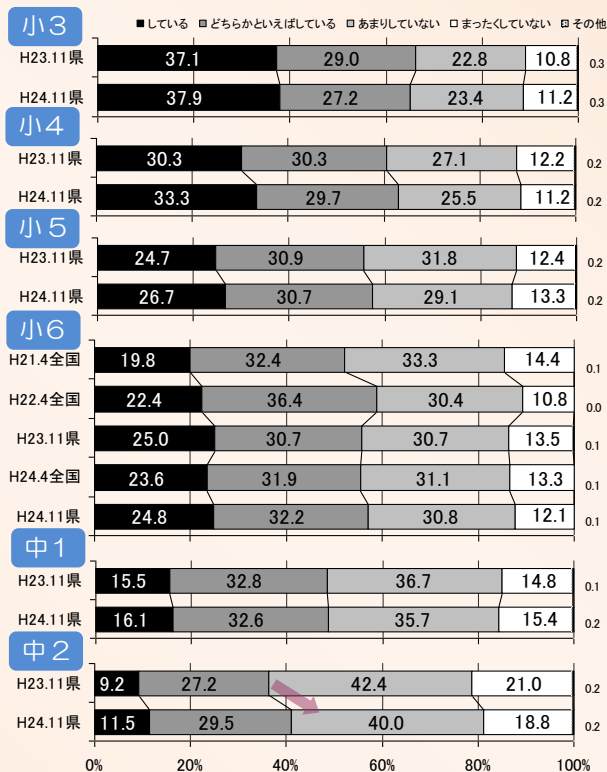


○平成24年度の結果では、肯定的回答は小3の65.1%から中2の41.0%へと、約24%減少。中2では「している」と回答している生徒の割合は約1割、「全くしていない」と回答している生徒の割合は約2割と課題がうかがえる。

○同一児童生徒経年比較を見ると、中1、2ともに前学年の結果と比較して約7%減少。他学年と比較しても減少の割合が大きい。

○同学年経年比較では、中2が前回調査と比較して増加傾向。

#### ◆同学年経年比較



また、平成 24 年度全国学力・学習状況調査の同一質問に対して、肯定的に回答している本県の児童生徒の割合は、全国平均と比較してやや低くなっています。同質問における経年変化を見ると、前回の平成 22 年度の結果と比較して、小中学校ともにやや減少しています。

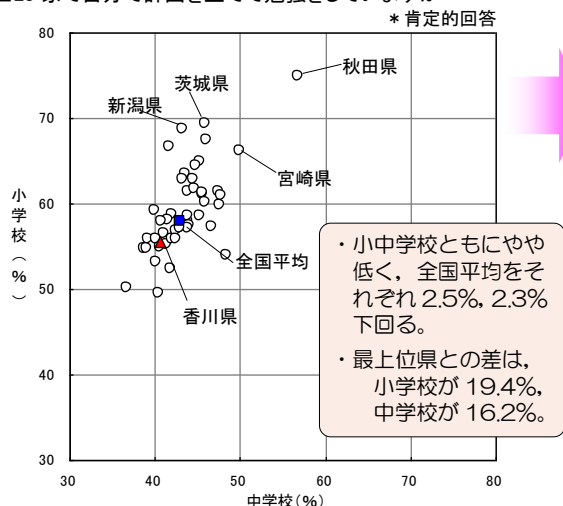
同調査の学校質問紙「保護者に対して児童（生徒）の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか」という質問（国語、算数・数学）に対して、「よく行った」と回答している小中学校の割合は、小中学校ともに低く、特に小学校は全国的に見て極めて低くなっています。

#### 全国学力・学習状況調査結果（H24）

##### 計画的な勉強

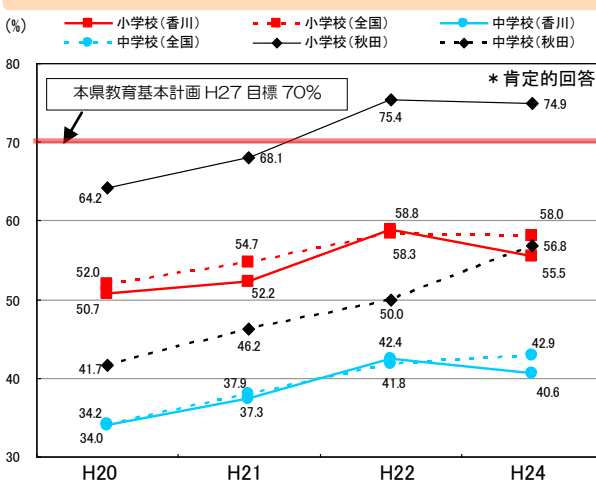
〔児童生徒質問紙〕

□23 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



##### 【経年変化】

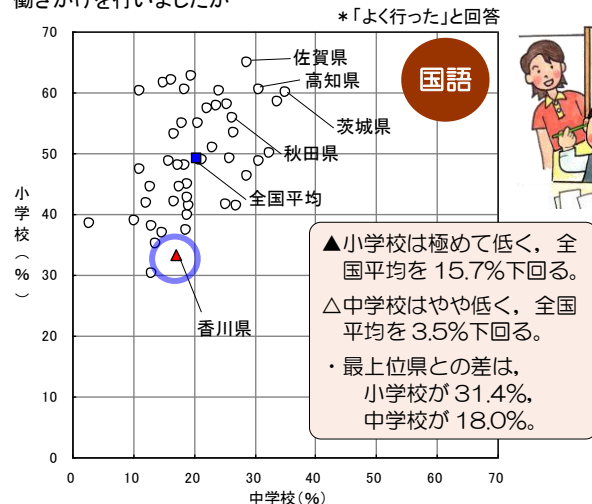
□23 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



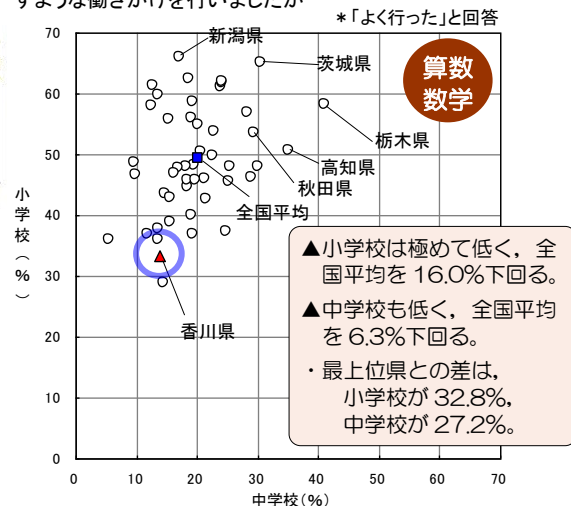
##### 保護者への家庭学習を促す働きかけ

〔学校質問紙〕

■ 77/74 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、保護者に対して児童（生徒）の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか



■ 81/78 調査対象児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、保護者に対して児童（生徒）の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか



#### Column

##### 秋田県における「自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の割合

上記の全国学力・学習状況調査結果の中にある経年グラフでは、秋田県の結果も示しています。グラフからも分かるように、秋田県においては、平成 20 年度の調査結果と比較して、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合が、平成 24 年度は小学校で 10.7%、中学校で 15.1% も増加しています。

Q3 の中で示したように、秋田県は、同調査における児童生徒質問紙「家で復習をしている」と肯定的に回答している児童生徒の割合が全国的に見て極めて高く、一方、学校質問紙「宿題（国語、算数・数学）を与えましたか」では、「よく行った」と回答している小学校の割合が全国的に見て極めて低くなっています。

これらのことから、秋田県の子供も達は、自分で計画的に復習を中心とした家庭学習をする習慣が付いていることや、それらを学校が継続的に指導していることがうかがえます。

（※同調査 H24 結果では、秋田県の通塾率は、小中学校ともに全国的に見て極めて下位にあります。）

### 3 平日や土日の1日あたりの勉強時間が、2時間以上と回答している児童生徒の割合は、中学校1年が最も高く、平日においては、中学校2年前期でその割合が大きく減少しています。

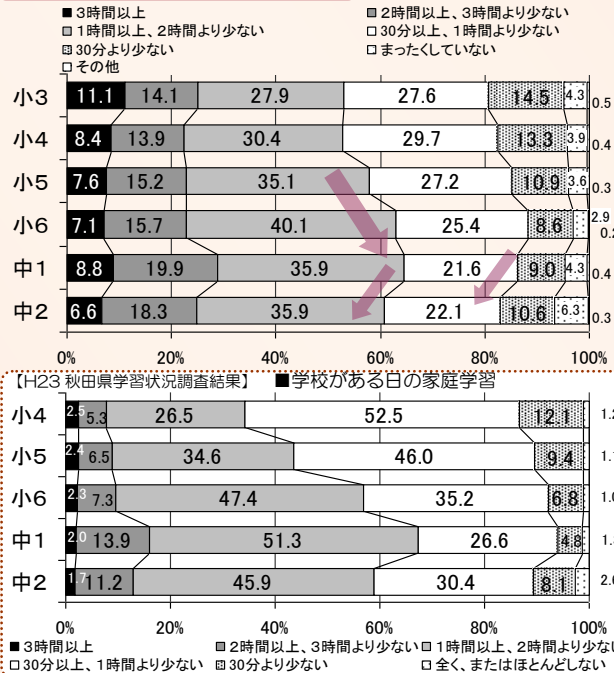
#### ■35 学校の授業以外に、ふだん（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか

〔児童生徒質問紙〕

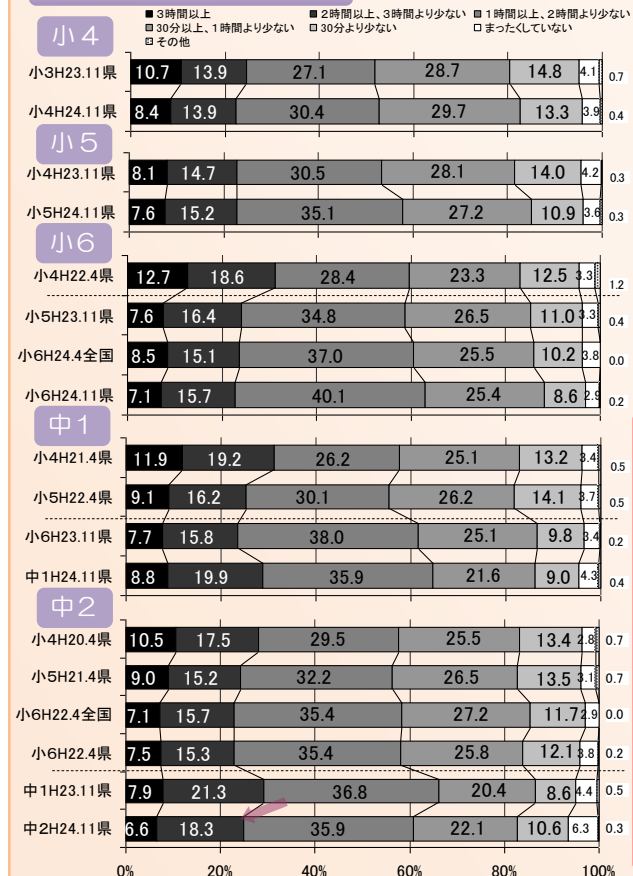
○平成24年度の結果では、1時間以上勉強していると回答している児童生徒の割合は、小3から中1にかけて増加し、中2で減少。2時間以上でも中1が最も高くなっているが、3時間以上となると小3が最も高い。

○同学年経年比較の2時間以上勉強していると回答している割合を見ると、中1では、11月実施となったことによる大きな変化は見られないが、中2では、大きく減少。このことから、中2前期に大きく減少することがうかがえる。30分未満の生徒が、中1、中2と増加。

#### ●平成24年度調査結果



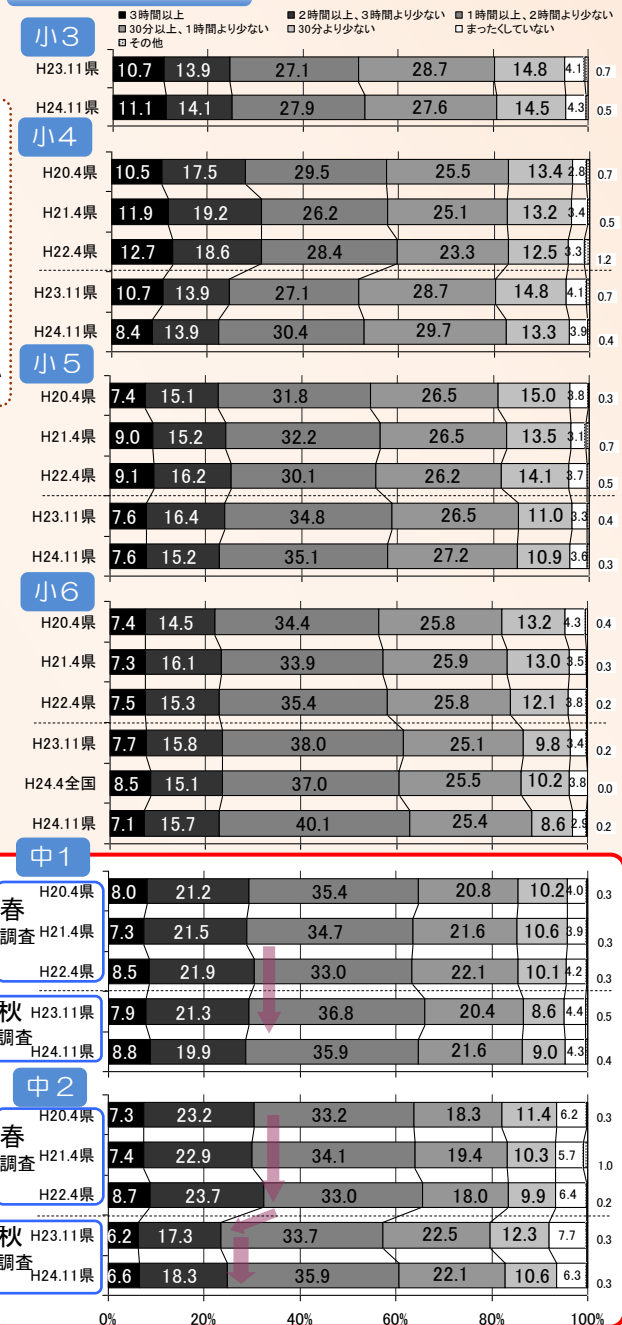
#### ◆ 同一児童生徒経年比較



○秋田県は、本県と比較して以下のような特徴が見られる。

- ・1時間以上勉強していると回答している中1の割合は、本県の中1を上回っているが、その他の学年は本県を下回る。
- ・概ね30分～2時間の割合が高く、3時間以上は、いずれの学年ともに極めて低く、1.7～2.5%となっている。

#### ◆ 同学年経年比較



平成 24 年度の結果において、2 時間以上勉強していると回答している児童生徒の割合は、平日、土日ともに、中学校 1 年が最も高く、中学校 2 年で減少する傾向にあります。平日における同学年経年比較を見ると、特に 11 月実施になることによって 2 時間以上勉強していると回答している児童生徒の割合が他の学年と比較して大きく減少していることから、平日の勉強時間は、中学校 2 年前期において特に減少することがわかります。

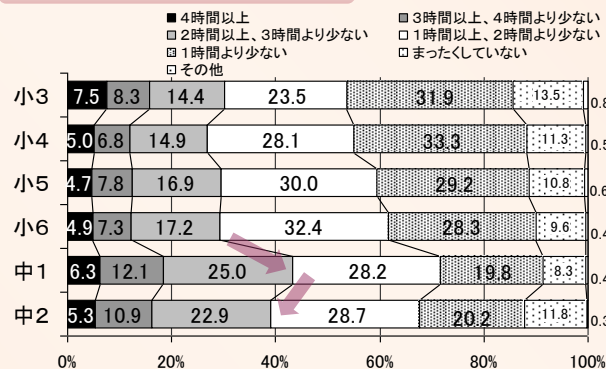
同じ質問内容で調査を実施している秋田県の結果を見ると、2 時間以上勉強している、または全くしていないと回答している児童生徒の割合は、平日、土日ともに、本県と比較して低くなっています。

また、平成 24 年度全国学力・学習状況調査の同一質問に対する結果も同様な傾向となっています。

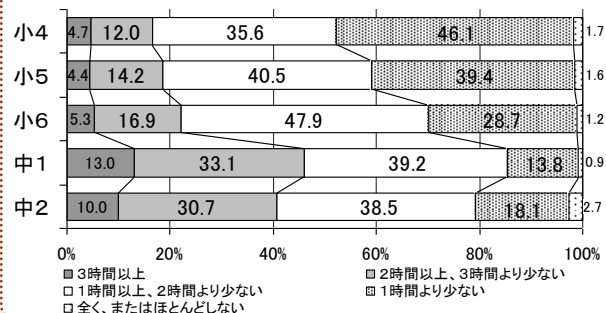
### ■ 36 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1 日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか

【児童生徒質問紙】

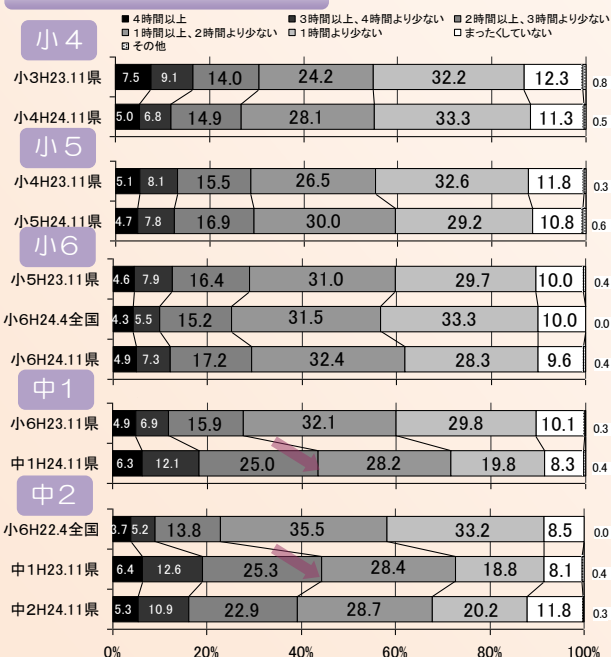
#### ● 平成 24 年度調査結果



【H23 秋田県学習状況調査結果】 ■ 学校がある日の家庭学習



#### ◆ 同一児童生徒経年比較



○平成 24 年度の結果では、2 時間以上勉強していると回答している児童生徒の割合は、小3から小6まで、ほぼ同等で、中1で大きく増加し中2で減少。4 時間以上となると小3が最も高い。

○同一児童生徒経年比較からも、小6から中1にかけて増加しており、中学校 1 年 4 月当初は、勉強時間が長いことがうかがえる。

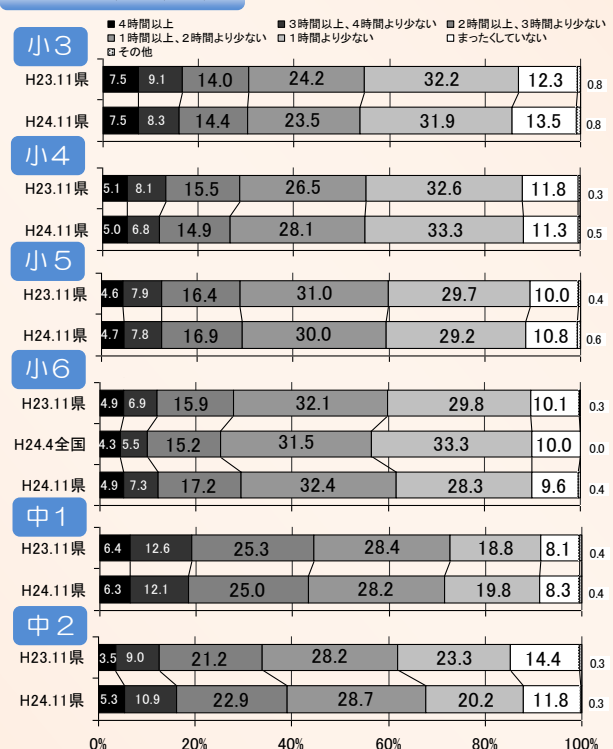
○秋田県は、本県と比較して以下のような特長が見られる。  
・ 2 時間以上勉強していると回答している中1、中2の割合は、本県をやや上回っているが、小4～小6は、本県を下回る。

・ 概ね 1～2 時間の割合が高く、3 時間以上は、いずれの学年ともに本県を下回っている。

・ 全く、またはほとんどしないと回答している児童生徒の割合は、本県と比較して極めて低くなっている。

※秋田県調査の選択肢には、「4 時間以上」はない。

#### ◆ 同学年経年比較

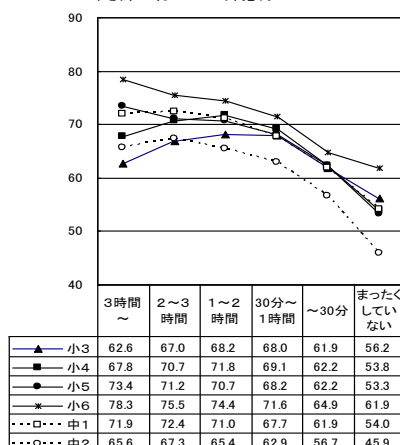


特に秋田県は普段、土日ともに「30分（1時間）より少ない、全くしない」と回答している児童生徒の割合が、全国的に見て極めて低くなっており、家庭学習の習慣化が図られていることがうかがえます。

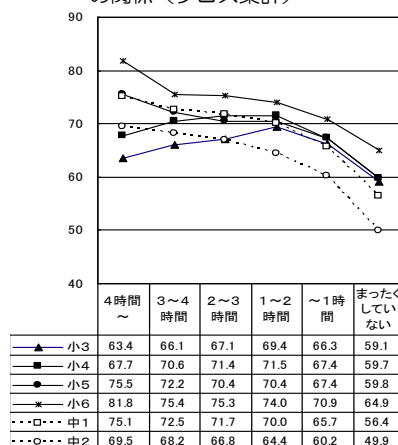
なお、勉強時間と各学年の正答率の関係（クロス集計）を示した右のグラフの結果からも、勉強時間が長ければ正答率が高いとは限らないことが分かります。



● 平日の勉強時間と各学年の正答率の関係（クロス集計）



● 土日の勉強時間と各学年の正答率の関係（クロス集計）



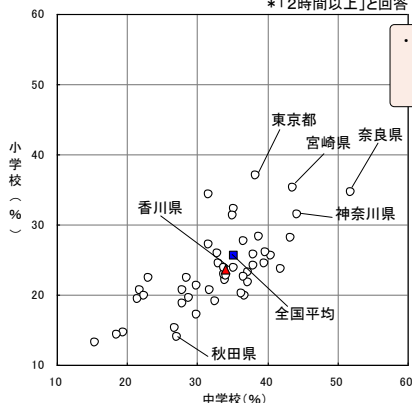
## 全国学力・学習状況調査結果（H24）

### 普段の学習時間

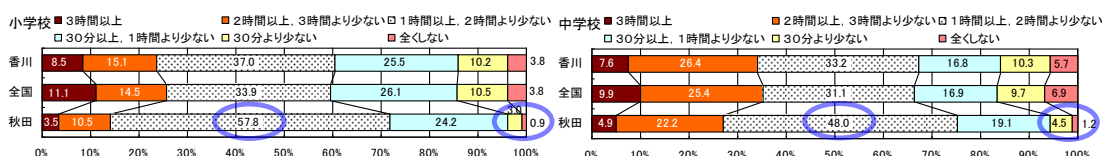
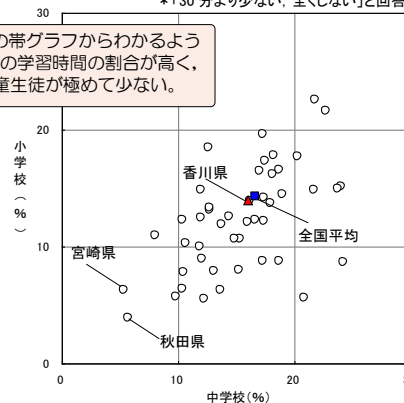
〔児童生徒質問紙〕

□14 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

\*「2時間以上」と回答



\*「30分より少ない、全くしない」と回答

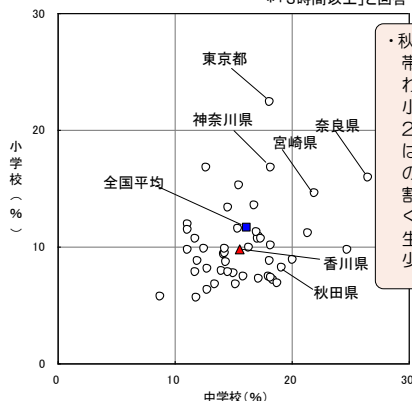


### 土日の学習時間

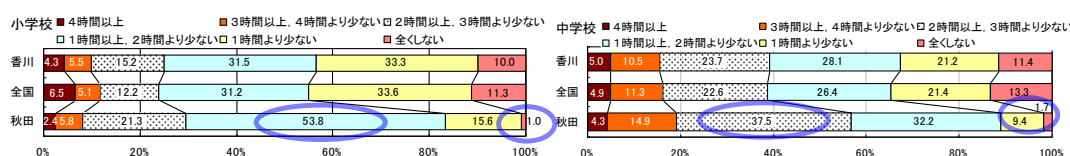
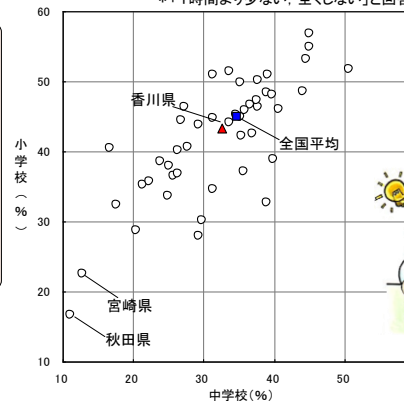
〔児童生徒質問紙〕

□15 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

\*「3時間以上」と回答



\*「1時間より少ない、全くしない」と回答



# ■質問紙と教科における正答率の相関について

下表は、「児童生徒質問紙」の各質問項目と「各教科の平均正答率」の相関係数を示したものです。ここでは、全質問の中から、いずれかの教科の平均正答率との相関係数が0.2以上（0.2以上で「やや相関が認められる」ことになる）となった項目を抽出しています。これを見ると、小中学校ともに、「授業が分かる」「宿題」「準備物」に関する項目との相関が高いことがわかります。また、小学校では、「発表の機会」「勉強が好き」、中学校では、「質問」「間違い直し」に関する項目との相関が高くなっています。（※質問項目の内容はP34「1 質問内容一覧」を参照）

| 質問番号 | 1<br>朝食 | 2<br>準備物 | 3<br>家の人と<br>出来事 | 5<br>ものごと<br>最後まで | 9<br>学校の<br>きまり | 10<br>自分の<br>役割 | 13<br>人の気持ち<br>分かる人間 | 15<br>人に<br>役立つ | 16<br>新聞<br>関心 | 18<br>メディア<br>時間 | 20<br>私語 | 21<br>ノート |
|------|---------|----------|------------------|-------------------|-----------------|-----------------|----------------------|-----------------|----------------|------------------|----------|-----------|
| 小3国  | 0.18    | 0.23     | 0.17             | -                 | 0.19            | 0.18            | 0.16                 | 0.15            | -              | -0.09            | 0.20     | 0.16      |
| 小3算  | 0.16    | 0.16     | 0.11             | -                 | 0.10            | 0.12            | 0.10                 | 0.12            | -              | -0.04            | 0.12     | 0.04      |
| 小4国  | 0.17    | 0.25     | 0.21             | -                 | 0.18            | 0.18            | 0.20                 | 0.20            | -              | -0.09            | 0.20     | 0.18      |
| 小4算  | 0.20    | 0.21     | 0.14             | -                 | 0.14            | 0.15            | 0.13                 | 0.16            | -              | -0.07            | 0.16     | 0.10      |
| 小5国  | 0.18    | 0.25     | 0.20             | 0.20              | 0.15            | 0.16            | 0.17                 | 0.18            | 0.18           | -0.11            | 0.18     | 0.19      |
| 小5社  | 0.19    | 0.24     | 0.17             | 0.19              | 0.13            | 0.15            | 0.15                 | 0.16            | 0.21           | -0.09            | 0.16     | 0.14      |
| 小5算  | 0.19    | 0.24     | 0.17             | 0.20              | 0.13            | 0.14            | 0.14                 | 0.16            | 0.15           | -0.10            | 0.16     | 0.13      |
| 小5理  | 0.17    | 0.19     | 0.13             | 0.17              | 0.11            | 0.12            | 0.13                 | 0.13            | 0.16           | -0.09            | 0.13     | 0.09      |
| 小6国  | 0.16    | 0.25     | 0.21             | 0.18              | 0.14            | 0.14            | 0.17                 | 0.18            | 0.18           | -0.09            | 0.12     | 0.21      |
| 小6社  | 0.19    | 0.20     | 0.16             | 0.17              | 0.12            | 0.11            | 0.15                 | 0.17            | 0.21           | -0.10            | 0.11     | 0.13      |
| 小6算  | 0.19    | 0.21     | 0.15             | 0.17              | 0.11            | 0.12            | 0.15                 | 0.17            | 0.15           | -0.10            | 0.11     | 0.11      |
| 小6理  | 0.17    | 0.18     | 0.13             | 0.15              | 0.11            | 0.10            | 0.12                 | 0.15            | 0.17           | -0.09            | 0.09     | 0.08      |
| 中1国  | 0.20    | 0.26     | 0.19             | 0.18              | 0.16            | 0.17            | 0.20                 | 0.20            | 0.17           | -0.12            | 0.20     | 0.24      |
| 中1社  | 0.24    | 0.26     | 0.16             | 0.18              | 0.19            | 0.18            | 0.18                 | 0.19            | 0.23           | -0.16            | 0.23     | 0.22      |
| 中1数  | 0.24    | 0.26     | 0.16             | 0.20              | 0.19            | 0.19            | 0.19                 | 0.21            | 0.16           | -0.18            | 0.23     | 0.22      |
| 中1理  | 0.23    | 0.28     | 0.19             | 0.20              | 0.21            | 0.20            | 0.19                 | 0.21            | 0.19           | -0.17            | 0.24     | 0.22      |
| 中1英  | 0.23    | 0.31     | 0.20             | 0.20              | 0.21            | 0.23            | 0.22                 | 0.22            | 0.15           | -0.16            | 0.23     | 0.29      |
| 中2国  | 0.19    | 0.29     | 0.20             | 0.19              | 0.17            | 0.17            | 0.18                 | 0.17            | 0.17           | -0.13            | 0.22     | 0.27      |
| 中2社  | 0.22    | 0.27     | 0.15             | 0.16              | 0.21            | 0.17            | 0.13                 | 0.13            | 0.25           | -0.19            | 0.23     | 0.23      |
| 中2数  | 0.25    | 0.30     | 0.17             | 0.20              | 0.21            | 0.19            | 0.16                 | 0.17            | 0.16           | -0.20            | 0.24     | 0.27      |
| 中2理  | 0.23    | 0.29     | 0.16             | 0.18              | 0.21            | 0.19            | 0.15                 | 0.15            | 0.18           | -0.19            | 0.24     | 0.25      |
| 中2英  | 0.24    | 0.30     | 0.20             | 0.19              | 0.20            | 0.19            | 0.17                 | 0.17            | 0.18           | -0.20            | 0.24     | 0.29      |

| 質問番号 | 22<br>勉強<br>好き | 23<br>授業<br>分かる | 24<br>質問 | 26<br>発表<br>機会 | 29<br>計画<br>勉強 | 30<br>宿題 | 32<br>復習 | 33<br>苦手教科 | 34<br>間違い<br>直し | 35<br>平日<br>勉強時間 | 36<br>土日<br>勉強時間 | 37<br>読書<br>好き |
|------|----------------|-----------------|----------|----------------|----------------|----------|----------|------------|-----------------|------------------|------------------|----------------|
| 小3国  | 0.21           | 0.29            | 0.14     | -              | 0.11           | 0.23     | -        | -          | -               | 0.07             | 0.07             | 0.21           |
| 小3算  | 0.13           | 0.27            | 0.11     | -              | 0.05           | 0.18     | -        | -          | -               | 0.03             | 0.03             | 0.09           |
| 小4国  | 0.23           | 0.35            | 0.19     | -              | 0.14           | 0.24     | -        | -          | -               | 0.14             | 0.11             | 0.23           |
| 小4算  | 0.21           | 0.36            | 0.16     | -              | 0.12           | 0.23     | -        | -          | -               | 0.15             | 0.13             | 0.13           |
| 小5国  | 0.22           | 0.36            | 0.19     | 0.24           | 0.15           | 0.27     | 0.21     | 0.18       | 0.21            | 0.20             | 0.18             | 0.20           |
| 小5社  | 0.24           | 0.38            | 0.19     | 0.26           | 0.12           | 0.26     | 0.19     | 0.15       | 0.18            | 0.19             | 0.17             | 0.20           |
| 小5算  | 0.23           | 0.40            | 0.20     | 0.26           | 0.14           | 0.28     | 0.20     | 0.16       | 0.20            | 0.22             | 0.19             | 0.13           |
| 小5理  | 0.22           | 0.37            | 0.18     | 0.24           | 0.10           | 0.22     | 0.17     | 0.13       | 0.17            | 0.17             | 0.17             | 0.17           |
| 小6国  | 0.23           | 0.36            | 0.21     | 0.24           | 0.16           | 0.24     | 0.22     | 0.19       | 0.22            | 0.22             | 0.21             | 0.21           |
| 小6社  | 0.23           | 0.39            | 0.19     | 0.27           | 0.13           | 0.21     | 0.20     | 0.18       | 0.20            | 0.20             | 0.21             | 0.20           |
| 小6算  | 0.24           | 0.44            | 0.21     | 0.27           | 0.15           | 0.24     | 0.21     | 0.18       | 0.20            | 0.22             | 0.19             | 0.12           |
| 小6理  | 0.22           | 0.41            | 0.19     | 0.26           | 0.12           | 0.18     | 0.19     | 0.16       | 0.18            | 0.18             | 0.19             | 0.18           |
| 中1国  | 0.21           | 0.39            | 0.27     | 0.23           | 0.15           | 0.27     | 0.20     | 0.18       | 0.27            | 0.16             | 0.18             | 0.22           |
| 中1社  | 0.25           | 0.45            | 0.29     | 0.26           | 0.18           | 0.30     | 0.24     | 0.23       | 0.29            | 0.19             | 0.21             | 0.17           |
| 中1数  | 0.24           | 0.49            | 0.32     | 0.27           | 0.18           | 0.32     | 0.25     | 0.22       | 0.30            | 0.22             | 0.23             | 0.12           |
| 中1理  | 0.26           | 0.47            | 0.31     | 0.27           | 0.18           | 0.32     | 0.25     | 0.23       | 0.30            | 0.21             | 0.22             | 0.19           |
| 中1英  | 0.21           | 0.41            | 0.29     | 0.25           | 0.21           | 0.34     | 0.26     | 0.22       | 0.28            | 0.27             | 0.24             | 0.13           |
| 中2国  | 0.19           | 0.39            | 0.28     | 0.22           | 0.15           | 0.28     | 0.22     | 0.21       | 0.28            | 0.15             | 0.17             | 0.24           |
| 中2社  | 0.26           | 0.49            | 0.30     | 0.22           | 0.20           | 0.31     | 0.27     | 0.27       | 0.31            | 0.20             | 0.24             | 0.17           |
| 中2数  | 0.25           | 0.53            | 0.36     | 0.23           | 0.19           | 0.33     | 0.27     | 0.26       | 0.32            | 0.22             | 0.23             | 0.12           |
| 中2理  | 0.26           | 0.51            | 0.33     | 0.24           | 0.18           | 0.32     | 0.26     | 0.26       | 0.31            | 0.19             | 0.22             | 0.17           |
| 中2英  | 0.25           | 0.49            | 0.33     | 0.22           | 0.21           | 0.34     | 0.28     | 0.26       | 0.33            | 0.26             | 0.27             | 0.14           |

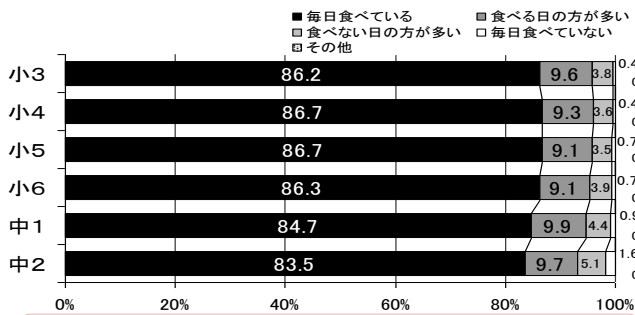
### 3 児童生徒質問紙結果

(1) 平成 24 年度調査結果一覧

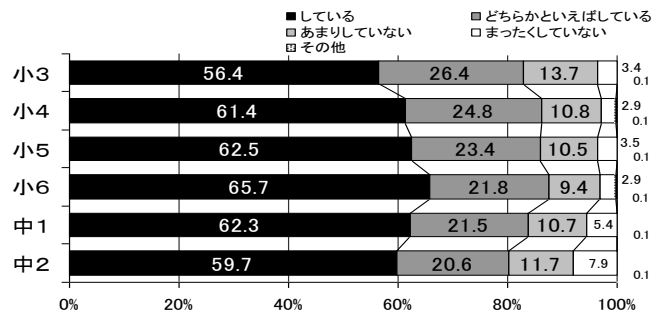
## 1 生活について

※経年比較 P70 参照

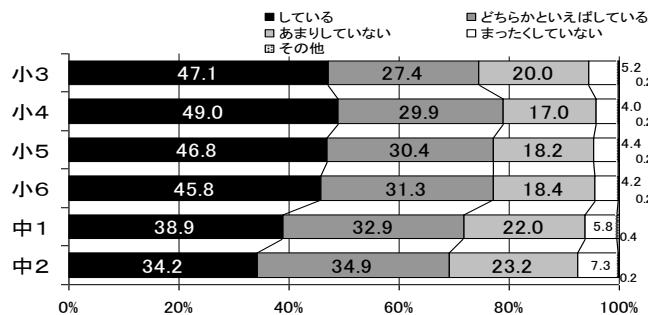
#### 1 朝食を毎日食べていますか



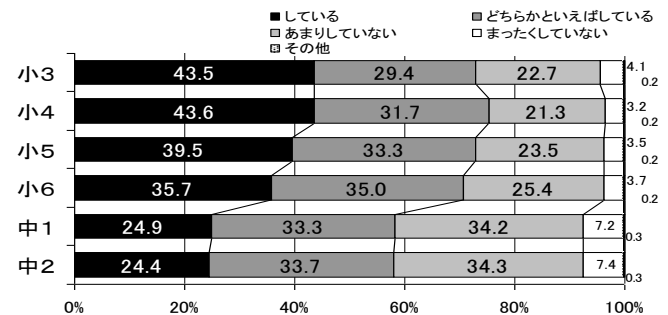
#### 2 学校にもっていくものを、前の日か、その日の朝に確かめていますか



#### 3 家の人と学校でのできごとについて話をしていますか



#### 4 家の手伝いをしていますか

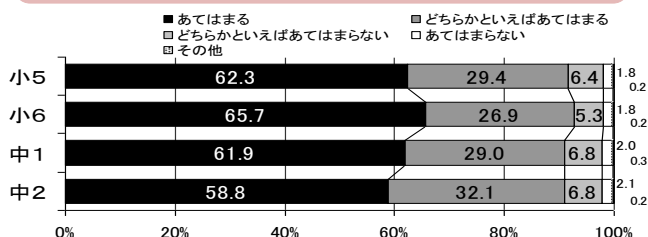


○2については、肯定的に回答している児童生徒の割合が小学校高学年で高くなるが、学年が進むにつれて減少している。また、3、4については、「している」と回答している児童生徒の割合が、学年が進むにつれて減少傾向にあり、特に、小6から中1にかけて減少する度合いが大きい。

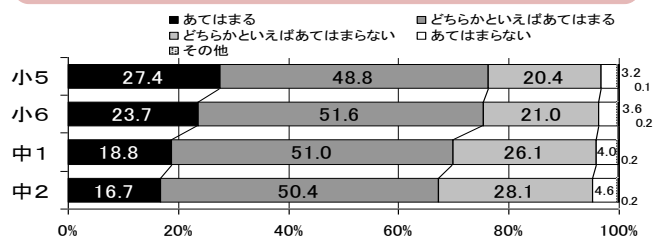
## 2 自分自身について

※経年比較 P73 参照

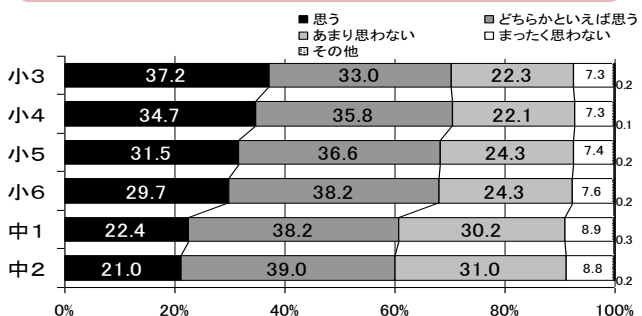
#### 5 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか



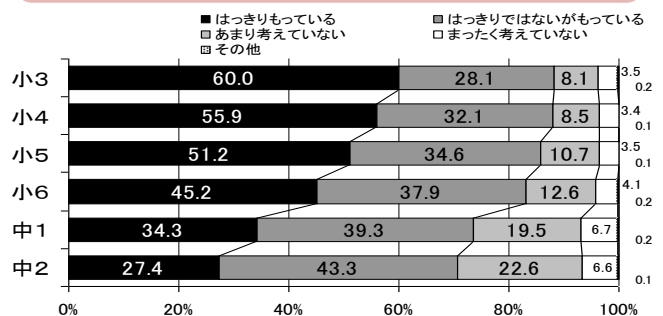
#### 6 むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか



#### 7 自分には、よいところがあると思いますか



#### 8 将来の夢や目標をもっていますか



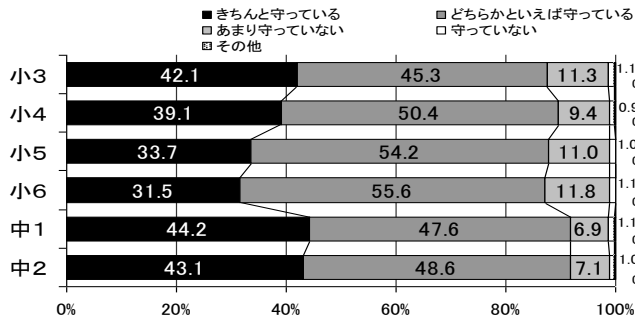
○5～8については、本県教育の基本理念「夢に向かってチャレンジする人づくり」と関係の深い項目であるが、肯定的に回答している児童生徒の割合が、学年が進むにつれて減少する傾向にある。

## 3

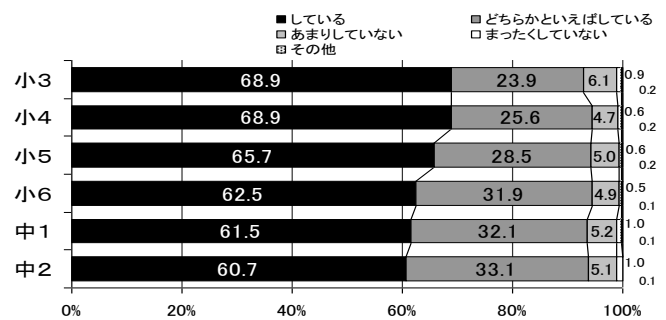
## 社会性・道徳性について

※経年比較 P75 参照

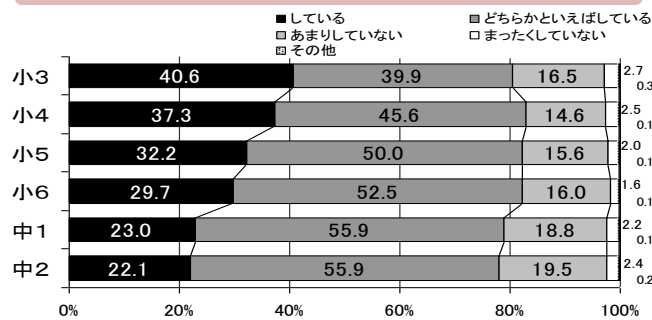
## 9 学校のきまりを守っていますか



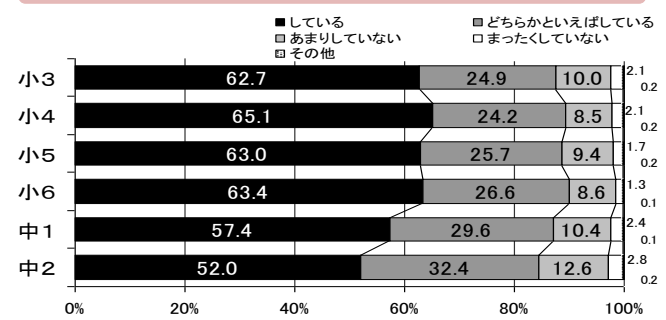
## 10 係や委員の仕事など、自分の役割はきちんとできていますか



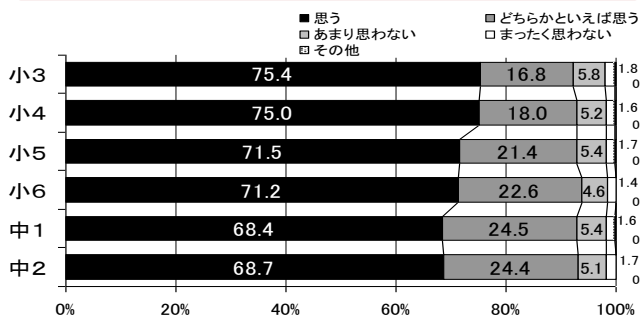
## 11 人が困っているときは、進んで助けていますか



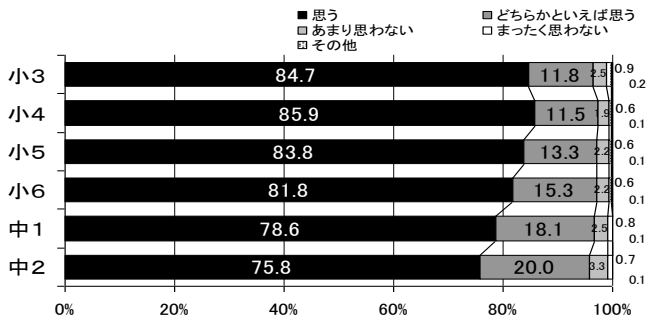
## 12 近所の人にあったときは、あいさつをしていますか



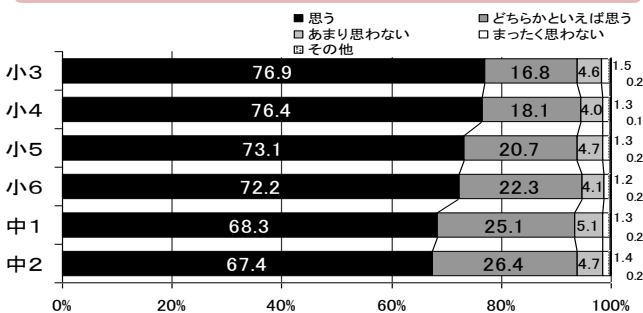
## 13 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか



## 14 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



## 15 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



○9については、「きちんと守っている」と回答している児童生徒の割合は、中学校の方が高くなっている。

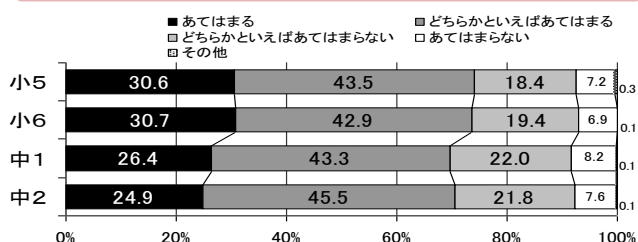
○社会性・道徳性に関するほとんどの質問項目では、学年が進むにつれて「している」等に回答している児童生徒の割合が減少する傾向が見られる。



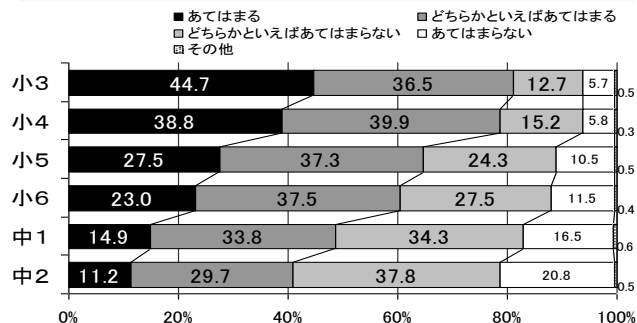
## 4 社会への関心について

※経年比較 P79 参照

### 16 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか



### 17 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか



○16については、「あてはまる」と回答している児童生徒の割合が、小学校から中学校へと学年が進むにつれて減少している。特に、中学校で減少している。

○17については、肯定的に回答している児童生徒の割合が、学年が進むにつれて大きく減少している。特に中学校2年の約2割が「あてはまらない」と回答している。

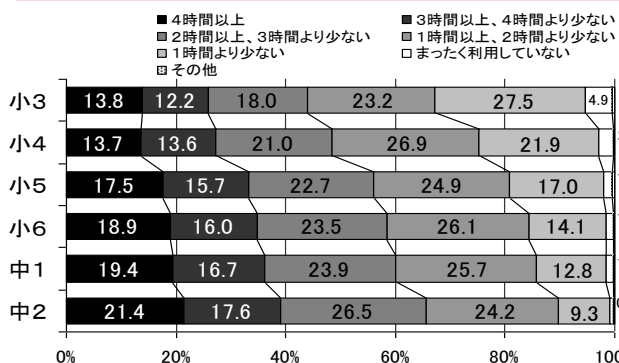
○実生活とのかかわりにおいて、新聞やテレビのニュース、地域の情報などをもとに、自分達の生活への影響について考えたりする場を設定するなど、指導の工夫が求められる。



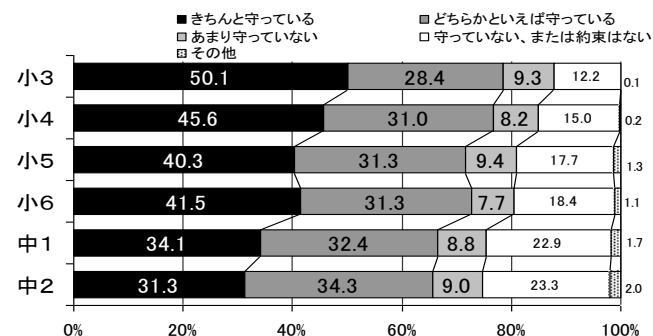
## 5 メディアの利用について

※経年比較 P80 参照

### 18 あなたは1日にどれくらいの時間、メディア（テレビ、ゲーム、パソコン、携帯電話など）を利用していますか



### 19 メディアの利用のしかたについて、家の人と約束したことを守っていますか



○18については、学年が進むにつれてメディアを利用している時間が長い児童生徒の割合が増加している。特に4時間以上と回答している児童生徒は、小学校3年で約14%、中学校2年では約20%にもなっており、課題がうかがえる。

○19については、学年が進むにつれて「きちんと守っている」と回答している児童生徒の割合が減少している。中学校1、2年の約2割が「守っていない、または約束はない」と回答しており、課題がうかがえる。

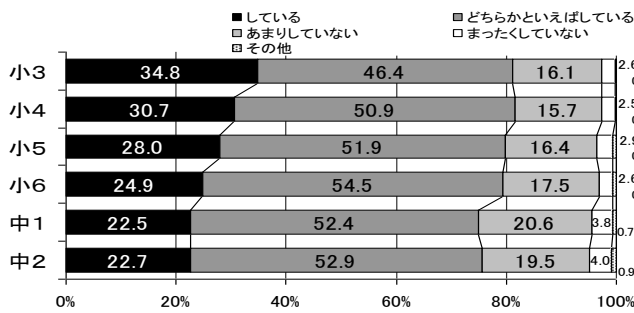


## 6

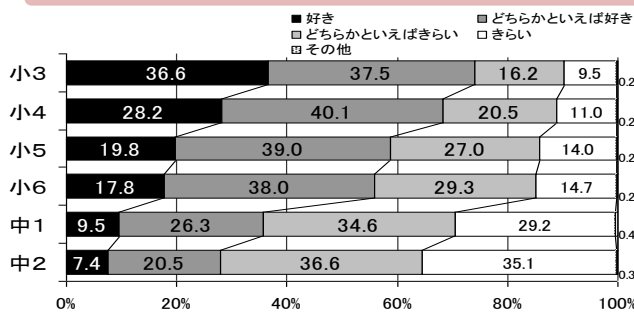
## 勉強・授業について

※「2 総論」参照 (24 は P81、28 は P82)

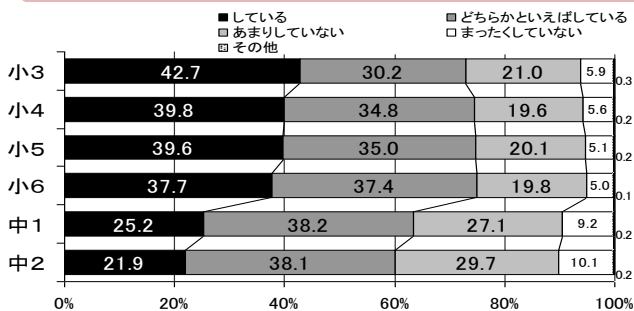
20 私語なく先生や友だちの話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか



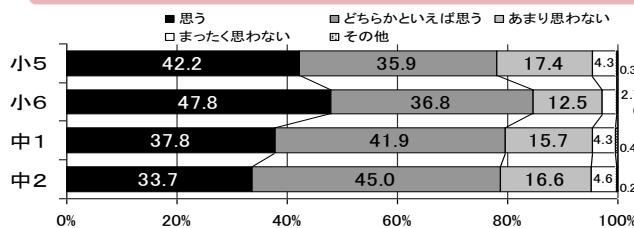
22 勉強は好きですか



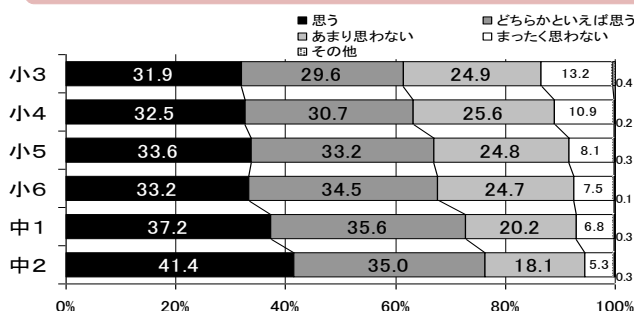
24 分からないところは先生や友だちに質問して解決していますか



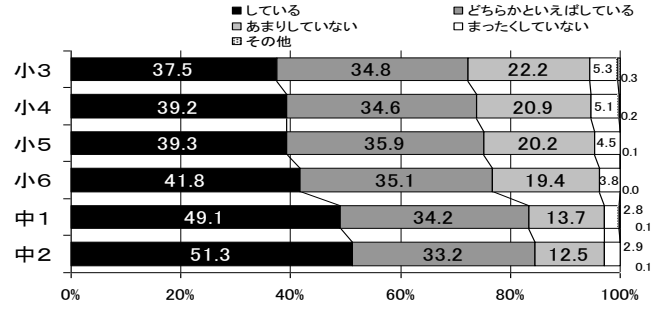
26 ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか



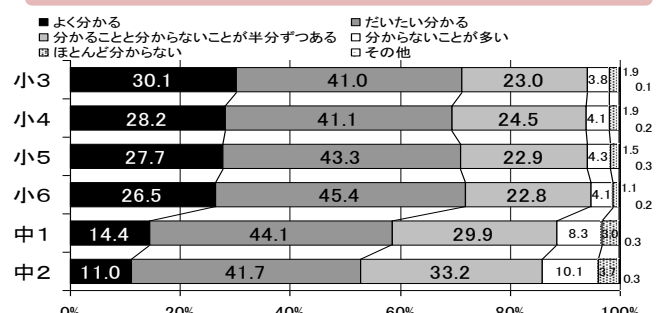
28 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのはむずかしいと思いますか



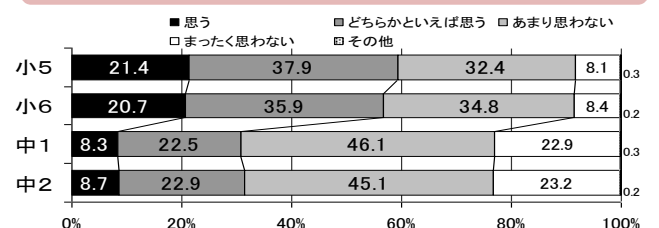
21 授業では、ノートを丁寧に書いていますか



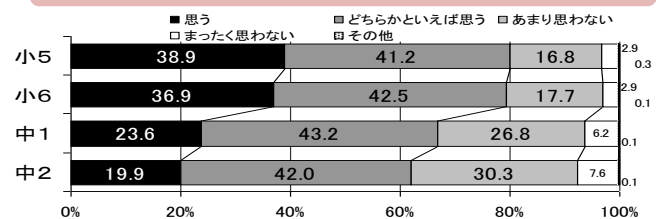
23 授業の内容がどの程度分かりますか



25 ふだんの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか



27 ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか

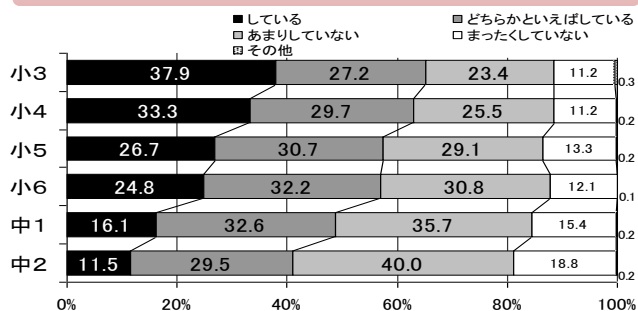


## 7

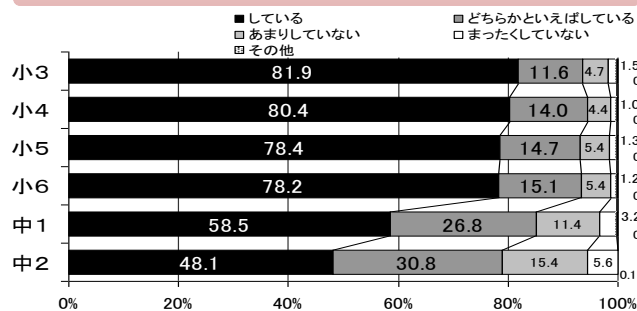
## 家庭学習について

※「2 総論」参照（33 は P82）

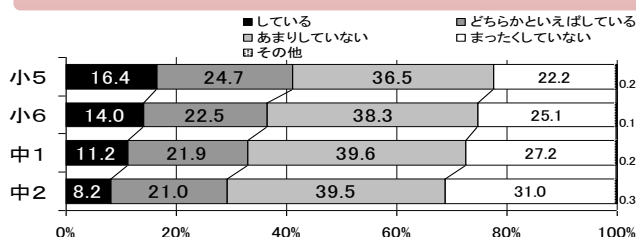
## 29 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



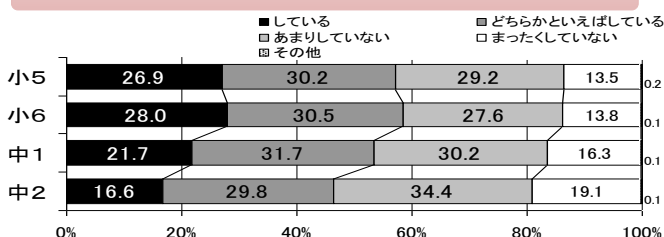
## 30 家で学校の宿題をしていますか



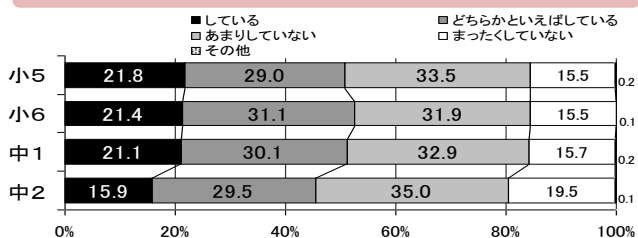
## 31 家で学校の授業の予習をしていますか



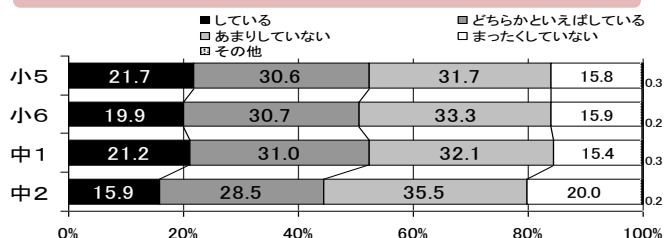
## 32 家で学校の授業の復習をしていますか



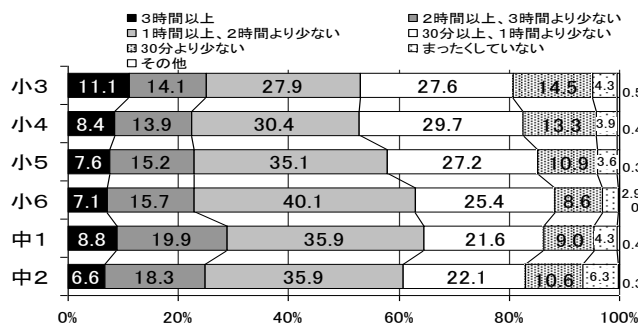
## 33 家で苦手な教科の勉強をしていますか



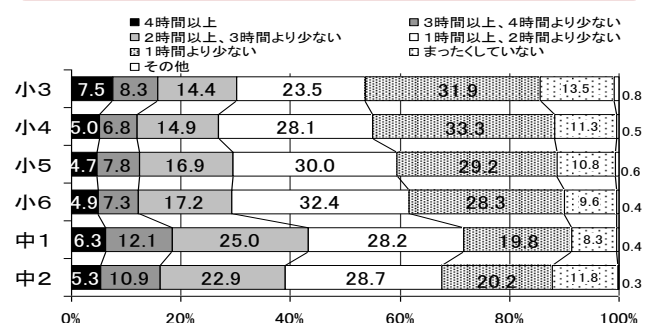
## 34 テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか



## 35 学校の授業以外に、ふだん（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか



## 36 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか

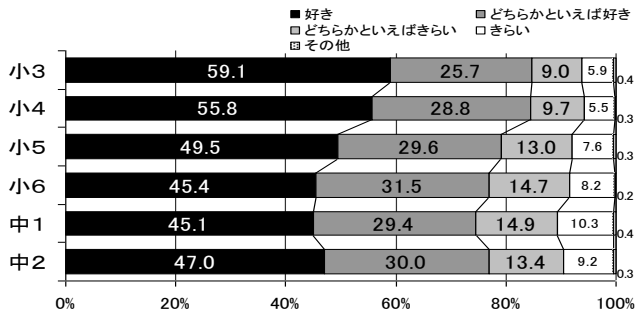
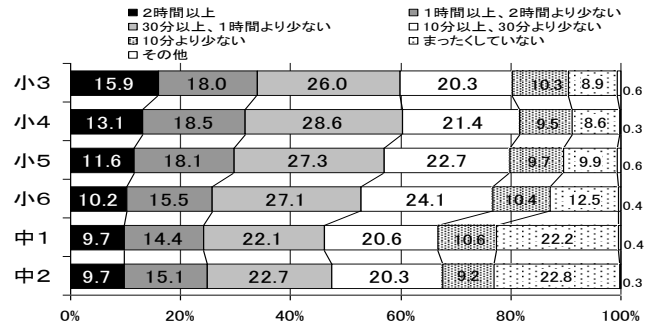


## 8

## 読書について

※経年比較 P83 参照

## 37 読書は好きですか

38 家や図書館で、ふだん（月～金）、1日  
にどれくらいの時間、読書をしますか

○37 については、学年が進むにつれて読書が好きと回答している児童生徒の割合が減少し、中学校2年でやや増加している。特に中学校1年では、約1割の生徒が「きらい」と回答している。

○38 については、学年が進むにつれて読書をする時間の長い児童生徒の割合が減少している。中学校1、2年の2割以上が「全くしていない」と回答しており、課題がうかがえる。

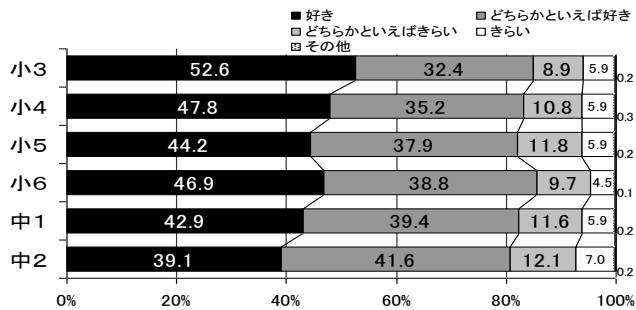
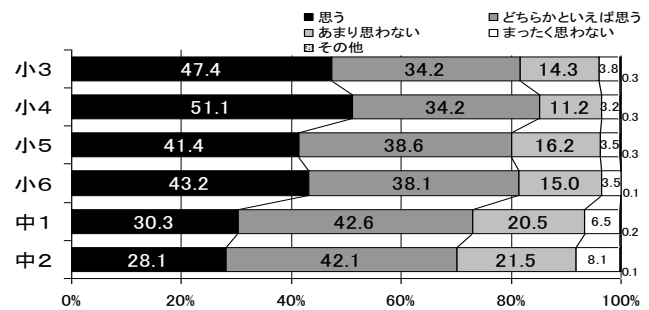
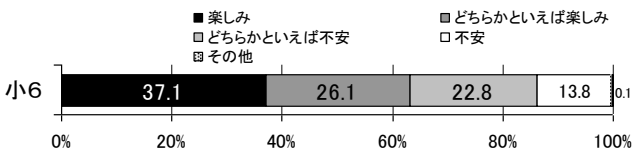


## 9

## 学校生活について

※経年比較 P84 参照

## 39 学校が好きですか

40 あなたの学級では、学級の友達同士で話し合っ  
て学級のきまりなどを決めていると思いますか41 中学校に進学することについて、どのよう  
に感じていますか

○39 については、肯定的に回答している児童生徒の割合が約8割と小学校3年から中学校2年まで学年による増減は少ない。しかし、約5～7%の児童生徒が「きらい」と回答しており、「どちらかといえばきらい」も含めると否定的な回答をしている児童生徒が2割近くいることは課題である。各学校の状況を踏まえて、個別の対応等が求められる。

○40 については、学年が進むにつれて肯定的に回答している児童生徒の割合が減少している。特に小学校5年、中学校1年で大きく減少している。中学校では、約3割の生徒が否定的な回答をしており、課題がうかがえる。

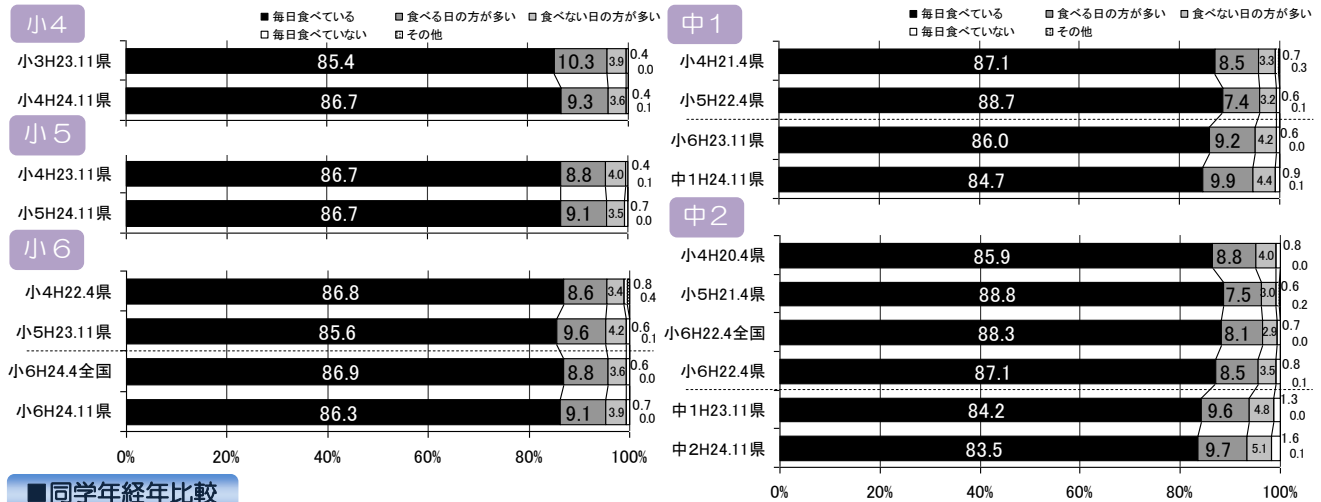
○41 は、6年のみが回答した質問である。そのうち、「不安」と回答している児童が約14%おり、各学校の状況を踏まえて、個別の対応等が求められる。

## (2) 調査結果経年比較

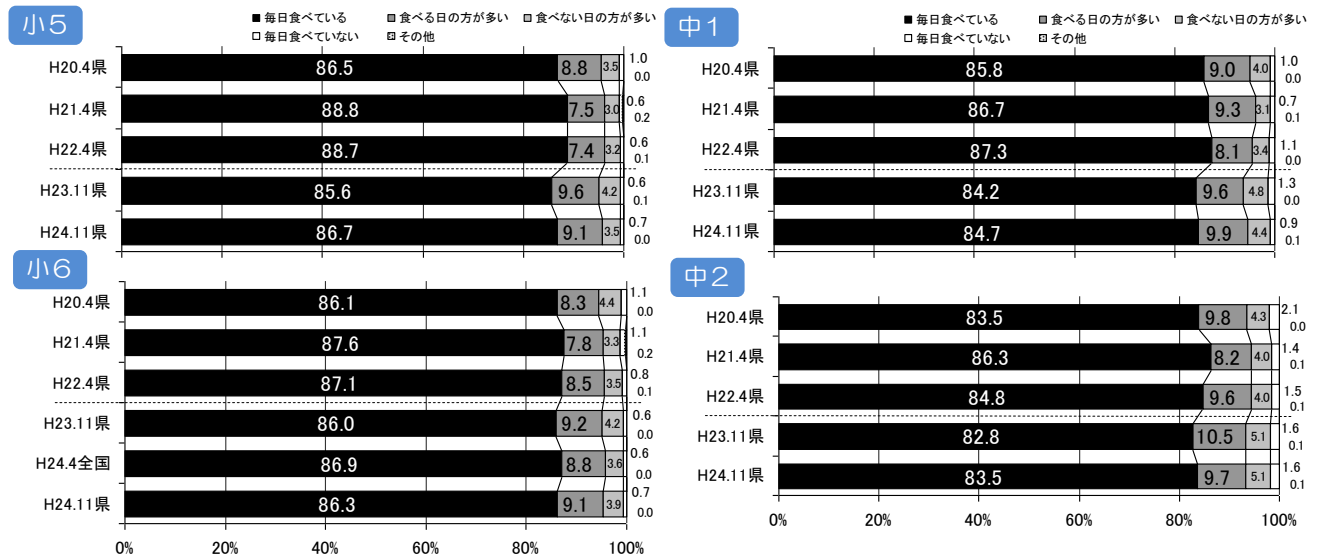
# 1 生活について

## 1 朝食を毎日食べていますか

### ■同一児童生徒経年比較

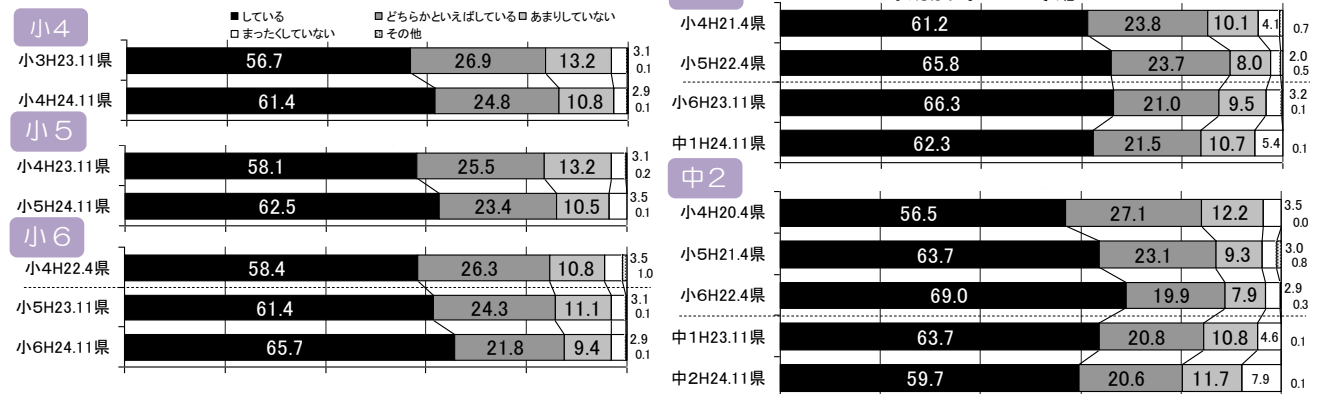


### ■同学年経年比較



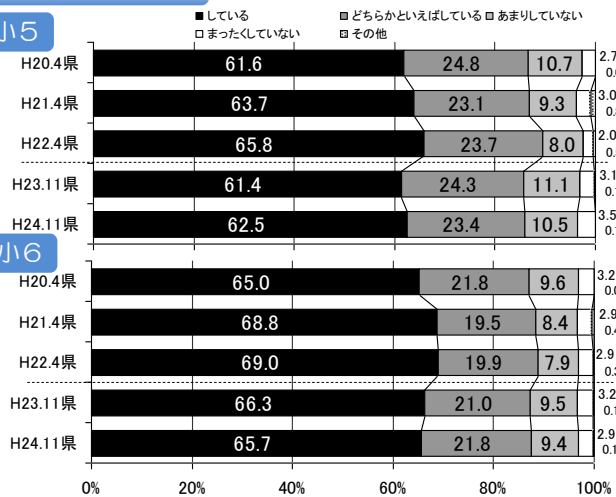
## 2 学校にもっていくものを、前日か、その日の朝に確かめていますか

### ■同一児童生徒経年比較

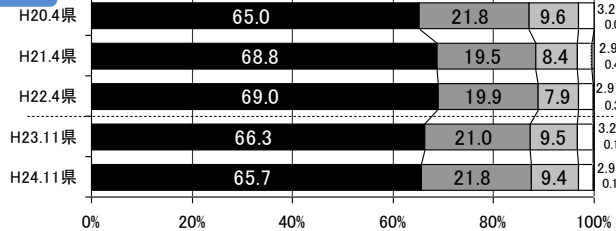


## ■ 同学年経年比較

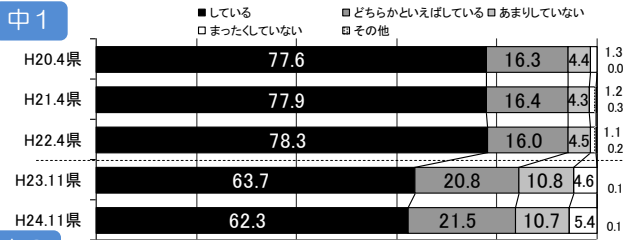
## 小5



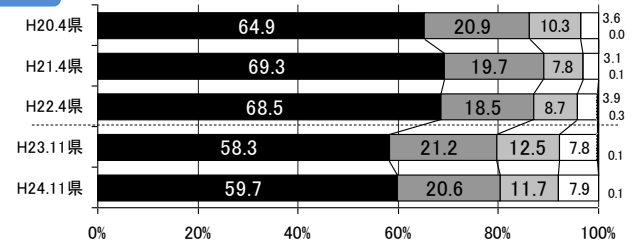
## 小6



## 中1



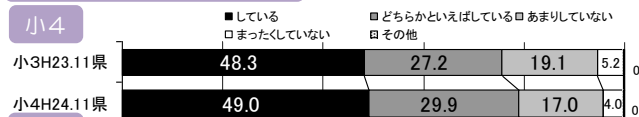
## 中2



## 3 家の人と学校でのできごとについて話をしていますか

## ■ 同一児童生徒経年比較

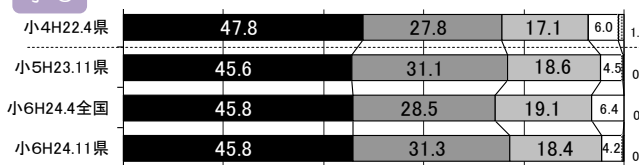
## 小4



## 小5

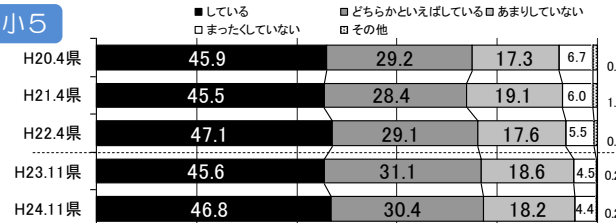


## 小6

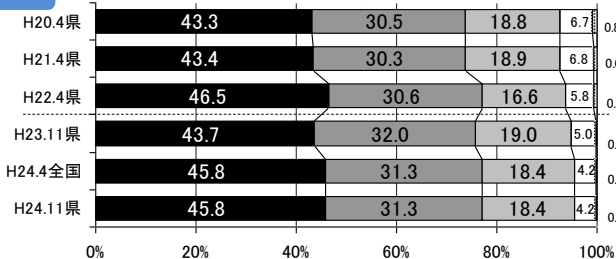


## ■ 同学年経年比較

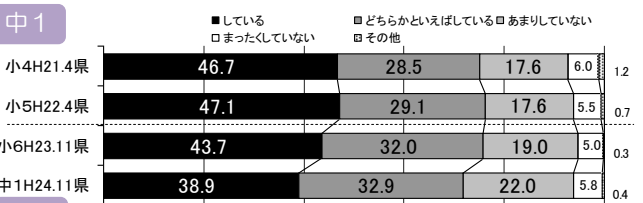
## 小5



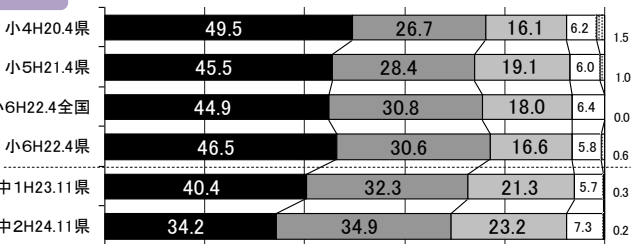
## 小6



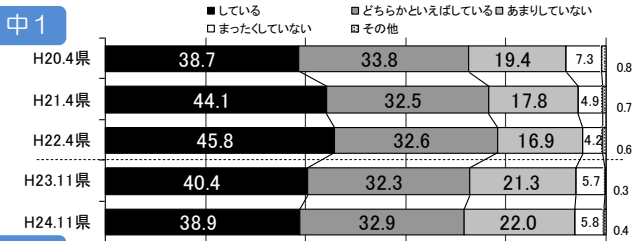
## 中1



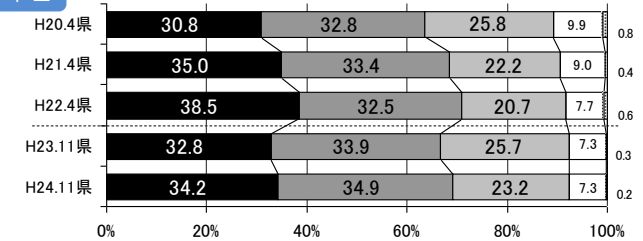
## 中2



## 中1



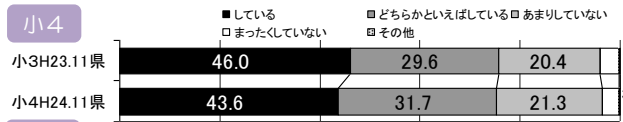
## 中2



## 4 家の手伝いをしていますか

## ■同一児童生徒経年比較

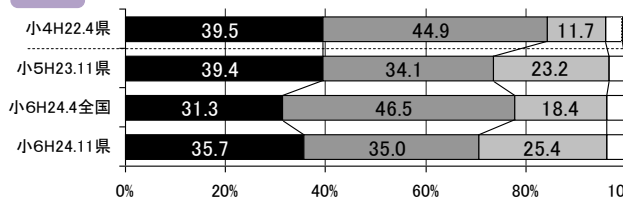
## 小4



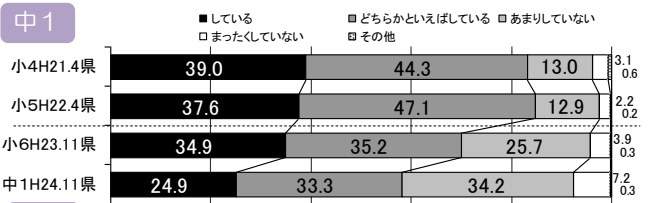
## 小5



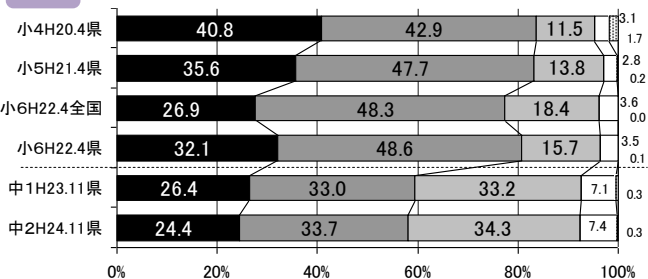
## 小6



## 中1

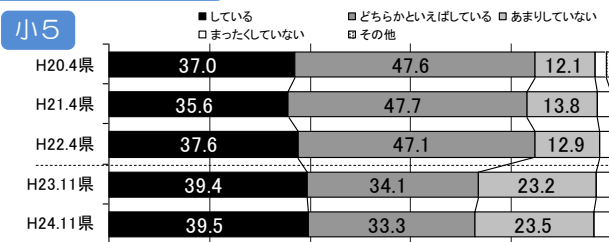


## 中2

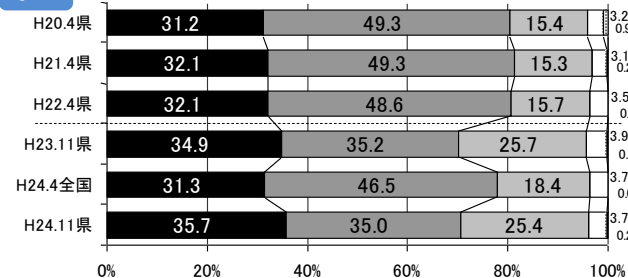


## ■同学年経年比較

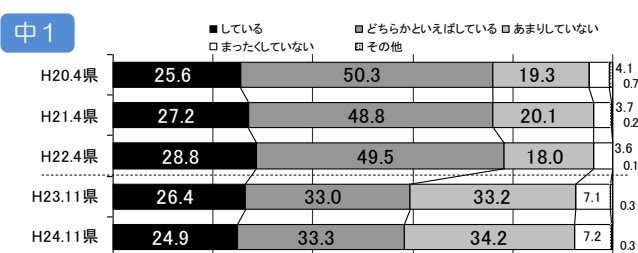
## 小5



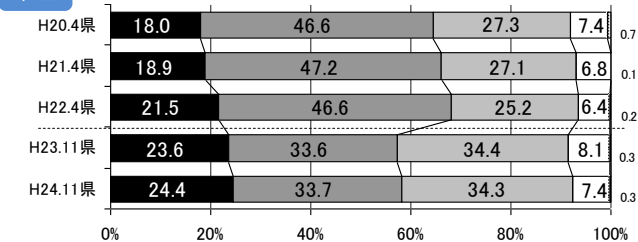
## 小6



## 中1



## 中2

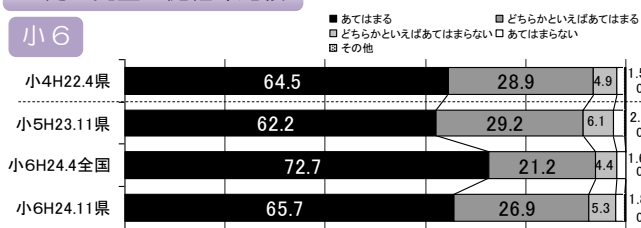


## 2 自分自身について

### 5 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか

#### ■同一児童生徒経年比較

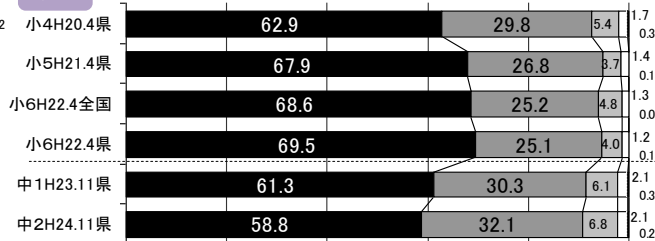
##### 小6



##### 中1

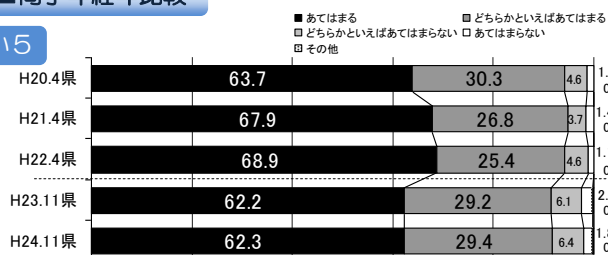


##### 中2

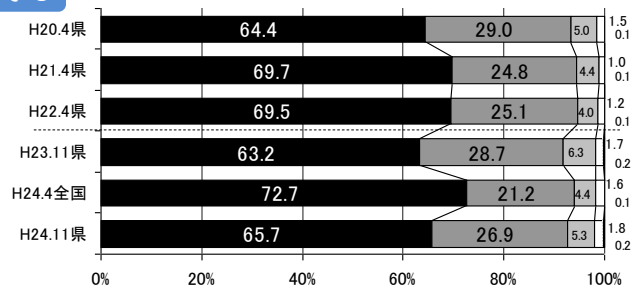


#### ■同学年経年比較

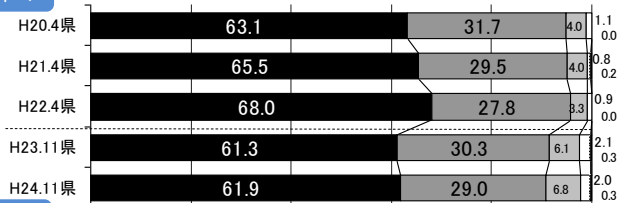
##### 小5



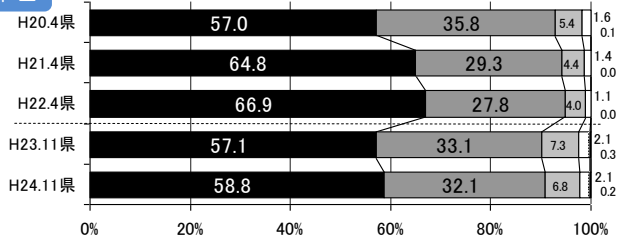
##### 小6



##### 中1



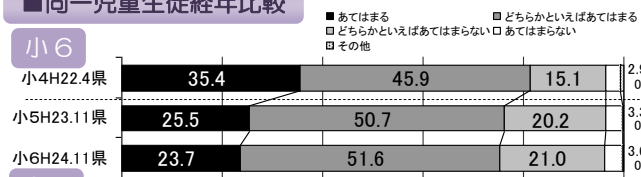
##### 中2



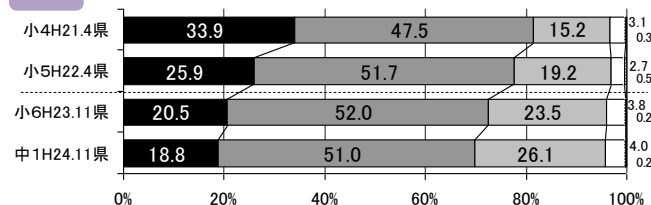
### 6 むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか

#### ■同一児童生徒経年比較

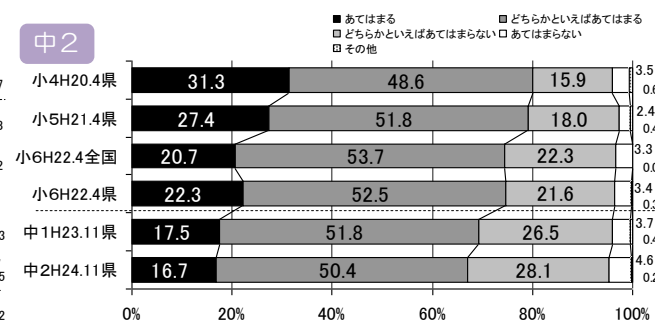
##### 小6



##### 中1



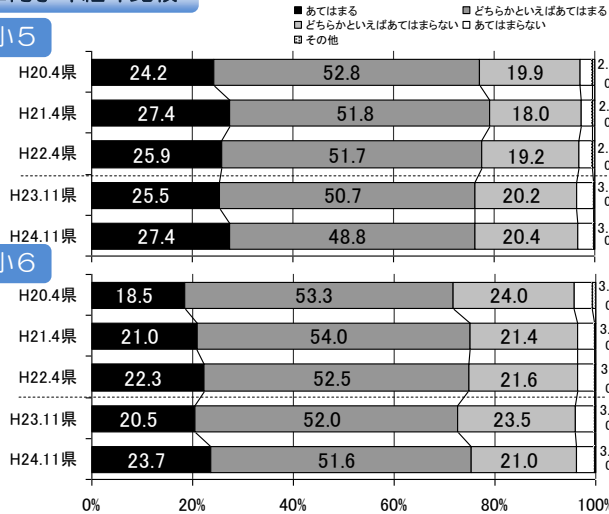
##### 中2



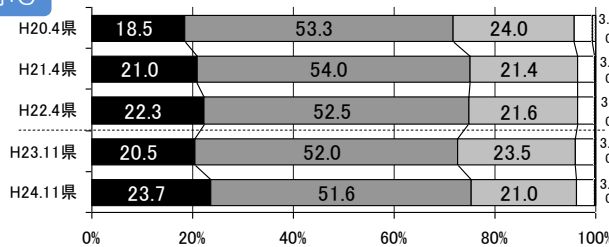
## (2) 調査結果経年比較

### ■ 同学年経年比較

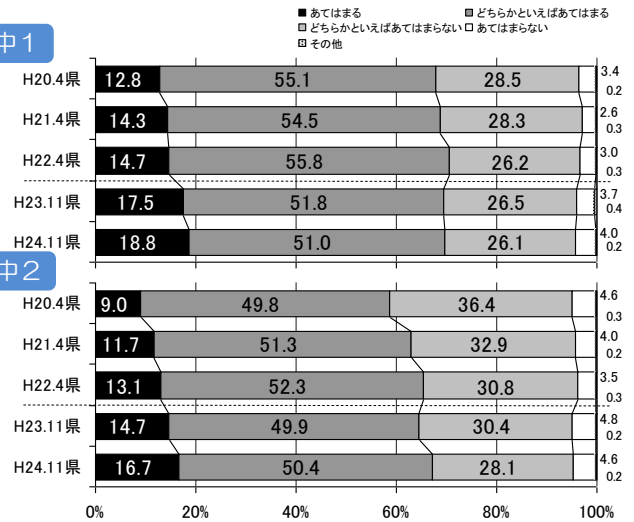
小5



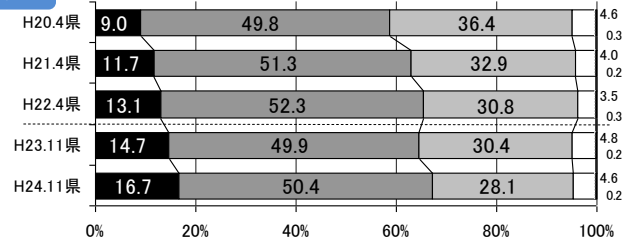
小6



中1



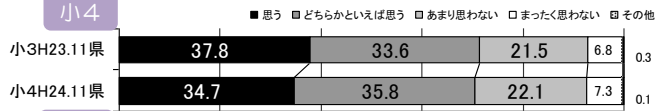
中2



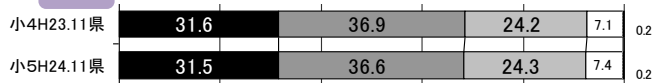
## 7 自分には、よいところがあると思いますか

### ■ 同一児童生徒経年比較

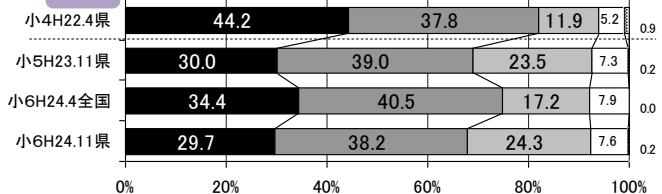
小4



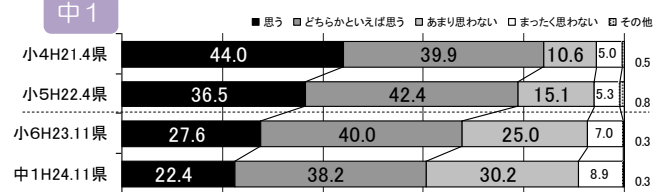
小5



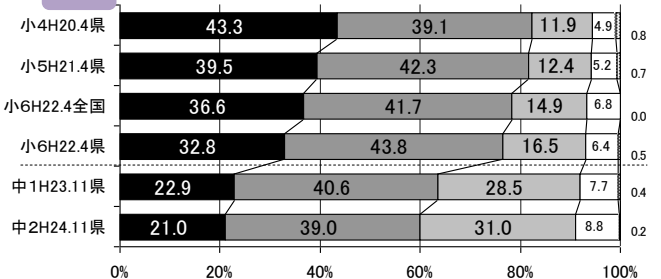
小6



中1

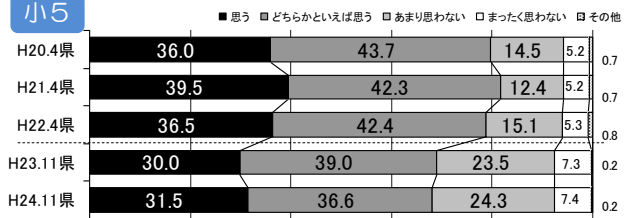


中2

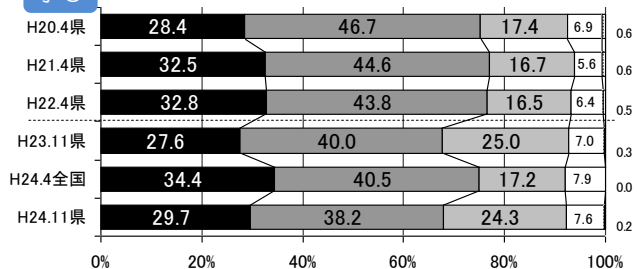


### ■ 同学年経年比較

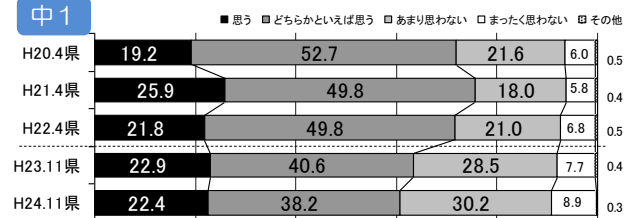
小5



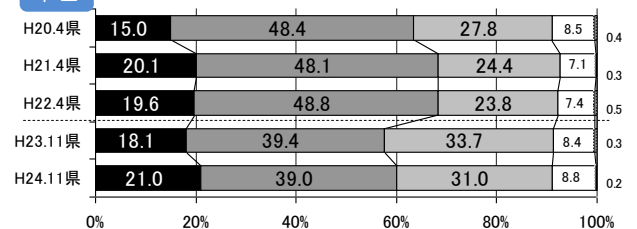
小6



中1

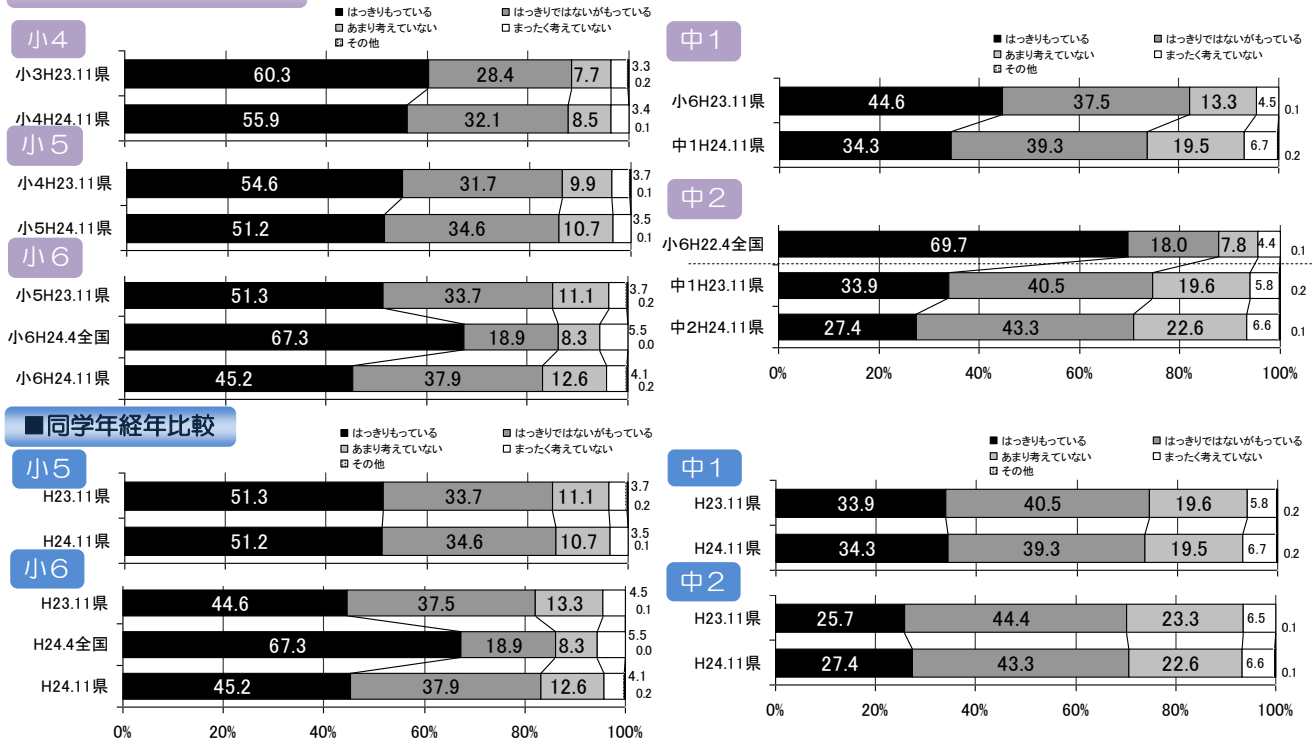


中2



## 8 将来の夢や目標をもっていますか

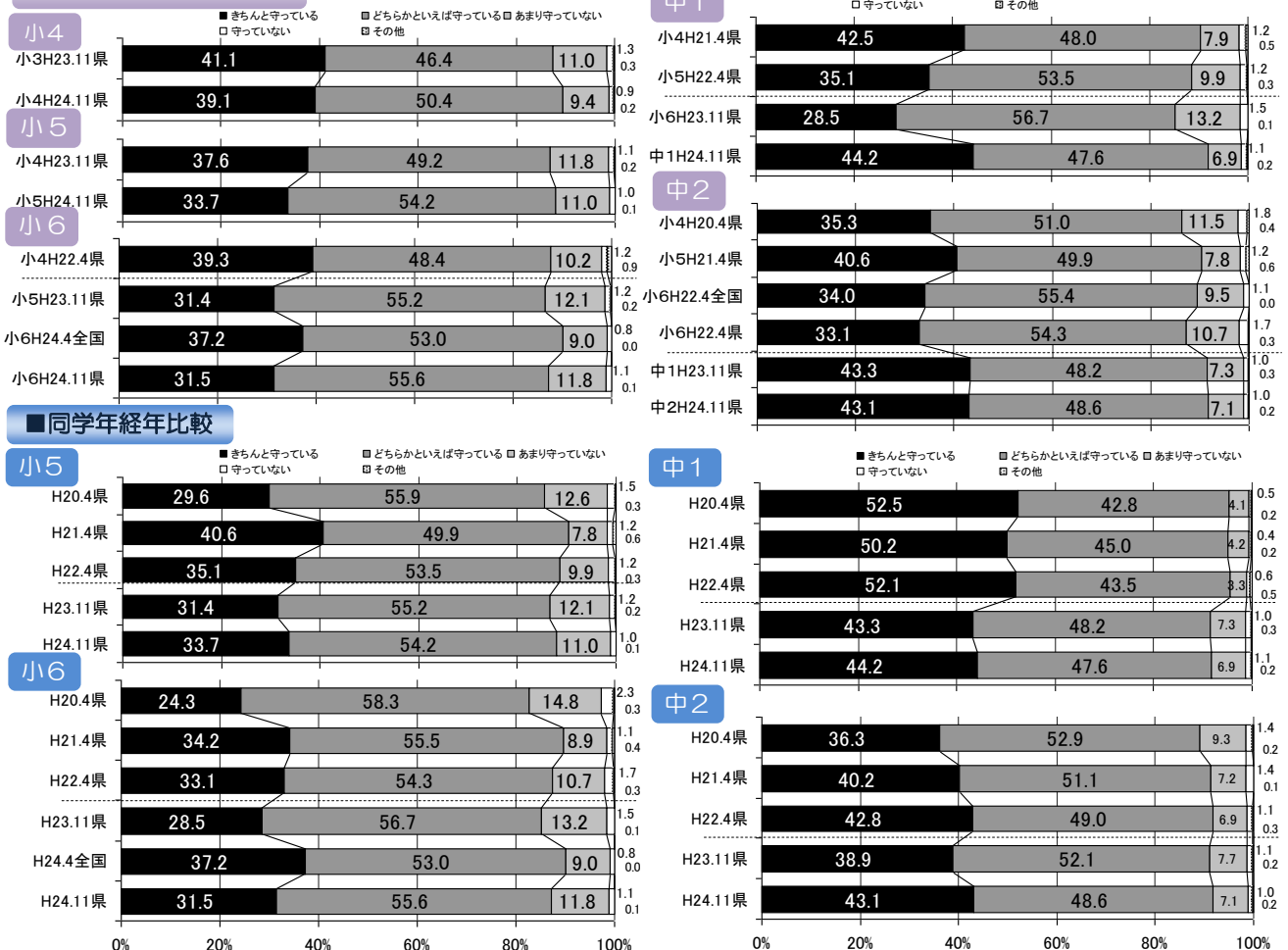
## ■同一児童生徒経年比較



## 3 社会性・道徳性について

## 9 学校のきまりを守っていますか

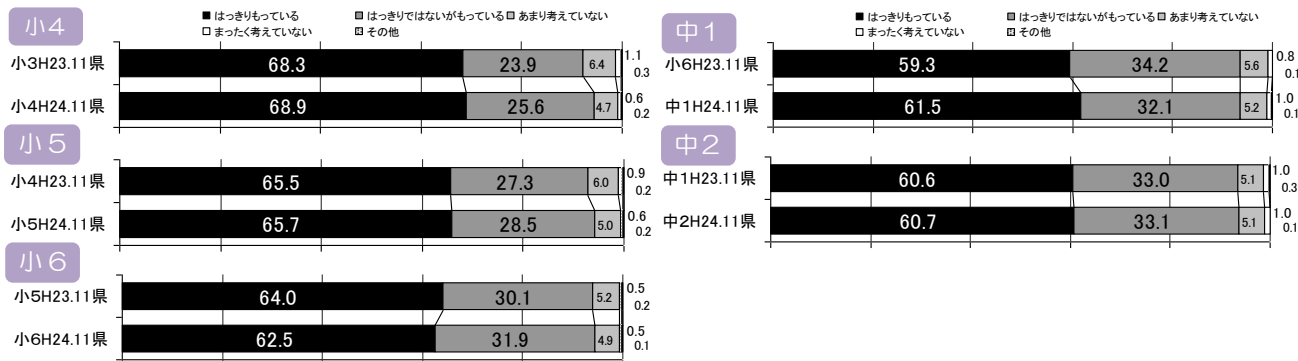
## ■同一児童生徒経年比較



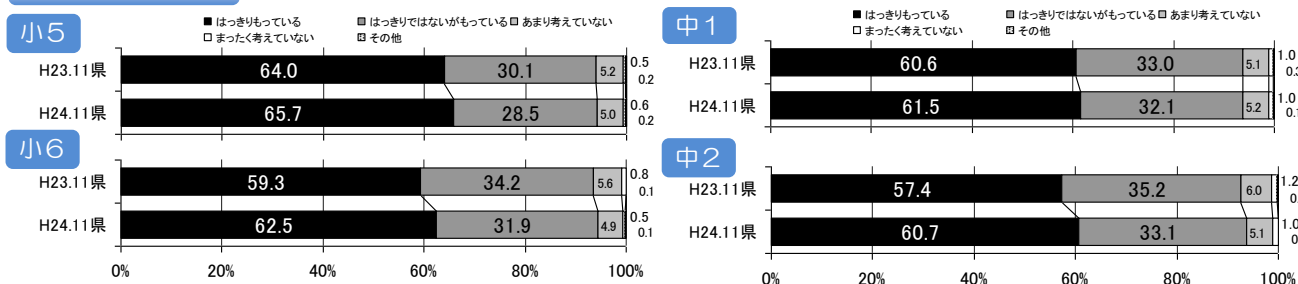
(2) 調査結果経年比較

10 係や委員の仕事など、自分の役割はきちんとできていますか

■同一児童生徒経年比較

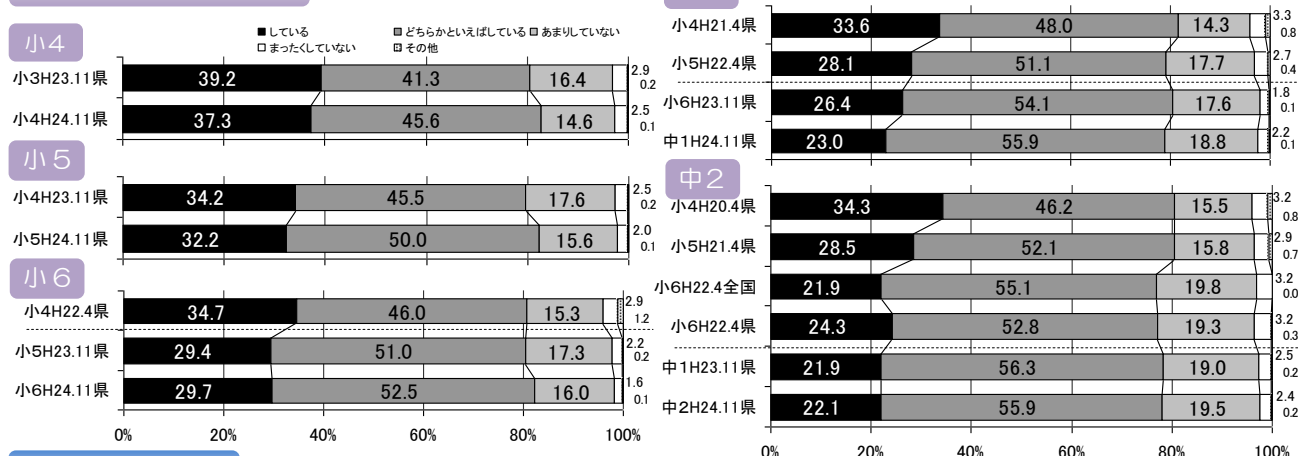


■同学年経年比較

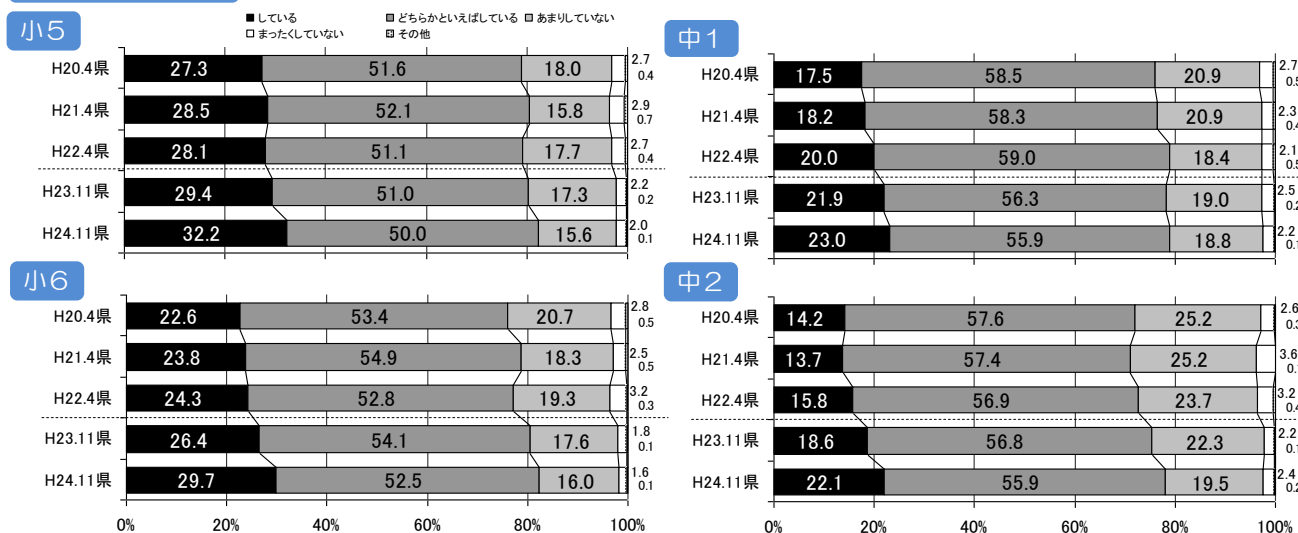


11 人が困っているときは、進んで助けていますか

■同一児童生徒経年比較

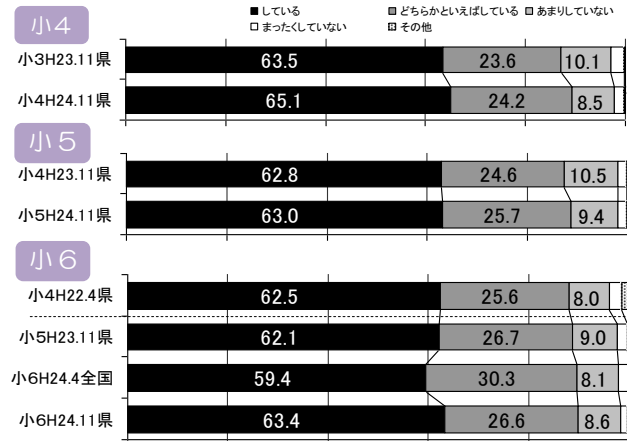


■同学年経年比較

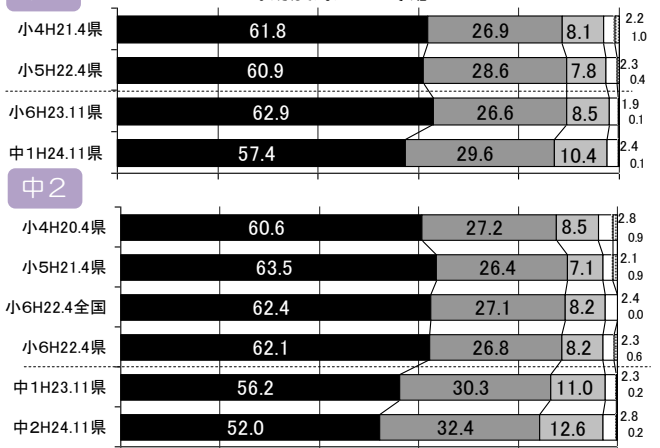


## 12 近所の人にあったときは、あいさつをしていますか

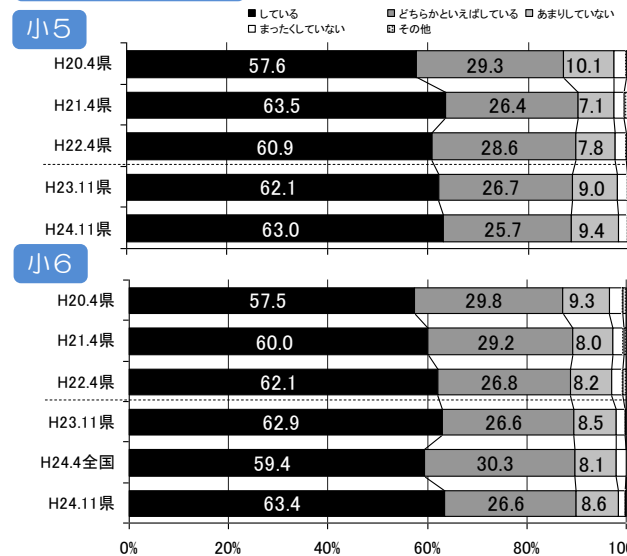
## ■同一児童生徒経年比較



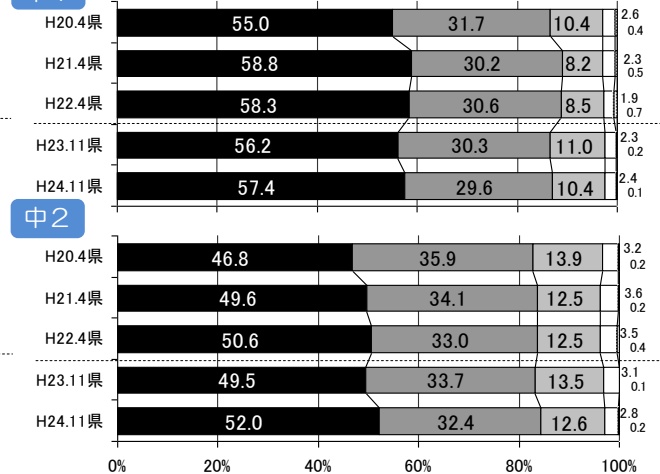
## 中1



## ■同学年経年比較

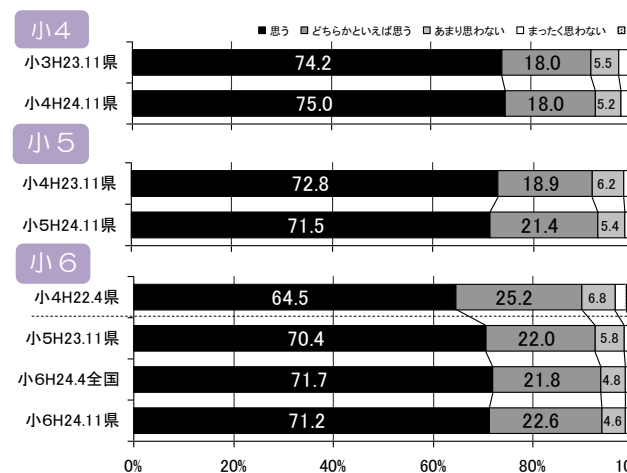


## 中1

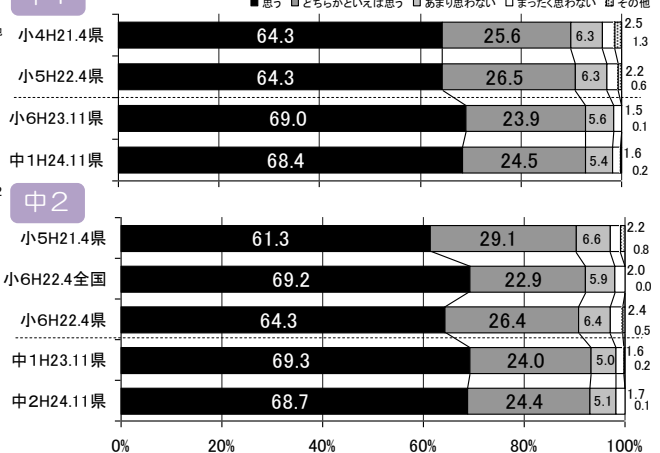


## 13 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか

## ■同一児童生徒経年比較



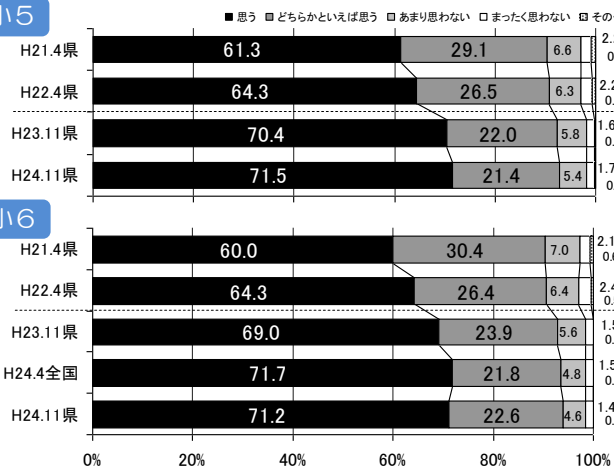
## 中1



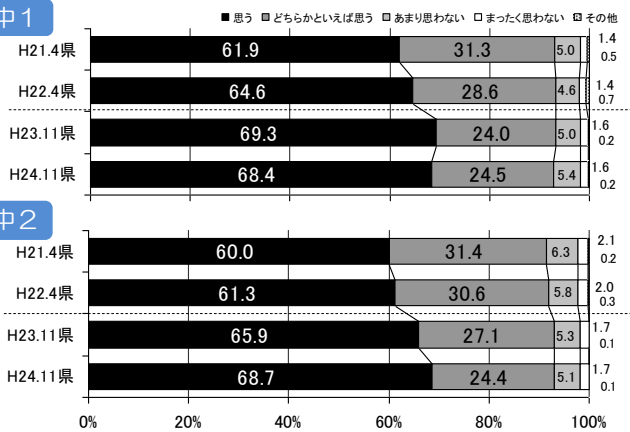
(2) 調査結果経年比較

■ 同学年経年比較

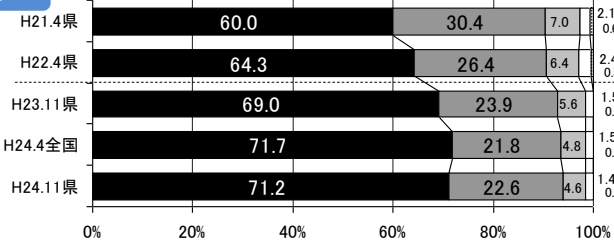
小5



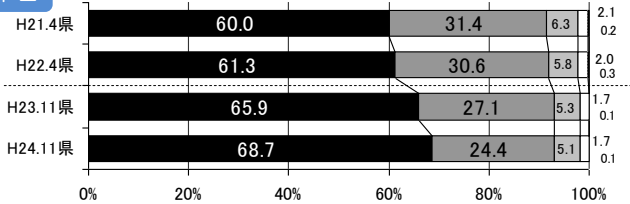
中1



小6



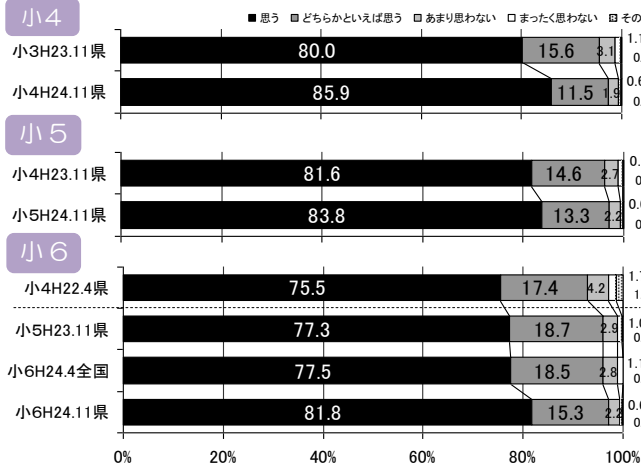
中2



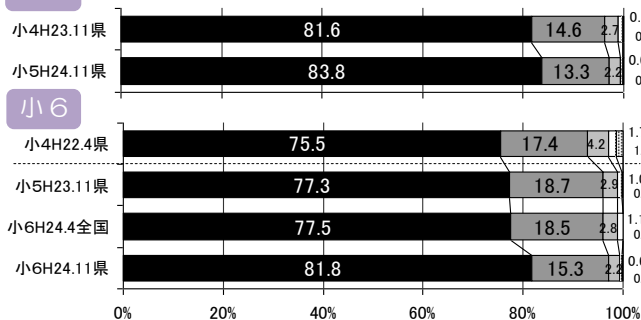
14 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

■ 同一児童生徒経年比較

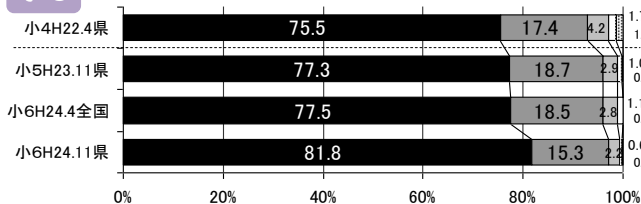
小4



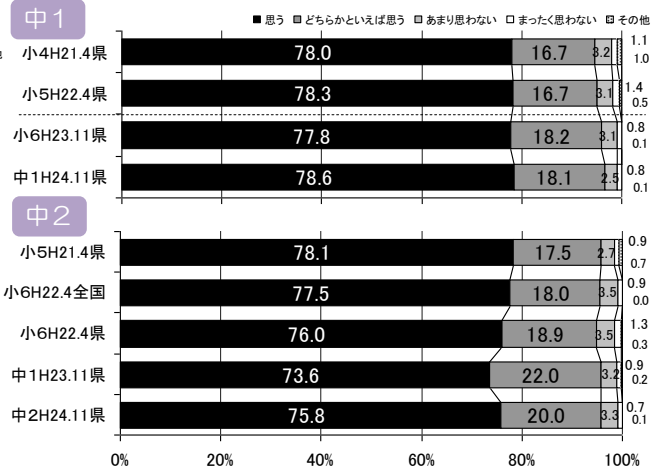
小5



小6



中1

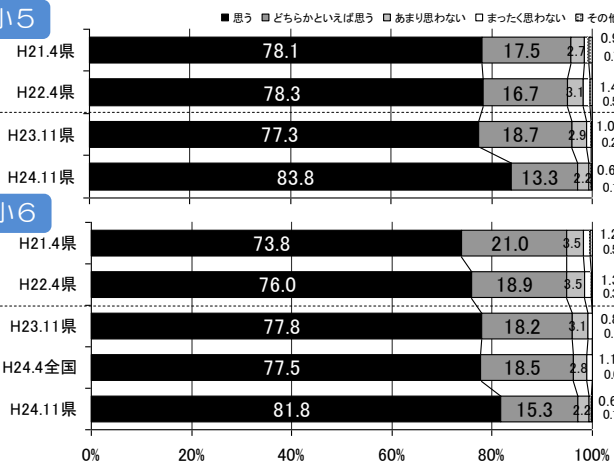


中2

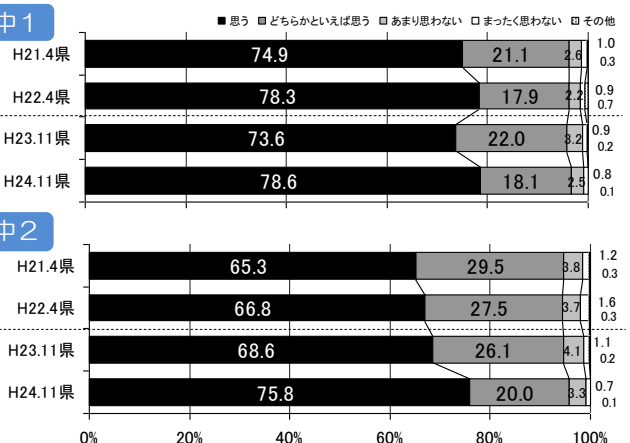


■ 同学年経年比較

小5



中1



小6

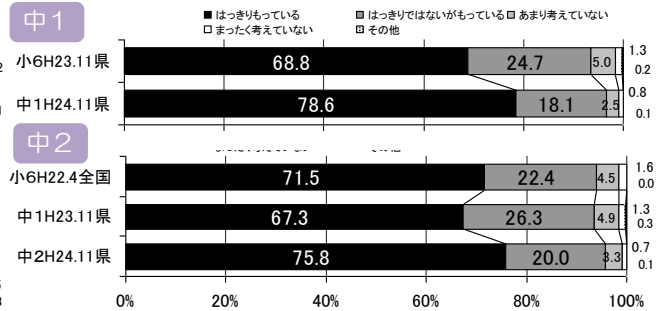
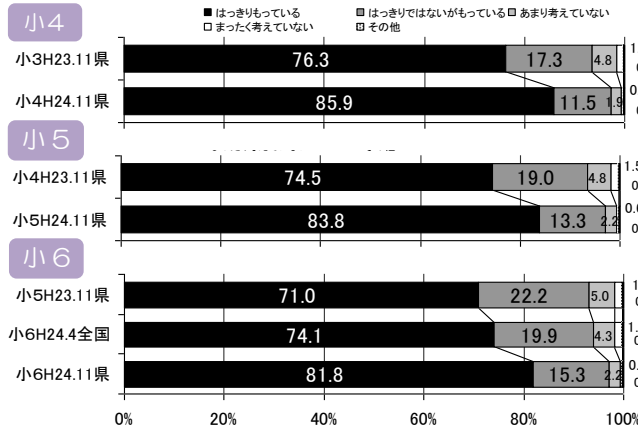


中2

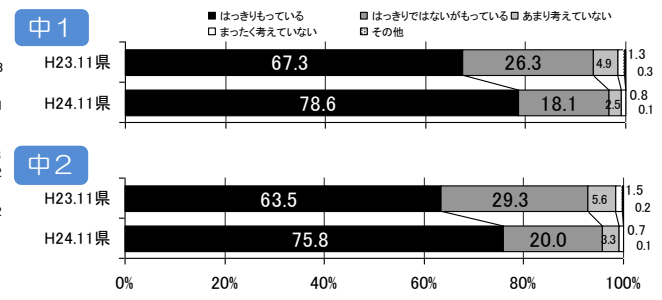
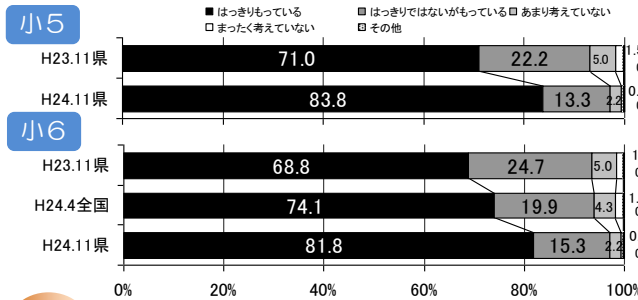


## 15 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

## ■同一児童生徒経年比較



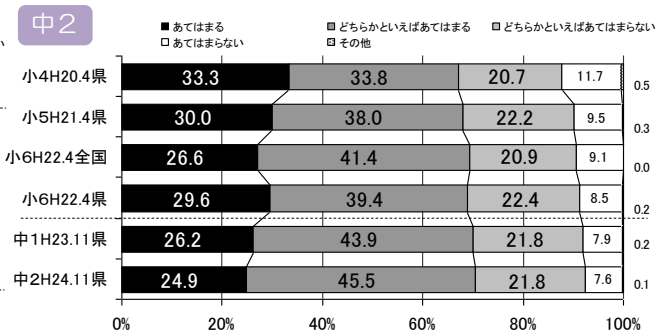
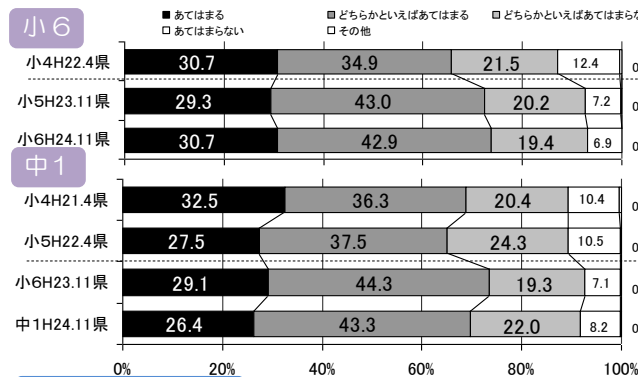
## ■同学年経年比較



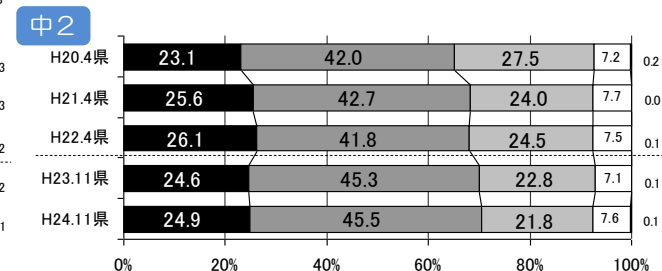
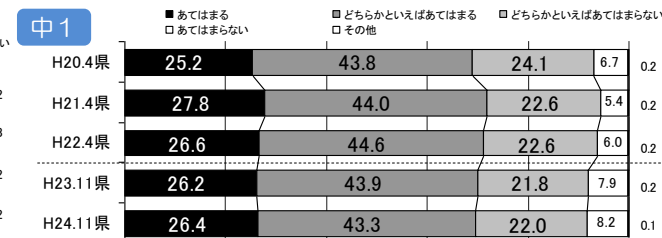
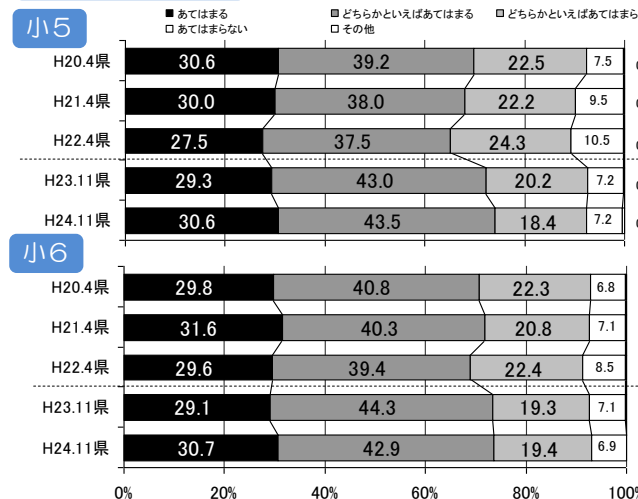
## 4 社会への関心について

## 16 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか

## ■同一児童生徒経年比較

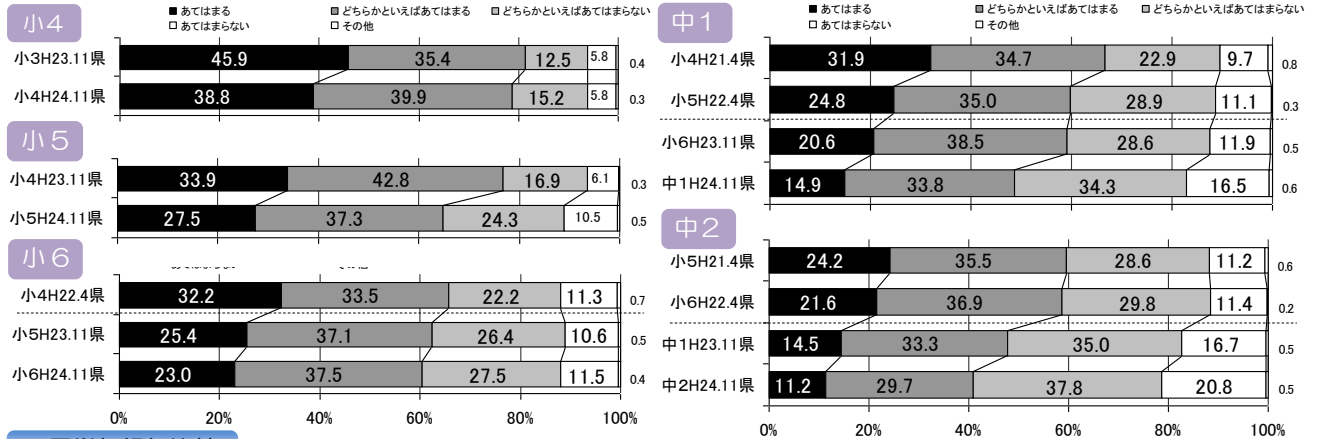


## ■同学年経年比較

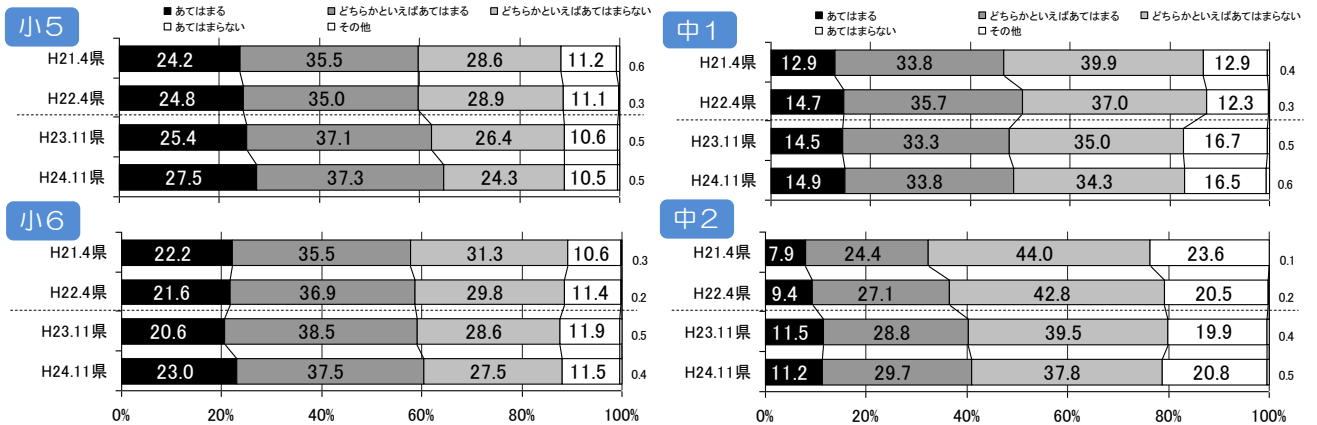


## 17 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか

## ■同一児童生徒経年比較



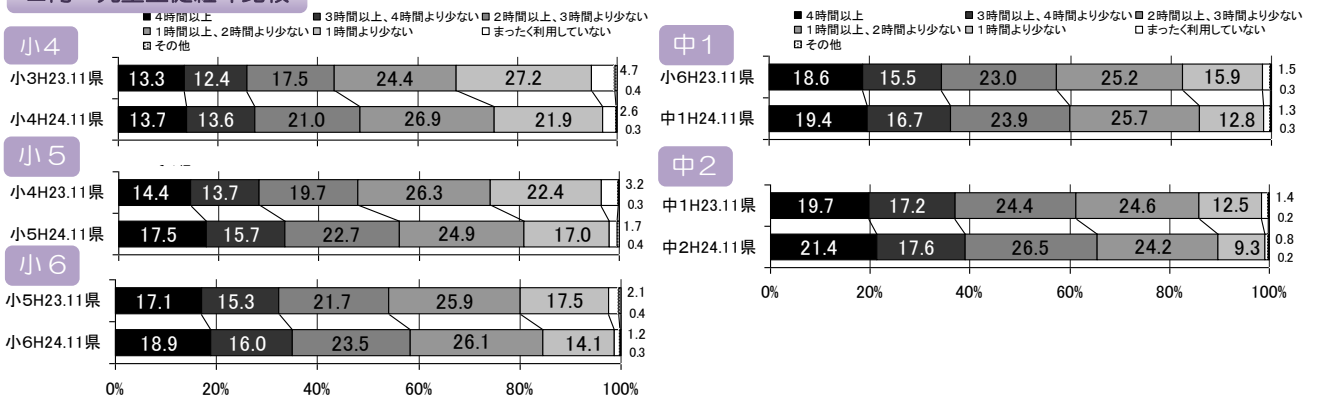
## ■同学年経年比較



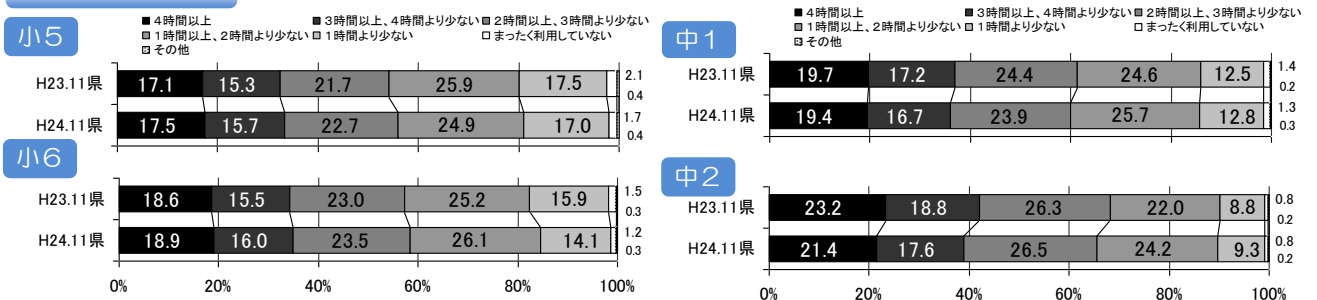
## 5 メディアの利用について

## 18 あなたは1日にどれくらいの時間、メディア（テレビ、ゲーム、パソコン、携帯電話など）を利用していますか

## ■同一児童生徒経年比較

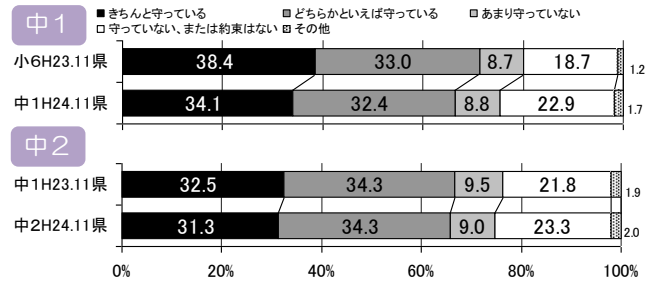
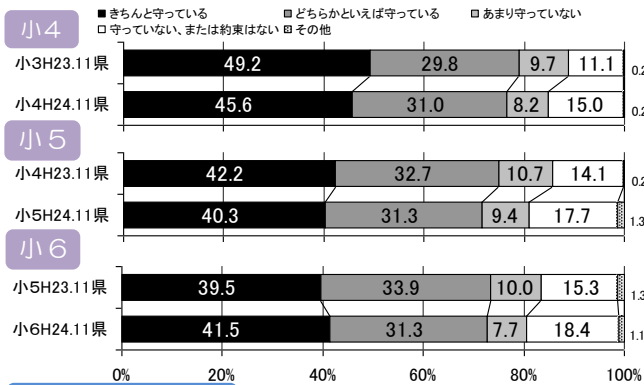


## ■同学年経年比較

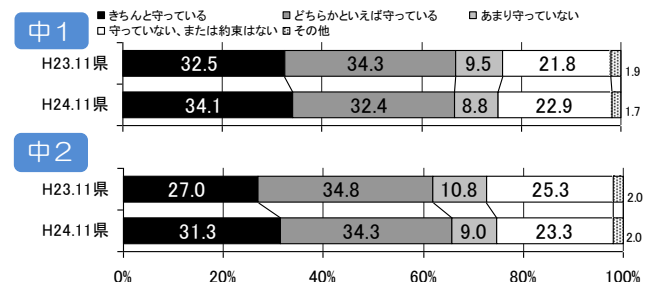
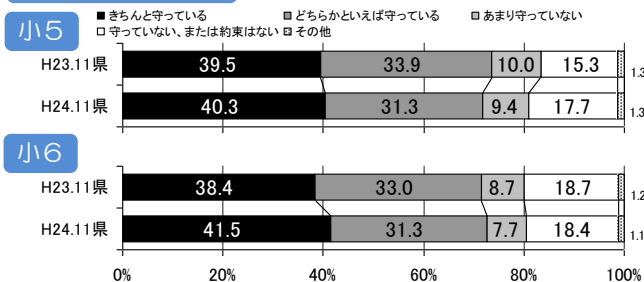


## 19 メディアの利用のしかたについて、家の人と約束したことを守っていますか

## ■同一児童生徒経年比較



## ■同学年経年比較

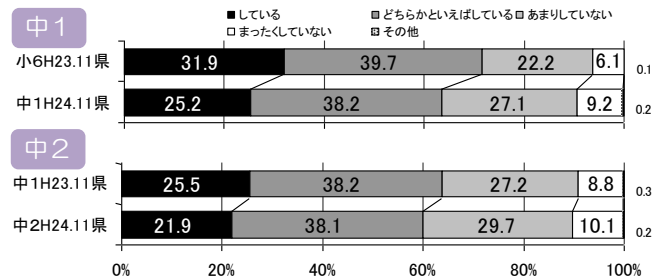
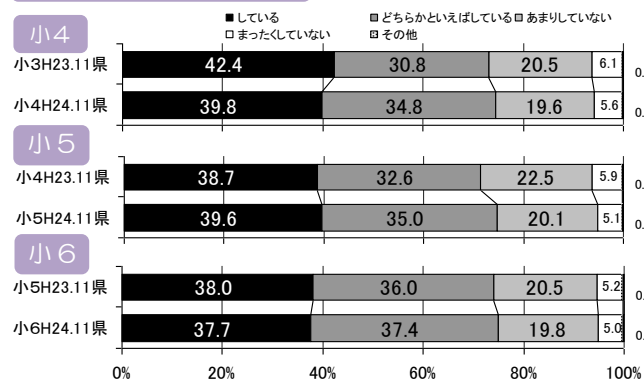


## 6 勉強・授業について

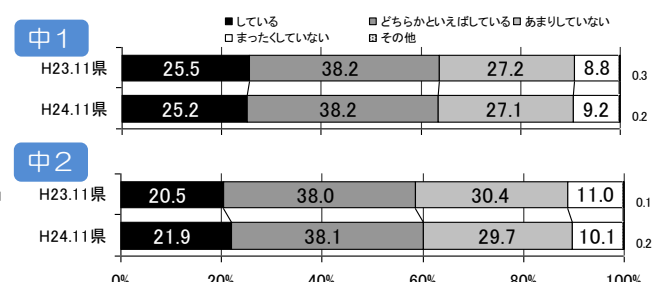
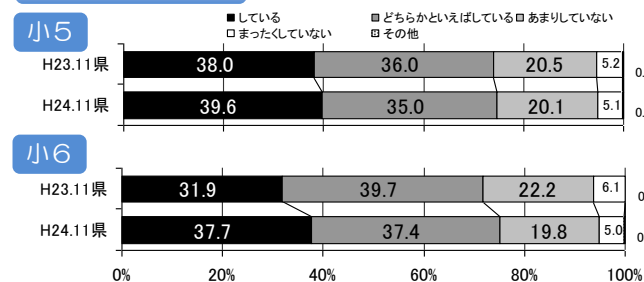
※20～23、25～27は、「2 総論」参照

## 24 分からないところは先生や友だちに質問して解決していますか

## ■同一児童生徒経年比較



## ■同学年経年比較

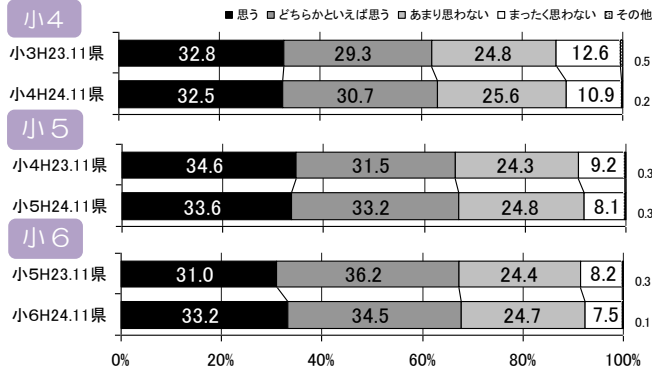


(2) 調査結果経年比較

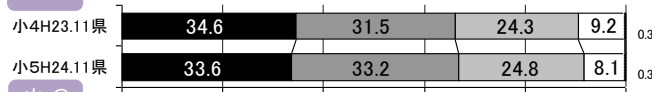
28 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのはむずかしいと思いますか

■同一児童生徒経年比較

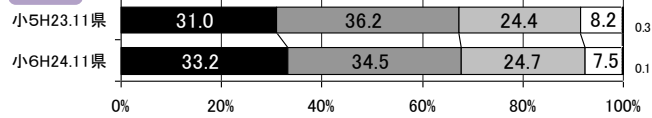
小4



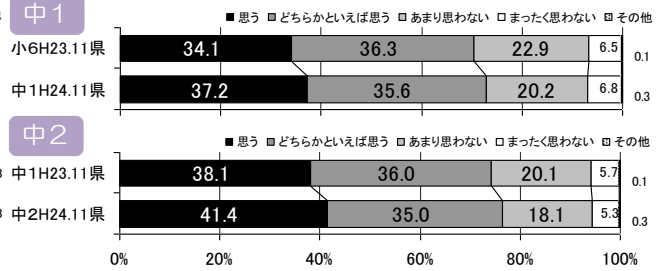
小5



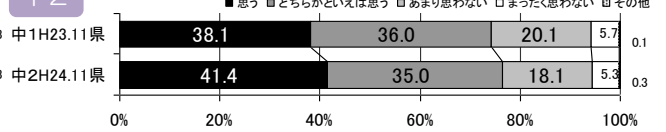
小6



中1

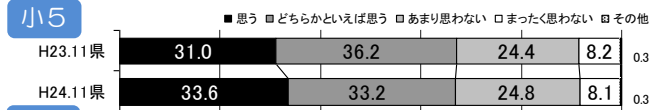


中2

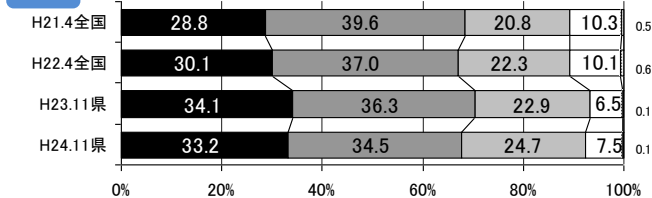


■同学年経年比較

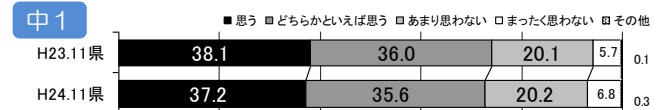
小5



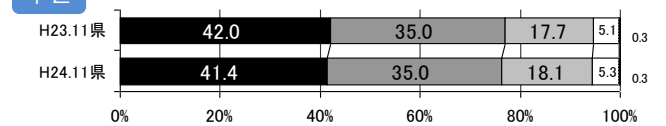
小6



中1



中2



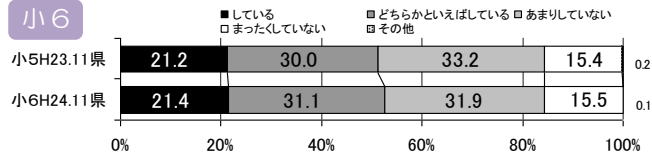
## 7 家庭学習について

※29~32、34~36は、「2 総論」参照

33 家で苦手な教科の勉強をしていますか

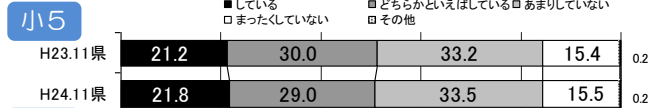
■同一児童生徒経年比較

小6

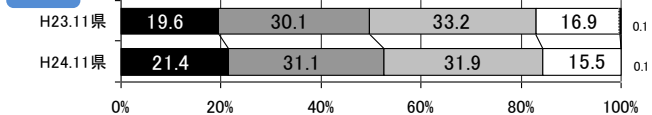


■同学年経年比較

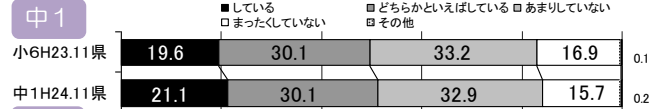
小5



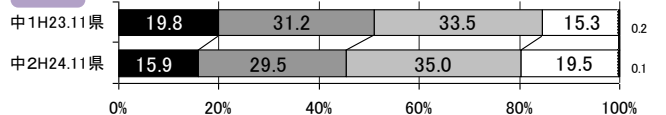
小6



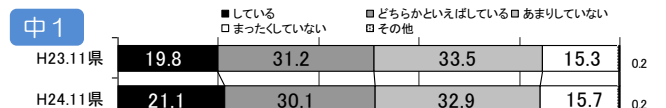
中1



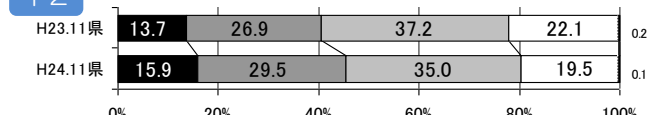
中2



中1



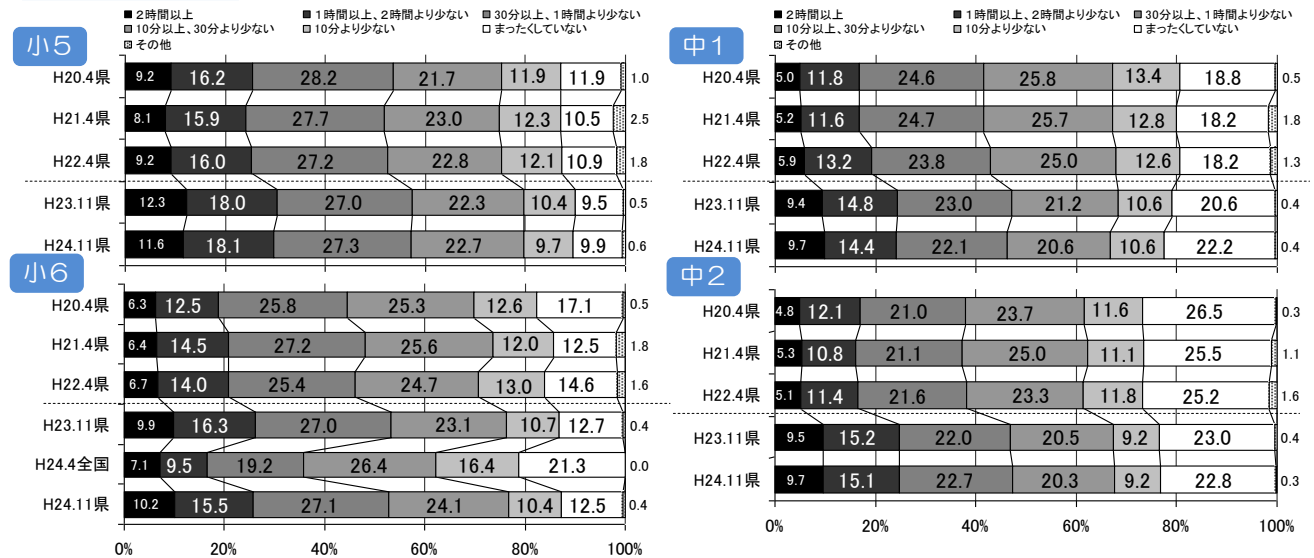
中2





(2) 調査結果経年比較

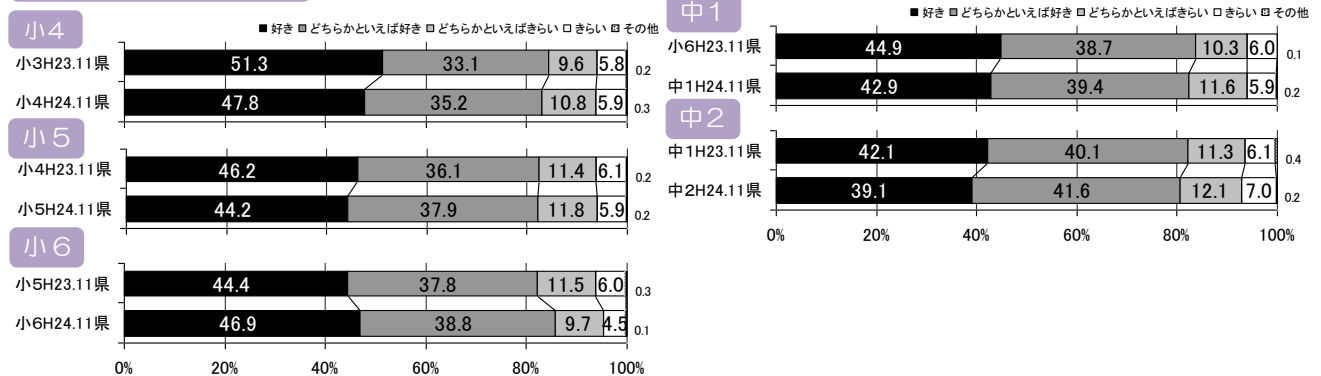
■ 同学年経年比較



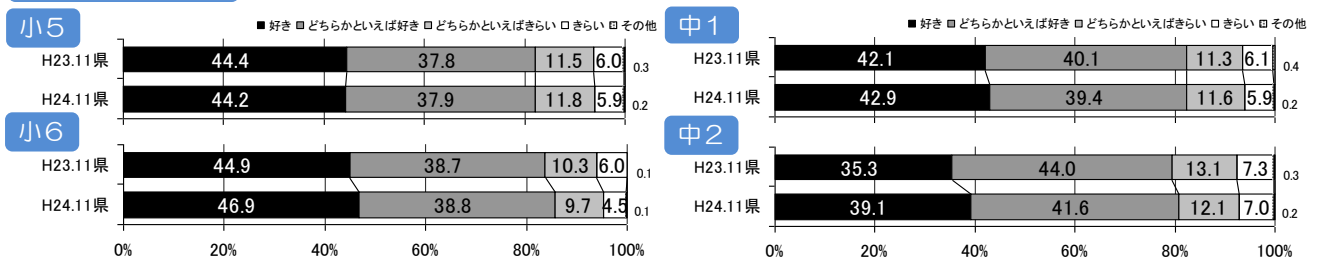
## 9 学校生活について

### 39 学校が好きですか

■ 同一児童生徒経年比較

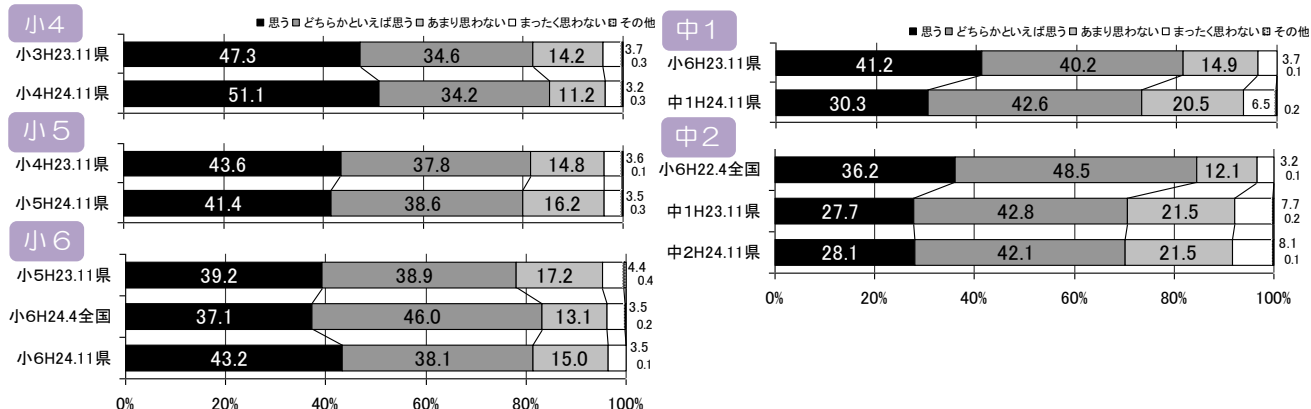


■ 同学年経年比較

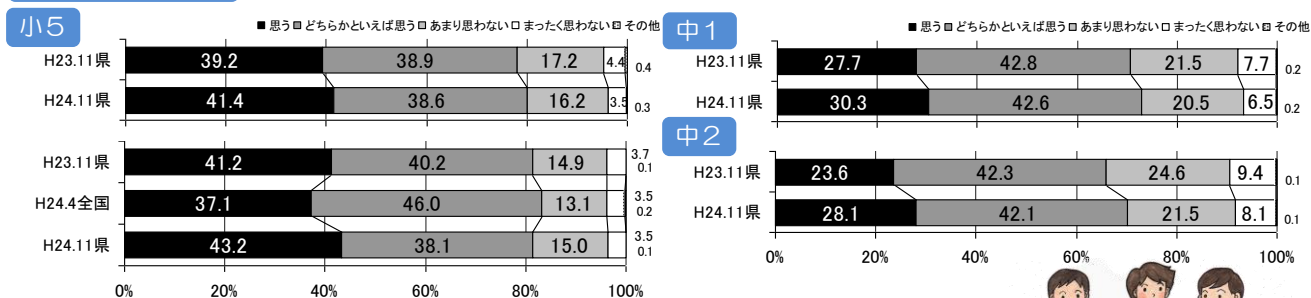


## 40 あなたの学級では、学級の友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか

### ■同一児童生徒経年比較

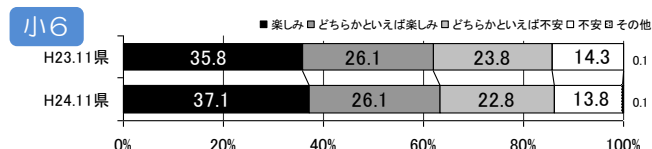


### ■同学年経年比較



## 41 中学校に進学することについて、どのように感じていますか

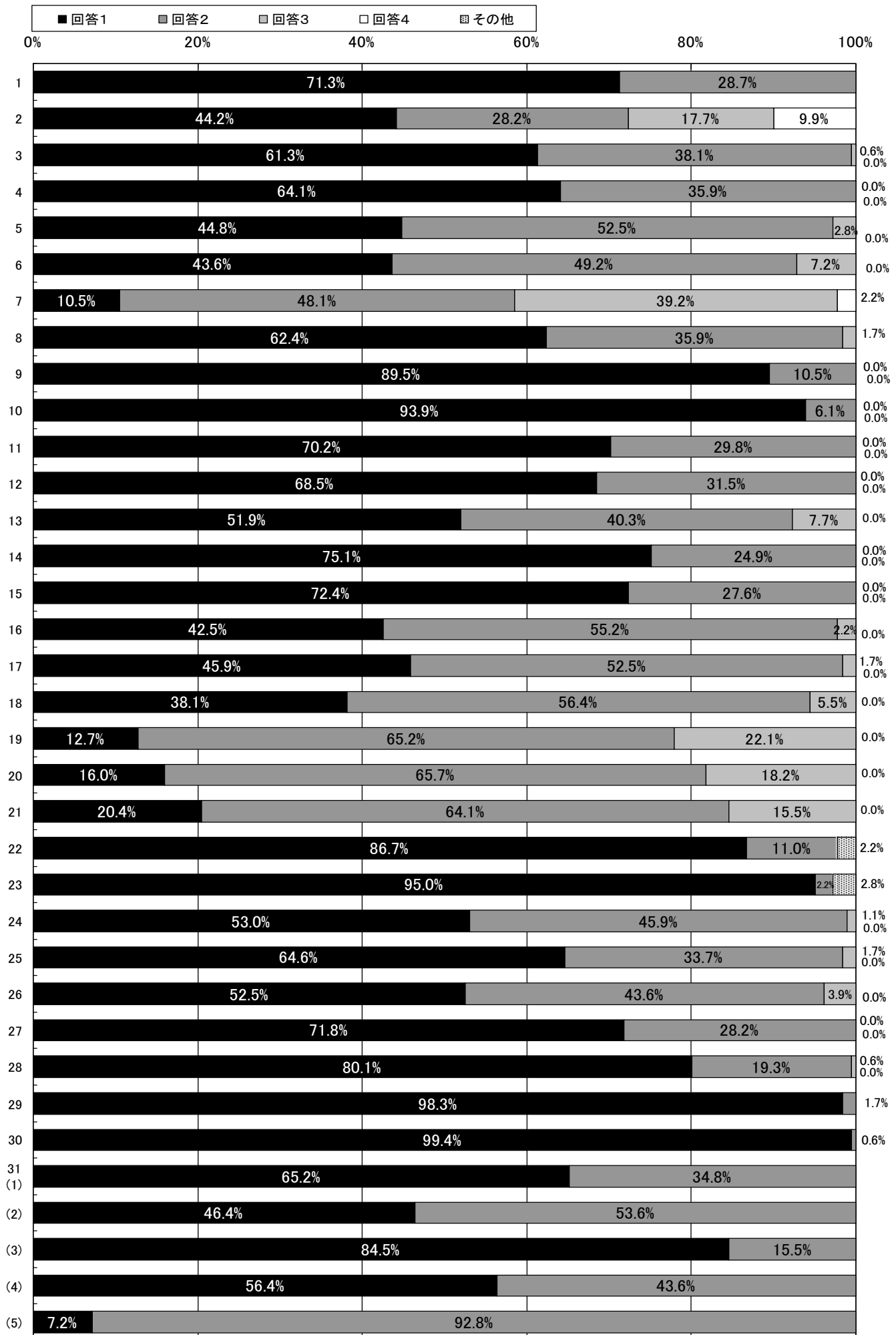
### ■同学年経年比較



## 4 学校質問紙結果

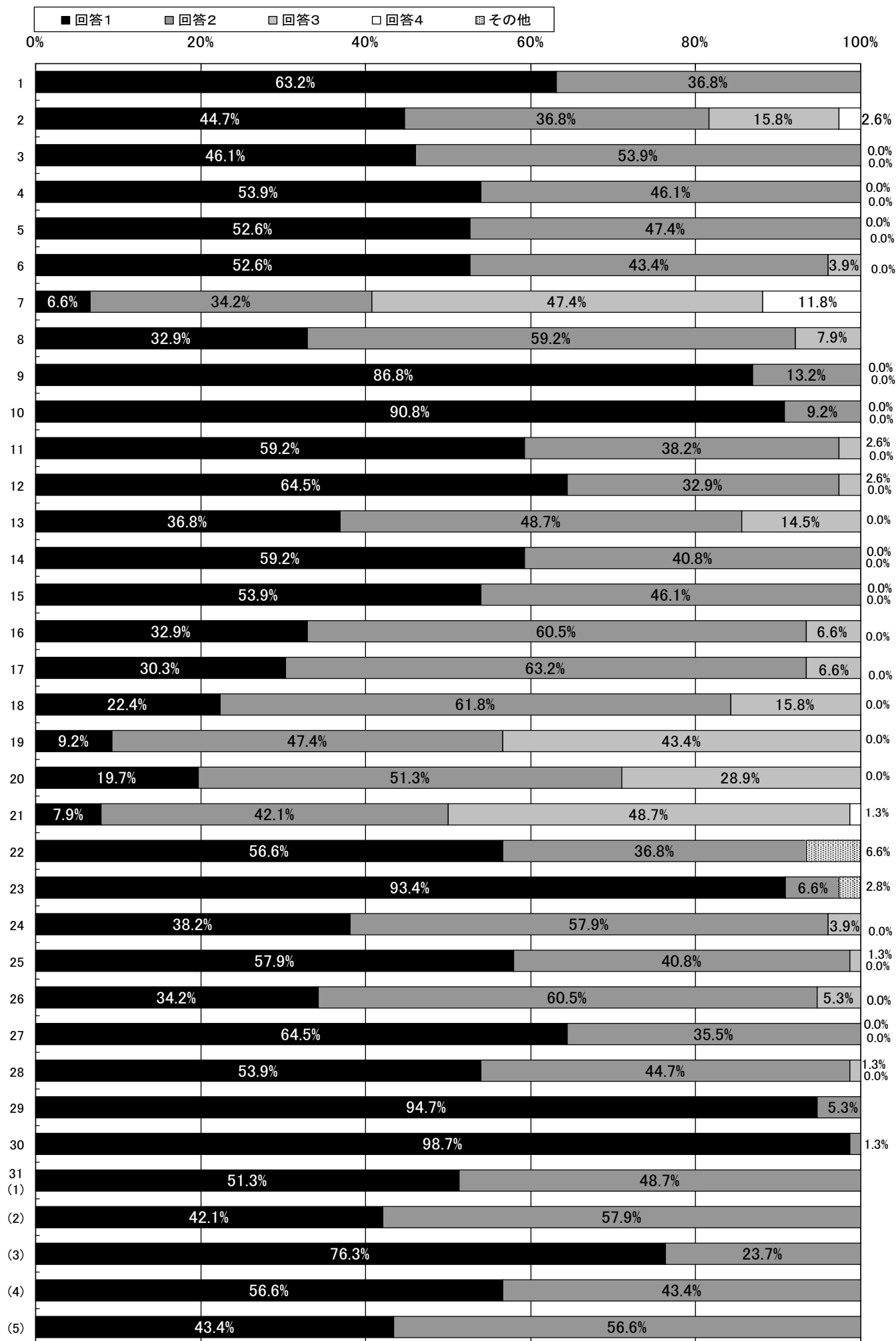
### (1) 小学校調査結果一覧

| 番号 | 分類             | 質問項目                                                    | 回答 1              | 回答 2          | 回答 3        | 回答 4                       | 回答 5 |
|----|----------------|---------------------------------------------------------|-------------------|---------------|-------------|----------------------------|------|
| 1  | 1 家庭・地域との連携    | 地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか                         | はい                | いいえ           |             |                            | その他  |
| 2  |                | ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか                      | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない、またはホームページを開設していない | その他  |
| 3  |                | PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか                      | よく参加してくれる         | 参加してくれる       | あまり参加してくれない | 全く参加してくれない                 | その他  |
| 4  | 2 社会性・道徳性の育成   | 児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか            | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 5  |                | 学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組が推進されるよう指導、支援を行っていますか  | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 6  |                | 児童生徒によるボランティア活動を実施していますか                                | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 7  |                | 保護者や地域の人々の参加や協力を得るなど、地域の人材を生かした道徳教育を実施していますか            | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 8  |                | 保護者などに道徳の授業を公開しましたか(予定を含む)                              | 全学級で行った           | 一部の学級で行った     | していない       |                            | その他  |
| 9  |                | 学校や社会のきまりを守ることの大切さについて指導していますか                          | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 10 |                | 学校や地域であいさつをするよう指導していますか                                 | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 11 | 3 基礎的・基本的内容の定着 | 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか               | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 12 |                | 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか                        | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 13 |                | 昼休みや放課後の時間等を利用した補足的な学習サポートを実施していますか                     | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 14 | 4 指導方法等について    | 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底していますか | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 15 |                | 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか        | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 16 |                | 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか              | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 17 |                | 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか                            | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 18 |                | 児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか              | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 19 |                | 新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか                                | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 20 |                | ICT機器を活用した授業を行っていますか                                    | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 21 |                | 「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか               | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 22 | 5 外国語活動        | 外国語活動の授業において、ネイティブ・スピーカーの活用や外国語に堪能な地域の人々の協力を得ていますか      | はい                | いいえ           |             |                            | その他  |
| 23 | 6 小中連携         | 小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか      | はい                | いいえ           |             |                            | その他  |
| 24 | 7 家庭学習         | 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか                      | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 25 |                | 児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか                       | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 26 |                | 家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしていますか    | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 27 | 8 教育計画等        | 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか           | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 28 | 9 教員研修         | 模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか                         | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 29 | 10 調査結果の活用     | 前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか | はい                | いいえ           |             |                            | その他  |
| 30 | 11 校務の改善       | 児童生徒に向き合う時間の確保のため、校務の改善に取り組んでいますか                       | はい                | いいえ           |             |                            | その他  |
| 31 |                | (1)どのようなことに取り組みましたか                                     | 「学校運営(学校評価)の焦点化」  |               |             |                            |      |
|    |                | (2)どのようなことに取り組みましたか                                     | 「校務分掌の簡素化・均等化」    |               |             |                            |      |
|    |                | (3)どのようなことに取り組みましたか                                     | 「会議の精選・時間短縮」      |               |             |                            |      |
|    |                | (4)どのようなことに取り組みましたか                                     | 「ICTの活用による業務の効率化」 |               |             |                            |      |
|    |                | (5)どのようなことに取り組みましたか                                     | 「その他」             |               |             |                            |      |



(2) 中学校調査結果一覧

| 番号 | 分類             | 質問項目                                                    | 回答 1              | 回答 2          | 回答 3        | 回答 4                       | 回答 5 |
|----|----------------|---------------------------------------------------------|-------------------|---------------|-------------|----------------------------|------|
| 1  | 1 家庭・地域との連携    | 地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか                         | はい                | いいえ           |             |                            | その他  |
| 2  |                | ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか                      | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない、またはホームページを開設していない | その他  |
| 3  |                | PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか                      | よく参加してくれる         | 参加してくれる       | あまり参加してくれない | 全く参加してくれない                 | その他  |
| 4  | 2 社会性・道徳性の育成   | 児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか            | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 5  |                | 学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組が推進されるよう指導、支援を行っていますか  | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 6  |                | 児童生徒によるボランティア活動を実施していますか                                | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 7  |                | 保護者や地域の人々の参加や協力を得るなど、地域の人材を生かした道徳教育を実施していますか            | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 8  |                | 保護者などに道徳の授業を公開しましたか(予定を含む)                              | 全学級で行った           | 一部の学級で行った     | していない       |                            | その他  |
| 9  |                | 学校や社会のきまりを守ることの大切さについて指導していますか                          | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 10 |                | 学校や地域であいさつをするよう指導していますか                                 | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 11 | 3 基礎的・基本的内容の定着 | 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか               | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 12 |                | 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか                        | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 13 |                | 昼休みや放課後の時間等を利用した補足的な学習サポートを実施していますか                     | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 14 | 4 指導方法等について    | 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底していますか | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 15 |                | 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか        | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 16 |                | 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか              | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 17 |                | 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか                            | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 18 |                | 児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか              | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 19 |                | 新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか                                | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 20 |                | ICT機器を活用した授業を行っていますか                                    | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 21 |                | 「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか               | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 22 | 5 外国語活動        | 小学校外国語活動の実施状況を把握(授業参観、情報交換等)して外国語教育における小中連携を実施しましたか     | はい                | いいえ           |             |                            | その他  |
| 23 | 6 小中連携         | 小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか      | はい                | いいえ           |             |                            | その他  |
| 24 | 7 家庭学習         | 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか                      | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 25 |                | 児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか                       | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 26 |                | 家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしていますか    | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 27 | 8 教育計画等        | 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか           | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 28 | 9 教員研修         | 模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか                         | よく行っている           | どちらかといえば行っている | あまり行っていない   | 全く行っていない                   | その他  |
| 29 | 10 調査結果の活用     | 前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか | はい                | いいえ           |             |                            | その他  |
| 30 | 11 校務の改善       | 児童生徒に向き合う時間の確保のため、校務の改善に取り組んでいますか                       | はい                | いいえ           |             |                            | その他  |
| 31 |                | (1)どのようなことに取り組みしましたか                                    | 「学校運営(学校評価)の焦点化」  |               |             |                            |      |
|    |                | (2)どのようなことに取り組みしましたか                                    | 「校務分掌の簡素化・均等化」    |               |             |                            |      |
|    |                | (3)どのようなことに取り組みしましたか                                    | 「会議の精選・時間短縮」      |               |             |                            |      |
|    |                | (4)どのようなことに取り組みしましたか                                    | 「ICTの活用による業務の効率化」 |               |             |                            |      |
|    |                | (5)どのようなことに取り組みしましたか                                    | 「その他」             |               |             |                            |      |



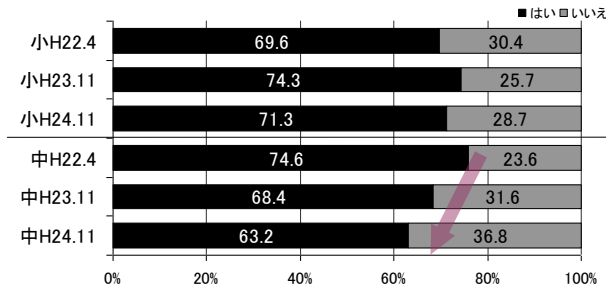
### (3) 調査結果経年比較

○この学校質問紙調査は、平成23年度から取り入れた調査ですが、グラフで示すH22.4やH24.4は、平成22,24年度全国学力・学習状況調査の同一質問項目の結果です。

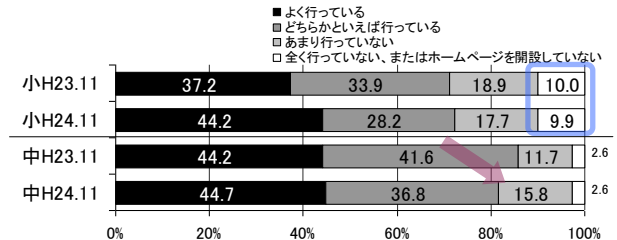
○各質問において、関連する全国学力・学習状況調査結果や県の施策等を〔参考〕として示しています。

## 1 家庭・地域との連携

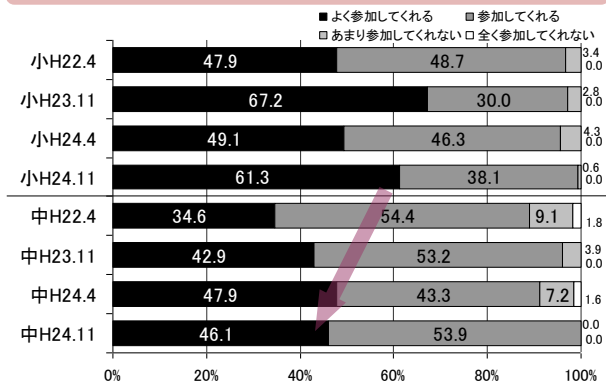
### 1 地域の人々が自由に授業参観などができる公開日を設けていますか



### 2 ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか



### 3 PTAや地域の人々が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか



1 H24の結果では、設けていると回答している中学校の割合が、H22と比較して11.4%減少している。

2 H24の結果では、肯定的に回答している学校の割合は、中学校が小学校より9.1%高い。一方、小学校においては、約1割の学校が全く行っていない、またはホームページを開設していないと回答している。

3 H24の結果では、よく参加してくれると回答している学校の割合は、小学校が中学校より15.2%高い。

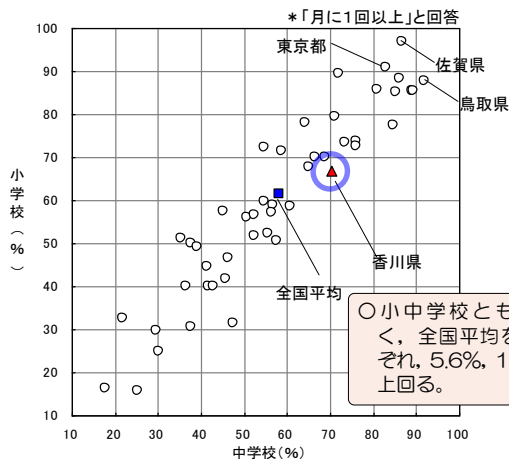


#### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果 (H24)

##### HPによる情報提供

〔学校質問紙〕

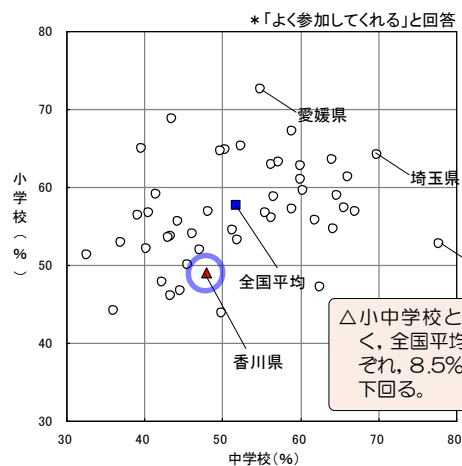
■90/87 学校の教育活動の情報について、前年度にどれくらいの頻度でホームページを更新し、情報提供を行いましたか



##### PTAや地域の人によるボランティア

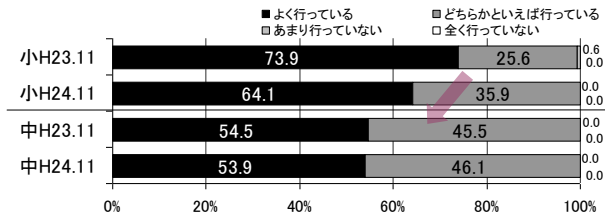
〔学校質問紙〕

■73/71 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、PTAや地域の人々が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれましたか

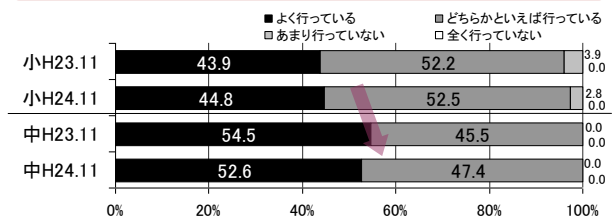


## 2 社会性・道徳性の育成

4 児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか



5 学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組が推進されるよう指導、支援を行っていますか

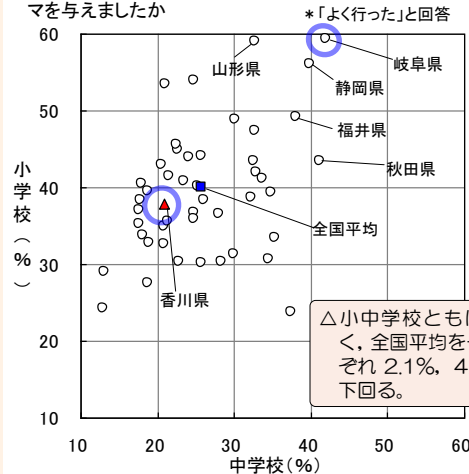


〔参考〕 H24(4月) 全国学力・学習状況調査結果

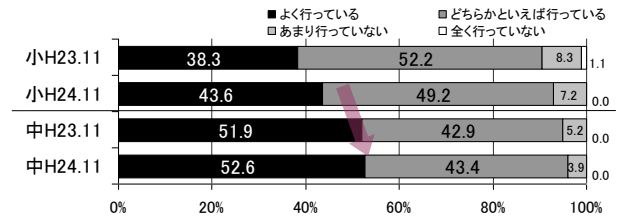
### 学級全員で挑戦する課題

〔学校質問紙〕

■ 27 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか



6 児童生徒によるボランティア活動を実施していますか

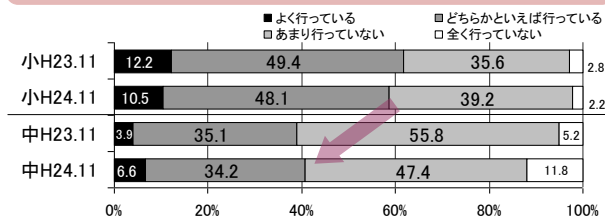


4 H24 の結果では、よく行っていると回答している小学校の割合が、H23 と比較して 9.8% 減少している。

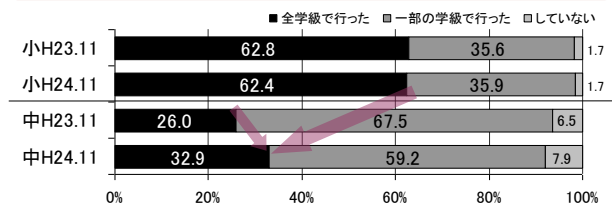
5 H24 の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、中学校が小学校より 7.8% 高い。

6 H24 の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、中学校が小学校より 9.0% 高い。

7 保護者や地域の人々の参加や協力を得るなど、地域の人材を生かした道徳教育を実施していますか



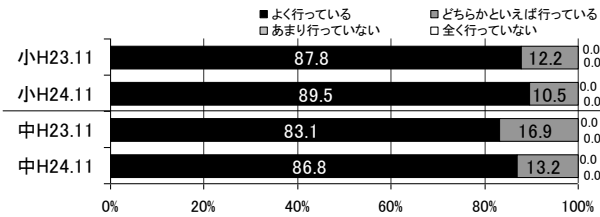
8 保護者などに道徳の授業を公開しましたか（予定を含む）



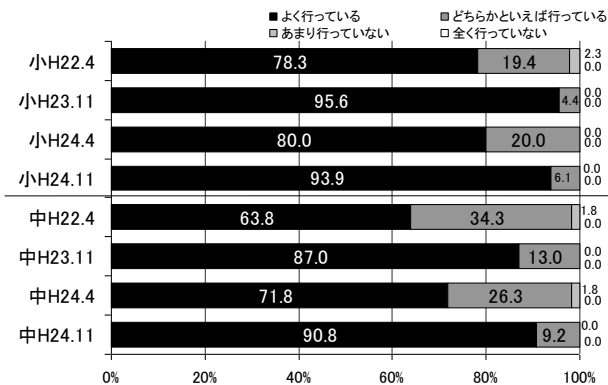
7 H24 の結果では、肯定的に回答している学校の割合は、中学校が小学校より 17.8%低い。

8 H24 の結果では、全学級で行ったと回答している学校の割合は、中学校が小学校より 29.5%低く、小中学校の差が大きい。中学校において、H23 と比較すると 6.9%増加している。

### 9 学校や社会のきまりを守ることの大切さについて指導していますか



### 10 学校や地域であいさつをするよう指導していますか



9 H24の結果では、よく行っていると回答している小中学校の割合は、約9割となっている。

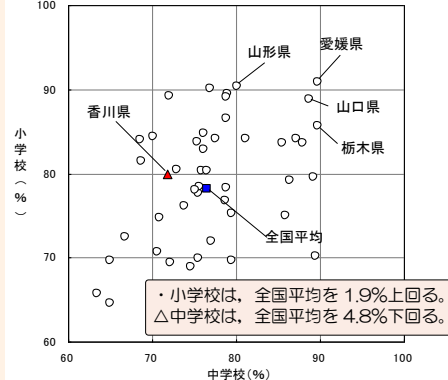
10 H24の結果では、よく行っていると回答している小中学校の割合は、9割を超えており、小中学校ともに、全国調査と比較して高くなっている。

### 【参考】全国学力・学習状況調査結果（H24）

#### あいさつの指導 [学校質問紙]

■31 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、学校や地域であいさつをするよう指導しましたか

\*「よく行った」と回答



### 【参考】「かがわ マナーアップリーダーズ」の取組

**「かがわマナーアップリーダーズ」とは**

「かがわマナーアップリーダーズ」とは、ふるさと香川を大切に思い、より暮らしやすい香川をめざして何か働きかけをしたいと考えている中学生たちのことです。

自分一人ではできないことも、仲間が集まれば大きな力になります。昨年度は、1,727人もの仲間が賛同し、明日の香川のために自分たちが今できることを、いっしょけんめいに考えてくれました。

**明日の香川のために！何かをはじめたい！**

1部活動に力を入れている学校

**立ち上がった1,727人のリーダー！**

県下の各中学校で任命式が行われたよ！

**県下全域に拡大中！**

| 地区   | 学校  | 人数  |
|------|-----|-----|
| 香川地区 | 香川中 | 18人 |
|      | 大正中 | 19人 |
|      | 香川中 | 18人 |
|      | 大正中 | 19人 |
| 高松地区 | 高松中 | 18人 |
|      | 高松中 | 18人 |
|      | 高松中 | 18人 |
|      | 高松中 | 18人 |
| 丸亀地区 | 丸亀中 | 18人 |
|      | 丸亀中 | 18人 |
|      | 丸亀中 | 18人 |
|      | 丸亀中 | 18人 |
| 坂井地区 | 坂井中 | 18人 |
|      | 坂井中 | 18人 |
|      | 坂井中 | 18人 |
|      | 坂井中 | 18人 |
| 三木地区 | 三木中 | 18人 |
|      | 三木中 | 18人 |
|      | 三木中 | 18人 |
|      | 三木中 | 18人 |
| 三好地区 | 三好中 | 18人 |
|      | 三好中 | 18人 |
|      | 三好中 | 18人 |
|      | 三好中 | 18人 |
| 三好地区 | 三好中 | 18人 |
|      | 三好中 | 18人 |
|      | 三好中 | 18人 |
|      | 三好中 | 18人 |
| 三好地区 | 三好中 | 18人 |
|      | 三好中 | 18人 |
|      | 三好中 | 18人 |
|      | 三好中 | 18人 |

**香東中 リーダーズ 奮闘記！**

2012 かがわ マナーアップリーダーズ 中学生募集

**岩黒小中 リーダーズ 奮闘記！**

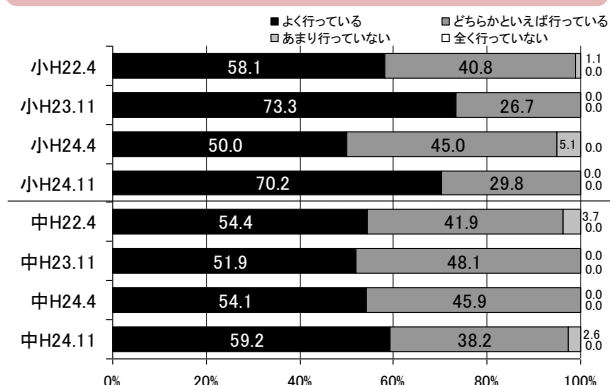
2012 かがわ マナーアップリーダーズ 中学生募集

香東中では、今年度は、香東中が中心となって、地域の大人たちと協力して、香東中をきれいにしようという活動を行っています。香東中は、香東中が中心となって、地域の大人たちと協力して、香東中をきれいにしようという活動を行っています。

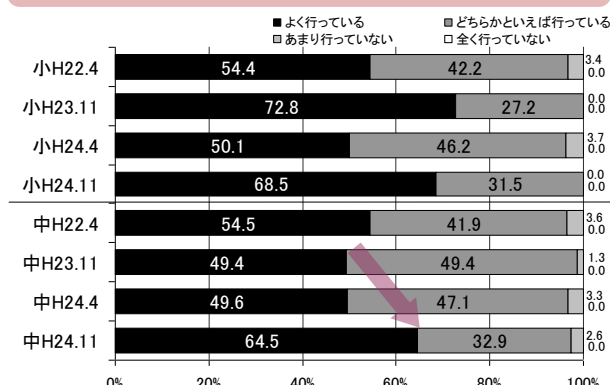
岩黒小中では、今年度は、岩黒小中が中心となって、地域の大人たちと協力して、岩黒小中をきれいにしようという活動を行っています。岩黒小中は、岩黒小中が中心となって、地域の大人たちと協力して、岩黒小中をきれいにしようという活動を行っています。

### 3 基礎的・基本的内容の定着

#### 11 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか



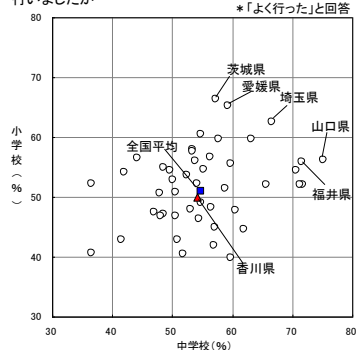
#### 12 算数（数学）の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか



#### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

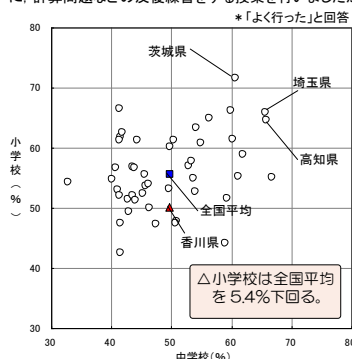
##### 漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業

■52 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか



##### 計算問題など反復練習をする授業

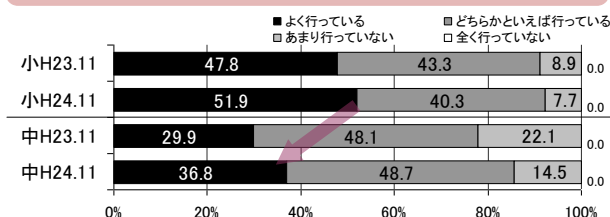
■56 調査対象児童生徒に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか



11 H24 の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、中学校が小学校より 11.0%低い。

12 H24 の結果では、中学校において、H23 と比較して、15.1%も増加しているが、小学校は、やや減少している。

#### 13 昼休みや放課後の時間等を利用した補充的な学習サポートを実施していますか

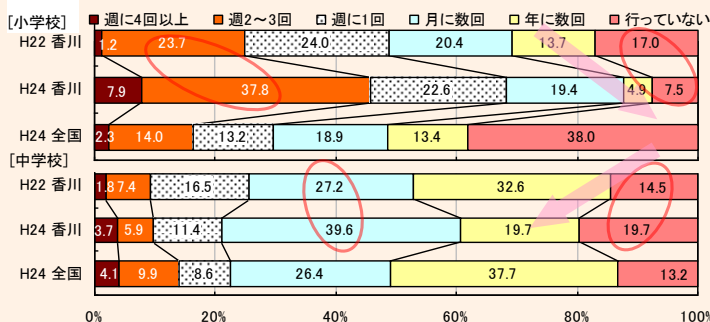
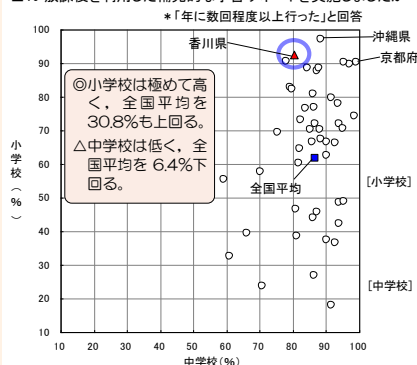


13 H24 の結果では、小中学校ともに H23 と比較して増加傾向にある。よく行っていると回答している学校の割合は、中学校が小学校より 15.1%低い。

#### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

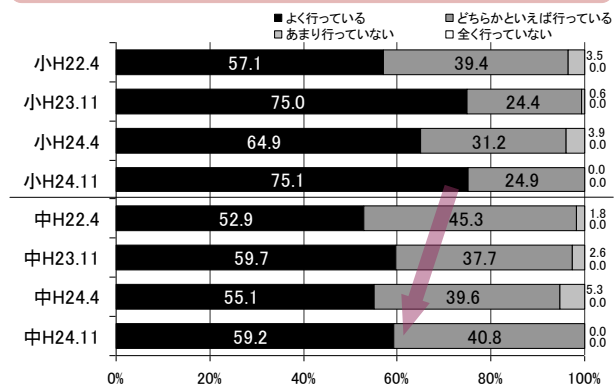
##### 放課後を利用した補充的な学習

■19 放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか



# 4 指導方法等について

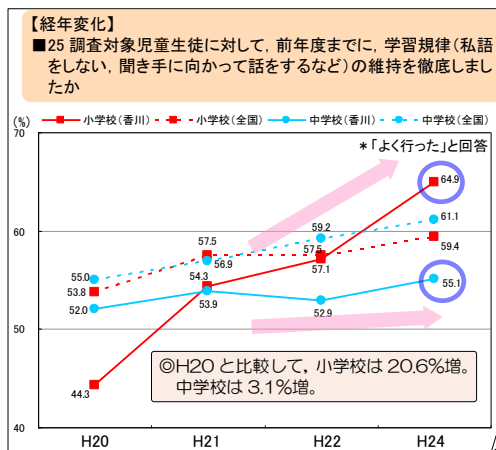
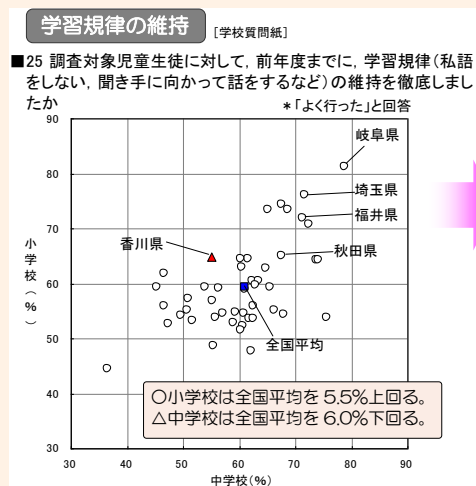
## 14 学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話すなど）の維持を徹底していますか



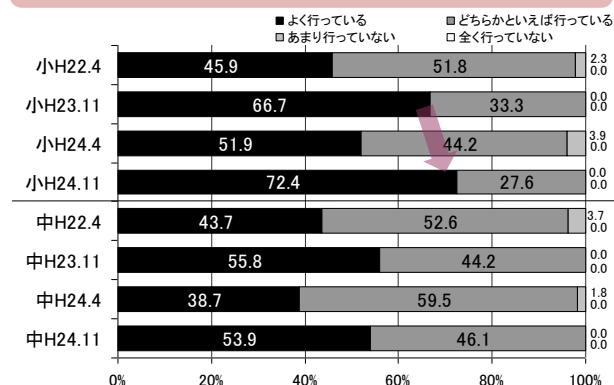
14 H24 の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、中学校が小学校より 15.9%低い。小中学校ともに、全国調査と比較して高くなっている。

15 H24 の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、H23 と比較して、小学校が 5.7%増加しているが、中学校では大きな変化は見られない。小中学校ともに、全国調査と比較して高くなっている。

### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

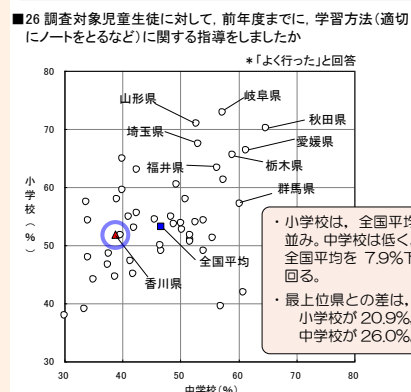


## 15 学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか

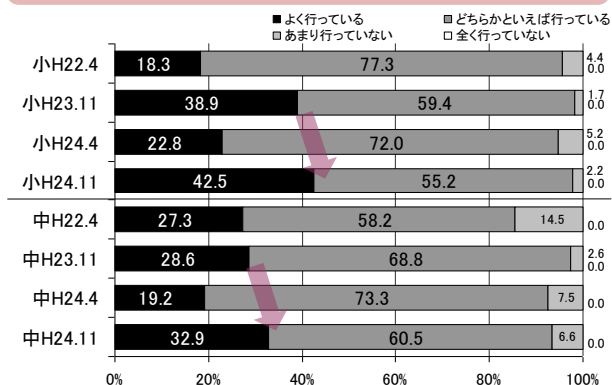


### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

#### 学習方法（適切にノートをとるなど）に関する指導



### 16 児童生徒の様々な考えを引き出し、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか



16 H24の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、H23と比較して、小中学校ともに、やや増加している。小中学校ともに、全国調査と比較して高くなっている。

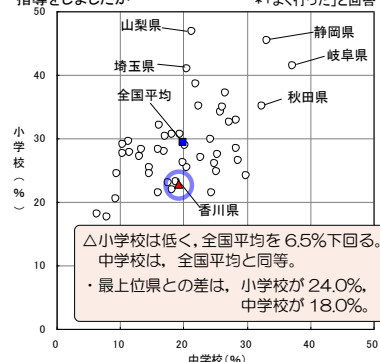
#### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

##### 思考を深める発問・指導

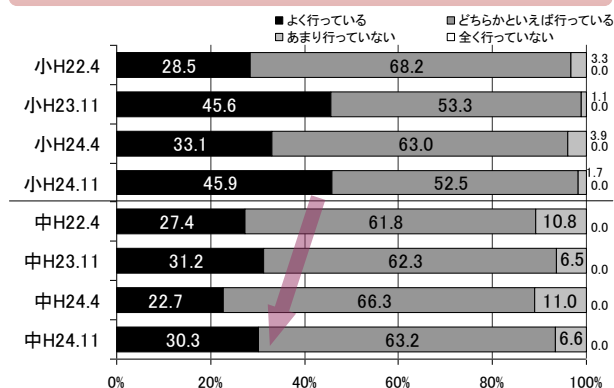
〔学校質問紙〕

■22 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の様々な考えを引き出し、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

\*「よく行った」と回答



### 17 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか



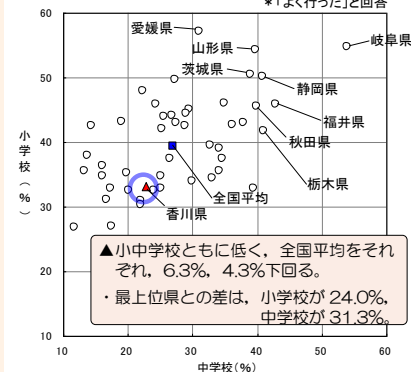
17 H24の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、H23と比較して、小中学校ともに、大きな変化は見られない。小中学校ともに、全国調査と比較して高くなっている。  
よく行っていると回答している学校の割合は、中学校が小学校より15.6%低い。

#### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

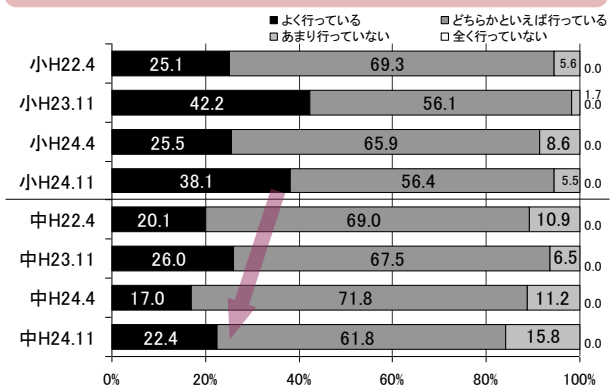
##### 発言や活動の時間を確保した授業

■23 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか

\*「よく行った」と回答



### 18 児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか



18 H24の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、H23と比較して、小中学校ともに、大きな変化は見られない。小中学校ともに、全国調査と比較して高くなっている。  
よく行っていると回答している学校の割合は、中学校が小学校より15.7%低い。

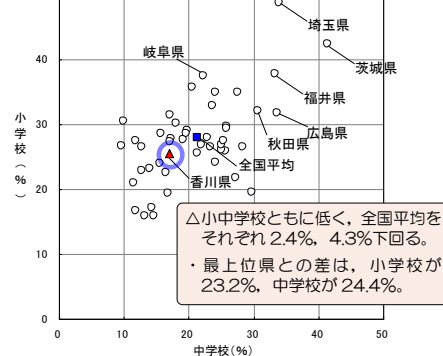
#### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

##### 分かりやすく文章に書かせる指導

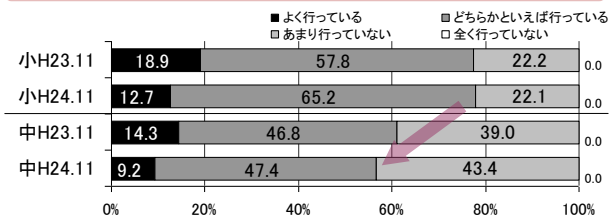
〔学校質問紙〕

■30 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

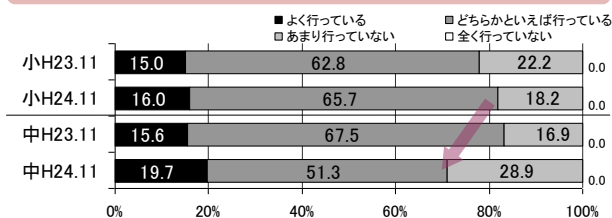
\*「よく行った」と回答



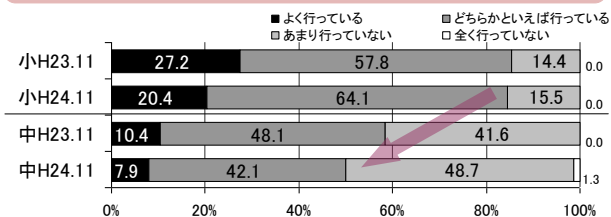
## 19 新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか



## 20 ICT機器を活用した授業を行っていますか



## 21 「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか



19 H24の結果では、肯定的な回答をしている学校の割合は、中学校が小学校より21.3%低い。

20 H24の結果では、肯定的な回答をしている学校の割合は、中学校が小学校より10.7%低く、H23と比較して、12.1%減少している。

21 H24の結果では、肯定的な回答をしている学校の割合は、中学校が小学校より34.5%低く、H23と比較して、8.5%減少している。

## 〔参考〕「ふるさと教材」（香川県教育センター）

## ○ふるさと教材開発事業（平成23、24年度）

身近な郷土の自然や文化・歴史や先人の営みを学ぶことを通じて、ふるさと香川に対して理解を深め、尊重し、さらに継承発展させようとする意欲や態度を養い、将来への夢や目標を持って個性や創造性を発揮できる基礎を培う教材を配布する。

## &lt;H23 作成&gt;

## ・小学校第3・4学年 社会科

「水はどこから」

「交通の広がり」

## プレゼンテーションスライド例

なぜこれほど大きなきぼの橋がつくれたのだろうか？



板書用教材例

## &lt;H24 作成&gt; \* H25.3 配布

## ・小学校第5学年 社会科

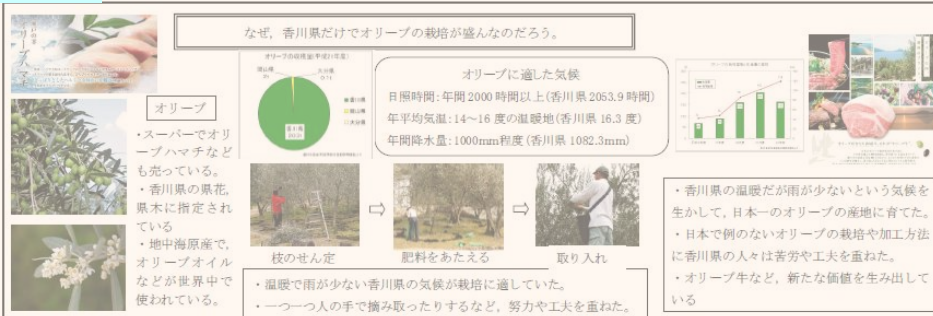
「国土の気候の特色と人々の暮らし」「水産業のさかんな静岡県」「自然災害を防ぐ」

※各小学校へ紙媒体及び電子媒体で配布

（板書用教材、単元構成、指導案、板書例、ワークシート、プレゼンテーションスライド等）



## 板書例



（準備物）

## ふるさと教材



## 〔参考資料〕

- ・香川県のホームページ
- ・かがわの県産品一覧
- ・LOVEさぬきさん
- ・LOVEさぬきさんレポート
- ・「オリーブ」「オリーブハマチ」
- ・教科書P22
- ・瀬戸内海の気候：高松
- ・香川県農業試験場小豆分場ホームページ

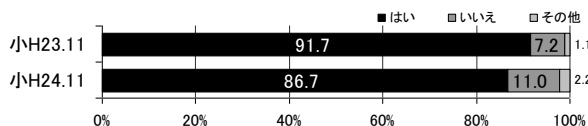
## 板書用教材例

川西自主防災会の取り組み④  
城辰小学校の子どもたちとともにプレゼンテーション  
スライド例

## 5 外国語活動について

### 小学校

22 外国語活動の授業において、ネイティブ・スピーカーの活用や外国語に堪能な地域の人々の協力を得ていますか



22 H24 の結果では、はいと回答している学校の割合は、小中学校ともに約9割と高くなっている。

23 H24 の結果では、はいと回答している学校の割合は、小中学校ともに約6割で、課題がうかがえる。

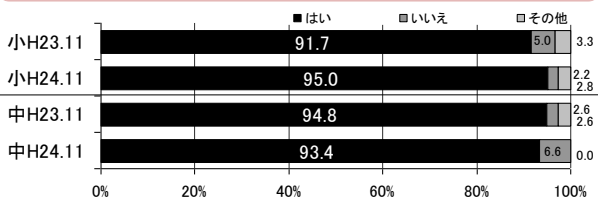
### 中学校

22 小学校外国語活動の実施状況を把握（授業参観、情報交換等）して外国語教育における小中連携を実施しましたか



## 6 小中連携について

23 小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか



23 H24 の結果では、小中学校ともにほとんどの学校が、小学校6年の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行っていると回答している。

一方、児童生徒質問紙「41 中学校に進学することについて、どのように感じていますか」に対して肯定的な回答をしている児童の割合は、約6割である（P85 参照）。

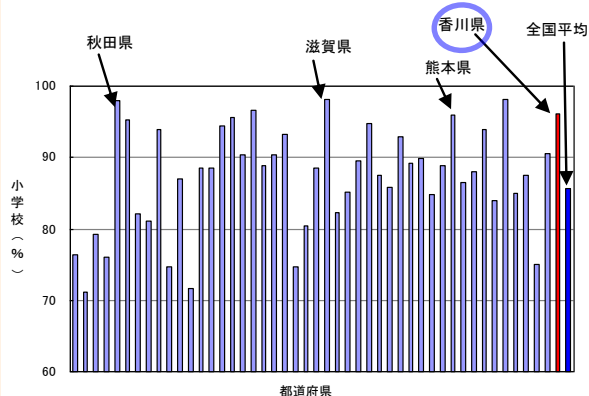
### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

#### 保育所や幼稚園との連携

〔学校質問紙〕

■ 67 保育所（保育園）や幼稚園との連携（保育所や幼稚園との合同研修、保育所や幼稚園の幼児と児童の交流など）を行っていますか

\*「はい」と回答

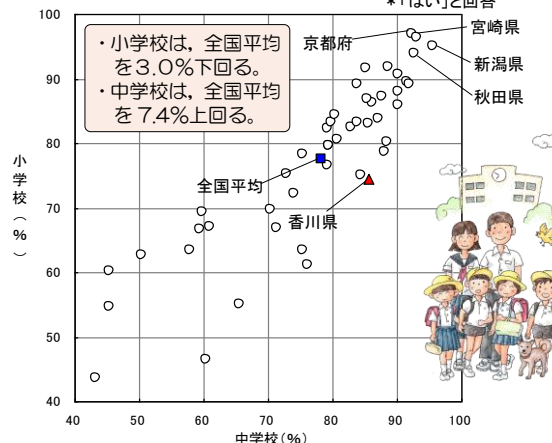


#### 小中学校の連携

〔学校質問紙〕

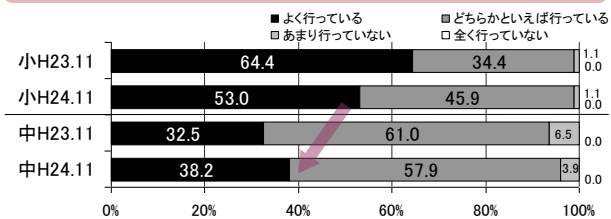
■ 68/66 教科の指導内容や指導方法について近隣の小（中）学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか

\*「はい」と回答



# 7 家庭学習

## 24 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか



24 H24 の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、中学校が小学校より 14.8%低くなっているが、それぞれ、H23 と比較して、小学校は 11.4%減少、中学校は 5.7%増加している。

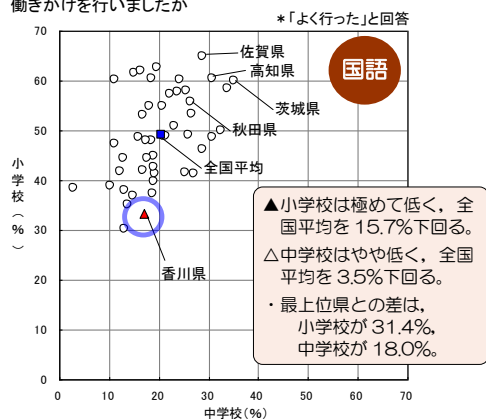
〔参考〕にある全国調査の結果を見ると、特に小学校は、全国的に見て極めて下位にある。

### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

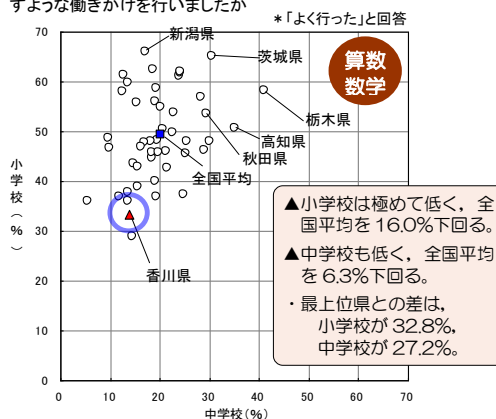
#### 保護者への家庭学習を促す働きかけ

〔学校質問紙〕

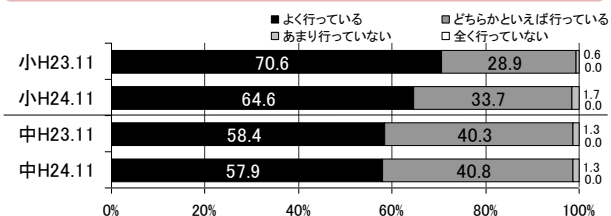
■77/74 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、保護者に対して児童(生徒)の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか



■81/78 調査対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、保護者に対して児童(生徒)の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか



## 25 児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか



25 H24 の結果では、よく行っていると回答している小中学校の割合は、H23 と比較して、小学校は 6.0%減少し、中学校は大きな変化は見られない。

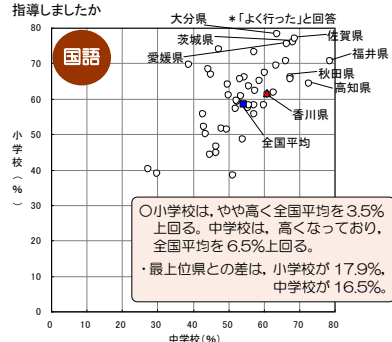
〔参考〕にある全国調査の結果を見ると、中学校は全国的に見て高くなっている。

### 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

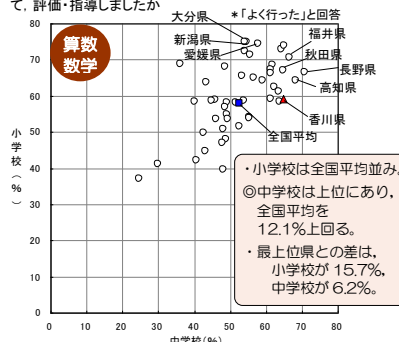
#### 家庭学習の課題についての評価・指導

〔学校質問紙〕

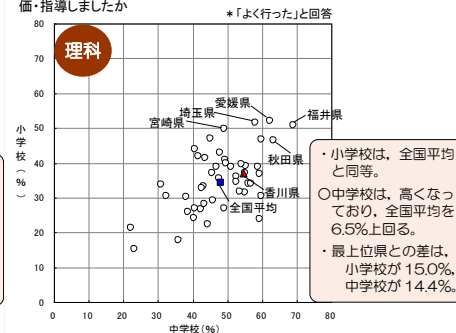
■79/76 調査対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(長期休業の課題除く)について、評価・指導しましたか



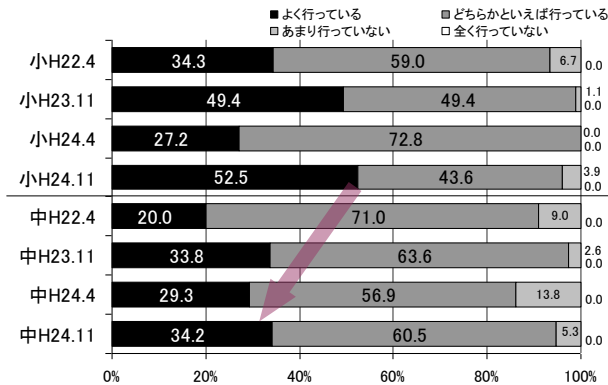
■83/80 調査対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(長期休業の課題除く)について、評価・指導しましたか



■89/86 調査対象児童生徒に対する理科の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(長期休業の課題除く)について、評価・指導しましたか



## 26 家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか

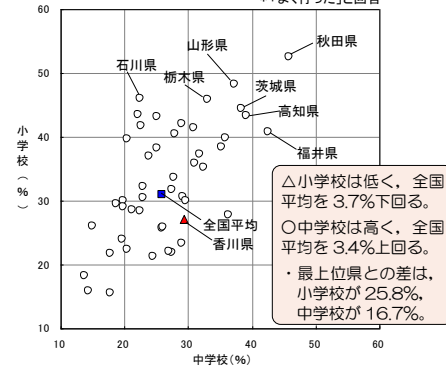


26 H24 の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、中学校が小学校より 18.3%低くなっているが、全国調査と比較して高くなっている。

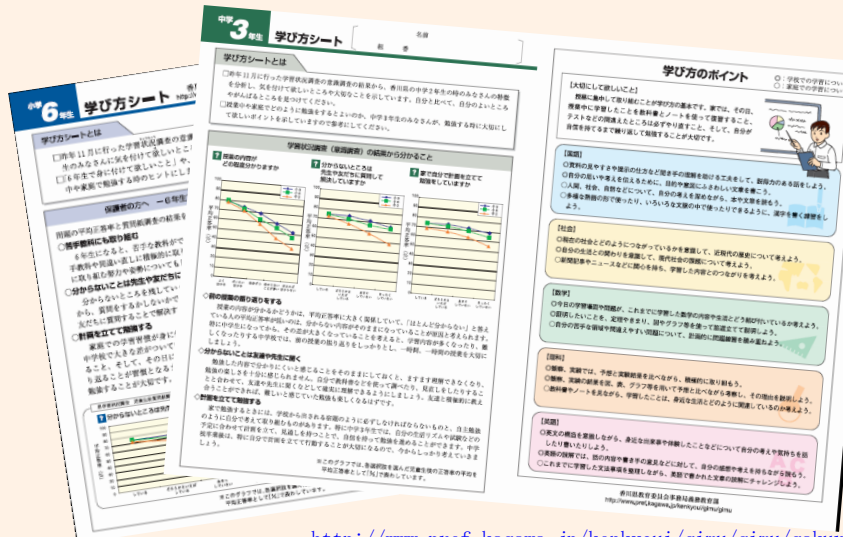
## 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

### 家庭での学習方法等に関する指導 [学校質問紙]

■85/82 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか  
(国、算・数共通 ※H22～) \*「よく行った」と回答



## 〔参考〕子どもの学びサポート「学び方シート」(義務教育課 H23～)

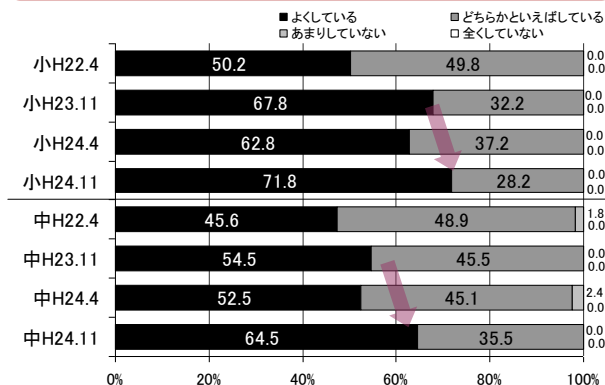


○県学習状況調査と児童生徒質問紙調査の結果を踏まえ、小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒が身に付けて欲しいことと、主体的な学習に向かうための学び方のポイントを示しました。

<http://www.pref.kagawa.jp/kenkyoui/gimu/gimu/gakuryokukojo/manabikata/manabikata.htm>

## 8 教育計画等

## 27 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか

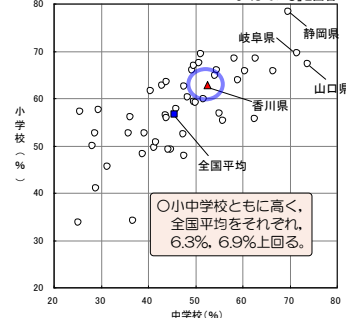


27 H24 の結果では、よく行っていると回答している学校の割合は、H23 と比較して、小学校が 4.0%、中学校は 10%増加している。

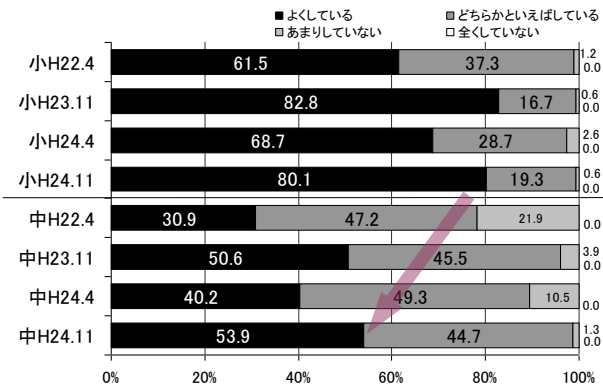
## 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

### 学校教育目標等についての共通理解

■98/95 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか \*「よくしている」と回答



## 28 模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか



28 H24 の結果では、よくしていると回答している学校の割合は、中学校が小学校より 26.2%低くなっているが、全国調査と比較すると小中学校ともに高くなっている。

〔参考〕にある全国調査の結果を見ると、小学校は全国的に見て極めて高くなっている。

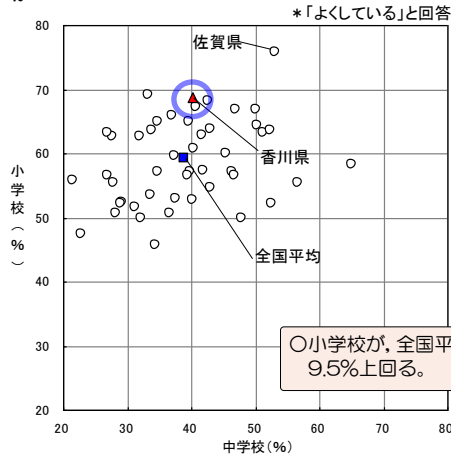


〔参考〕全国学力・学習状況調査結果 (H24)

## 実践的な研修

〔学校質問紙〕

■ 93/90 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



〔参考〕校内研修資料等【香川県教育センター】



## 達人が伝授！すぐに役立つ学級経営のコツ

香川県教育センター

TOP (報告書ダウンロード)  
学級経営テンプレート  
・小学校  
・中学校  
・高等学校

イラスト集  
利用規約  
・教科等  
・学校生活(児童生徒)  
・学校生活(教職員)  
・家庭生活  
・部  
・先生  
・中学生  
・小物カット  
・モノクロ

学級掲示  
・目標を意識した掲示  
・季節を意識した掲示  
春 編  
夏 編  
秋 編

「達人が伝授！すぐに役立つ学級経営のコツ」(1年次) 報告書

一括ダウンロード(PDF:8.2MB)

I 数字でみるさぬきの若手教員の実態(PDF:1.5MB)

II 今、なぜ若手教員の学級経営なのか(PDF:659KB)

III さぬきの若手教員の悩みに答える  
小学校編(PDF:2.1MB)  
中学校編(PDF:1.1MB)  
高等学校編(PDF:3.1MB)

左メニューからは、本報告書に掲載しているテンプレートやイラストがダウンロードできます。

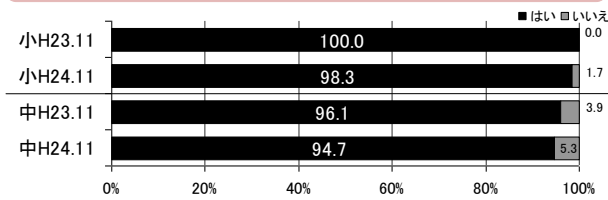
◆平成 24 年度調査研究◆ 香川県教育センターHP より -  
○初任者研修等でも活用できます  
○冊子に掲載している様々なテンプレートやカットなども HP からダウンロードできます

教職員のための  
サポートブック 1保護者との  
よりよい関係を築くために教職員のための  
サポートブック 2だれもが  
安心して過ごせる学級  
をつくるために

香川県教育センター

# 10 調査結果の活用

29 前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか



29 H24 の結果では、ほとんどの学校で調査結果を活用していると回答している

〔参考〕にある全国調査の結果を見ても、小中学校ともに全国的に見て極めて高くなっている。

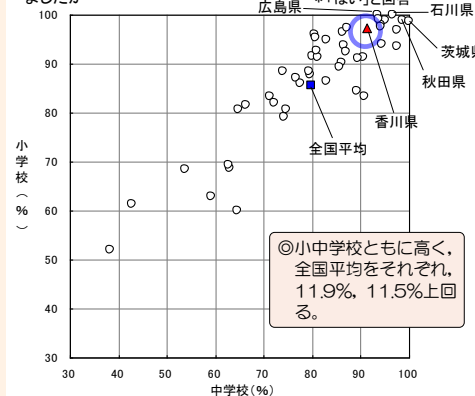


〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（H24）

## 具体的な教育指導の改善等

〔学校質問紙〕

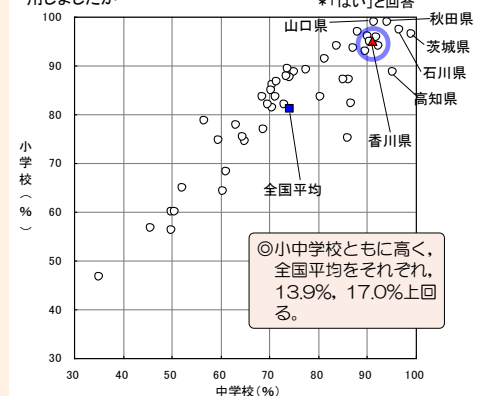
■37 平成23年度全国学力・学習状況調査の問題冊子等や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善等を行いましたか



## 結果の活用

〔学校質問紙〕

■38 平成23年度全国学力・学習状況調査の問題冊子等や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



〔参考〕全国学力・学習状況調査結果報告書（H22）

全国学力・学習状況調査の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用した学校の割合は、小学校では、約90%、中学校で85%となっている。複数の上位県では、小・中学校とも、90%以上の割合を示している。

調査問題を授業の中で活用した学校の割合は、小・中学校ともに、21年度と比べ、10ポイント以上増加しており、小学校では、全国平均を上回っており、中学校は、3ポイント程度下回っている。

複数の上位県は、小・中学校とも、80%以上の割合を示している。

## 自校の結果を調査対象学年・教科以外で活用しましたか？

■45 平成21年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか

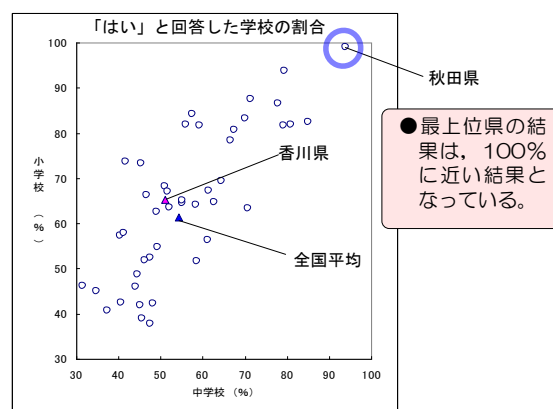
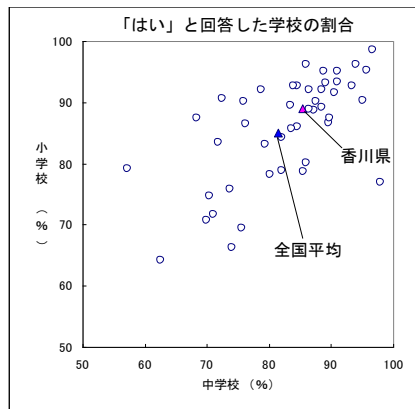
| 校種  | 回答1 | 県    | 全国   | 全国との差 | 21県との差 |
|-----|-----|------|------|-------|--------|
| 小学校 | はい  | 89.0 | 85.0 | 4.0   | ▲0.2   |
| 中学校 | はい  | 85.4 | 81.5 | 3.9   | 10.4   |

## 調査問題を授業の中で活用しましたか？

■46 平成21年度全国学力・学習状況調査の調査問題を平成21年度において、第6(3)学年や他学年の授業の中で活用しましたか

※本質問は、平成24年度調査では削除された

| 校種  | 回答1 | 県    | 全国   | 全国との差 | 21県との差 |
|-----|-----|------|------|-------|--------|
| 小学校 | はい  | 65.2 | 61.3 | 3.9   | 11.4   |
| 中学校 | はい  | 51.1 | 54.2 | ▲3.1  | 11.6   |



# 11 校務の改善

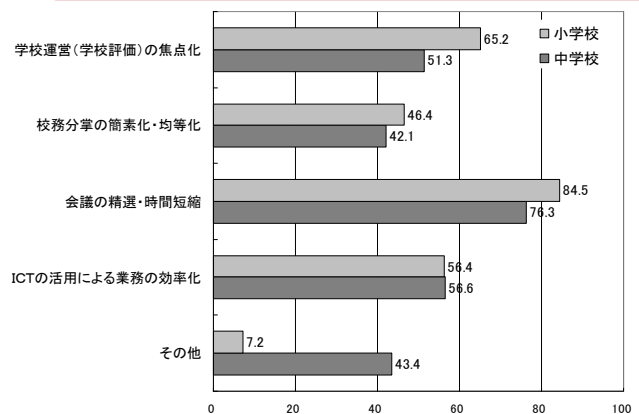
## 30 児童生徒に向き合う時間の確保のため、校務の改善に取り組んでいますか



30 H24の結果では、ほとんどの学校で取り組んでいると回答している

31 会議の精選、時間短縮が、小中学校ともに高くなっている。

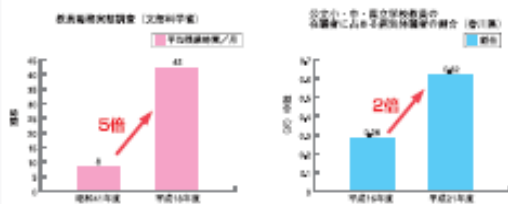
## 31 どのようなことに取り組みましたか



### 【参考】業務改善アクションプラン

## 教員業務改善アクションプラン

学校では、学級指導や生徒指導などの教育活動以外にも、事務的作業や報告書の作成など、教員が取り組まなければならない業務が蓄えています。



このため、県教育委員会としては、新しい県教育基本計画の重点項目として「教員の業務改善」を掲げ、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間の確保に向けて重点的に取り組むこととしています。

今後、教員が本来取り組むべき教育活動を一層充実するために、効果的・効率的な業務の推進により、教員の業務改善に向けて取り組むべきアクションプランを策定し、今後重点的に実施していくこととしました。

### 学校が中心となって取り組むアクション

学校の状況や抱える課題が学校ごとに異なることから、校務のリーダーシップの下、各学校においてその実情に応じた自発的な業務改善に取り組むことが必要です。その際、例えば、以下のような取組などが考えられます。

- ① 学校運営の焦点化
- ② 校務分掌の簡素化・均等化
- ③ 会議の精選・時間短縮
- ④ 部活動休養日の徹底
- ⑤ ICTの活用による業務の効率化
- ⑥ 学校評価の焦点化
- ⑦ 標榜やポスターの応募等の厳選



### 県教育委員会が中心となって取り組むアクション

#### 1 県教育委員会として改善する内容

- ① 調査等の削減・簡素化
  - 調査数の削減
  - ICT化・簡素化
- ② 研修会等の削減・負担軽減
  - 研修会等の削減
  - 参加者への事前資料作成の廃止
- ③ 研究指定の在り方
  - 研究指定の精選
  - 研究指定書等の簡素化
  - 成果発表会の集約
- ④ 部活動の在り方
  - 完全休養日の通知
  - 地域人材等を部活動指導者として派遣
- ⑤ 学校支援体制の充実
  - 退職教員の効果的な活用
  - 県学習状況調査の入力作業の支援
  - 弁護士相談の円滑化
  - 学校支援ボランティアの推進
- ⑥ ICTの活用による業務の効率化
- ⑦ 管理職の学校経営能力の向上
  - 管理職マネジメント研修
- ⑧ 教員のメンタルヘルス
  - メンタルヘルス相談体制の充実、管理監督者や退職教員のメンタルヘルス研修
  - 病気休職者の円滑な職場復帰と再発防止支援



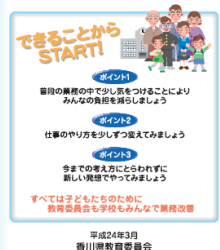
#### 2 市町教育委員会に協力を依頼

- ① 調査・報告文書等の重複排除
- ② 研修会等の重複排除
- ③ 給食費の徴収についての情報提供
- ④ 事務の共同実施の充実

#### 3 関係団体に協力を依頼

- ① 香川県小学校教育研究会・香川県中学校教育研究会
- ② 香川県中学校体育連盟

### 子どもと向き合う時間を確保し教育活動を充実するために



<http://www.pref.kagawa.jp/kenkyoui/gimu/pdf/sisitu/gyumukaizenleaf.pdf>

## Ⅵ 各学校の具体的な取組

■各学校においては、平成 24 年度香川県学習状況調査の調査結果をもとに、自校の調査結果について分析を進め、それによって明らかになった課題を改善するために、様々な取組が行われています。本章では、各学校における主な取組を 6 つの視点からまとめ、その中から具体例を示し、また顕著な取組を行なっている学校を実際に取材して紹介をしています。

※本章に掲載している各学校の取組は、平成 25 年 1 月 29 日に開催された「授業改善に向けての協議会」で、各学校から報告された自校の課題を改善するための取組や、その後の聞き取りから、主なものを掲載しています。

### 1 思考力・判断力・表現力等を伸ばす指導〔Action 1〕

○朝の会で行っているスピーチをさらに充実させ、そのスピーチに対する児童の発言がつながるように指導している。（高松・木田・香川：小）

○ペア対話やジグソー学習など、多様な授業形態を取り入れるようにしている。（高松・木田・香川：小）

○「視写」活動を実施している。1 校時開始前の 15 分間、読書活動と隔週で 1・2 年生を対象に、配布された用紙に書かれた 200 字程度の文章を漢字ノートに書き写す視写の取組を行っている。集中し、注意深く書き写す活動の継続によって、文章表現力、読解力、自己省察力等の向上、語彙の獲得、表現への意欲化などを効果として考えている。（高松・木田・香川：中）

○算数の時間において、児童にじっくり考えさせる時間と定着させる時間とを意図的につくり、ノートに理由や考え方を書かせる機会をできるだけ多く取り入れる。また、式にも言葉を書き込み、より深い理解へとつなげていく。（丸亀：小）

○日常指導で書く力をつけさせるために、低学年の時から日記指導に力を入れていく。定型文（始め・中 1・中 2・終わり）に当てはめて書くように指導する。学級日誌やスピーチにもこの指導を行っていく。また、週に一度の校長先生の話についてメモをとらせ、まとめさせる。（丸亀：小）

○NIEを実践して社会的事象への関心をもたせ、新聞を教材として活用することにより、文章読解力を高め、「思考力・判断力・表現力等」の育成を図る。（丸亀：中）

○全校生が集まって表現力を高める「表現のひろば」の活動を充実させる。（善通寺・仲多度：小）

○授業の中で、自分の考えをノートに書く時間を必ず確保する。「自分の考えを書く」→「友だちと学び合う」→「はじめの考えとどう変わったかを書く」という流れを定着させ、しっかりとした考えをもって話したり書いたりする力を高める。（善通寺・仲多度：小）

○身に付けさせたい思考力・表現力を明確にして授業を行う。また、学習指導過程の中に思考力・表現力を身に付けさせる場を位置付け、学習活動や教師の支援を工夫する。（善通寺・仲多度：小）

○授業規律、授業展開の『学習スタイル・4 つのステージ』（「1. 問題把握・見通し」「2. 個人内解決」「3. 解決のよさ追究」「4. 表現・処理方法の協定」）の共通理解と共通指導を心がける。（三豊：小）

## 2 学習意欲向上のための指導〔Action 2〕

- 基礎学力の定着と向上のために、3年生は毎日放課後75分間の質問教室を開催する。(小豆：中)
- 新聞記事の切り抜きでスピーチをしたり、掲示したりすることで、時事問題にも関心をもたせるようにしている。(さぬき：小)
- 学年ごとに廊下に学習コーナーを設置し、毎月の音読・スピーチを紹介したり、ノートを紹介したりして、児童が今後の取組の見通しをもてるとともに、意欲を喚起できるようにしている。学級でも自主学習ノートを紹介するコーナーを設け、賞賛の場とし、自主学習の進め方の参考にできるようにしている。(高松・木田・香川：小)
- 長期休業中、学習意欲の維持のために、部活動とセットで学習会をもち、助け合い学習に取り組ませている。(高松・木田・香川：中)
- 「がんばるマンテスト(生徒の8割程度が合格する小テスト)」を実施し、不合格者に補充学習を行ったり、「テストの壺」と称するテスト前の学習支援プリントを配布したりするなどの取組で、基礎・基本についての反復的な学習支援や学習意欲の向上に向けた支援を行っている。(高松・木田・香川：中)
- ICT機器の活用について、「指示を明確にし、言葉では理解が困難な生徒に図などを豊富に付け加えることで、授業に参加していない生徒を減少させる」ということを教員の共通理解項目とし、要請指導訪問では全教員がICT機器を用いた授業を実施する。(坂出・綾歌：中)
- 生徒会の委員会活動を利用して、「授業態度調べ」等を定期的実施する。(丸亀：中)
- 学習の過程で「自己存在感」「共感的人間関係」「自己決定」の3つの機能を生かした活動を設定し、生徒のよさを引き出す支援を重ねる。(丸亀：中)
- 「言語についての知識・理解・技能」向上のために、授業はじめ10分間を「漢字タイム」とし、漢字の習得をシステム化した。それによって、県の学習状況調査の結果が昨年度と比較して向上した。(丸亀：中)
- 授業改善のための「十策」を職員会で決定し、全教員が授業を行う際、年間を通して気をつけるポイントとしている。〔p107 具体例(3)参照〕(丸亀：中)
- 朝のドリル・家庭学習・全校テストを連動したものにする。(善通寺・仲多度：小)
- 下位生徒の底上げを図るために、授業プリントを習熟度別に2種類用意する等の取組を行う。(善通寺・仲多度：中)
- 聞き方名人表、話し方名人表の掲示を行う。(三豊：小)

## 3 学習方法を身に付けるための指導〔Action 3〕

- 「どの子も見通しをもつことができ、分かりやすい授業づくり」「どの子も『頑張る』『できる』を経験する学び方の開発」「どの子も安心して学ぶことができる環境整備」という3つの視点から考えた7つの取組を全ての児童が手元に資料として持ち、日々の学習に生かせるようにした。(高松・木田・香川：小)

- 宿題や提出物などは、どの学年においても完全にできるまで放課後教科担任が付き添い、仕上げさせている。（高松・木田・香川：中）
- 基礎的な語彙力をつけるために、3年生以上の児童に自分の国語辞典を持たせ、全ての教科の中で活用していく。（丸亀：小）
- 5時間目の前に10分間ドリルの時間を設定し、学習内容の定着を図っている。その際、学級担任以外に加配教員や管理職などがそれぞれの学級に入り、2人体制でドリルを行っている。（善通寺・仲多度：小）
- 「間違いは宝」という意識をもたせ、間違えた問題は必ずやり直す習慣付けをしている。その際、ただ答えを直すだけでなく、「どこを・どのように間違えたか」を自分で考えさせ、定着が不十分な学習内容については見直し、復習や反復練習で確実に身に付けさせる。（三豊：小）
- 学習内容の定着を図るために、正答率が低かった設問を集めて問題を再構成し、校内検定を朝の会でを行った。（観音寺：中）

#### 4 学習習慣形成のための指導〔Action 4〕

- 生徒質問紙の結果から、「家庭学習の充実」という課題が浮かび上がり、その改善策として、「宿題」を教員がどのように出せばよいのかを学校全体で考えている。〔p107 具体例(2)参照〕  
（高松・木田・香川：中）
- 金曜日には週末の課題一覧のプリントを配布し、保護者も確認できるようにする。（丸亀：中）
- 相関関係が見られる朝食と学力の関係について保護者との連携を一層強化する。（三豊：小）
- 学期始めに「家庭学習強調週間」を実施し、「がんばりカード」による意欲化を図りつつ、家庭学習の習慣を定着させている。また、集計結果を保護者に配布し、理解や協力を得ている。（観音寺：小）
- 2学期末懇談会で、県学習状況調査の結果を返し、保護者に冬休み中の間違い直しを依頼した。その際、学校独自で県正答率が表示されている個票（詳細・教科ごと）とその見方を作成し、生徒自らが学習状況を振り返ることができるように工夫した。（観音寺：中）

#### 5 授業力向上に向けた研修等

- 各教員が指導力を向上させ、授業に対する振り返りをするために、生徒による授業評価を年2回実施している。（高松・木田・香川：中）
- 各教員が補助資料や学習プリントの作成を行い、職員室のサーバーに蓄積することで共有化を一層促進する。（高松・木田・香川：中）
- 全教員が年間2回の研究授業を行い、それを通じ、各教科の指導方法の工夫や改善を行い、分かる授業の実践につながる指導力の向上を図っている。（坂出・綾歌：中）

○「学びの共同体」の理念を取り入れ、教員の授業に対する意識改革を行う。そのため、1月・2月に先進校視察を積極的に行い、先進校の取組から学び、学校改革に結びつける。

(坂出・綾歌：中)

○現職教育で教科部会の回数を増やし、全教員が公開授業を行い、資質の向上を図る。また、教科部会の中で、教科ごとに思考力・判断力・表現力等を育てる授業改善方法を検討し実践する。

(丸亀：中)

○全教員が全国学力・学習状況調査の問題を解き、新学習指導要領に沿った出題傾向を把握し、今後の授業実践に生かす。

(善通寺・仲多度：中)

○教員が画一的な授業から脱却すべく「授業改善」を組織的に行う必要性を職員会で確認した。

(善通寺・仲多度：中)

○職員会で全教員に対して、県学習状況調査は「授業改善をするため」に実施しているものであることや調査結果は授業の反映と捉え、生徒の「生き抜く力」を育むためにも、学力を向上させる対策を講じる必要性を確認した。

(善通寺・仲多度：中)

○各教師が『学習状況調査結果から授業改善へつなぐ』という管理職が作成したシートに、「自分なりの結果分析」、「課題把握」、「改善への一歩」を書き込み、意識を高めた。それをもとに現職教育等でしっかりと話し合い、「基礎学力の定着」及び「学力向上」という本校の大きな学校課題の解決に向けて、教師の意識改革を行う。

(善通寺・仲多度：中)

○県学習状況調査の結果をグラフ化し、授業改善に向けてのアンケートを全教員に実施。そこから読み取れる問題点を現職教育に反映し、研究授業に生かしていく。 [p107 具体例(4)参照]

(善通寺・仲多度：中)

○子どもと向かい合える時間を取る日課の工夫と職員会議・集会の時間短縮と効率化を心がける。

(三豊：小)

## 6 小中連携

○授業力向上に向けた小中合同研修を行い、小学校の教員から多くの刺激をもらっている。

[p107 具体例(1)参照] (東かがわ：中)

○本校英語科教員が小学校で授業を実施するなど、小中連携をより推進し、9年間の一貫した英語教育を来年度からスタートさせるために、3学期に試行的に校区内小学校での外国語活動授業を実施する。

(坂出・綾歌：中)

○小中一貫教育の取組として、12月の学校説明会で小学校6年生に「学習の手引き」を配布し、教科ごとに入學までに準備しておかなければいけないことを周知し、家庭学習の習慣化と学力の向上を図る。

(丸亀：中)



## 7 具体例

### (1) 授業力向上に向けた小中合同研修の充実

(東かがわ：中)

小学校の授業から学ぶべきことは多く、中学校では以下のような視点を持って授業改善に取り組んでいる。

○「多様な教材・資料の工夫」

中学校教員の授業に、まだまだ課題が見られる。小中の合同研修を通して、資料作成・活用の工夫を行い、指導力の向上に取り組んでいる。

○「授業過程における『活用』の場面の設定」

「話し合いの場面」「提案の場面」など、自分の意見を述べる時間を確保し、獲得した知識を活用させる場면을授業内に確保するように努めている。

### (2) 家庭学習の定着

(高松・木田・香川：中)

我が校は高松市内に学校がありながら、塾に通って勉強する生徒よりも、家庭で勉強する生徒が多い特徴をもっている。そのため、家庭学習の定着を図る対策はどの学校よりも重要であると考え、改善策を以下のようにまとめた。

- ①各教科の宿題の出し方を工夫し、できる限り個人の課題に応じた宿題にする。
- ②宿題の提出の徹底を図るため、丁寧に検閲する。
- ③学習意欲の向上を意図した宿題にする。

### (3) 授業改善に向けた『授業改善 十策』

(丸亀：中)

- 1 基本ルールの徹底〔特に、3分前着席・準備と片付け・姿勢・聞き方〕
- 2 『導入』は「短く」、『ねらい』は「はっきり」
- 3 生徒の活動時間を増やし、参加型の授業に
- 4 交流の場や選択の場の設定
- 5 実物・写真・DVD・CD・図・カードなど、五感に訴える資料
- 6 発問・説明は繰り返さない、しゃべりすぎない
- 7 時間を意識させ、集中度アップ
- 8 アイコンタクト
- 9 1時間の流れが分かる板書
- 10 授業終了は余裕をもって

\*本年度4月から、現職教育の合言葉を  
「一授業一工夫」とし、実践を重ねている。

### (4) 教員アンケートによる課題把握

(善通寺・仲多度：中)

県学習状況調査の結果をグラフ化し全員に配布した。また、全国学力・学習状況調査の結果も含め、全教員に、自分の授業について次の3点の質問を行い、文書で回答を得た。

- ①本校の生徒にはどのような能力が足りない、身に付いていないと思うか。
- ②自分の授業に欠けているのはどのような点だと思うか。
- ③上記のことを改善するために、「毎日の」授業をどのように変えていくか。

その結果、各教員が自覚する授業の問題点として、以下のような傾向が見られた。

- ・教員側の一方的な教え込みの授業になっている。一問一答式の単調な授業が多い。
- ・授業中、「思考・判断・表現」を促す活動や、生徒相互が交流する場や時間を確保していない。
- ・生徒の学習意欲や知的好奇心を喚起する発問や展開、教材の工夫ができていない。

\*この結果を来年度の現職教育に反映させ、ポイントを絞った研究授業を行っていく。

## 8 聞き取り調査から

### (1) 徹底学習と自発的学習

(東かがわ：小)

昨年度の県学習状況調査の結果から、教職員が危機意識をもち、昨年度3学期からプロジェクトチームを組み、学力向上を目指して次のことに取り組んだ。

金曜日、時間割を工夫して、1年生～3年生は6校時、4年生～6年生は7校時を設け、「チャレンジタイム」を設置した。国語と算数の問題をそれぞれ1年生から6年生まで各学年10問ずつの10回分テスト、全学年を通して60回分のテストを作成した(ポイントを60段階に分けてある)。そのテストを実施するにあたり、発達段階を考慮した1年生から6年生までの系統立てたワークシートを全教員で協力し作成した。児童は自分に合ったペースで自主的に取り組んでいる。

さらに、毎月の「漢字・計算テスト」として、出題範囲を事前に伝え、全児童に100点を目指して取り組ませている。全員が100点取れるまで粘り強く指導を行い、児童に「やればできる!」という達成感を味わわせることをねらいとしている。

これら、教員がしっかり指導して力をつけさせる取組と、児童の自主性を重んじて自ら学ぶ力を育てる取組、この2つの取組を徹底したために、今年度の県学習状況調査の結果は全教科、大幅な向上が見られた。

### (2) 授業改善計画の作成

(高松・木田・香川：小)

生徒指導上、問題を多く抱えていたため、学習指導にも困難さを抱え、児童がなかなか自尊感情をもてないでいた。教員の意識を改革して授業から見つめ直していこうと、一人ひとりが自己評価を活用した授業改善計画作成に取り組んだ。

授業改善計画とは、県学習状況調査や県版テストの結果を教員一人ひとりが詳しく自己分析し、その結果を踏まえたもので、例えば、「書く能力を測る問題での無答率をゼロにする」とともに、「半分以上の児童の達成率を80%以上にする」のように、具体的な活動や数字を入れた目標を掲げることにより、できるだけ具体的に教員の行動を変えることを目的とした。

今、少しずつ、授業改善が学校全体で図られている。

### (3) 全教員の国語・校内研究授業

(高松・木田・香川：小)

授業中、ある児童の意見に対して、他の児童が「(その意見で) いいで～す」ということが習慣化しており、違う意見を述べるのは難しい雰囲気になっていた。それを改善するために、異なる意見をもった児童が「自分の言葉で、根拠を明確にしながら説明できる」ために、どのようにしたらよいかを校内で検討した。

そこで、相手にきちんと自分の思いを伝える表現力を伸ばすには、国語力を高めることが欠かせないと考え、本年度の研究教科を国語に絞り、全教員が国語で校内研究授業を行った。

思考力・判断力・表現力等を伸ばす授業とはどのような授業なのかについて、基本的な知識や技能を身に付けることとの関係も含め、教員一人ひとりが深く考えるようになり、それが他教科の授業づくりにおいても生かされ、授業改善につながっている。また、異なった意見を述べる児童も現れてきており、それを受け止める周りの児童も育ってきた。

### (4) 学級文庫の選定

(高松・木田・香川：中)

今年度、読書への興味関心を高め、読書による情操教育効果、読解力や思考力の向上などの効果をねらいとして、週3・4回、8時から20分間、朝読書の時間を設けている。この時間をより効果的にするために、学級文庫の選定を2期に分け、1回目は学級担任、2回目は図書委員を中心に生徒に任せ、本を購入させた。

生徒は今まで以上に、読書への興味関心を高め、この20分間の集中力が開始当初よりも数段高まり、この雰囲気が普段の授業での落ち着きにもつながっている。

#### (5) 土曜日における学習会の実施

(高松・木田・香川：中)

生徒に「よりよい生活習慣を身に付けさせる」「基礎学力をより確かなものにする」を目標に、ほぼ毎週土曜日の8時から10時までの2時間を『土曜朝塾』と名付け、昨年6月から計30回以上実施した。部活動と重なるので、参加可能な生徒が自主的に参加するという形式にしている。特に試験週間や3年生の総体終了後は、多くの生徒が参加している。

コンセプトは、生徒に学習の場を与え、生徒の意欲を喚起することにある。学年ごとに教室を設け、教員も教室にいるようにして、質問しやすい環境づくりに努めた。学習環境を充実することで、学校全体の学習へ取り組もうとする雰囲気の高まりを期待した。(教員の当番は年間一人2回程度で、負担軽減に極力配慮する。)

この取組によって、生徒は教員に質問しやすくなり、また、教員も生徒に声をかけやすくなり、生徒と教員の良好な人間関係が普段の学校生活に好影響を与えている。

#### (6) 個別学習の充実

(高松・木田・香川：中)

月1回、授業を30分早く終わらせ、“My Study”と称して、放課後の個別学習を支援する時間を設けている。生徒は自主的に残る者と、教員から声をかけられ残る者がいるが、皆、やる気をもって学習に取り組んでいる。集団の中での勉強についていくのが難しく、特に気にかかる生徒にはこの場で声をかけ、個別学習へと導く。

数学と英語を中心とし、それらについていけない生徒に教員が個別にその生徒の学力に応じた問題を作成し、生徒はそれを解いてきて担当教員が毎回添削指導を行う。現在、数学と英語の教員が中心に一人3、4名ずつの生徒を担当し、個別にサポートをしている。生徒は休み時間等を利用し担当教員のもとへ行き、指導を受けている。

家庭学習の習慣が身に付いていない生徒、または学習に興味関心を示さない生徒を、学習へ向かわせるのに大変効果的で、学校全体の学習へ取り組む雰囲気づくりに好影響を与えている。

#### (7) 地域における共通認識

(高松・木田・香川：中)

県学習状況調査の結果分析を行い、23年度から24年度にかけて経年比較をしたところ、全教科大幅に成績が向上した。取組として特別なものはないが、一つの原因として、小中連携を基盤として保護者を啓発し、中学校に入学したら高校受験に向けて「落ち着いて学習に取り組む」という共通認識が地域全体に浸透し、学習に取り組む良い雰囲気づくりに繋がっていることがあげられる。

「当たり前のことを当たり前」ということを目標に掲げ、家庭学習として全校生に自主学習ノートを課し、全員にその課題を提出させている。担任はそのチェックを徹底的に行う。それによって、生徒には「提出して当たり前」という雰囲気が生まれ、その雰囲気が授業規律にもつながり、どの授業も中学1年生から落ち着いて行われている。現在、先生方が生徒にかける手間を苦痛に感じない良好な教員と生徒の人間関係が生まれている。

#### (8) 全教員の5分前行動の徹底

(坂出・綾歌：中)

常に生徒より先に動くため、全教員5分前行動を徹底している。授業開始チャイム5分前には授業者は教室にいますので、チャイムが鳴る前に生徒は必ず着席をし、授業準備をすませている。チャイムと同時に号令がかかり、気持ちよく授業が開始できている。

当たり前ではあるが、できていなかった時期が長かったために、粘り強く教員が模範を示し、生徒に伝え続けることにかかなりの労力がかかった。

この5分前行動の徹底は、休み時間、ほとんどの教員が廊下での「ふれあい活動」を行っていることから生まれている。以前は生徒の管理目的で行っていたが、今ではまさしく「ふれあい」となって、生徒と教員の良好な関係に寄与している。

『家庭学習の手引き』というプリントを作成し、保護者への理解と協力を仰いでいる。「学力向上は家庭学習の習慣化から」を目標に、各学年に応じて、児童の帰宅後の望ましい行動について基本的な学習時間とともに示したり、家庭学習の取り組み方を具体的に詳しく説明したりした保護者向けのプリントを配布している。また、各学年、この1年間で身に付けるべき行動内容と学習内容を一覧にして盛り込んだ。

これらの内容を各家庭に配布することで、学校での学習に対する理解を高めることができ、またそれによって、家庭学習について保護者への依頼もしやすくなり、家庭と学校が連絡を密に取れるようになった。【下記参照】

見るところに貼っておいてください。 家庭学習の手引き

平成24年度



小学校の学習は、社会人として将来自立するための基礎となるものです。とくに「読むこと」「書くこと」「計算すること」などは、欠かすことのできない「生きる力」です。  
学校では、一斉指導だけでなく少人数指導やＴＴ（チーム・ティーチング）など、「個に応じた指導」の取り組みなどを通して、基礎学力を高めるための努力をしています。ご家庭と協力することにより、さらにその力が何倍にも高められます。



1. 家庭での学習を習慣化しよう

◆学習時間のめやす

1・2学年…20分以上  
3・4学年…40分以上  
5・6学年…1時間以上

※学力アップは規則正しい生活から

- 早寝(9時から10時までに寝る)・早起き
- 朝食は必ずとる。
- 朝の排便
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家に帰ったら、早めに宿題をすませる。
- テレビやゲームは時間を決めて！

※学習の大切なポイント

- ・勉強する時は、テレビを消す。
- ・机の上をきれいに片づける。
- ・よい姿勢で学習する。

3. 各学年で身につけたい力

習慣づけの1年生

- ① ひらがな、かたかなの清音が読めて書ける。
- ② 助詞(て、に、を、は)を適切に使い分けて文章が書ける。
- ③ 80字の配当漢字のすべてが読め、8割程の漢字が書ける。
- ④ えんぴつを正しくもって字が書ける。
- ⑤ たし算・ひき算ができる。

習慣が定着しはじめる2年生

- ① 160字の配当漢字のすべてが読め、8割程の漢字が書ける。
- ② 順序よく話をするができる。
- ③ 九九がすらすら言える。
- ④ 時計を見て、時刻がわかる。
- ⑤ たし算とひき算の筆算ができる。
- ⑥ 決められた長さの直線を正しく引ける。
- ⑦ 長さやかさの計算ができる。

教科増をのりこえる3年生

- ① 200字の配当漢字のすべてが読め、8割程の漢字が書ける。
- ② 国語辞典を使って言葉を調べられる。
- ③ ローマ字の読み書きができる。
- ④ かんたんわり算ができる。
- ⑤ かけ算の筆算ができる。
- ⑥ 重さをはかり、表せる。
- ⑦ 千万の位までの数を読んだり、書いたりすることができる。
- ⑧ コンパスを使って簡単な図形が書ける。

2. 家庭学習の参考例(各学年共通)

国語 ・漢字練習・意味調べ・読書  
・音読・視写・日記など

算数 ・計算練習・百ます計算・文章問題  
・テストでまちがえた問題をもう一度ノートに写して解いてみる。

社会・理科・生活科など  
・勉強したところに関係がある事から本や辞典などで調べてまとめる。

市販のドリルや問題集、自主学習や読書などに進んで取り組むこともいいでしょう。

希望をもって進学する6年生

- ① 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。6年生の配当漢字は181字。
- ② 分数のたし算やひき算・かけ算・わり算ができる。
- ③ 様々な文章の内容をとらえながら、読むことができる。
- ④ 歴史上の事件や人物について、ほぼ分かる。
- ⑤ 世界のおもな国々の位置を正しく示すことができる。
- ⑥ 理科の基本的な原理や法則が分かり、実験道具の正しい使い方を知っている。

学力向上は  
家庭学習の  
習慣化から



取り組みで差がつく5年生

- ① 185字の配当漢字のすべてが読め、8割程の漢字が書ける。
- ② 習った漢字を使った熟語の8割程が書ける。
- ③ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ④ 分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤ 割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥ 47都道府県の位置が分かり、正しく書ける。

生活の中で心がけたいこと

- 読書は心を豊かにするので、進んで本を読もう。
- 国語辞典や漢字辞典、その他の辞典類を身近に置いて調べよう。
- 日本地図や世界地図を身近なところに置いて調べよう。
- ニュース番組を親子で見たり話し合おう。新聞を読もう。
- いろいろな本を読み、書いてあることを読みとろう。
- 自然や生き物とふれあい、くわしく観察してみよう。
- できるだけ外遊びや運動をして、体力を高めよう。
- 家の手伝いを進んでしよう
- 「早寝、早起き、朝ごはん」など、規則正しい生活をしよう。

